



平成28年度
「宮城県障害者施策推進基礎調査業務」

報告書

2017年3月

宮城県保健福祉部障害福祉課



目次

■ 調査の概要	4
■ 調査結果の概要		
I. 最優先で取り組んでほしい施策(回答者属性別)	11
II. 最優先で取り組んでほしい施策(回答者の特徴)	18
III. 最優先で取り組んでほしい施策(重複回答状況)	40
■ 調査結果の詳細		
I. 回答者の属性	45
II. 医療および福祉サービスの利用状況	54
III. 住まいと日常生活	75
IV. 就学・就業状況	90
V. 差別について	109
VI. 困ったときの相談について	116
VII. 災害時の避難や困りごと	121
VIII. 役所への意見	132



調査の概要

1. 目的

「みやぎ障害者プラン」の改定作業にあたり、県内に居住する障害者及びその家族等のニーズ並びに現行プランの実績、評価等を的確に把握するため、アンケート調査を実施した。

2. 調査方法

郵送調査

- ・調査票を郵送し記入を依頼。記入後、郵送にて返送。
- ・調査票ではインターネットサイトでの回答方法も案内し、いずれかの方法で回答を得た。

3. 対象者

宮城県内に居住する満0歳～79歳の障害者（年齢は平成29年1月1日現在）

- ・宮城県または仙台市が交付している下記の障害者手帳所持者
 - ①身体障害者手帳、②療育手帳、③精神障害者保健福祉手帳
- ・障害児（男女0～18歳）と障害者（男女19～79歳）において、それぞれ一部が異なる調査票を使用。障害児については、保護者に回答を依頼。障害者に対しては、本人またはご家族・介助者による回答を依頼した。

4. 対象者抽出方法

宮城県または仙台市の各障害者手帳所持者リストより、障害種別・等級 × 年代 × 居住エリア別の割付数を設定したうえで無作為に抽出。※ 詳細については、次項「7. 対象者抽出方法の詳細」参照

5. サンプル数

発送数： 4,000s
有効回収数： 1,910s
有効回収率： 47.8%

	発送数 (s)	有効回収数 (s)			有効回収率 (%)
		アンケート票	インターネット	合計	
障害児（男女0～18歳）	1,689	709	100	809	47.9
障害者（男女19～79歳）	2,311	1,041	60	1,101	47.6
全体（男女0～79歳）	4,000	1,750	160	1,910	47.8

6. 調査期間

平成29年1月26日～2月19日

7. 対象者抽出方法の詳細

宮城県または仙台市における障害者手帳所持者について、障害種別・等級 × 年代別の構成をみると、若年層に比べ高齢層の割合が高く、各区分間でのバラつきが大きくなっている。

対象者抽出を「完全無作為」または「手帳所持者の構成にそった割付設定」により行くと、調査サンプルにおける各区分間でもバラつきが大きくなり、結果を分析する際に、サンプル数の少ない区分においては、標本誤差が大きくなることが危惧される。

母集団（宮城県・仙台市 障害者手帳所持者リスト）の内訳

※ 複数の障害種別の手帳所持者をそれぞれカウントした延べ人数

		0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	合 計	
①身体障害者手帳	1級	211	397	141	889	2,027	4,636	12,097	20,398	62,295
	2級	50	207	83	610	1,177	2,524	5,611	10,262	
	3級	59	119	49	354	825	2,287	6,466	10,159	
	4級	38	74	39	390	987	3,430	8,190	13,148	
	5級	2	32	6	163	489	1,577	2,821	5,090	
	6級	18	41	15	160	393	899	1,712	3,238	
②療育手帳	A	90	787	382	1,953	1,541	1,055	791	6,599	16,688
	B	305	2,019	962	3,242	2,004	1,102	455	10,089	
③精神障害者 保健福祉手帳	1級	1	13	6	173	496	686	708	2,083	13,220
	2級	1	40	27	1,427	3,051	2,421	1,086	8,053	
	3級	-	16	15	622	1,214	889	328	3,084	
合 計		775	3,745	1,725	9,983	14,204	21,506	40,265	92,203	

このため、障害種別・等級 × 年代 × 居住エリア別のサンプル数をそれぞれ確保するため、極力均等な割付を設定した上で無作為に抽出を行った。一方で、サンプル全体における障害種別・等級 × 年代 × 居住エリア別の構成は、母集団である障害者手帳所持者における構成と乖離してしまうため、全体の集計については、各サンプルに構成比を考慮したウェイト付けをした上で行った。

すなわち、全体（男女0～79歳）についてはウェイト集計を行い、その他のサンプル区分については実数ベースでの集計を行った。

8. 割付設定

障害種別・等級 × 年代 × 居住エリア別のサンプル数をそれぞれ確保するため、極力均等な割付を設定した上で無作為に抽出を行った。

- 居住エリアは、「仙台市外」と「仙台市内」の2区分のみとしている、「仙台市」を含む8つの圏域別の比較も視野に入れ「仙台市外」と「仙台市内」の比率は約7：1とした。
- 0～18歳の区分においては、該当者が割付数に満たない区分があったため、他のエリア、年代、等級より代替抽出を行った。

発送4,000サンプルの内訳

※ 宮城県・仙台市 障害者手帳所持者リストより抽出

		仙台市外							仙台市内							合計
		0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	
①身体障害者手帳	1,2級	116	114	102	62	62	62	62	16	16	36	9	9	9	9	684
	3,4級	58	97	36	89	62	62	74	35	39	41	9	9	9	9	629
	5,6級	15	46	10	62	62	62	62	5	26	9	9	9	9	9	395
②療育手帳	A	21	155	111	62	62	62	62	55	18	16	9	9	9	9	660
	B	110	110	110	62	62	62	62	16	16	16	9	9	9	9	662
③精神障害者 保健福祉手帳	1級	-	4	4	62	62	62	62	1	9	1	9	9	9	9	303
	2級	-	20	16	62	62	62	62	1	20	11	9	9	9	9	352
	3級	-	10	8	62	62	62	62	-	6	7	9	9	9	9	315
合計		320	556	397	523	496	496	508	129	150	137	72	72	72	72	4,000

障害児（0～18歳）	1,689
障害者（19～79歳）	2,311

有効1,910サンプルの内訳

※ 障害種別・等級、居住エリア、年代は、宮城県 障害者手帳所持者リストから抽出時のもの

		仙台市外							仙台市内							合計
		0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	
①身体障害者手帳	1,2級	59	44	38	18	30	36	25	8	6	19	5	1	2	7	298
	3,4級	32	43	17	21	26	23	40	14	20	15	2	2	4	5	264
	5,6級	7	23	4	22	20	35	30	3	12	3	2	2	6	5	174
②療育手帳	A	11	81	51	32	31	34	31	35	11	6	4	5	7	5	344
	B	59	62	53	34	28	27	24	5	4	9	4	6	5	3	323
③精神障害者 保健福祉手帳	1級	-	3	1	35	38	31	37	1	4		2	5	6	5	168
	2級	-	10	11	32	28	33	35	-	8	4	1	5	4	4	175
	3級	-	5	3	26	33	34	38	-	1	4	3	5	7	5	164
合計		168	271	178	220	234	253	260	66	66	60	23	31	41	39	1,910

障害児（0～18歳）	809
障害者（19～79歳）	1,101

9. ウェイト値の設定

各区分のウェイト値は、次の計算により求めた ⇒ $\langle \text{母集団における構成比} \rangle \div \langle \text{有効サンプルにおける構成比} \rangle$

母集団における実数（人）

※1人をいずれか1つの区分にカウント

				0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	
障害種別 1つ	①身体	1級		186	261	86	641	1,832	4,526	12,046	
	①身体	2級		42	153	59	473	1,098	2,451	5,562	
	①身体	3級		57	93	40	304	758	2,230	6,422	
	①身体	4級		36	62	34	339	939	3,362	8,144	
	①身体	5級		2	24	6	133	453	1,539	2,804	
	①身体	6級		17	31	8	143	361	871	1,689	
	②療育	A		62	594	300	1,540	1,269	898	693	
	②療育	B		295	1,960	941	3,100	1,858	1,005	421	
	③精神	1級		1	8	-	144	448	616	643	
	③精神	2級		-	38	24	1,383	2,955	2,308	1,038	
③精神	3級		-	15	15	617	1,187	872	315		
障害種別 2つ	①身体	1級	②療育 A	21	124	50	215	157	83	31	
	①身体	1級	②療育 B	4	12	5	27	-	-	-	
	①身体	1級	③精神 1級	-	-	-	1	7	13	10	
	①身体	1級	③精神 2級	-	-	-	-	5	4	-	
	①身体	2級	②療育 A	5	36	20	109	51	40	-	
	①身体	2級	②療育 B	3	17	4	-	13	-	1	
	①身体	2級	③精神 1級	-	-	-	-	-	-	14	
	①身体	2級	③精神 2級	-	-	-	-	5	-	3	
	①身体	3級	②療育 A	1	19	7	34	34	14	18	
	①身体	3級	②療育 B	1	7	2	11	8	-	-	
	①身体	3級	③精神 2級	-	-	-	-	-	-	12	
	①身体	3級	③精神 3級	-	-	-	2	-	-	2	
	①身体	4級	②療育 A	1	6	2	25	-	5	6	
	①身体	4級	②療育 B	-	6	3	22	19	17	6	
	①身体	4級	③精神 1級	-	-	-	-	3	-	-	
	①身体	4級	③精神 2級	-	-	-	-	12	-	-	
	①身体	4級	③精神 3級	-	-	-	-	3	-	-	
	①身体	5級	②療育 A	-	3	-	10	8	-	-	
	①身体	5級	②療育 B	-	5	-	15	-	-	-	
	①身体	5級	③精神 1級	-	-	-	-	2	7	-	
	①身体	5級	③精神 2級	-	-	-	4	-	-	-	
	①身体	5級	③精神 3級	-	-	-	-	-	-	1	
	①身体	6級	②療育 A	-	5	2	-	-	-	4	
	①身体	6級	②療育 B	-	5	-	3	7	-	-	
	①身体	6級	③精神 2級	-	-	1	4	-	-	7	
	②療育	A	③精神 1級	-	-	1	6	-	1	-	
	②療育	B	③精神 1級	-	5	-	13	16	-	-	
	②療育	B	③精神 2級	-	1	2	26	40	-	-	
	②療育	B	③精神 3級	-	1	-	-	5	-	-	
	障害種別 3つ	①身体	1級	②療育 A	③精神 1級	-	-	-	-	-	1
		①身体	4級	②療育 B	③精神 1級	-	-	-	1	-	-
		①身体	5級	②療育 B	③精神 1級	-	-	1	-	-	-
	合計				89,491						

母集団における構成比

				0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	
障害種別 1つ	①身体	1級		0.002078	0.002916	0.000961	0.007163	0.020471	0.050575	0.134606	
	①身体	2級		0.000469	0.001710	0.000659	0.005285	0.012269	0.027388	0.062152	
	①身体	3級		0.000637	0.001039	0.000447	0.003397	0.008470	0.024919	0.071761	
	①身体	4級		0.000402	0.000693	0.000380	0.003788	0.010493	0.037568	0.091004	
	①身体	5級		0.000022	0.000268	0.000067	0.001486	0.005062	0.017197	0.031333	
	①身体	6級		0.000190	0.000346	0.000089	0.001598	0.004034	0.009733	0.018873	
	②療育	A		0.000693	0.006638	0.003352	0.017208	0.014180	0.010035	0.007744	
	②療育	B		0.003296	0.021902	0.010515	0.034640	0.020762	0.011230	0.004704	
	③精神	1級		0.000011	0.000089	-	0.001609	0.005006	0.006883	0.007185	
	③精神	2級		-	0.000425	0.000268	0.015454	0.033020	0.025790	0.011599	
③精神	3級		-	0.000168	0.000168	0.006895	0.013264	0.009744	0.003520		
障害種別 2つ	①身体	1級	②療育 A	0.000235	0.001386	0.000559	0.002402	0.001754	0.000927	0.000346	
	①身体	1級	②療育 B	0.000045	0.000134	0.000056	0.000302	-	-	-	
	①身体	1級	③精神 1級	-	-	-	0.000011	0.000078	0.000145	0.000112	
	①身体	1級	③精神 2級	-	-	-	-	0.000056	0.000045	-	
	①身体	2級	②療育 A	0.000056	0.000402	0.000223	0.001218	0.000570	0.000447	-	
	①身体	2級	②療育 B	0.000034	0.000190	0.000045	-	0.000145	-	0.000011	
	①身体	2級	③精神 1級	-	-	-	-	-	-	0.000156	
	①身体	2級	③精神 2級	-	-	-	-	0.000056	-	0.000034	
	①身体	3級	②療育 A	0.000011	0.000212	0.000078	0.000380	0.000380	0.000156	0.000201	
	①身体	3級	②療育 B	0.000011	0.000078	0.000022	0.000123	0.000089	-	-	
	①身体	3級	③精神 2級	-	-	-	-	-	-	0.000134	
	①身体	3級	③精神 3級	-	-	-	-	-	-	0.000022	
	①身体	4級	②療育 A	0.000011	0.000067	0.000022	0.000279	-	0.000056	0.000067	
	①身体	4級	②療育 B	-	0.000067	0.000034	0.000246	0.000212	0.000190	0.000067	
	①身体	4級	③精神 1級	-	-	-	-	0.000034	-	-	
	①身体	4級	③精神 2級	-	-	-	-	0.000134	-	-	
	①身体	4級	③精神 3級	-	-	-	-	0.000034	-	-	
	①身体	5級	②療育 A	-	0.000034	-	0.000112	0.000089	-	-	
	①身体	5級	②療育 B	-	0.000056	-	0.000168	-	-	-	
	①身体	5級	③精神 1級	-	-	-	-	0.000022	0.000078	-	
	①身体	5級	③精神 2級	-	-	-	0.000045	-	-	-	
	①身体	5級	③精神 3級	-	-	-	-	-	-	0.000011	
	①身体	6級	②療育 A	-	0.000056	0.000022	-	-	-	0.000045	
	①身体	6級	②療育 B	-	0.000056	-	0.000034	0.000078	-	-	
	①身体	6級	③精神 2級	-	-	0.000011	0.000045	-	-	0.000078	
	②療育	A	③精神 1級	-	-	0.000011	0.000067	-	0.000011	-	
	②療育	B	③精神 1級	-	0.000056	-	0.000145	0.000179	-	-	
	②療育	B	③精神 2級	-	0.000011	0.000022	0.000291	0.000447	-	-	
	②療育	B	③精神 3級	-	0.000011	-	-	0.000056	-	-	
	障害種別 3つ	①身体	1級	②療育 A	③精神 1級	-	-	-	-	-	0.000011
		①身体	4級	②療育 B	③精神 1級	-	-	-	0.000011	-	-
		①身体	5級	②療育 B	③精神 1級	-	-	0.000011	-	-	-
	合計				1.000000						

※ 母集団 = 宮城県・仙台市発行の障害手帳所持者

※ 複数の障害種別の手帳所持者について、母集団には上記以外のパターンで所持する人も存在するが、ウェイト値の算出にあたっては有効サンプルに存在するパターンのみ考慮。

9. ウェイト値の設定 各区分のウェイト値は、次の計算により求めた ⇒ $\frac{\text{母集団における構成比}}{\text{有効サンプルにおける構成比}}$

有効サンプルにおける実数 (s)

※1sをいずれか1つの区分にカウント

			0~6歳	7~15歳	16~18歳	19~34歳	35~49歳	50~64歳	65~79歳			
障害種別 1つ	①身体	1級	45	13	10	12	17	34	35			
	①身体	2級	14	16	15	12	15	16	18			
	①身体	3級	21	22	15	13	13	14	20			
	①身体	4級	17	22	7	5	15	17	30			
	①身体	5級	1	8	2	9	6	30	24			
	①身体	6級	7	13	3	7	11	10	9			
	②療育	A	34	85	46	25	32	27	20			
	②療育	B	65	64	59	36	29	31	21			
	③精神	1級	1	2	-	26	31	32	31			
	③精神	2級	-	16	10	32	30	32	26			
③精神	3級	-	8	7	23	35	36	39				
障害種別 2つ	①身体	1級	②療育	A	18	26	23	14	10	7	6	
	①身体	1級	②療育	B	2	3	3	1	-	-	-	
	①身体	1級	③精神	1級	-	-	-	1	2	1	1	
	①身体	1級	③精神	2級	-	-	-	1	1	-	-	
	①身体	2級	②療育	A	6	8	8	6	2	4	-	
	①身体	2級	②療育	B	3	4	7	-	1	-	1	
	①身体	2級	③精神	1級	-	-	-	-	-	-	1	
	①身体	2級	③精神	2級	-	-	-	2	-	-	3	
	①身体	3級	②療育	A	2	7	3	1	1	1	2	
	①身体	3級	②療育	B	1	5	1	1	1	-	-	
	①身体	3級	③精神	2級	-	-	-	-	-	-	1	
	①身体	3級	③精神	3級	-	-	-	1	-	-	1	
	①身体	4級	②療育	A	1	2	3	2	-	1	1	
	①身体	4級	②療育	B	-	2	1	1	1	1	1	
	①身体	4級	③精神	1級	-	-	-	-	2	-	-	
	①身体	4級	③精神	2級	-	-	-	-	1	-	-	
	①身体	4級	③精神	3級	-	-	-	-	1	-	-	
	①身体	5級	②療育	A	-	2	-	1	1	-	-	
	①身体	5級	②療育	B	-	2	-	1	-	-	-	
	①身体	5級	③精神	1級	-	-	-	-	1	1	-	
	①身体	5級	③精神	2級	-	-	-	1	-	-	-	
	①身体	5級	③精神	3級	-	-	-	-	-	-	1	
	①身体	6級	②療育	A	-	4	2	-	-	-	1	
	①身体	6級	②療育	B	-	2	-	1	1	-	-	
	①身体	6級	③精神	2級	-	-	1	1	-	-	1	
	②療育	A	③精神	1級	-	-	1	2	-	1	-	
	②療育	B	③精神	1級	-	4	-	4	1	-	-	
	②療育	B	③精神	2級	-	1	2	2	2	-	-	
	②療育	B	③精神	3級	-	1	-	1	-	-	-	
	障害種別 3つ	①身体	1級	②療育	A	③精神	1級	-	-	-	-	1
		①身体	4級	②療育	B	③精神	1級	-	-	1	-	-
		①身体	5級	②療育	B	③精神	1級	-	1	-	-	-
合計										1,910		

有効サンプルにおける構成比

			0~6歳	7~15歳	16~18歳	19~34歳	35~49歳	50~64歳	65~79歳			
障害種別 1つ	①身体	1級	0.023560	0.006806	0.005236	0.006283	0.008901	0.017801	0.018325			
	①身体	2級	0.007330	0.008377	0.007853	0.006283	0.007853	0.008377	0.009424			
	①身体	3級	0.010995	0.011518	0.007853	0.006806	0.006806	0.007330	0.010471			
	①身体	4級	0.008901	0.011518	0.003665	0.002618	0.007853	0.008901	0.015707			
	①身体	5級	0.000524	0.004188	0.001047	0.004712	0.003141	0.015707	0.012565			
	①身体	6級	0.003665	0.006806	0.001571	0.003665	0.005759	0.005236	0.004712			
	②療育	A	0.017801	0.044503	0.024084	0.013089	0.016754	0.014136	0.010471			
	②療育	B	0.034031	0.033508	0.030890	0.018848	0.015183	0.016230	0.010995			
	③精神	1級	0.000524	0.001047	-	0.013613	0.016230	0.016754	0.016230			
	③精神	2級	-	0.008377	0.005236	0.016754	0.015707	0.016754	0.013613			
③精神	3級	-	0.004188	0.003665	0.012042	0.018325	0.018848	0.020419				
障害種別 2つ	①身体	1級	②療育	A	0.009424	0.013613	0.012042	0.007330	0.005236	0.003665	0.003141	
	①身体	1級	②療育	B	0.001047	0.001571	0.001571	0.000524	-	-	-	
	①身体	1級	③精神	1級	-	-	-	0.000524	0.001047	0.000524	0.000524	
	①身体	1級	③精神	2級	-	-	-	-	0.000524	-	-	
	①身体	2級	②療育	A	0.003141	0.004188	0.004188	0.003141	0.001047	0.002094	-	
	①身体	2級	②療育	B	0.001571	0.002094	0.003665	-	0.000524	-	0.000524	
	①身体	2級	③精神	1級	-	-	-	-	-	-	0.000524	
	①身体	2級	③精神	2級	-	-	-	-	0.001047	-	0.001571	
	①身体	3級	②療育	A	0.001047	0.003665	0.001571	0.000524	0.000524	0.000524	0.001047	
	①身体	3級	②療育	B	0.000524	0.002618	0.000524	0.000524	0.000524	-	-	
	①身体	3級	③精神	2級	-	-	-	-	-	-	0.000524	
	①身体	3級	③精神	3級	-	-	-	0.000524	-	-	0.000524	
	①身体	4級	②療育	A	0.000524	0.001047	0.001571	0.001047	-	0.000524	0.000524	
	①身体	4級	②療育	B	-	0.001047	0.000524	0.000524	0.000524	0.000524	0.000524	
	①身体	4級	③精神	1級	-	-	-	-	0.001047	-	-	
	①身体	4級	③精神	2級	-	-	-	-	0.000524	-	-	
	①身体	4級	③精神	3級	-	-	-	-	0.000524	-	-	
	①身体	5級	②療育	A	-	0.001047	-	0.000524	0.000524	-	-	
	①身体	5級	②療育	B	-	0.001047	-	0.000524	-	-	-	
	①身体	5級	③精神	1級	-	-	-	-	0.000524	0.000524	-	
	①身体	5級	③精神	2級	-	-	-	0.000524	-	-	-	
	①身体	5級	③精神	3級	-	-	-	-	-	-	0.000524	
	①身体	6級	②療育	A	-	0.002094	0.001047	-	-	-	0.000524	
	①身体	6級	②療育	B	-	0.001047	-	0.000524	0.000524	-	-	
	①身体	6級	③精神	2級	-	-	0.000524	0.000524	-	-	0.000524	
	②療育	A	③精神	1級	-	-	0.000524	0.001047	-	0.000524	-	
	②療育	B	③精神	1級	-	0.002094	-	0.002094	0.000524	-	-	
	②療育	B	③精神	2級	-	0.000524	0.001047	0.001047	0.001047	-	-	
	②療育	B	③精神	3級	-	0.000524	-	-	0.000524	-	-	
	障害種別 3つ	①身体	1級	②療育	A	③精神	1級	-	-	-	-	0.000524
		①身体	4級	②療育	B	③精神	1級	-	-	-	0.000524	-
		①身体	5級	②療育	B	③精神	1級	-	-	0.000524	-	-
合計										1.000000		

※ 母集団 = 宮城県・仙台市発行の障害手帳所持者

※ 複数の障害種別の手帳所持者について、母集団には上記以外のパターンで所持する人も存在するが、ウェイト値の算出にあたっては有効サンプルに存在するパターンのみ考慮。

9. ウェイト値の設定

各区分のウェイト値は、次の計算により求めた ⇒

$$\text{＜母集団における構成比＞} \div \text{＜有効サンプルにおける構成比＞}$$

ウェイト値

		0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
障害種別 1つ	①身体 1級	0.088217	0.428500	0.183549	1.140068	2.300014	2.841120	7.345626
	①身体 2級	0.064029	0.204092	0.083949	0.841267	1.562302	3.269470	6.594965
	①身体 3級	0.057931	0.090222	0.056914	0.499096	1.244457	3.399624	6.853214
	①身体 4級	0.045197	0.060148	0.103666	1.447051	1.336067	4.220878	5.793894
	①身体 5級	0.042686	0.064029	0.064029	0.315401	1.611391	1.094892	2.493565
	①身体 6級	0.051833	0.050895	0.056914	0.436006	0.700436	1.858969	4.005356
	②療育 A	0.038919	0.149149	0.139193	1.134724	0.846381	0.709850	0.739532
	②療育 B	0.096864	0.653627	0.340402	1.837863	1.367419	0.691924	0.427875
	③精神 1級	0.021343	0.085372	-	0.118207	0.308440	0.410851	0.442694
	③精神 2級	-	0.050689	0.051223	0.922415	2.102278	1.539359	0.852075
③精神 3級	-	0.040018	0.045735	0.572547	0.723830	0.516973	0.172385	
障害種別 2つ	①身体 1級 ②療育 A	0.024900	0.101789	0.046398	0.327766	0.335084	0.253066	0.110272
	①身体 1級 ②療育 B	0.042686	0.085372	0.035572	0.576259	-	-	-
	①身体 1級 ③精神 1級	-	-	-	0.021343	0.074700	0.277458	0.213429
	①身体 1級 ③精神 2級	-	-	-	-	0.106715	0.085372	-
	①身体 2級 ②療育 A	0.017786	0.096043	0.053357	0.387730	0.544245	0.213429	-
	①身体 2級 ②療育 B	0.021343	0.090707	0.012196	-	0.277458	-	0.021343
	①身体 2級 ③精神 1級	-	-	-	-	-	-	0.298801
	①身体 2級 ③精神 2級	-	-	-	-	0.053357	-	0.021343
	①身体 3級 ②療育 A	0.010671	0.057931	0.049800	0.725660	0.725660	0.298801	0.192086
	①身体 3級 ②療育 B	0.021343	0.029880	0.042686	0.234772	0.170743	-	-
	①身体 3級 ③精神 2級	-	-	-	-	-	-	0.256115
	①身体 3級 ③精神 3級	-	-	-	0.042686	-	-	0.042686
	①身体 4級 ②療育 A	0.021343	0.064029	0.014229	0.266787	-	0.106715	0.128058
	①身体 4級 ②療育 B	-	0.064029	0.064029	0.469544	0.405516	0.362830	0.128058
	①身体 4級 ③精神 1級	-	-	-	-	0.032014	-	-
	①身体 4級 ③精神 2級	-	-	-	-	-	0.256115	-
	①身体 4級 ③精神 3級	-	-	-	-	0.064029	-	-
	①身体 5級 ②療育 A	-	0.032014	-	0.213429	0.170743	-	-
	①身体 5級 ②療育 B	-	0.053357	-	0.320144	-	-	-
	①身体 5級 ③精神 1級	-	-	-	-	0.042686	0.149400	-
	①身体 5級 ③精神 2級	-	-	-	0.085372	-	-	-
	①身体 5級 ③精神 3級	-	-	-	-	-	-	0.021343
	①身体 6級 ②療育 A	-	0.026679	0.021343	-	-	-	0.085372
	①身体 6級 ②療育 B	-	0.053357	-	0.064029	0.149400	-	-
①身体 6級 ③精神 2級	-	-	0.021343	0.085372	-	-	0.149400	
②療育 A ③精神 1級	-	-	0.021343	0.064029	-	0.021343	-	
②療育 B ③精神 1級	-	0.026679	-	0.069365	0.341487	-	-	
②療育 B ③精神 2級	-	0.021343	0.021343	0.277458	0.426859	-	-	
②療育 B ③精神 3級	-	0.021343	-	-	0.106715	-	-	
障害種別 3つ	①身体 1級 ②療育 A ③精神 1級	-	-	-	-	-	-	0.021343
	①身体 4級 ②療育 B ③精神 1級	-	-	-	-	0.021343	-	-
	①身体 5級 ②療育 B ③精神 1級	-	-	-	0.021343	-	-	-
合計								1.000000

※ 母集団 = 宮城県・仙台市発行の障害手帳所持者

※ 複数の障害種別の手帳所持者について、母集団には上記以外のパターンで所持する人も存在するが、ウェイト値の算出にあたっては有効サンプルに存在するパターンのみ考慮。

調査結果の概要



I. 最優先で取り組んでほしい施策(回答者属性別)

※ 「全体(男女0~79歳)」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果(ウェイト集計値)です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

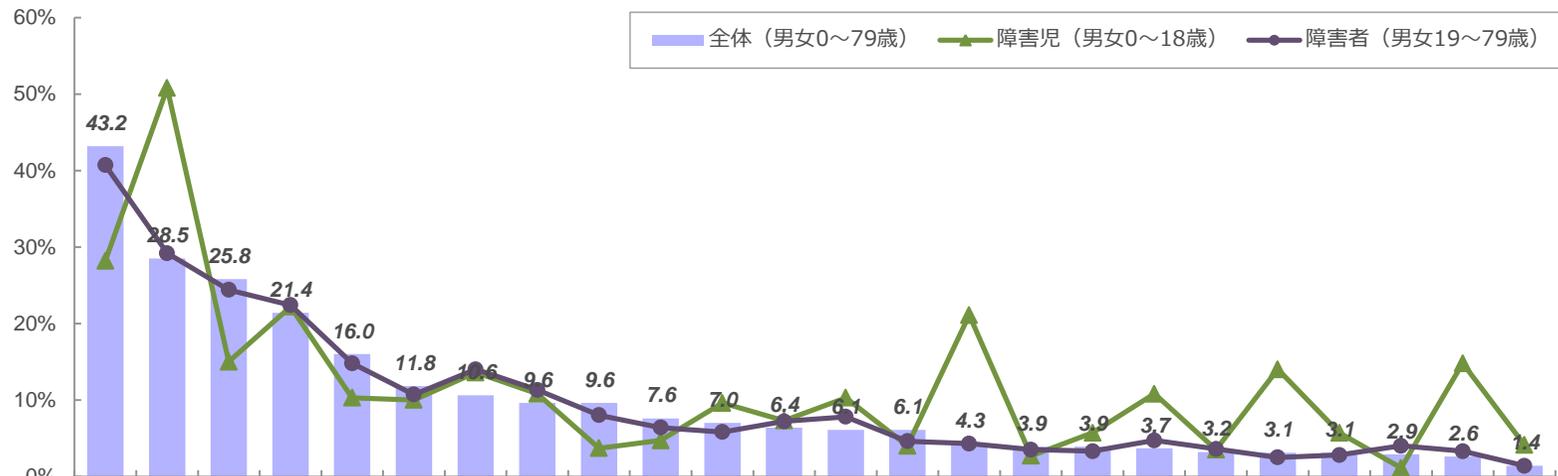
I. 最優先で取り組んでほしい施策 ①全体(男女0～79歳)

最優先で取り組んでほしい施策について、＜全体＞では「年金・手当などの充実」が43.2%と最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保（28.5%）」、「医療費の負担軽減（25.8%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（21.4%）」が、それぞれ2割を超え高くなっている。

■年代別にみると、＜障害者＞のスコアは＜全体＞と似た傾向だが、＜障害児＞では「障害があっても働ける場の確保」が50.8%と＜障害者＞を大幅に上回っている。このほか、「発達障害に対する支援」、「学校教育や生涯学習の充実」、「通勤通学のための移動の支援」といった教育に関する項目も＜障害者＞に比べて高くなっている。一方、「年金・手当などの充実」、「医療費の負担軽減」といった経済的な支援を望む意見は、＜障害児＞よりも＜障害者＞で多くあげられている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



		N=	年金・手当などの充実	障害があっても働ける場の確保	医療費の負担軽減	障害についての理解を深めるための活動の充実	建物や交通機関などに配慮した整備	障害のある方に住宅の確保	暮らしやすい住宅の確保	障害がある方の入所施設の整備	障害に関する相談体制の充実	災害対策の充実	救急医療の整備	休養などの介護者の支援	家族などの介護者の支援の充実	情報の確保に関する取り組み	コミュニケーションの整備	グループホームなどの在宅サービスの充実	医療的ケアが受けられる在宅サービスの充実	発達障害に対する支援	ホームヘルプサービスの充実	専門的な訓練・リハビリの実施	必要な訓練・事業所の整備	生活や訓練の場としての活用	レクリエーション活動の振興	スマートフォン・文化芸術活動の充実	学校教育や生涯学習の充実	（乳幼児検診を含む）障害者健診の充実	高次脳機能障害に対する支援	通勤通学のための移動の支援	その他	特になし・わからない
全体（男女0～79歳）		1,910	43.2	28.5	25.8	21.4	16.0	11.8	10.6	9.6	9.6	7.6	7.0	6.4	6.1	6.1	6.1	4.3	3.9	3.9	3.7	3.2	3.1	3.1	2.9	2.6	1.4	10.7				
年代	障害児（男女0～18歳）	809	28.2	50.8	15.0	22.2	10.3	10.0	13.6	10.8	3.7	4.7	9.6	7.3	10.3	4.0	21.1	2.7	5.7	10.8	3.5	14.0	5.7	1.1	14.8	4.1	2.5					
	障害者（男女19～79歳）	1,101	40.7	29.2	24.4	22.4	14.8	10.7	14.0	11.3	8.0	6.4	5.8	7.2	7.8	4.6	4.3	3.5	3.3	4.7	3.6	2.5	2.8	4.0	3.3	1.4	12.9					

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

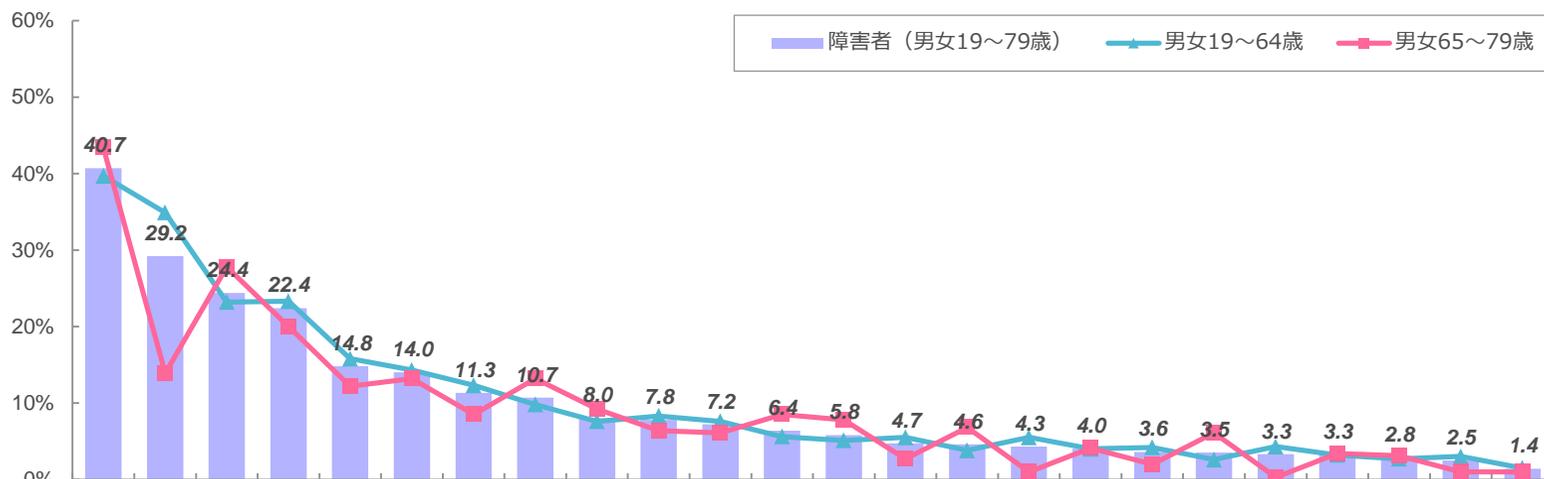
※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

I. 最優先で取り組んでほしい施策 ②障害者(男女19～79歳)

最優先で取り組んでほしい施策について、<障害者全体>では「年金・手当などの充実」が40.7%と最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保（29.2%）」は約3割、「医療費の負担軽減（24.4%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（22.4%）」が、それぞれ2割を超えている。
 ■年代別にみると、<障害者全体>のスコアが10%を超える上位8項目については、<19～64歳>のスコアが高齢者<65～79歳>より高い項目が多くなっているが、「年金・手当などの充実」、「医療費の負担軽減」、「障害がある方も暮らしやすい住宅の確保」では、高齢者<65～79歳>の方が高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害者」のスコアが高い順に並べ替え



n=		年金・手当などの充実	障害があっても働ける場の確保	医療費の負担軽減	障害についての理解を深めるための活動の充実	障害のある方に配慮した建物や交通機関などの整備	障害のある方の入所施設の整備	障害に関する相談体制の充実	障害がある方も暮らしやすい住宅の確保	災害対策の充実	グループホームなどの整備	報・知に活用する支援の充実	救急医療の整備	家族などの介護者の休養に関すること	必要なサービス事業所の整備	生活や訓練の場としての在宅サービスの実施	医療的ケアが受けられる発達障害に対する支援	支援	高次脳機能障害に対する支援	スポーツ・文化活動の振興	充実したヘルプサービスの提供	交通通学のための移動の支援	専門的な訓練・リハビリテーションの実施	障害者健診の充実（乳幼児検診を含む）	学校教育や生涯学習の充実	その他	特にない・わからない
障害者 (男女19～79歳)		1,101	40.7	29.2	24.4	22.4	14.8	14.0	11.3	10.7	8.0	7.8	7.2	6.4	5.8	4.7	4.6	4.3	4.0	3.6	3.5	3.3	3.3	2.8	2.5	1.4	12.9
年代	男女19～64歳	806	39.7	34.9	23.2	23.3	15.8	14.3	12.3	9.8	7.6	8.3	7.6	5.6	5.1	5.5	3.8	5.5	4.0	4.2	2.6	4.3	3.2	2.7	3.0	1.5	11.7
	男女65～79歳	295	43.4	13.9	27.8	20.0	12.2	13.2	8.5	13.2	9.2	6.4	6.1	8.5	7.8	2.7	6.8	1.0	4.1	2.0	6.1	0.3	3.4	3.1	1.0	1.0	16.3

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

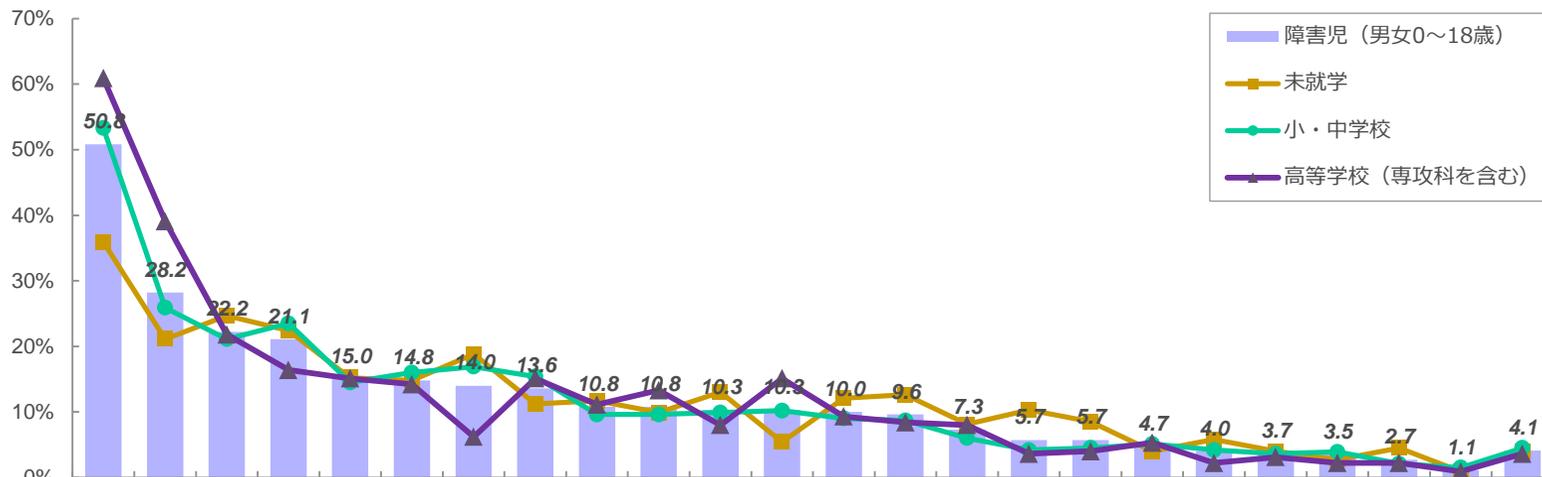
I. 最優先で取り組んでほしい施策 ③障害児(男女0～18歳)

最優先で取り組んでほしい施策について、＜障害児全体＞では「障害があっても働ける場の確保（50.8%）」が5割を超え最も高く、次いで、「年金・手当などの充実（28.2%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（22.2%）」、「発達障害に対する支援（21.1%）」が、それぞれ2割を超えている。

■就学状況別にみると、「障害があっても働ける場の確保」と「年金・手当などの充実」の＜障害児全体＞における上位2項目は、学齢が上がるほどスコアが高い傾向が顕著となっている。また、「発達障害に対する支援」、「学校教育や生涯学習の充実」は、＜高等学校＞に比べ＜未就学＞＜小中学校＞のスコアが高く、「グループホームなどの整備」は＜高等学校＞のスコアが最も高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害児」のスコアが高い順に並べ替え



		n=	の障害があっても働ける場の確保	年金・手当などの充実	障害についての理解を深めるための活動の充実	発達障害に対する支援	医療費の負担軽減	支援助通学のための移動の	学校教育や生涯学習の充	障害がある方の入所施設	障害に関する相談体制の充	必要な生活や訓練の場と	備え付けられた必要	障害のある方への配慮	グループホームなどの整備	障害がある方も暮らしやす	家族などの介護者の休養	充実の確保に関する支援の情	情報通信技術の活用	専門的な訓練・リハビリ	児童発達センターの充実（乳幼	障害者健診の充実	救急医療の整備	在宅サービスが受けられる	医療的ケアの充実	災害対策の充実	興味の分野での活動の振	スポーツ・文化活動の振	充実したヘルプサービスの	高次脳機能障害に対する	その他	特になし・わからない
障害児（男女0～18歳）		809	50.8	28.2	22.2	21.1	15.0	14.8	14.0	13.6	10.8	10.8	10.3	10.3	10.0	9.6	7.3	5.7	5.7	4.7	4.0	3.7	3.5	2.7	1.1	4.1	2.5					
就学状況	未就学	223	35.9	21.1	24.7	22.4	15.2	14.8	18.8	11.2	11.7	9.9	13.0	5.4	12.1	12.6	8.1	10.3	8.5	4.0	5.8	4.0	2.7	4.5	0.9	4.0	1.8					
	小・中学校	332	53.3	25.9	21.1	23.5	14.5	16.0	16.9	15.4	9.6	9.6	9.9	10.2	9.0	8.7	6.0	4.2	4.5	5.1	4.2	3.6	3.9	2.1	1.5	4.5	3.0					
	高等学校（専攻科を含む）	225	60.9	39.1	21.8	16.4	15.1	14.2	6.2	15.1	11.1	13.3	8.0	15.1	9.3	8.4	8.0	3.6	4.0	5.3	2.2	3.1	2.2	2.2	0.9	3.6	1.3					

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

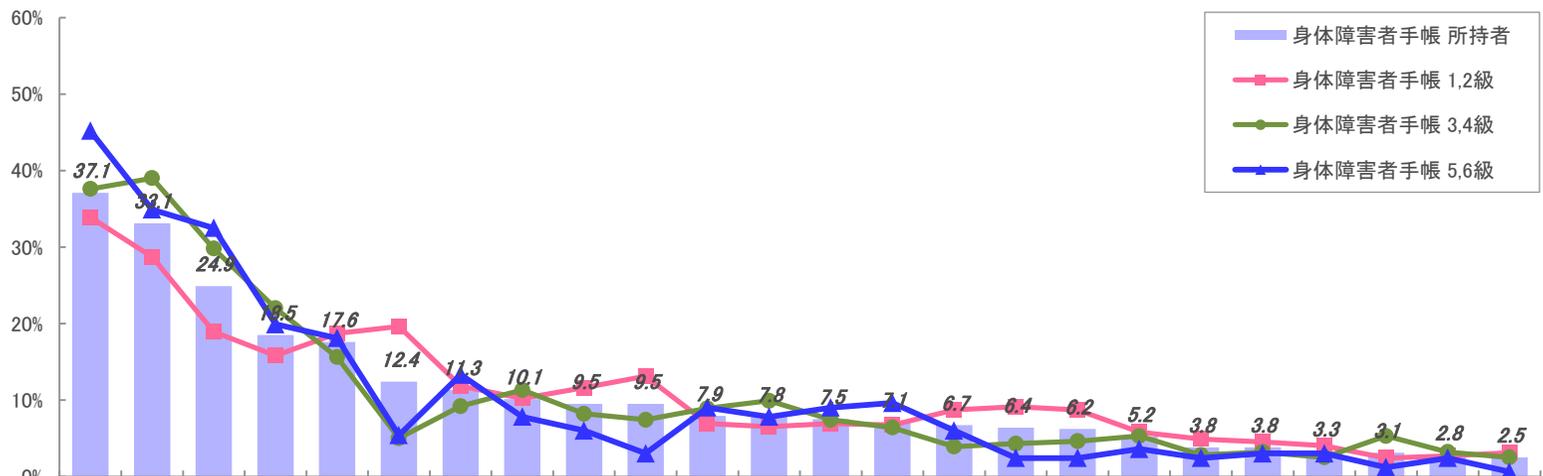
I. 最優先で取り組んでほしい施策 ④身体障害者手帳 所持者

最優先で取り組んでほしい施策について、<身体全体>では「年金・手当などの充実」が37.1%と最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保（33.1%）」、「医療費の負担軽減（24.9%）」の順となっている。

■等級別にみると、<身体全体>での上位4項目（「年金・手当などの充実」～「障害についての理解を深めるための活動の充実」）については、等級の低い<3,4級><5,6級>のスコアが<1,2級>を上回っており、より活動的に生活するための施策が望まれているものと推察される。一方、<1,2級>では「障害がある方の入所施設の整備」、「家族などの介助者の休養に関すること」、「生活や訓練の場として必要なサービス事業所の整備」、「医療的ケアが受けられる在宅サービスの充実」といった介助や医療に関する項目が他の等級と比べて高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「身体障害者手帳 所持者」のスコアが高い順に並べ替え



等級	人数	年金・手当などの充実	障害があっても働ける場の確保	医療費の負担軽減	障害についての理解を深めるための活動の充実	建物や交通機関などの整備	障害がある方の入所施設の整備	障害がある方も暮らしやすい住宅の確保	障害に関する相談体制の充実	支那通学のための移動の支援	家族などの介助者の休養に関すること	災害対策の充実	学校教育や生涯学習の充実	救急医療の整備	情報の確保に関する支援の充実	専門的な訓練の実施	必要なサービス事業所としての整備	在宅サービスの充実	医療的ケアが受けられる場の整備	グループホームなどの整備	発達障害に対する支援	児童検診を含む	障害者健診の充実（乳幼児）	スポーツ・文化活動の振興	高次脳機能障害に対する支援	その他	特になし・わからない
身体障害者手帳 所持者	897	37.1	33.1	24.9	18.5	17.6	12.4	11.3	10.1	9.5	9.5	7.9	7.8	7.5	7.1	6.7	6.4	6.2	5.2	3.8	3.8	3.3	3.1	2.8	2.5	7.6	
身体障害者手帳1,2級	449	33.9	28.7	18.9	15.8	18.7	19.6	11.8	10.2	11.6	13.1	6.9	6.5	6.9	6.7	8.7	9.1	8.7	5.8	4.9	4.5	4.0	2.4	2.7	3.1	7.3	
身体障害者手帳3,4級	282	37.6	39.0	29.8	22.0	15.6	5.0	9.2	11.3	8.2	7.4	8.9	9.9	7.4	6.4	3.9	4.3	4.6	5.3	2.8	3.2	2.5	5.3	3.2	2.5	6.7	
身体障害者手帳5,6級	166	45.2	34.9	32.5	19.9	18.1	5.4	13.3	7.8	6.0	3.0	9.0	7.8	9.0	9.6	6.0	2.4	2.4	3.6	2.4	3.0	3.0	1.2	2.4	0.6	9.6	

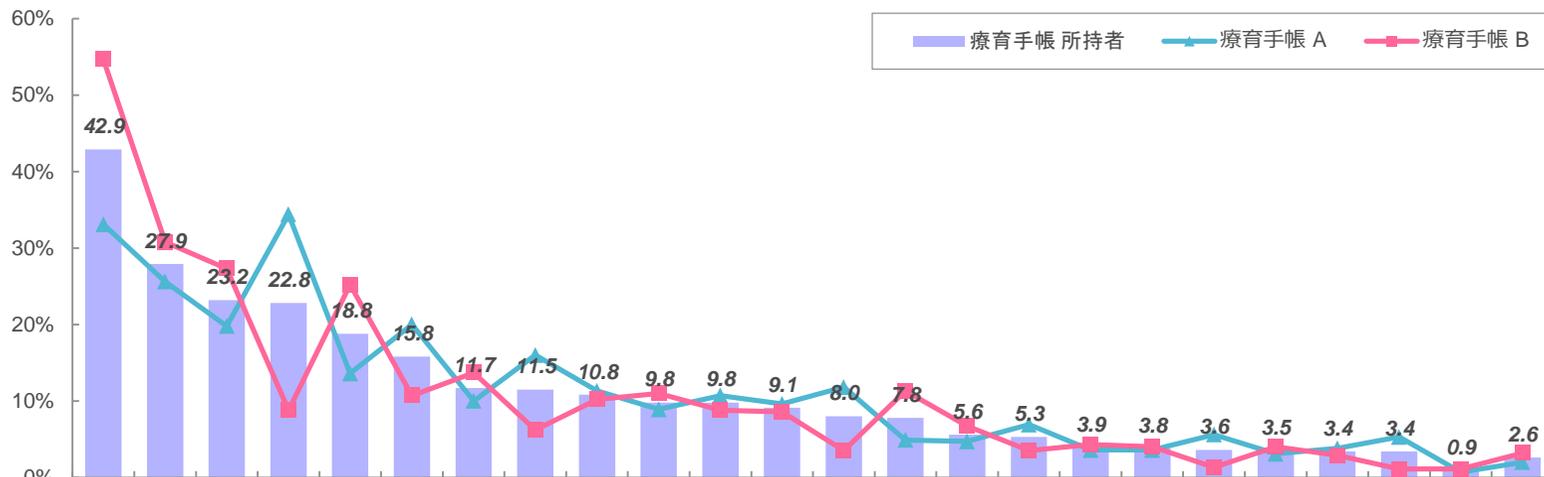
各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

I. 最優先で取り組んでほしい施策 ⑤療育手帳 所持者

最優先で取り組んでほしい施策について、<療育全体>では「障害があっても働ける場の確保」が42.9%と最も高く、次いで「年金・手当などの充実（27.9%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（23.2%）」、「障害がある方の入所施設の整備」が、それぞれ2割を超えている。
 ■等級別にみると、では「障害があっても働ける場の確保（54.7%）」の高さが顕著。このほか「年金・手当などの充実」、「障害についての理解を深めるための活動の充実」、「発達障害に対する支援」、「学校教育や生涯学習の充実」のスコアが<A>を上回っており、就学・就業環境の改善がより望まれている。一方、<A>ではに比べ「障害がある方の入所施設の整備」、「グループホームなどの整備」、「生活や訓練の場として必要なサービス事業所の整備」のスコアが高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「療育手帳 所持者」のスコアが高い順に並べ替え



		n=	の確保があっても働ける場	年金・手当などの充実	障害についての理解を深めるための活動の充実	障害がある方の入所施設の整備	発達障害に対する支援	グループホームなどの整備	医療費の負担軽減	必要なサービス事業所の整備	生活や訓練の場として必ずい住宅の確保	障害がある方も暮らしやすい環境の確保	支援通学のための移動の確保	通勤通学に関する相談体制の充実	障害に関する相談体制の整備	障害のある方に配慮した建物や交通機関など整備	障害のある方への介護者の休養に関すること	家族などの介護者の休養に関すること	実学校教育や生涯学習の充実	学校教育や生涯学習の充実	情報の確保に関する支援の充実	児童発達支援の充実（乳幼児検診を含む）	障害者健診の充実（乳幼児検診を含む）	児童発達支援の充実	救急医療の整備	充実したヘルプサービスの充実	災害対策の充実	専門的な訓練・リハビリテーションの実施	在宅サービスの充実	医療的ケアが受けられる	高次脳機能障害に対する支援	その他	特になし・わからない
	療育手帳 所持者	823	42.9	27.9	23.2	22.8	18.8	15.8	11.7	11.5	10.8	9.8	9.8	9.1	8.0	7.8	5.6	5.3	3.9	3.8	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	0.9	2.6	7.7	
等級	療育手帳 A	450	33.1	25.6	19.8	34.4	13.6	20.0	10.0	16.0	11.3	8.9	10.7	9.6	11.8	4.9	4.7	6.9	3.6	3.6	5.6	3.1	3.8	5.3	0.7	2.0	7.6						
	療育手帳 B	373	54.7	30.8	27.3	8.8	25.2	10.7	13.7	6.2	10.2	11.0	8.8	8.6	3.5	11.3	6.7	3.5	4.3	4.0	1.3	4.0	2.9	1.1	1.1	3.2	7.8						

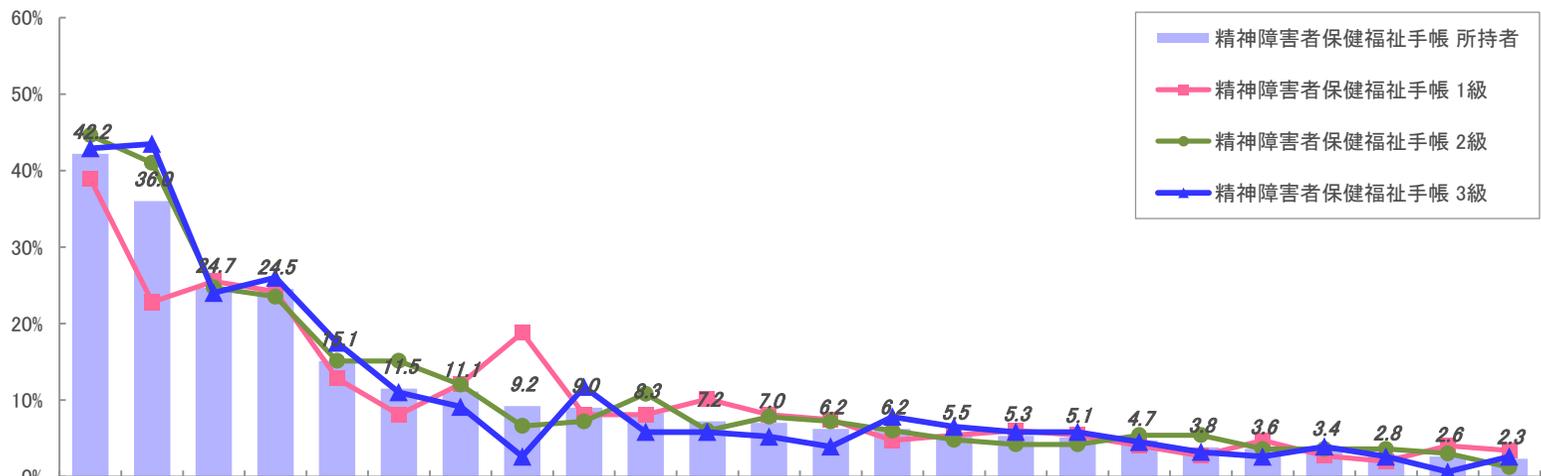
各サンプル区分における・・・ 上位1位： ■ 上位3位以内： ■ 上位5位以内： ■

I. 最優先で取り組んでほしい施策 ⑥精神障害者保健福祉手帳 所持者

最優先で取り組んでほしい施策について、<精神全体>では「年金・手当などの充実」が42.2%と最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保（36.0%）」も4割弱、「医療費の負担軽減（24.7%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（24.5%）」が、それぞれ2割を超えている。
 ■等級別にみると、「年金・手当などの充実」はいずれの等級も4割前後と高く、<2級><3級>では「障害があっても働ける場の確保」も4割強のスコアとなっている。
 また、<1級>では<2級><3級>に比べ「障害がある方の入所施設の整備」のスコアが高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「精神障害者保健福祉手帳 所持者」のスコアが高い順に並べ替え



		年金・手当などの充実	障害があっても働ける場の確保	医療費の負担軽減	障害についての理解を深めるための活動の充実	障害に関する相談体制の充実	発達障害に対する支援	建物や交通機関などの整備	障害がある方の入所施設の整備	情報の確保に関する支援の充実	障害がある方も暮らしやすい住宅の確保	支援	高次脳機能障害に対する	家族などの介助者の休養に関すること	グループホームなどの整備	災害対策の充実	支援	通勤のための移動の整備	必要なサービス事業所の整備	在宅サービスの充実	医療的ケアが受けられる	学校教育や生涯学習の充実	学校教育や生涯学習の充実	クリエーション・文化芸術の振興	スポーツ・文化活動の振興	ホームヘルプサービスの充実	救急医療の整備	専門的な訓練の実施	児童発達支援の充実（乳幼児）	その他	特になし
精神障害者保健福祉手帳 所持者		469	42.2	36.0	24.7	24.5	15.1	11.5	11.1	9.2	9.0	8.3	7.2	7.0	6.2	6.2	5.5	5.3	5.1	4.7	3.8	3.6	3.4	2.8	2.6	2.3	10.7				
等級	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	38.9	22.8	25.5	24.2	12.8	8.1	12.1	18.8	8.1	10.1	8.1	7.4	4.7	5.4	6.0	5.4	4.0	2.7	4.7	2.7	2.0	4.0	3.4	12.1					
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	44.6	41.0	24.7	23.5	15.1	15.1	12.0	6.6	7.2	10.8	6.0	7.8	7.2	6.0	4.8	4.2	4.2	5.4	5.4	3.6	3.6	3.6	3.0	1.2	9.0				
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	42.9	43.5	24.0	26.0	17.5	11.0	9.1	2.6	11.7	5.8	5.8	5.2	3.9	7.8	6.5	5.8	5.8	4.5	3.2	2.6	3.9	2.6	0.6	2.6	11.0				

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

調査結果の概要



Ⅱ. 最優先で取り組んでほしい施策(回答者の特徴)

※ 「全体(男女0~79歳)」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果(ウェイト集計値)です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

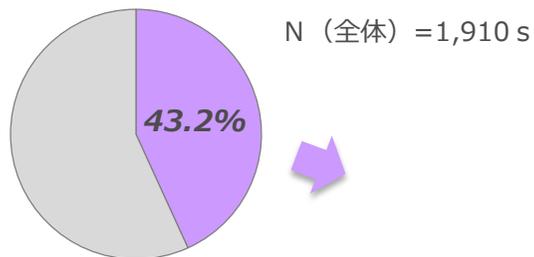
II-1. 年金・手当について (回答者の特徴)

最優先で取り組んでほしい施策として、「年金・手当などの充実」と回答した人について、

- 障害種別をみると、<全体> と比べ「身体」の割合が低い一方、「療育」、「精神」の割合が高く、それぞれ2倍程度の割合を占めている。
- 障害種別・等級別にみると、等級の高い「療育A」、「精神1級」の割合が全体に比べて特になら高くなっている。

- 収入についてみると、世帯年収、個人年収（障害者）、月収（就業者）の平均は、いずれも各全体よりやや高い傾向となっている。
 - ・世帯年収は「360～1,000万円」の割合が高い
 - ・個人年収は「120～360万円」の割合が高い
 - ・月収は「10～20万円」の割合が高い

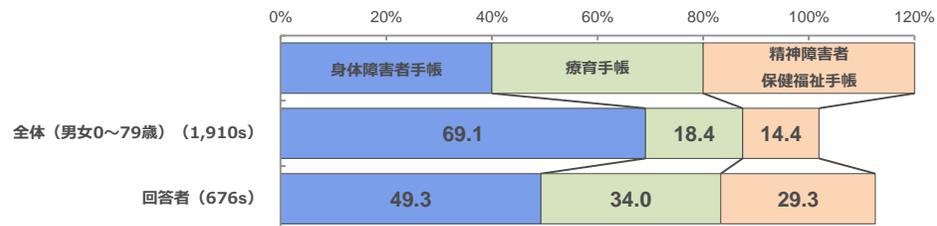
最優先施策：「年金・手当などの充実」と回答した人（3つまで回答）



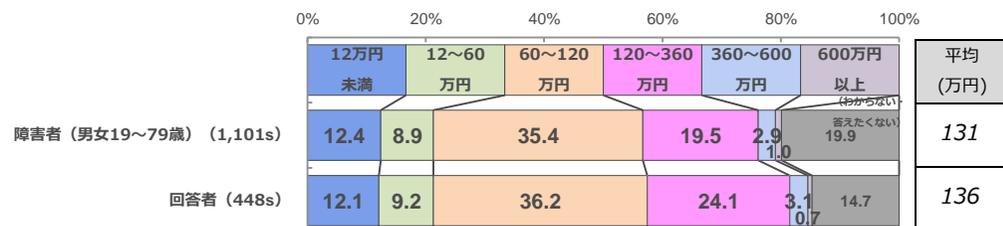
< 世帯年収 >



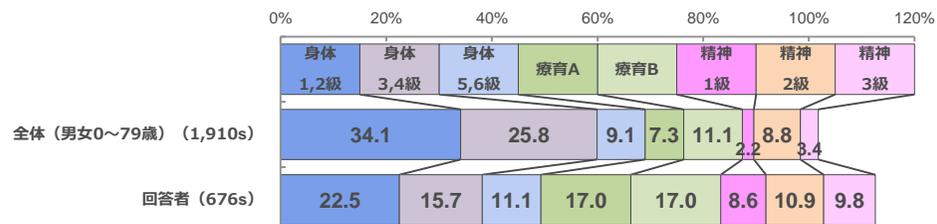
< 障害種別 >



< 個人年収 >



< 障害種別・等級 >



< 月収 >

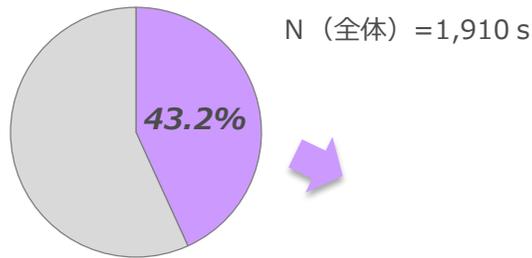


※ 「全体 (男女0～79歳)」 のスコアはウェイト集計値です。

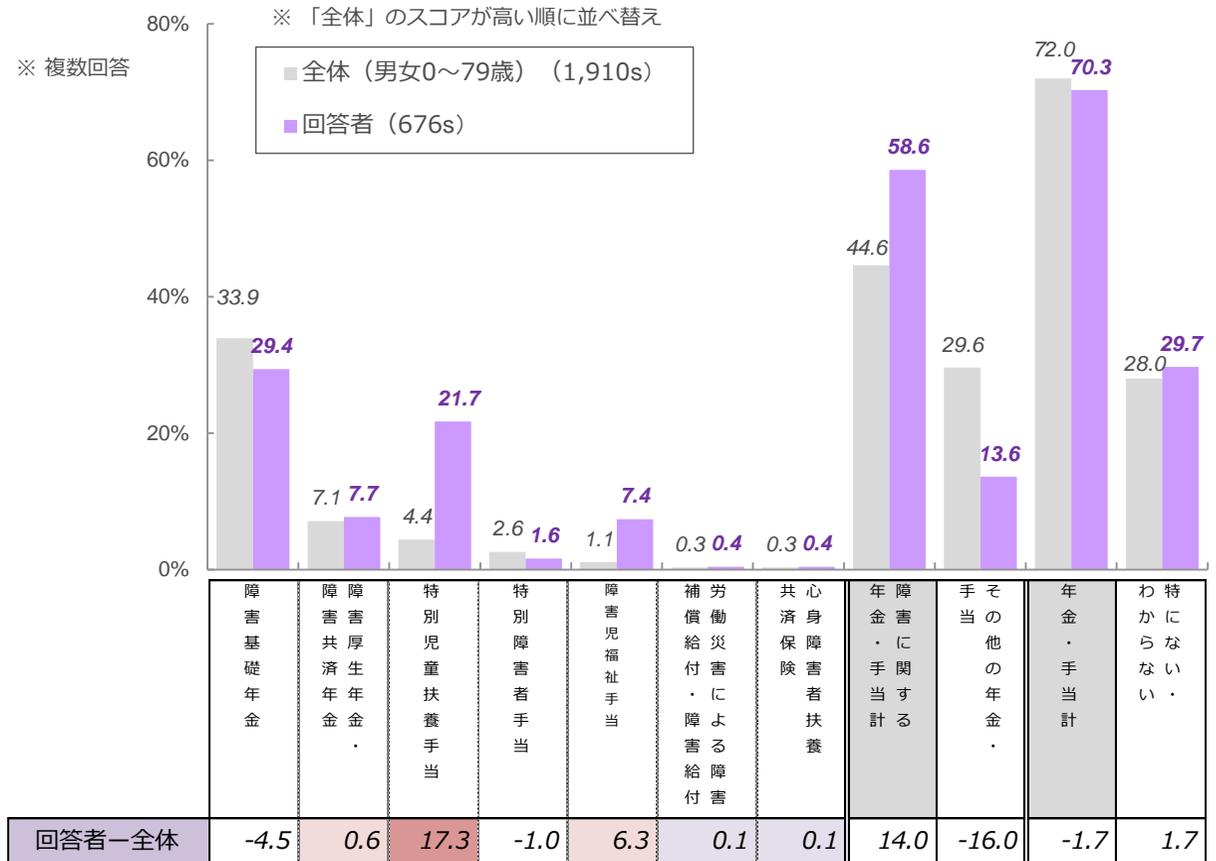
II-1. 年金・手当について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「年金・手当などの充実」と回答した人における、受給している年金・手当をみると、「障害基礎年金」を受けている人の割合が約3割と最も高い点は<全体>と同様だが、「特別児童扶養手当」の受給割合も約2割と高くなっている。また、「障害に関する年金・手当」を受けている人は約6割と<全体>を上回っているが、「その他の年金」を受けている人の割合は<全体>を下回っている。

最優先施策：「年金・手当などの充実」と回答した人（3つまで回答）



< 受給している年金・手当 >



※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

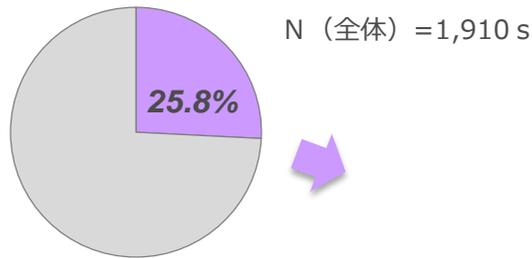
※ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-2. 医療費助成について（回答者の特徴）

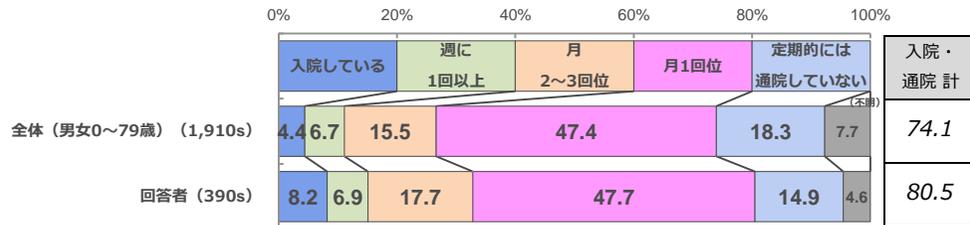
最優先で取り組んでほしい施策として、「医療費の負担軽減」と回答した人について、

- 通院状況を見ると、<全体> と比べ「入院」、「週に1回以上」～「月1回位」の割合がそれぞれ高く、約8割の人が「入院」または「通院」している。
- 障害種別を見ると、<全体> と比べ「身体」の割合が低い一方、「療育」、「精神」の割合が高く、特に「精神」の割合は<全体> より約15ポイント高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、<全体> と比べ「精神1級」の割合が高い点が顕著となっている。
- 重複障害については、<全体> で約2%のところ、回答者においては1割強を占めている。

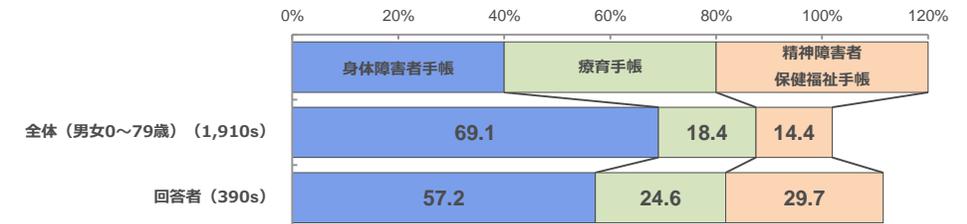
最優先施策：「医療費の負担軽減」と回答した人（3つまで回答）



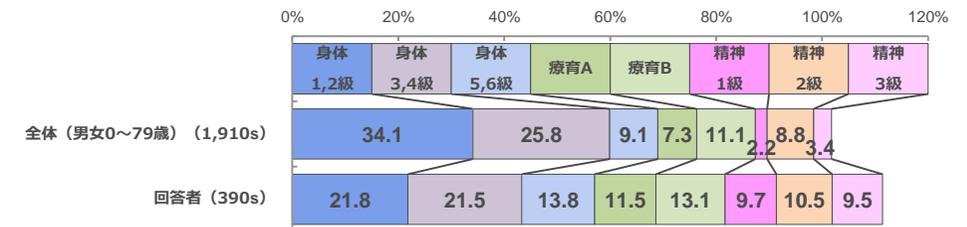
< 通院状況 >



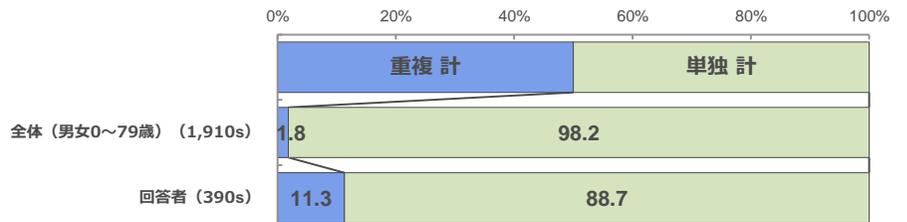
< 障害種別 >



< 障害種別・等級 >



< 重複障害 >

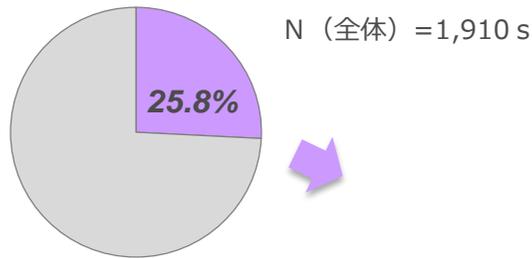


※ 「全体 (男女0~79歳)」 のスコアはウェイト集計値です。

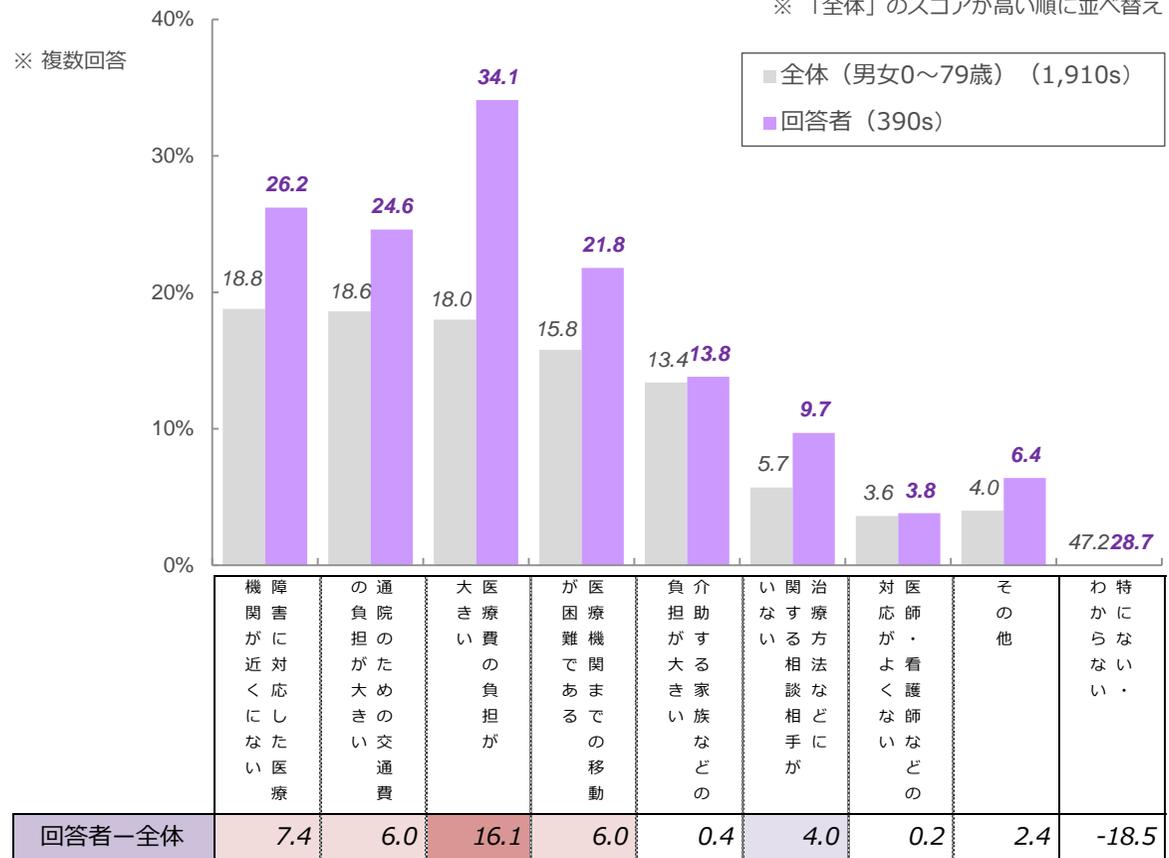
II-2. 医療費助成について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「医療費の負担軽減」と回答した人における、医療機関利用にあたり困っていることをみると、「医療費の負担が大きい」が34.1%と最も高く、<全体>の倍近いスコアとなっている。このほか、<全体>でも上位にあげられている「障害に対応した医療機関が近くにない」、「通院のための交通費の負担が大きい」、「医療機関までの移動が困難」のスコアが<全体>を6,7ポイント上回り、いずれも2割を超えている。

最優先施策：「医療費の負担軽減」と回答した人（3つまで回答）



< 医療機関利用にあたり困っていること >



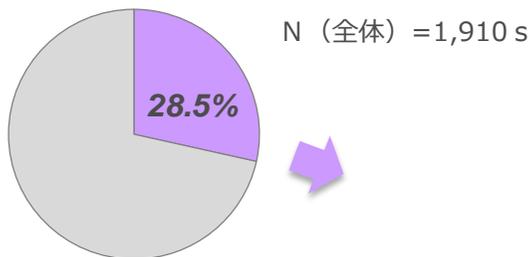
※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

※ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

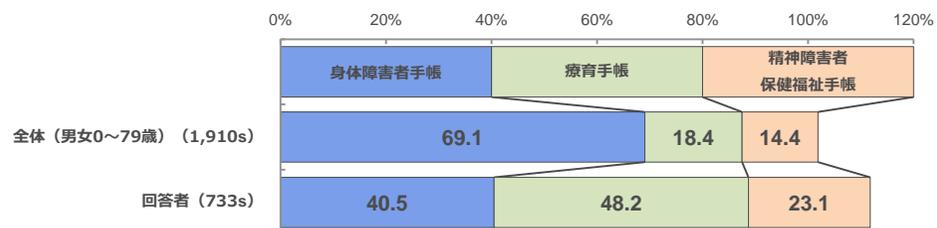
II-3. 働ける場の確保について（回答者の特徴）

- 最優先で取り組んでほしい施策として、「障害があっても働ける場の確保」と回答した人について、
- 障害種別をみると、<全体>と比べ「身体」の割合が低い一方、「療育」、「精神」の割合が高く、特に「療育」は48.2%と約5割の人が該当している。
 - 障害種別・等級別にみると、「療育A」、「療育B」の割合は、いずれも<全体>を15ポイント前後上回っている。
- 就業状況を見ると、<全体>と比べ就業者の割合が高く、「一般の外部に就業」が約3割を占めている。
- 就業年数を見ると、<全体>と比べ「5年以上」の割合が低く、平均年数も若干下回っている。

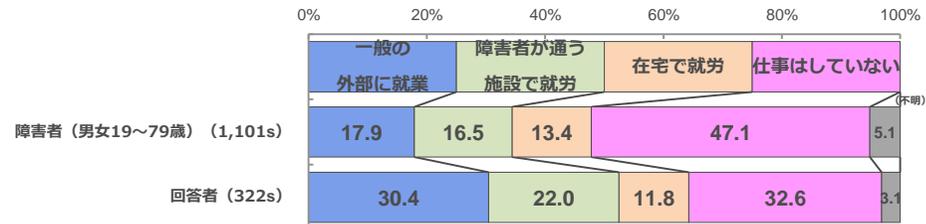
最優先施策：「障害があっても働ける場の確保」と回答した人（3つまで回答）



< 障害種別 >



< 就業状況 >



< 障害種別・等級 >



< 就業年数 >



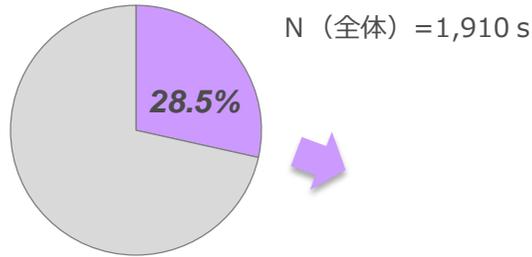
※ 「全体 (男女0~79歳)」 のスコアはウェイト集計値です。

II-3. 働ける場の確保について（回答者の特徴）

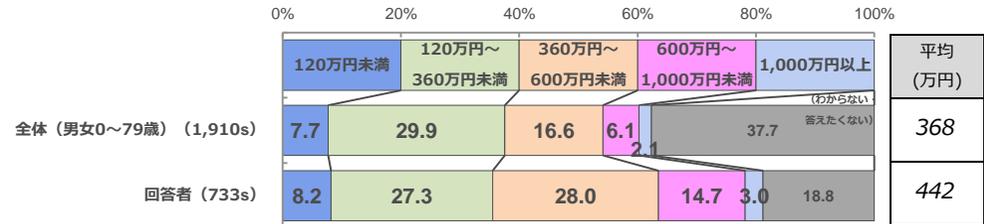
最優先で取り組んでほしい施策として、「障害があっても働ける場の確保」と回答した人について、

- 世帯年収をみると、＜全体＞と比べ「360～1,000万円」の割合が高く、平均は74万円上回っている。
- 個人年収をみると、＜障害者（全体）＞と比べ「120～600万円」の割合が高く、平均も若干上回っている。
- 月収をみると、＜就業者（全体）＞と比べ「5～20万円」の割合が高く、平均は6千円上回っている。

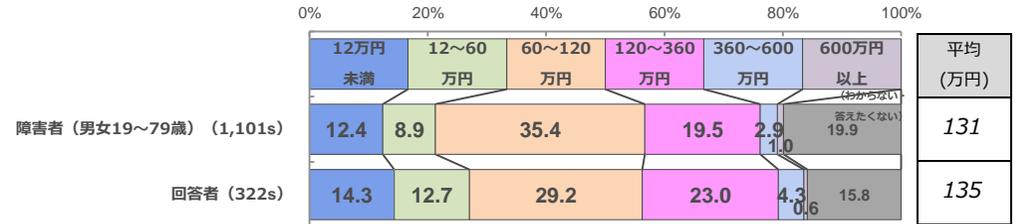
最優先施策：「障害があっても働ける場の確保」と回答した人（3つまで回答）



< 世帯年収 >



< 個人年収 >



< 月収 >



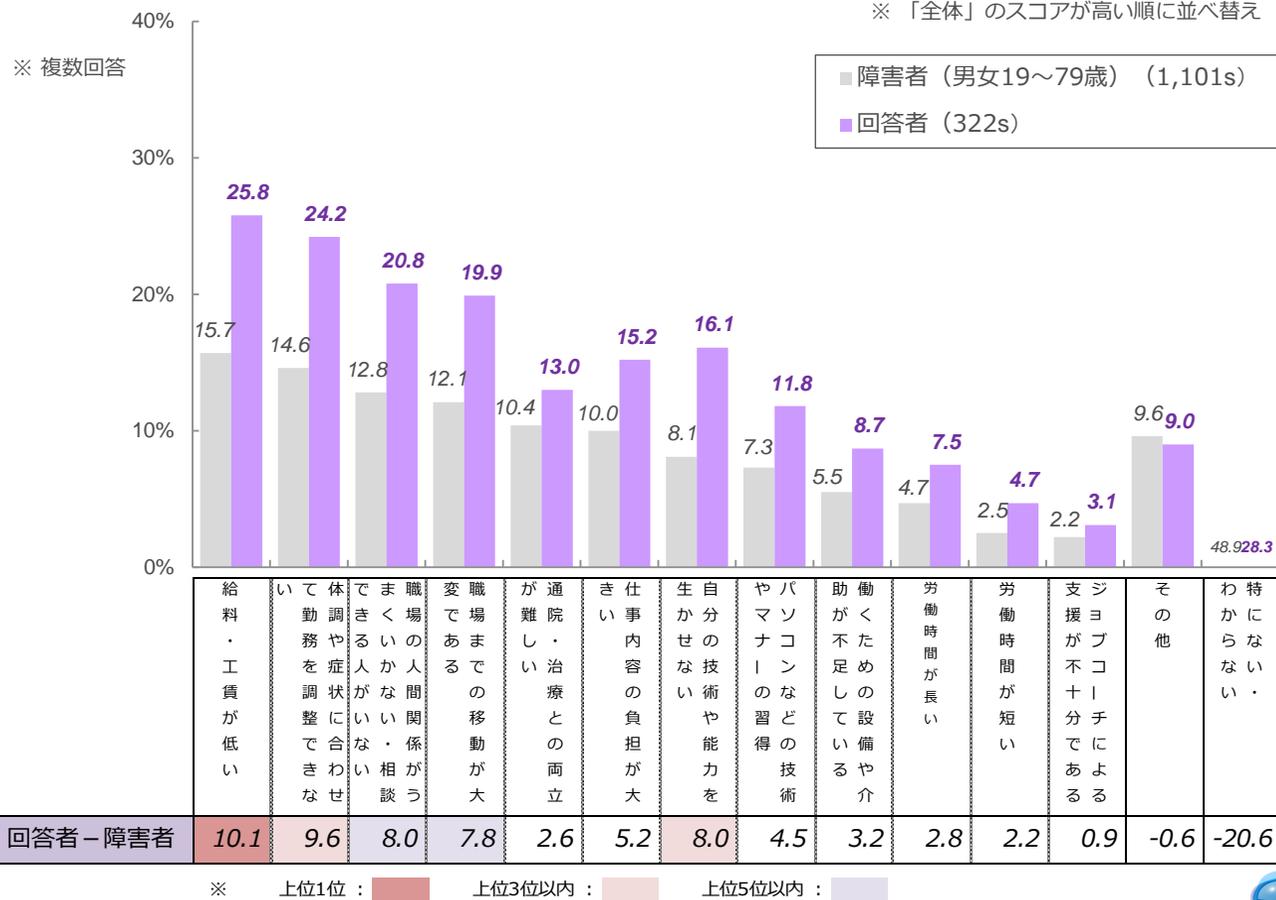
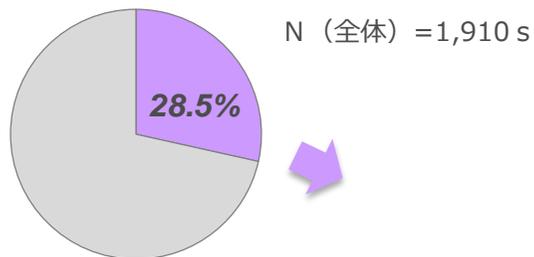
※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

II-3. 働ける場の確保について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「障害があっても働ける場の確保」と回答した人における、仕事・就職で困っていることをみると、上位4項目は<全体>と同じく「給料・工賃が低い」、「体調や症状に合わせて勤務を調整できない」、「職場の人間関係がうまくいかない・相談できる人がいない」、「職場までの移動が大変」があげられており、いずれも<全体>より約8~10ポイント高いスコアとなっている。また、「自分の技術や能力を生かせない」、「仕事内容の負担が大きい」についても<全体>より高いスコアとなっている。

最優先施策：「障害があっても働ける場の確保」と回答した人（3つまで回答）

< 仕事・就職で困っていること >



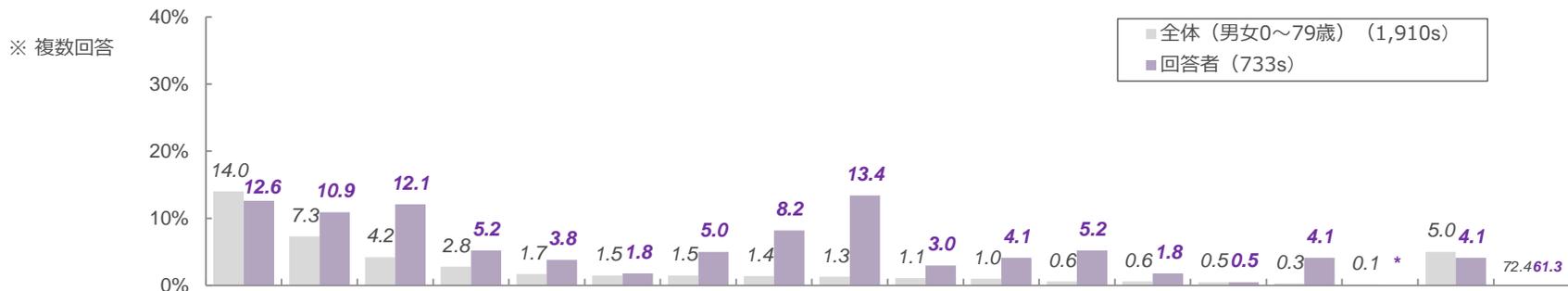
II-3. 働ける場の確保について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「障害があっても働ける場の確保」と回答した人における、現在利用している／今後利用したい訓練・リハビリについて、

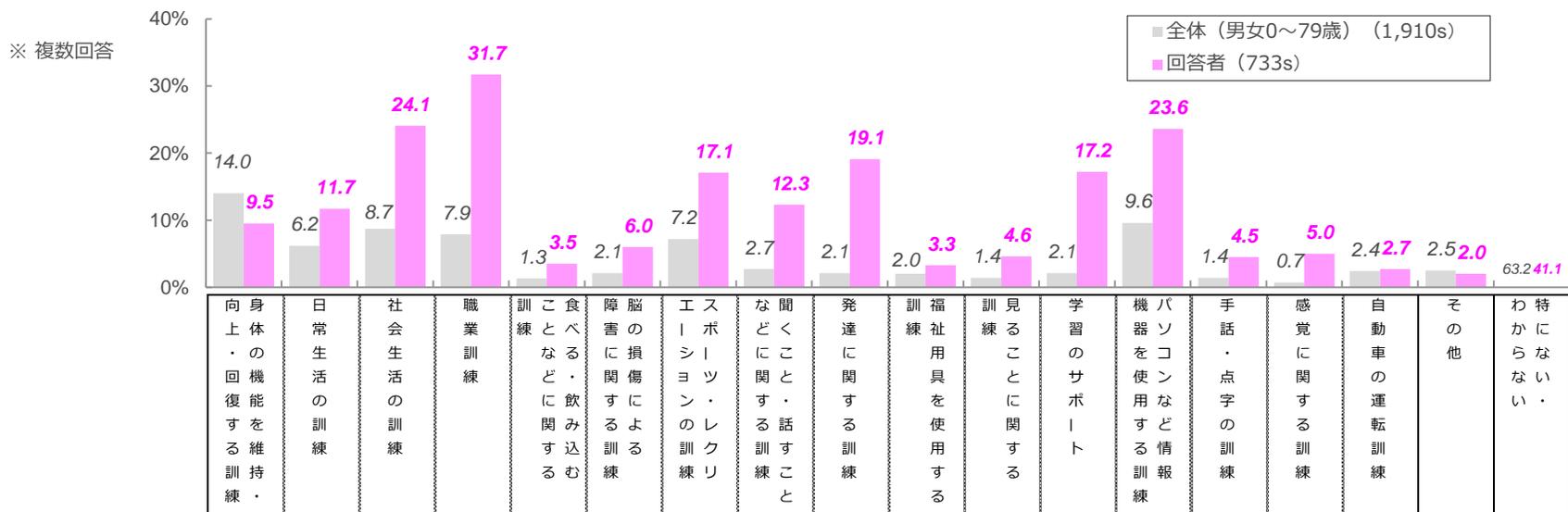
- 現在利用している訓練・リハビリをみると、<全体>では1割以上の人利用しているのは「身体の機能を維持・向上・回復する訓練（14.0%）」だけだが、<回答者>では、このほか「日常生活の訓練」、「社会生活の訓練」、「発達に関する訓練」も1割以上の人利用しており、特に「発達に関する訓練」のスコア差が大きくなっている。
- 今後利用したい訓練・リハビリについては、<回答者>のスコアが<全体>のスコアを大きく上回る項目が多くなっている。<回答者>では、「職業訓練（31.7%）」が約3割と最も高く、次いで「社会生活の訓練」、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」が2割を超え高くなっている。

※<現在利用している訓練・リハビリ>の「全体」のスコアが高い順に並べ替え

<現在利用している訓練・リハビリ>



<今後利用したい(して欲しい)訓練・リハビリ>



※「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

II-3. 働ける場の確保について（回答者の特徴）

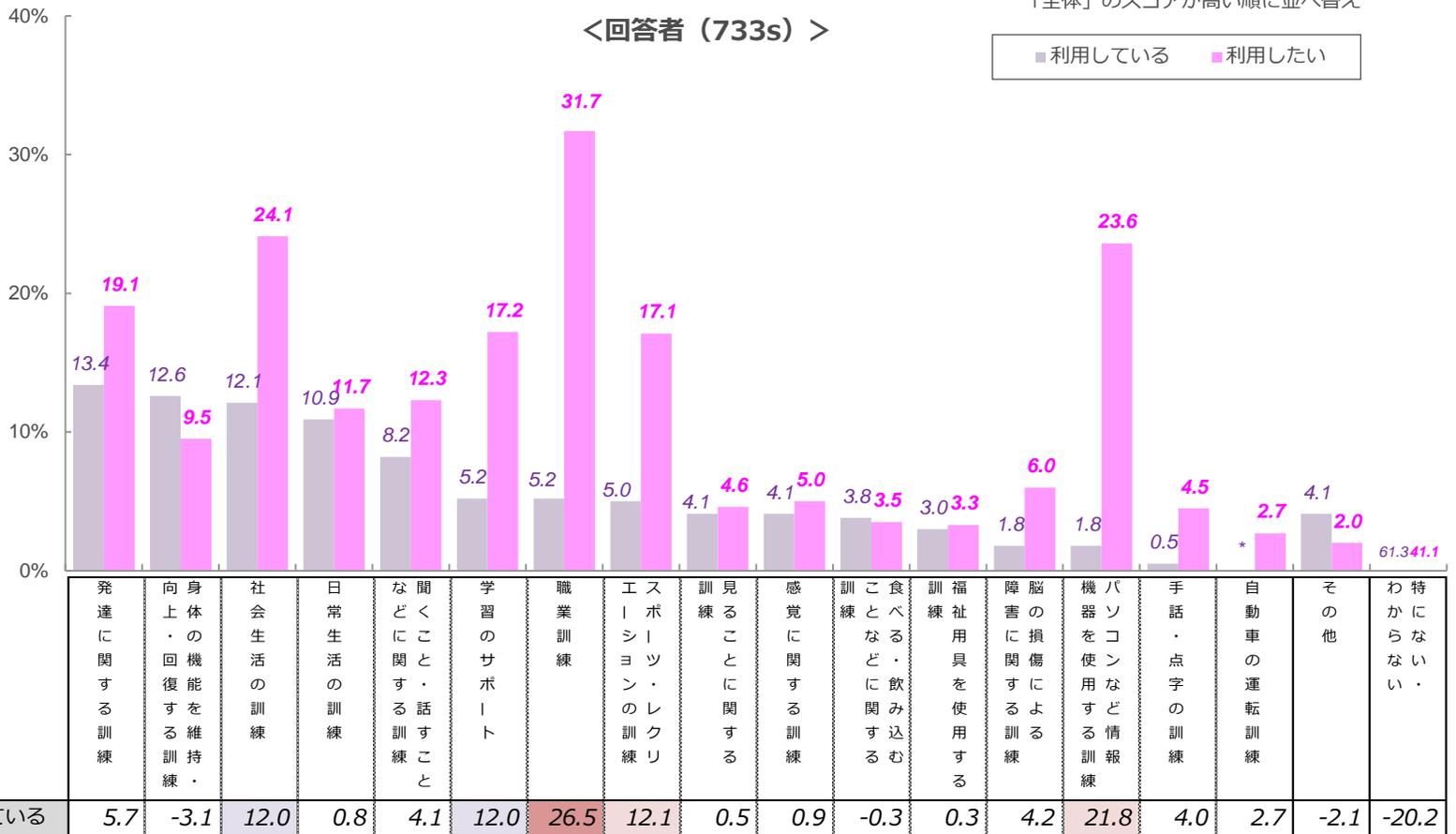
最優先で取り組んでほしい施策として、「障害があっても働ける場の確保」と回答した人における、現在利用している／今後利用したい訓練・リハビリについて、
 <今後利用したい> と <現在利用している> のスコア差をみると、「職業訓練」、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」では20ポイントを超え、今後の利用意向の高さが
 あらわれている。 また、「社会生活の訓練」、「学習のサポート」、「スポーツ・レクリエーションの訓練」のスコア差も10ポイントを超えている。

< 現在利用している／今後利用したい（して欲しい） 訓練・リハビリ >

※ <現在利用している訓練・リハビリ>の
 「全体」のスコアが高い順に並べ替え

■ 利用している ■ 利用したい

※ 複数回答



※ 上位1位： ■ 上位3位以内： ■ 上位5位以内： ■

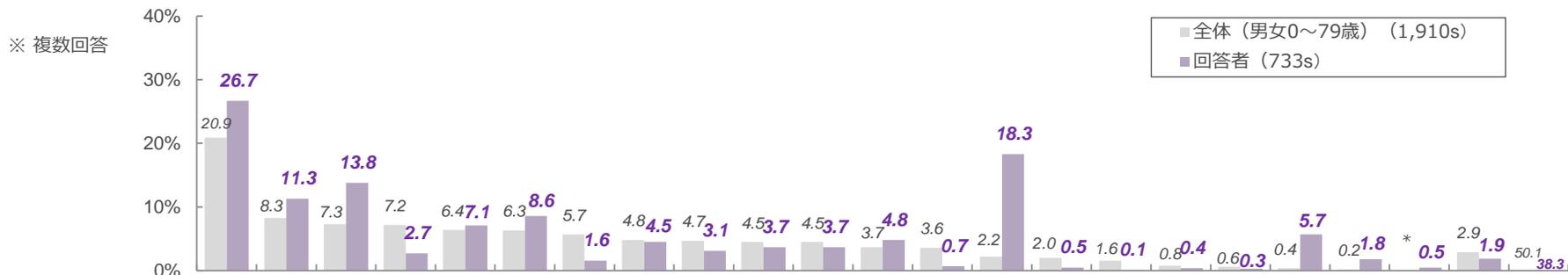
II-3. 働ける場の確保について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「障害があっても働ける場の確保」と回答した人における、現在利用している／今後利用したい福祉サービスについて、

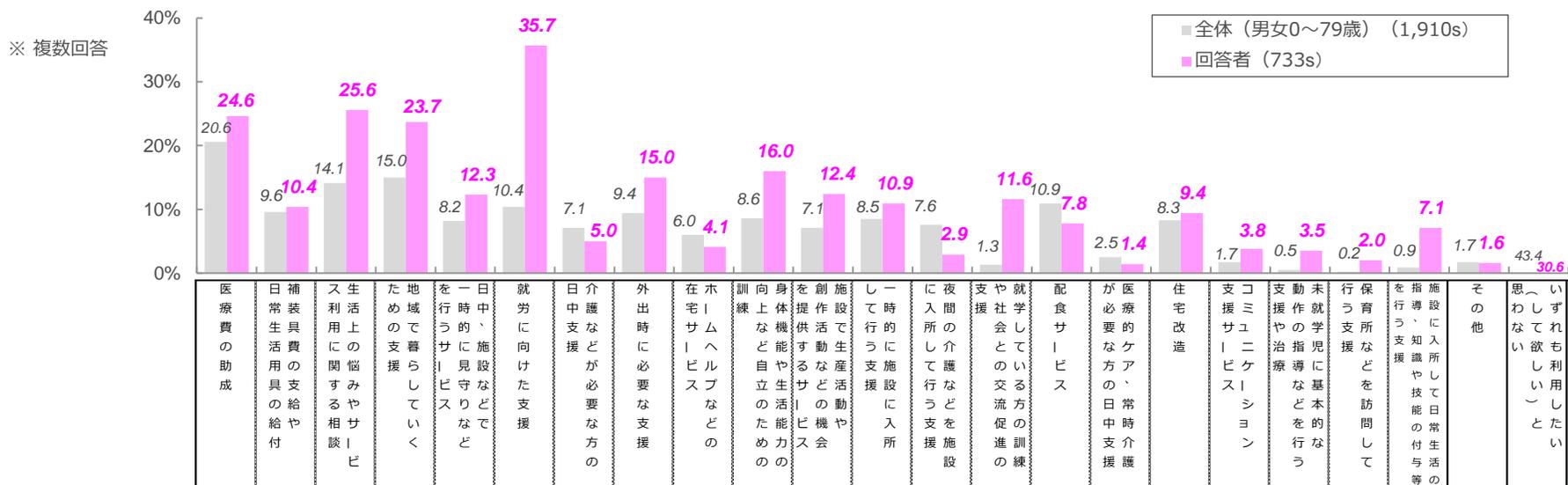
- 現在利用している福祉サービスをみると、＜全体＞と同様に「医療費の助成」が26.7%と最も利用されている。次いで「就学している方の訓練や社会との交流促進の支援」、「生活上の悩みやサービス利用に関する相談」の順となっており、「就学している方の訓練や社会との交流促進の支援」は＜全体＞と比べ利用率の高さが顕著となっている。
- 今後利用したい福祉サービスでは、「就労に向けた支援」が35.7%と最も高く、＜全体＞での利用意向を約25ポイント上回っている。次いで「生活上の悩みやサービス利用に関する相談」、「医療費の助成」、「地域で暮らしていくための支援」の利用意向が25%前後と高くなっている。

※＜現在利用している福祉サービス＞の「全体」のスコアが高い順に並べ替え

＜現在利用している福祉サービス＞



＜今後利用したい（して欲しい）福祉サービス＞



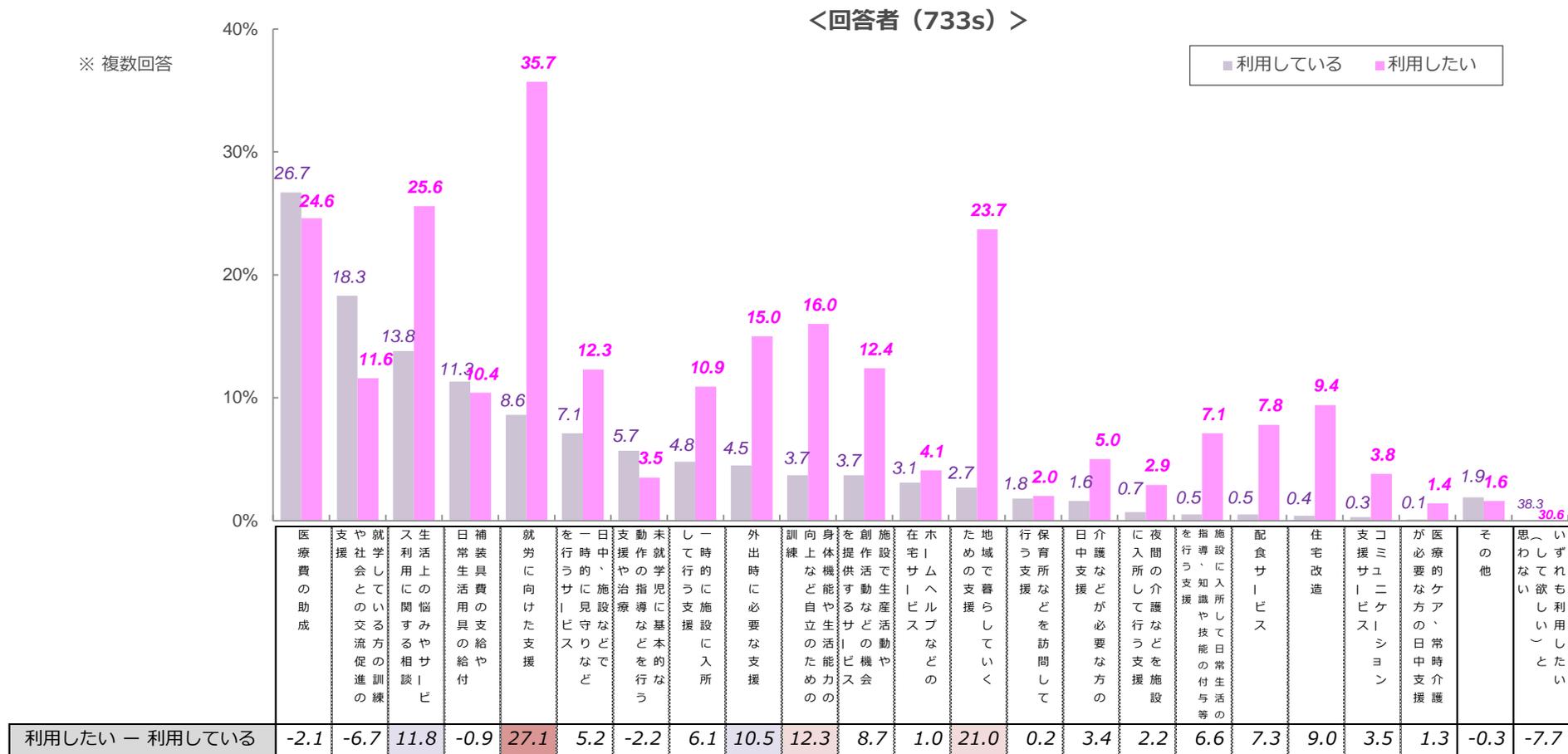
※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

II-3. 働ける場の確保について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「障害があっても働ける場の確保」と回答した人における、現在利用している／今後利用したい福祉サービスについて、
 <今後利用したい> と <現在利用している> のスコア差をみると、「就労に向けた支援」では27.1ポイントと最も大きくなっている。
 このほか、「地域で暮らしていくための支援」は21ポイントの差、「外出時の支援」、「身体機能や生活能力の向上など自立のための訓練」、「生活上の悩みやサービス利用に関する相談」は10ポイント以上の差となっている。

< 現在利用している／今後利用したい（して欲しい）福祉サービス >

※ <現在利用している福祉サービス>の「全体」のスコアが高い順に並べ替え



II-4. 障害者理解について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「障害についての理解を深めるための活動の充実」と回答した人について、

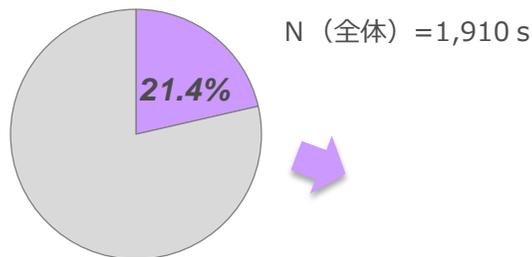
■ 障害種別をみると、<全体> と比べ「身体」の割合が低い一方、「療育」、「精神」の割合が高く、特に、「療育」の割合は<全体> を約25ポイント上回っている。

■ 障害種別・等級別にみると、「療育A」、「療育B」の割合は、ともに<全体> を10ポイント以上、上回っている。

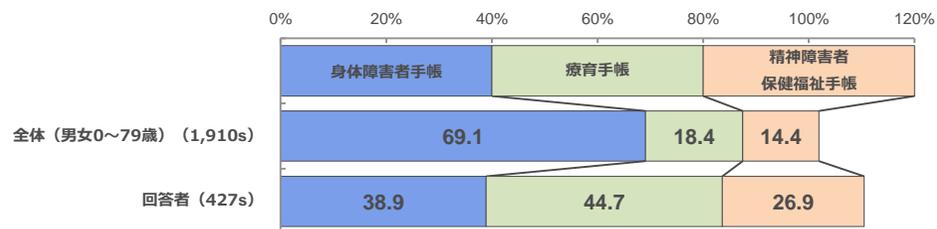
■ 障害者差別解消法の認知率は、約3割と<全体> より約7ポイント高い。

■ 被差別経験については、経験の「ある」人が46.1%と半数近く、<全体> を約18ポイント上回っている。

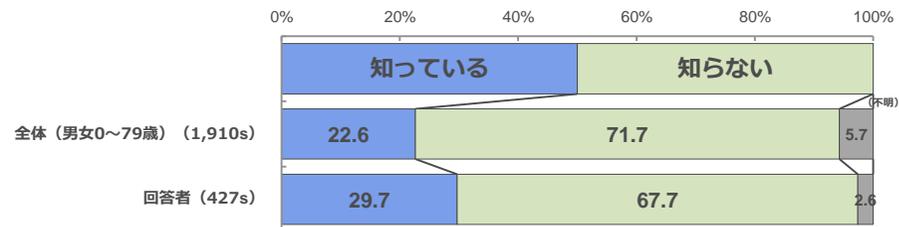
最優先施策：「障害についての理解を深めるための活動の充実」と回答した人（3つまで回答）



< 障害種別 >



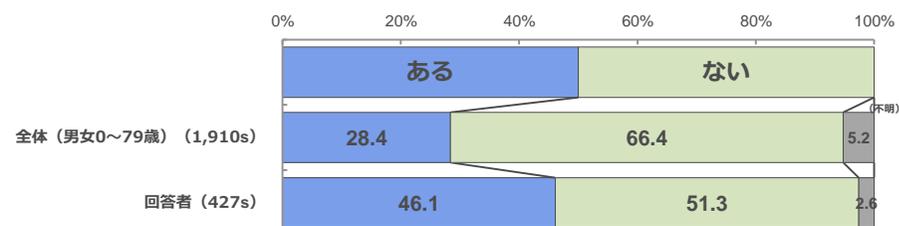
< 障害者差別解消法の認知 >



< 障害種別・等級 >



< 被差別経験 >



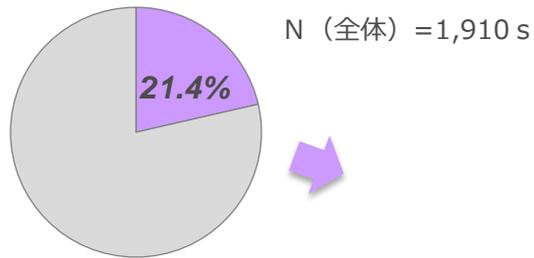
※ 「全体 (男女0~79歳)」 のスコアはウェイト集計値です。

II-4. 障害者理解について（回答者の特徴）

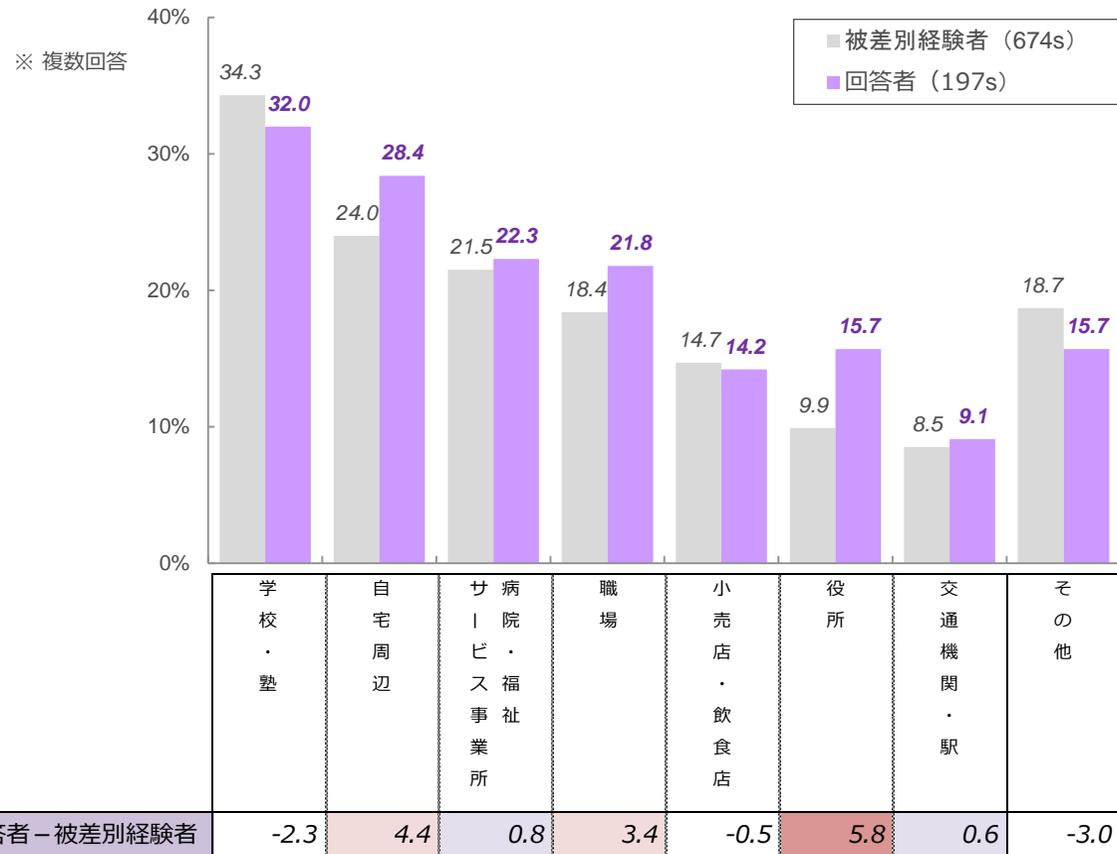
最優先で取り組んでほしい施策として、「障害についての理解を深めるための活動の充実」と回答した人における、差別された場所をみると、<全体>と同様に、「学校・塾」、「自宅周辺」、「病院・福祉サービス事業所」が上位となっており、各スコアにも顕著な差はみられない。

最優先施策：「障害についての理解を深めるための活動の充実」と回答した人（3つまで回答）

※ 「被差別経験者」のスコアが高い順に並べ替え



< 差別された場所 >



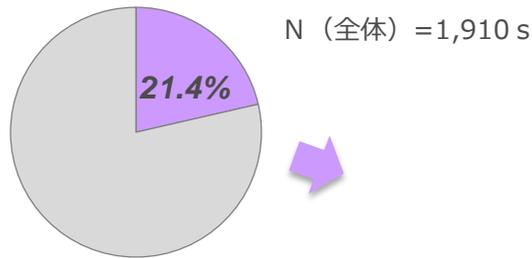
※ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-4. 障害者理解について（回答者の特徴）

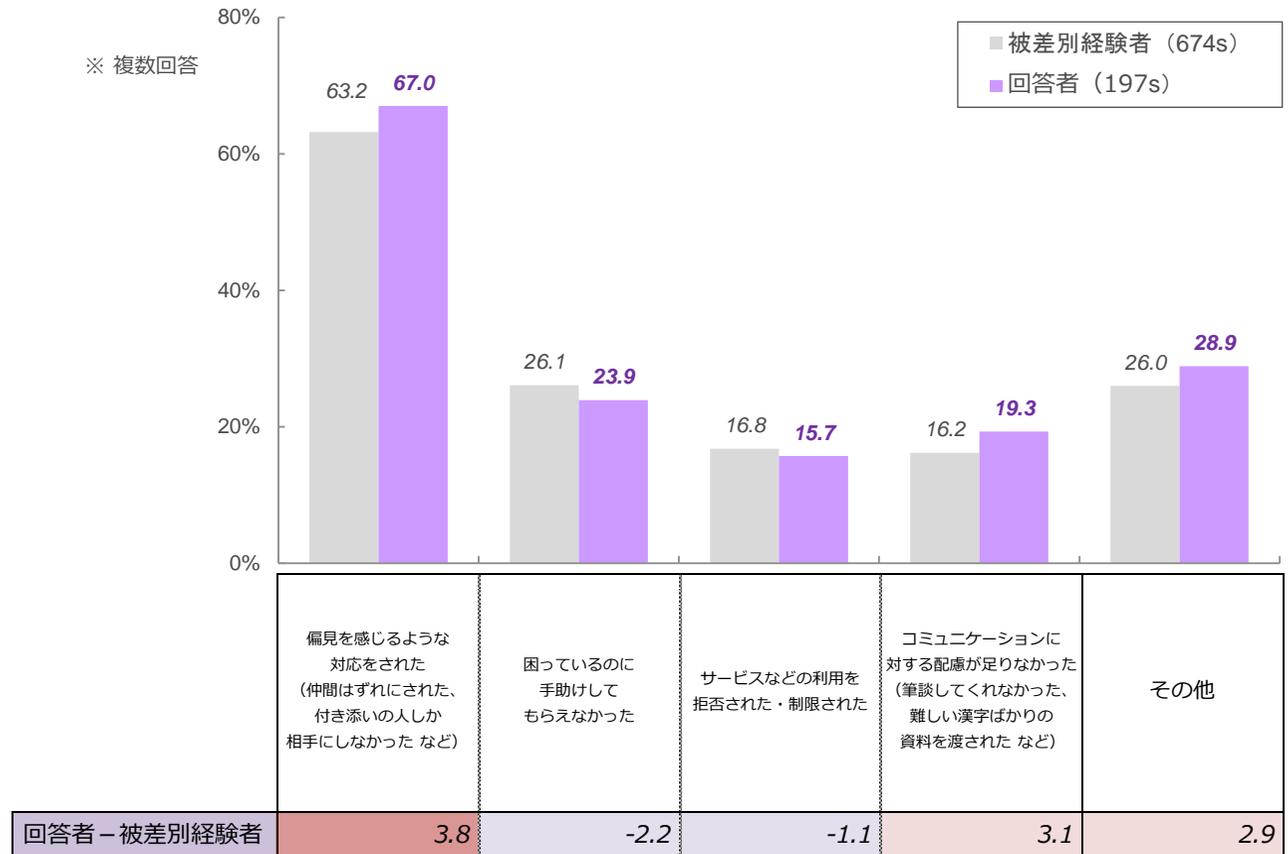
最優先で取り組んでほしい施策として、「障害についての理解を深めるための活動の充実」と回答した人における、差別された内容をみると、<全体>と同様に、「偏見を感じるような対応をされた」が67.0%と最も高く、他の項目のスコアにも顕著な差はみられない。

最優先施策：「障害についての理解を深めるための活動の充実」と回答した人（3つまで回答）

※ 「被差別経験者」のスコアが高い順に並べ替え



< 差別された内容 >



※ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

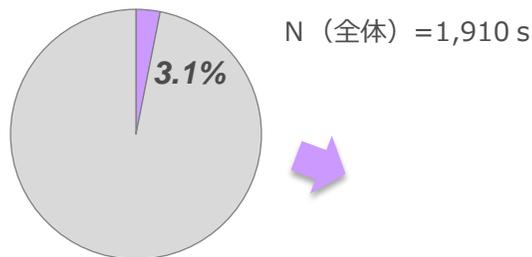
II-5. 学校生活の充実について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「学校教育や生涯学習の充実」と回答した人について、

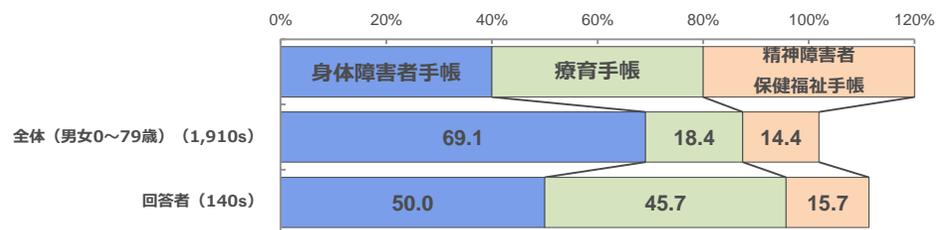
- 障害種別をみると、<全体> と比べ「身体」の割合が低く、「療育」の割合が高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、「療育B」の割合が<全体> を20ポイント近く上回っている。

- 就学状況（1）をみると、「高等学校」の割合が低い一方、「未就学」の割合が高く、<障害児（全体）> を約10ポイント上回っており、学齢が低いほど、高い割合を占める傾向となっている。
- 就学状況（2）をみると、<就学児（全体）> と比べ、小・中学校の「特別学級・学校」の割合が高くなっている。

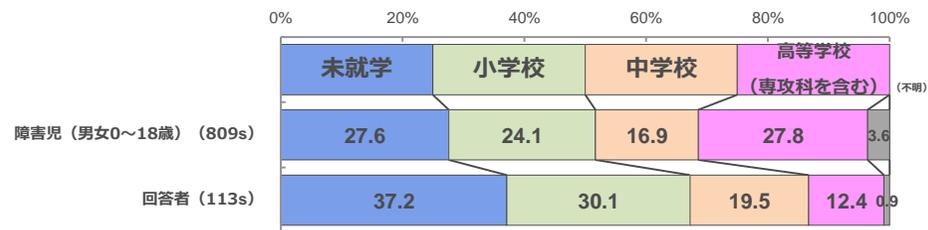
最優先施策：「学校教育や生涯学習の充実」と回答した人（3つまで回答）



< 障害種別 >



< 就学状況（1） >



< 障害種別・等級 >



< 就学状況（2） >

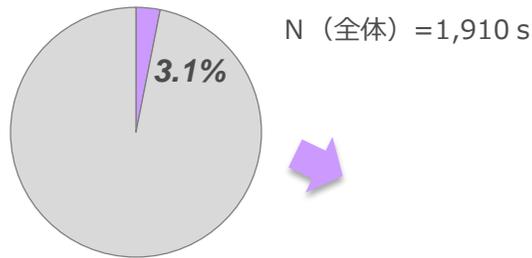


※ 「全体 (男女0~79歳)」 のスコアはウェイト集計値です。

II-5. 学校生活の充実について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、「学校教育や生涯学習の充実」と回答した人における、学校生活で困っていることをみると、
 <就学児（全体）>と同様に、「一人での登下校が難しいなど、通学の負担が大きい」が27.1%と最も高く、他の項目のスコアにも顕著な差はみられない。

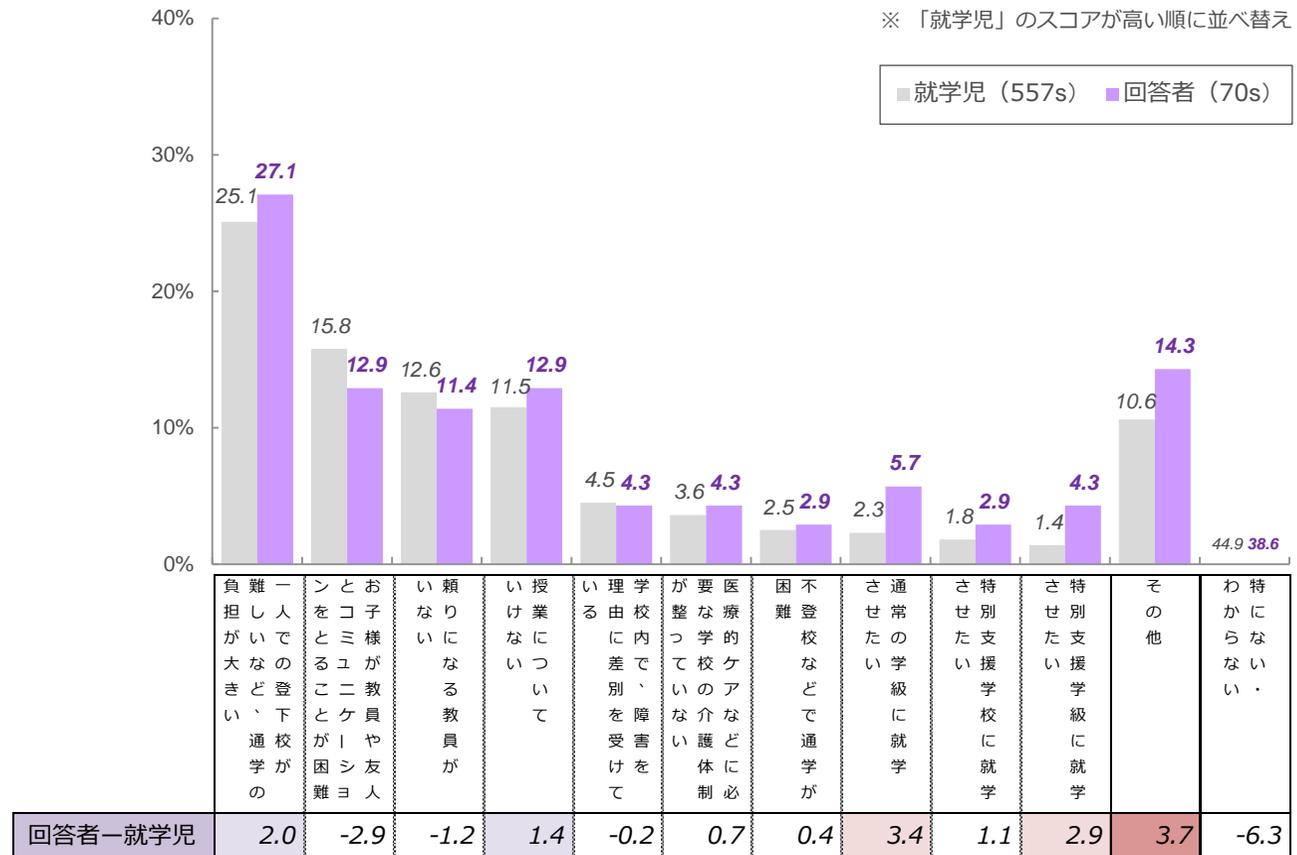
最優先施策：「学校教育や生涯学習の充実」と回答した人（3つまで回答）



< 学校生活で困っていること >

※ 複数回答

※ 「就学児」のスコアが高い順に並べ替え



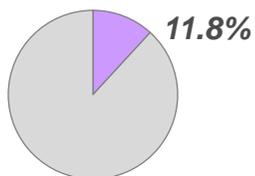
※ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-6. 住まいの問題について (回答者の特徴)

最優先で取り組んでほしい施策として、『住まいに関する施策』をあげた人について、

- 障害種別をみると、<①~③回答者>は<全体>と比べ、「療育」の割合が高く、この傾向は<②・③回答者>で特に強くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、<②・③回答者>では「療育A」の割合が高く、いずれも5割を超えている。

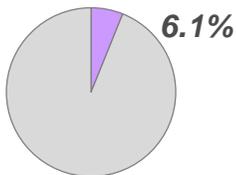
最優先施策：①「障害がある方も暮らしやすい住宅の確保」と回答した人 (3つまで回答)



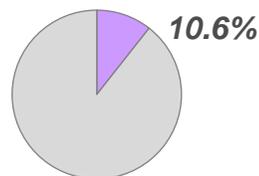
N (全体) = 1,910s



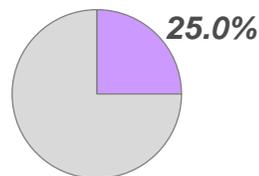
最優先施策：②「グループホームなどの整備」と回答した人 (3つまで回答)



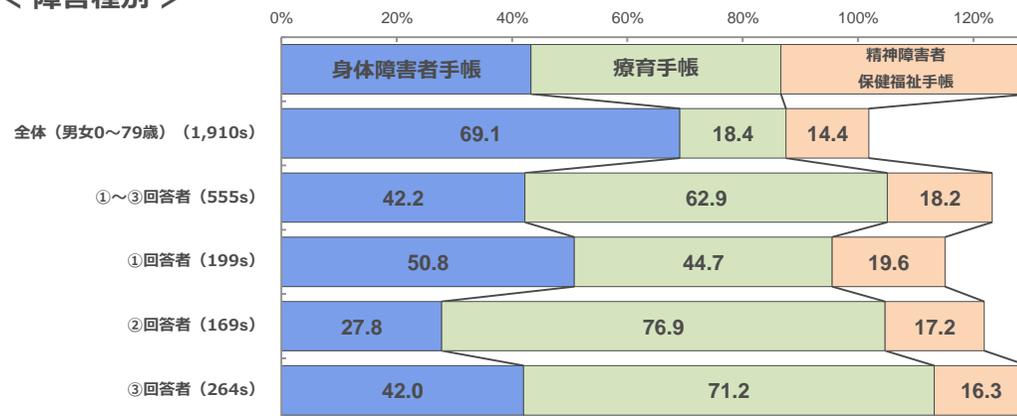
最優先施策：③「障害がある方の入所施設の整備」と回答した人 (3つまで回答)



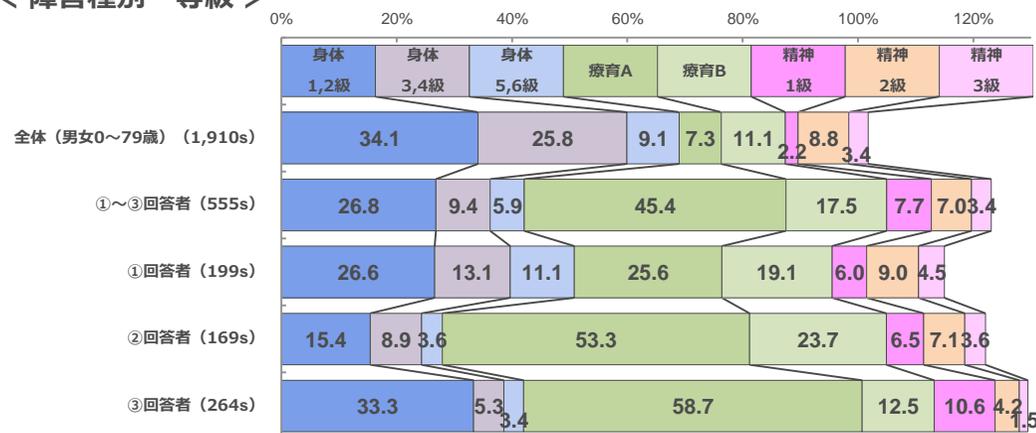
最優先施策：①~③いずれかを回答した人 (3つまで回答)



< 障害種別 >



< 障害種別・等級 >



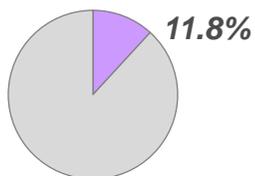
※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

II-6. 住まいの問題について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、『住まいに関する施策』をあげた人について、

- 現在の住まいをみると、<①～③回答者>では、<全体>と同様に「自分や家族の持ち家や借家」が約8割を占めているが、「グループホーム」、「入所施設」の割合がやや高く、<②回答者>では「グループホーム」居住者が約15%、<③回答者>では「入所施設」居住者が14%を占めている。
 - 将来暮らしたい場所をみると、<①～③回答者>における、現在の住まいは約8割が「自分や家族の持ち家や借家」であるのに対し、将来暮らしたい場所では約3割にとどまっており、「グループホーム」、「入所施設」などへの移住を希望する人が多くなっている。
- また、<②回答者>では「グループホーム」を希望する人が46.2%を占めると同時に、「自分や家族の持ち家や借家」、「入所施設」もそれぞれ1割強となっている。
- <③回答者>では「入所施設」を希望する人が約4割を占めるとともに、「自分や家族の持ち家や借家」も2割強を占めている。

最優先施策：①「障害がある方も暮らしやすい住宅の確保」と回答した人（3つまで回答）

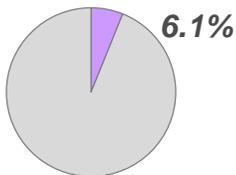


N（全体）=1,910s

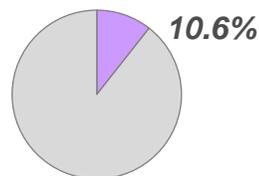
<現在の住まい>



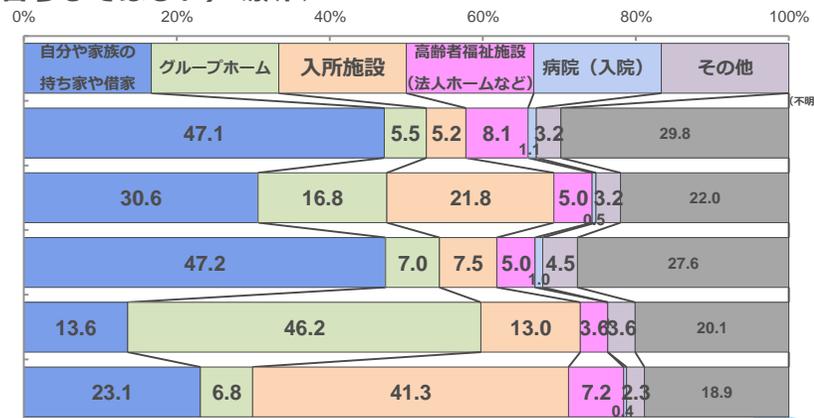
最優先施策：②「グループホームなどの整備」と回答した人（3つまで回答）



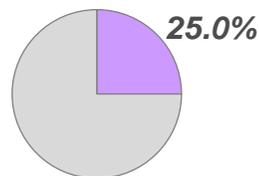
最優先施策：③「障害がある方の入所施設の整備」と回答した人（3つまで回答）



<将来暮らしたい（暮らしてほしい）場所>



最優先施策：①～③いずれかを回答した人（3つまで回答）

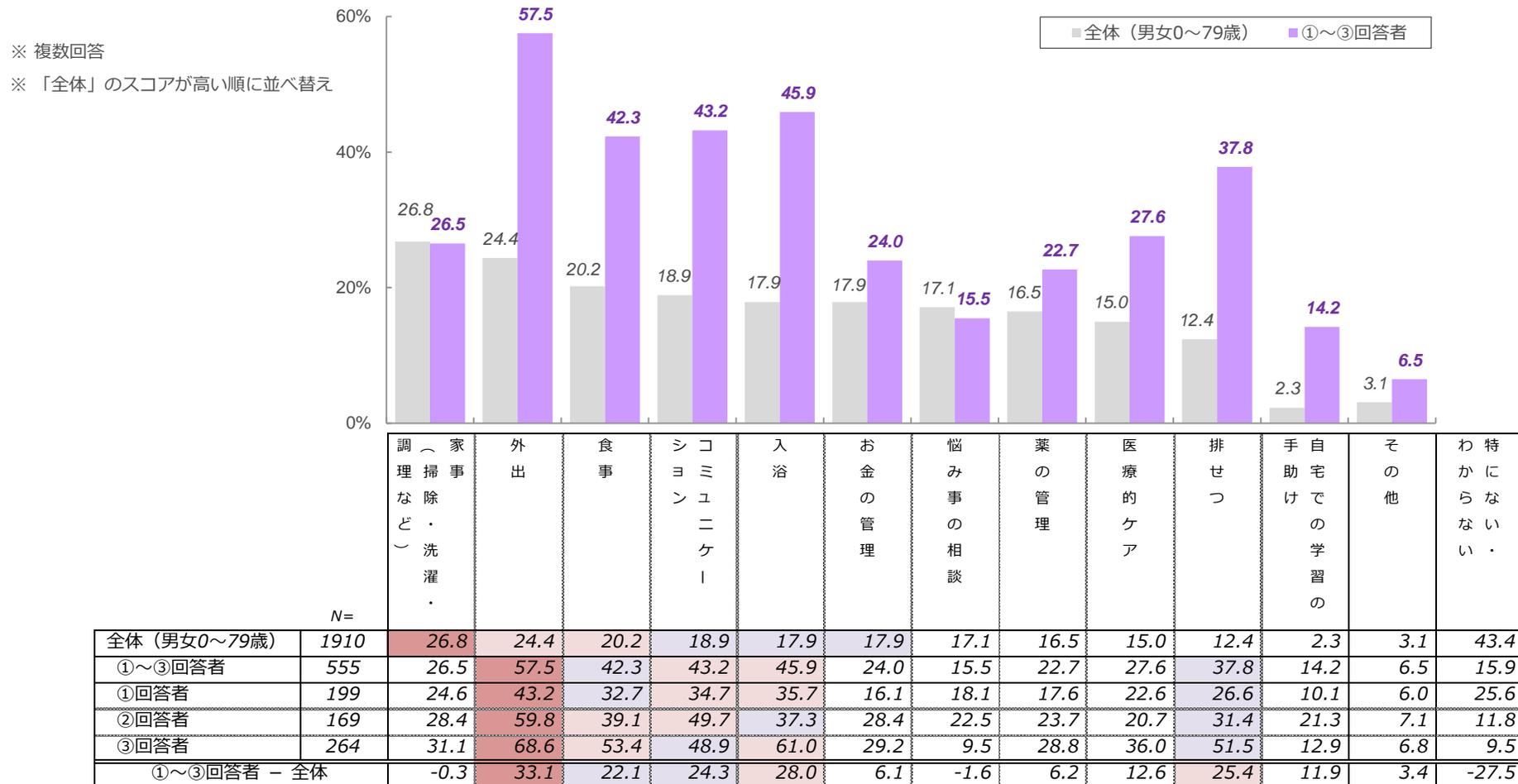


※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

II-6. 住まいの問題について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、『住まいに関する施策』をあげた人における、日常生活に必要な支援をみると、<①～③回答者>では「外出」が57.5%と最も高く、次いで「入浴」、「コミュニケーション」、「食事」、「排せつ」が4割前後となっている。これら上位項目をはじめ、<全体>のスコアを上回っている項目が多く、「外出」、「入浴」のスコアは<全体>と比べ約30ポイント高くなっている。

< 日常生活に必要な支援 >



※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

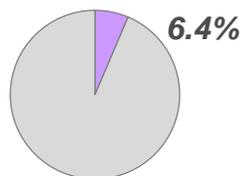
上位5位以内：

Ⅱ-7. 福祉サービス利用の困り事について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、『福祉サービス利用に関する施策』をあげた人について、

- 障害種別をみると、＜全体＞と比べ「身体」の割合が低い一方、「療育」、「精神」の割合が高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、＜全体＞と比べ、「療育A・B」、「精神1級・3級」の割合が高くなっている。

最優先施策：①「コミュニケーションや情報の確保に関する支援の充実」と回答した人（3つまで回答）

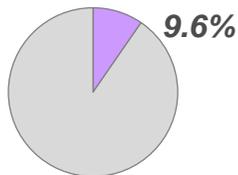


N（全体）=1,910s

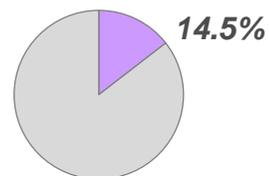


※ 複数回答

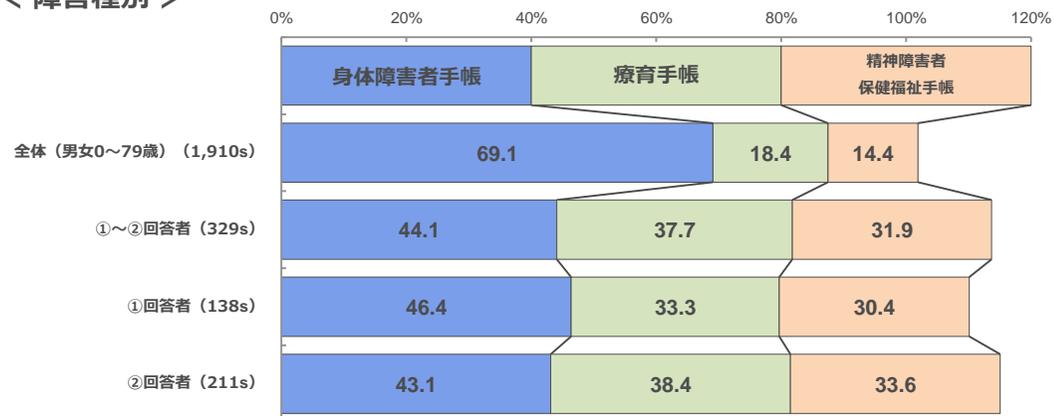
最優先施策：②「障害に関する相談体制の充実」と回答した人（3つまで回答）



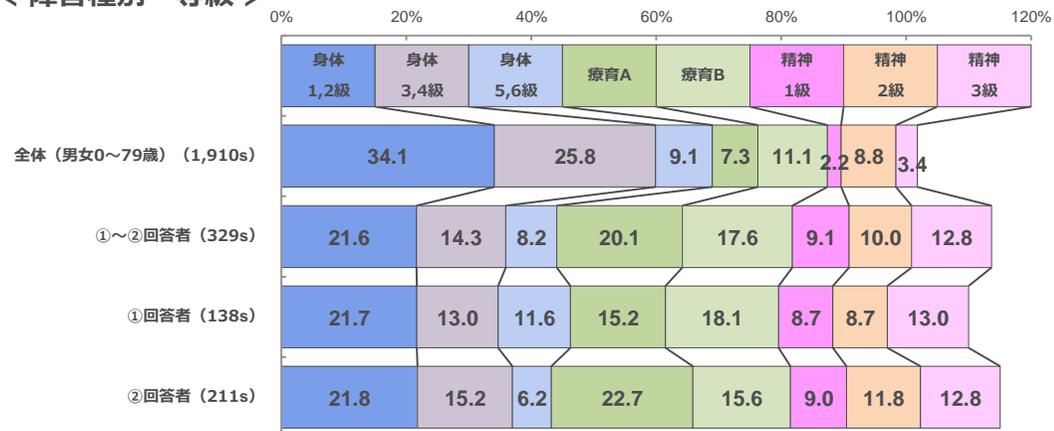
最優先施策：①、②いずれかを回答した人（3つまで回答）



< 障害種別 >



< 障害種別・等級 >

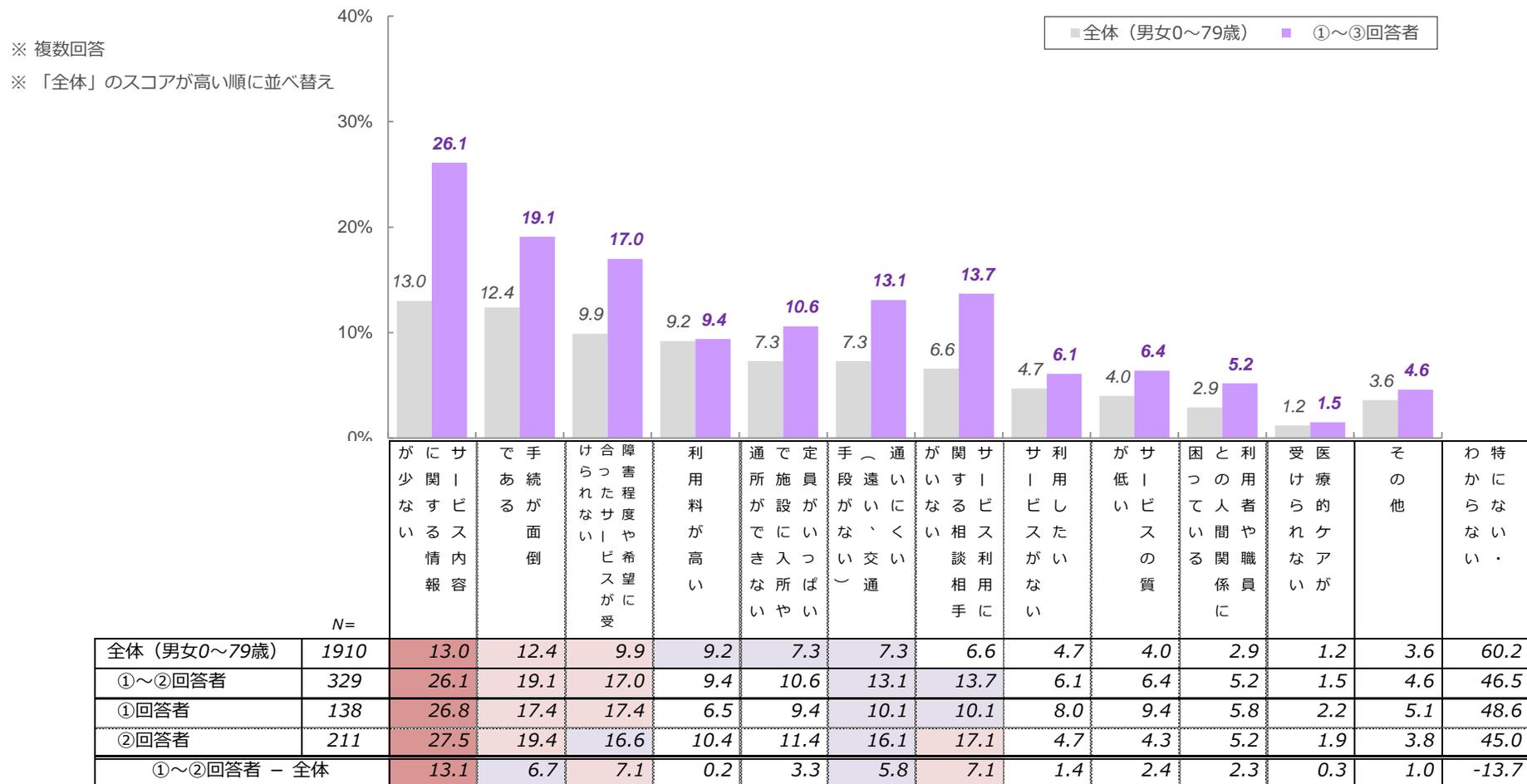


※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

II-7. 福祉サービス利用の困り事について（回答者の特徴）

最優先で取り組んでほしい施策として、『福祉サービス利用に関する施策』をあげた人における、福祉サービス利用にあたり困っていることをみると、
 <①～②回答者>では「サービス内容に関する情報が少ない」が26.1%と最も高く、次いで「手続が面倒」、「障害程度や希望に合ったサービスが受けられない」が2割弱となっている。上位3項目は<全体>と同様だが、いずれのスコアも<全体>を上回っており、「サービス内容に関する情報が少ない」は約13ポイント高くなっている。

< 福祉サービス利用にあたり困っていること >



※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

調査結果の概要



Ⅲ. 最優先で取り組んでほしい施策(重複回答状況)

※ 「全体(男女0~79歳)」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果(ウェイト集計値)です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

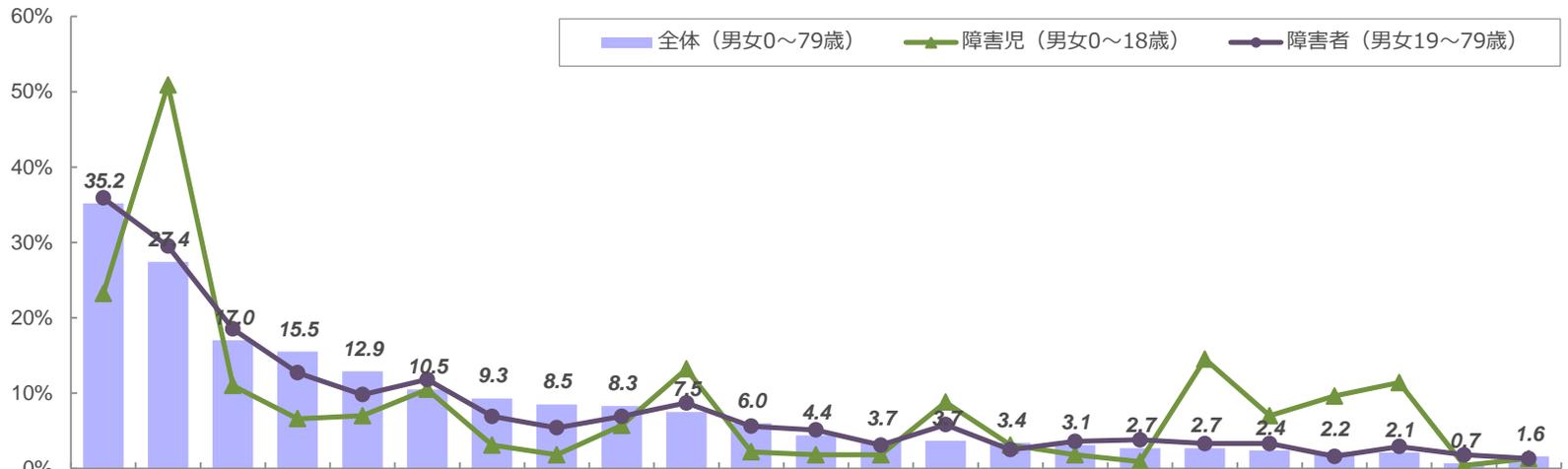
Ⅲ. 最優先で取り組んでほしい施策 重複回答状況 ①「年金・手当などの充実」回答者

最優先で取り組んでほしい施策として最もスコアの高かった「年金・手当などの充実（43.2%）」をあげた人が、他にどの施策を回答しているかをみると、<全体>では「医療費の負担軽減」が35.2%と、同じく、経済面の施策が最も多くあげられており、次いで「障害があっても働ける場の確保（27.4%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（17.0%）」となっている。

■年代別にみると、<障害児>では「障害があっても働ける場の確保」が5割を超え最も高く、次いで「医療費の負担軽減（23.2%）」、「発達障害に対する支援（14.5%）」、「障害に関する相談体制の充実（13.2%）」、「通勤通学のための移動の支援（11.4%）」が上位となっている。
<障害者>は、上位の項目・スコアともに<全体>と似た傾向となっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



↓ いずれも「年金・手当などの充実」回答者

		医療費の負担軽減	障害があっても働ける場の確保	障害についての理解を深めるための活動の充実	建物や交通機関など配慮した整備	障害がある方への住宅の確保	災害対策の充実	在宅サービスの充実	医療的ケアの充実	家族などの介護者の支援	障害に関する相談体制の充実	救急医療の整備	情報の確保に関する取り組み	コミュニケーションの充実	ヘルプサービスの充実	グループホームなどの整備	障害者健診の実施（乳幼児検診を含む）	専門的な訓練・リハビリ	振興	スポーツ・文化活動の推進	発達障害に対する支援	必要や訓練の場としての整備	学校教育や生涯学習の充実	支援	通勤通学のための移動の支援	高次脳機能障害に対する支援	その他
全体 (男女0~79歳)		824	35.2	27.4	17.0	15.5	12.9	10.5	9.3	8.5	8.3	7.5	6.0	4.4	3.7	3.7	3.4	3.1	2.7	2.7	2.4	2.2	2.1	0.7	1.6		
年代	障害児 (男女0~18歳)	228	23.2	50.9	11.0	6.6	7.0	10.5	3.1	1.8	5.7	13.2	2.2	1.8	1.8	8.8	3.1	1.8	0.9	14.5	7.0	9.6	11.4	0.4	1.3		
	障害者 (男女19~79歳)	448	35.9	29.5	18.5	12.7	9.8	11.8	6.9	5.4	6.9	8.7	5.6	5.1	3.1	5.8	2.5	3.6	3.8	3.3	3.3	1.6	2.9	1.8	1.3		

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

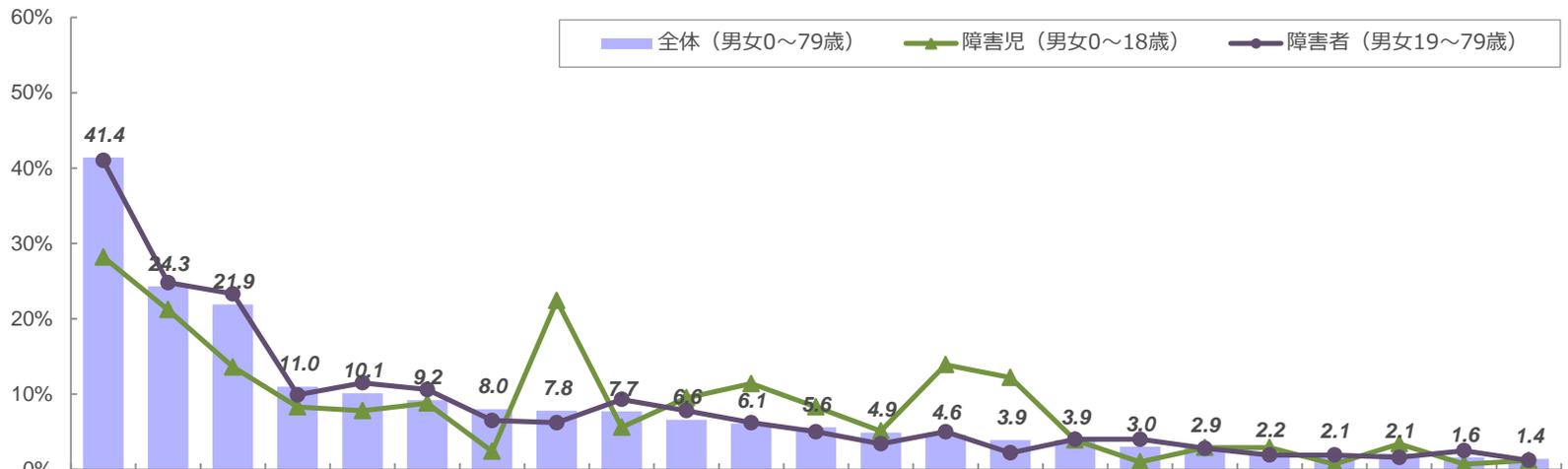
Ⅲ. 最優先で取り組んでほしい施策 重複回答状況 ②「障害があっても働ける場の確保」回答者

最優先で取り組んでほしい施策として2番目にスコアの高かった「障害があっても働ける場の確保（28.5%）」をあげた人が、他にどの施策を回答しているかをみると、<全体>では「年金・手当などの充実」が41.4%と最も高く、次いで「障害についての理解を深めるための活動の充実（24.3%）」、「医療費の負担軽減（21.9%）」となっている。

■年代別にみると、<障害児><障害者>ともに「年金・手当などの充実」のスコアが最も高い点は共通だが、<障害児>では、次いで「発達障害に対する支援（22.4%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（21.2%）」の順となっているほか、「通勤通学のための移動の支援（13.9%）」、「医療費の負担軽減（13.6%）」、「学校教育や生涯学習の充実（12.2%）」、「グループホームなどの整備（11.4%）」も上位となっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



↓ いずれも、「障害があっても働ける場の確保」回答者

		年金・手当などの充実	深めるための活動の理解を充実	医療費の負担軽減	暮らしやすい住宅の確保	障害のある方への配慮した整備	障害に関する相談体制の充実	災害対策の充実	発達障害に対する支援	情報の確保に関する支援や情報の共有	入所施設のある方の整備	グループホームなどの整備	必要なサービス事業所の整備	生活や訓練の場としての施設	家族などの介護者の支援	通勤通学のための移動の支援	学校教育や生涯学習の充実	専門的な訓練・リハビリの実施	支援高次脳機能障害に対する支援	振興	スポーツ・文化芸術活動の推進	救急医療の整備	ホームヘルプサービスの充実	(乳幼児健診を含む)障害者健診の充実	在宅サービスの充実	医療的ケアが受けられる	その他
全体 (男女0~79歳)		545	41.4	24.3	21.9	11.0	10.1	9.2	8.0	7.8	7.7	6.6	6.1	5.6	4.9	4.6	3.9	3.9	3.0	2.9	2.2	2.1	2.1	1.6	1.4		
年代	障害児 (男女0~18歳)	411	28.2	21.2	13.6	8.3	7.8	8.8	2.4	22.4	5.6	9.5	11.4	8.3	5.1	13.9	12.2	3.9	1.0	2.9	2.9	0.7	3.4	0.7	1.2		
	障害者 (男女19~79歳)	322	41.0	24.8	23.3	9.9	11.5	10.6	6.5	6.2	9.3	7.8	6.2	5.0	3.4	5.0	2.2	4.0	4.0	2.8	1.9	1.9	1.6	2.5	1.2		

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

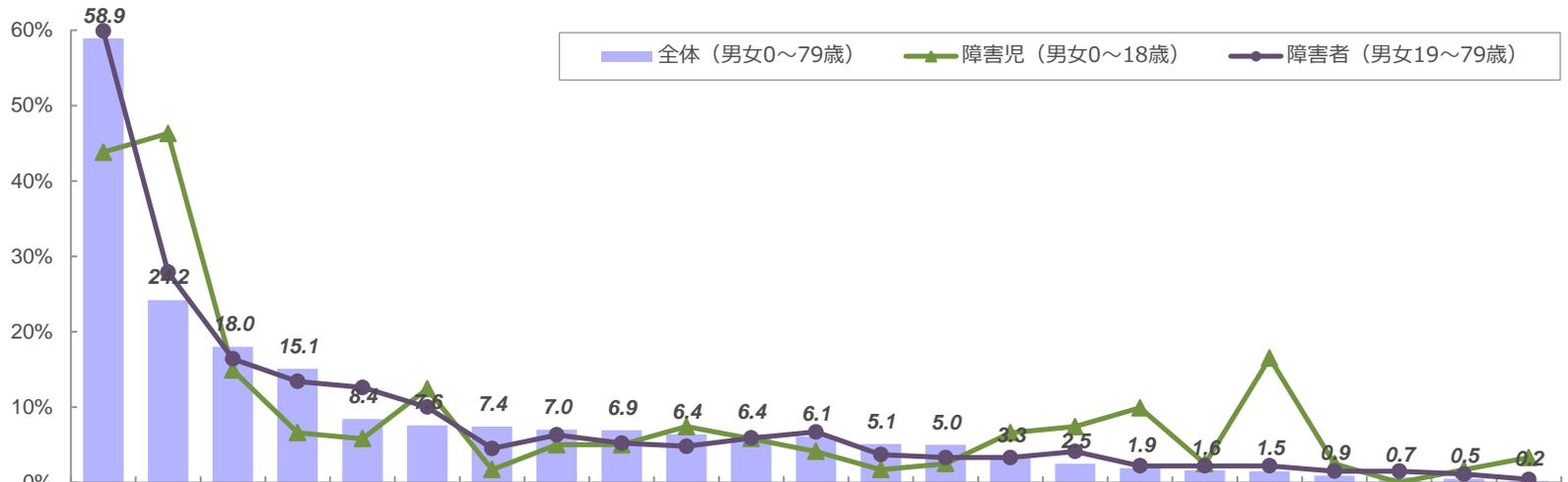
Ⅲ. 最優先で取り組んでほしい施策 重複回答状況 ③「医療費の負担軽減」回答者

最優先で取り組んでほしい施策として3番目にスコアの高かった「医療費の負担軽減（25.8%）」をあげた人が、他にどの施策を回答しているかをみると、＜全体＞では「年金・手当などの充実」が6割近いスコアで最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保（24.2%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（18.0%）」となっている。

■年代別にみると、＜障害児＞では「障害があっても働ける場の確保」が46.3%と最も高く、次いで「年金・手当などの充実」が2番目に高くなっている。このほか「発達障害に対する支援（16.5%）」、「障害についての理解を深めるための活動の充実（14.9%）」、「障害に関する相談体制の充実（12.4%）」が1割超となっている。＜障害者＞は、上位の項目・スコアともに＜全体＞と似た傾向となっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



↓ いずれも、「医療費の負担軽減」回答者

		n=	年金・手当などの充実	障害があっても働ける場の確保	障害についての理解を深めるための活動の充実	建物や交通機関など配慮した障害のある方の入所施設を整備	障害に関する相談体制の充実	在宅サービスの充実	医療的ケアが受けられる	暮らしやすい住宅の確保	専門的な訓練・リハビリ	救急医療の整備	災害対策の充実	休養に関すること	家族などの介護者の整備	グループホームなどの充実	ヘルプサービスの充実	情報の確保に関するサービス	通勤のための移動の支援	学校教育や生涯学習の充実	必要や訓練の場としての生活や職業としての整備	発達障害に対する支援	(乳幼児検診を含む) 障害者健診の充実	支援	高次脳機能障害に対する支援	振興	スポーツ・文化芸術活動	その他
	全体 (男女0~79歳)	493	58.9	24.2	18.0	15.1	8.4	7.6	7.4	7.0	6.9	6.4	6.4	6.1	5.1	5.0	3.3	2.5	1.9	1.6	1.5	0.9	0.7	0.5	0.5	0.2		
年代	障害児 (男女0~18歳)	121	43.8	46.3	14.9	6.6	5.8	12.4	1.7	5.0	5.0	7.4	5.8	4.1	1.7	2.5	6.6	7.4	9.9	2.5	16.5	2.5	*	1.7	1.7	3.3		
	障害者 (男女19~79歳)	269	59.9	27.9	16.4	13.4	12.6	10.0	4.5	6.3	5.2	4.8	5.9	6.7	3.7	3.3	3.3	4.1	2.2	2.2	2.2	1.5	1.5	1.1	0.4			

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

Ⅲ. 最優先で取り組んでほしい施策

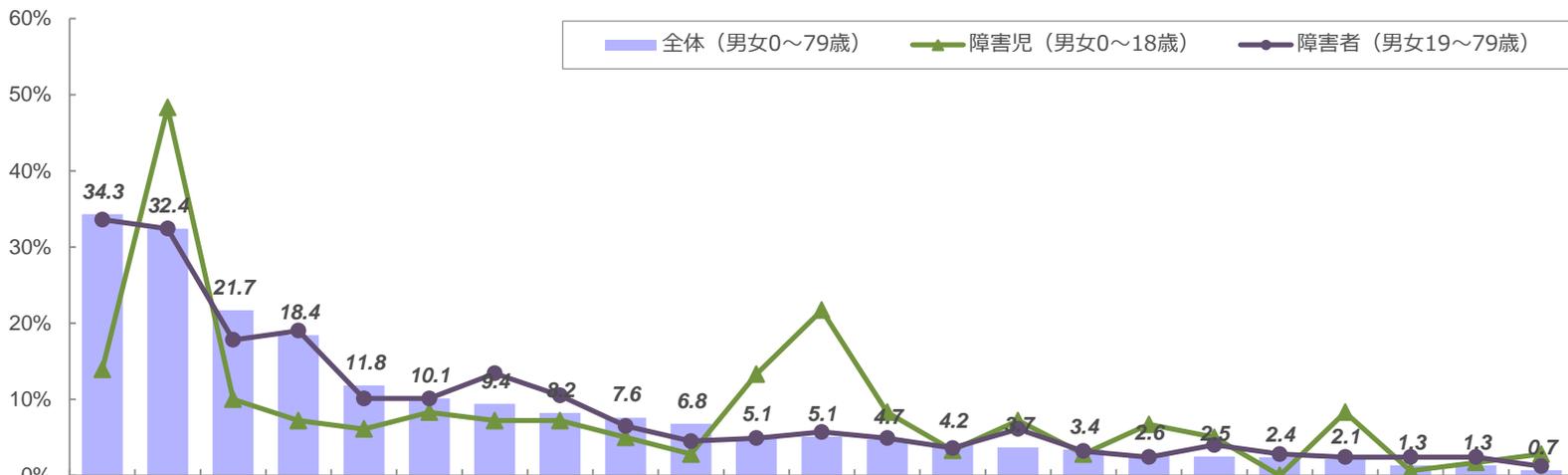
重複回答状況 ④「障害についての理解を深めるための活動の充実」回答者

最優先で取り組んでほしい施策として4番目にスコアの高かった「障害についての理解を深めるための活動の充実（21.4%）」をあげた人が、他にどの施策を回答しているかをみると、<全体>では「年金・手当などの充実」が34.3%と最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保（32.4%）」も3割を超えている。

■年代別にみると、<障害児>では「障害があっても働ける場の確保」が48.3%と最も高く、次いで「発達障害に対する支援（21.7%）」、「年金・手当などの充実（13.9%）」、「学校教育や障害学習の充実（13.3%）」、「医療費の負担軽減（10.0%）」の順となっている。
<障害者>は、上位の項目・スコアともに<全体>と似た傾向となっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



↓ いずれも、「障害についての理解を深めるための活動の充実」回答者

n=		年金・手当などの充実	障害があっても働ける場の確保	医療費の負担軽減	整備や交通機関など配慮した障害のある方への住宅の確保	暮らしやすい住宅の確保	障害に関する相談体制の充実	情報の確保に関する支援	コンピュータの整備	障害があっても働ける場の確保	災害対策の充実	障害者健診の充実（乳幼児検診を含む）	学校教育や生涯学習の充実	発達障害に対する支援	必要なサービスの提供	生活や訓練の場としての整備	救急医療の整備	グループホームなどの整備	専門的な訓練・リハビリテーションの実施	家族などの介護者の休養に関すること	振興などの活動	スポーツ・文化芸術活動の支援	高次脳機能障害に対する支援	通勤通学のための移動の支援	在宅ヘルプサービスの充実	在宅サービスの充実	医療的ケアが受けられる	その他
全体 (男女0~79歳)	408	34.3	32.4	21.7	18.4	11.8	10.1	9.4	8.2	7.6	6.8	5.1	5.1	4.7	4.2	3.7	3.4	2.6	2.5	2.4	2.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	0.7	
年代	障害児 (男女0~18歳)	180	13.9	48.3	10.0	7.2	6.1	8.3	7.2	7.2	5.0	2.8	13.3	21.7	8.3	3.3	7.2	2.8	6.7	5.0	*	8.3	0.6	1.7	2.8	2.8	2.8	
	障害者 (男女19~79歳)	247	33.6	32.4	17.8	19.0	10.1	10.1	13.4	10.5	6.5	4.5	4.9	5.7	4.9	3.6	6.1	3.2	2.4	4.0	2.8	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	1.2	

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

調査結果の詳細



I. 回答者の属性

※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮した ウェイト付けを行った上での集計結果（ウェイト集計値） です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

I-1.回答者の属性

<障害児／障害者（年代）>

	全 体 (男女0～79歳)	障害児 (男女0～18歳)	障害者 (男女19～79歳)
実 数 (s)	1,910	809	1,101

	全 体	0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
実 数 (s)	1,910	238	342	229	242	267	297	295

<性 別>

	全 体	男性	女性
実 数 (s)	1,910	1,127	783

<性・年代>

	全 体	男 性							女 性						
		0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳	0～6歳	7～15歳	16～18歳	19～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
実 数 (s)	1,910	144	213	153	144	151	177	145	94	129	76	98	116	120	150

<所有する障害者手帳>

	全 体	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	身体障害者手帳						療育手帳		精神障害者保健福祉手帳		
					1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級
実 数 (s)	1,910	897	823	469	287	162	147	135	92	74	450	373	149	166	154

	全 体	単独	重複計
実 数 (s)	1,910	1,634	276

	全 体	単独	身体&療育	身体&精神	療育&精神	身体&療育 &精神
実 数 (s)	1,910	1,634	224	27	22	3

<居住エリア>

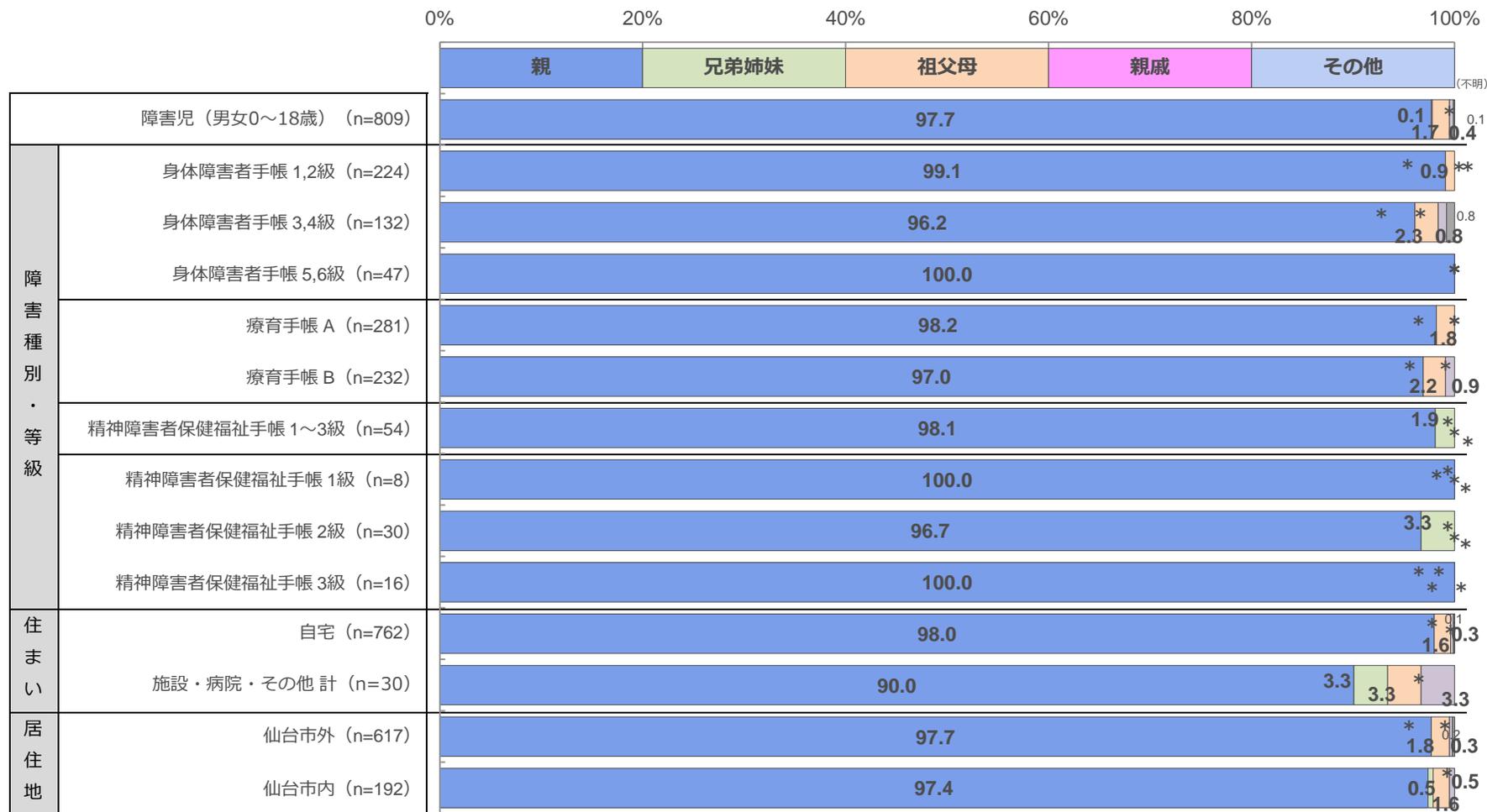
	全 体	仙南圏域	仙台市	仙台圏域	大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	石巻圏域	気仙沼圏域	石巻・気仙沼
実 数 (s)	1,910	229	326	552	254	98	122	240	89	329

<就学・就業状況>

	全 体	障害児 (男女0～18歳)				障害者 (男女19～79歳)				不明
		未就学	小学校	中学校	高等学校 (専攻科含む)	一般の外部 に就業	障害者が通う 施設で就労	在宅で就労	仕事は していない	
実 数 (s)	1,910	223	195	137	225	197	182	147	519	85

I-2.調査票の記入者 A.調査票の記入者(障害児)

調査票の記入者について、<障害児>では、「親」の割合が97.7%と最も高く、大半を占めている。
 ■ 障害種別・等級別、住まい別、居住地別いずれにおいても「親」が9割以上となっている。



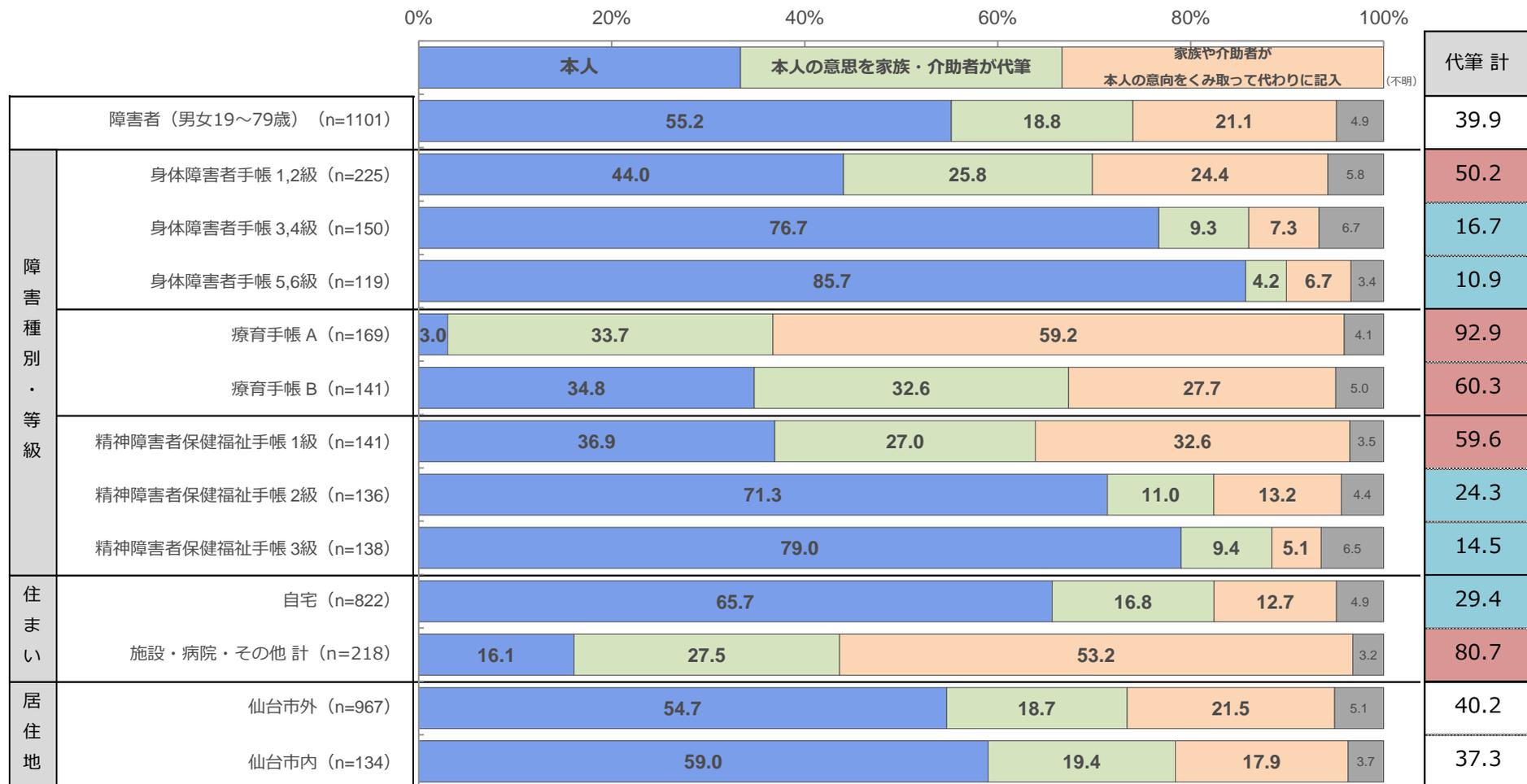
I -2.調査票の記入者 B.調査票の記入者(障害者)

調査票の記入者について、<障害者>では、「本人」が55.2%で最も高くなっている。

■障害種別・等級別にみると、いずれの障害種別においても、等級が高い程「代筆計」が高くなる傾向にある。特に<療育A>では「代筆計」が9割以上と高くなっている。

■住まい別にみると「代筆計」のスコアは<施設・病院>で約8割と高くなっている。

■居住地別にみて、大きな差はみられない。



「障害者」と比べて・・・

■ : +10.0%以上

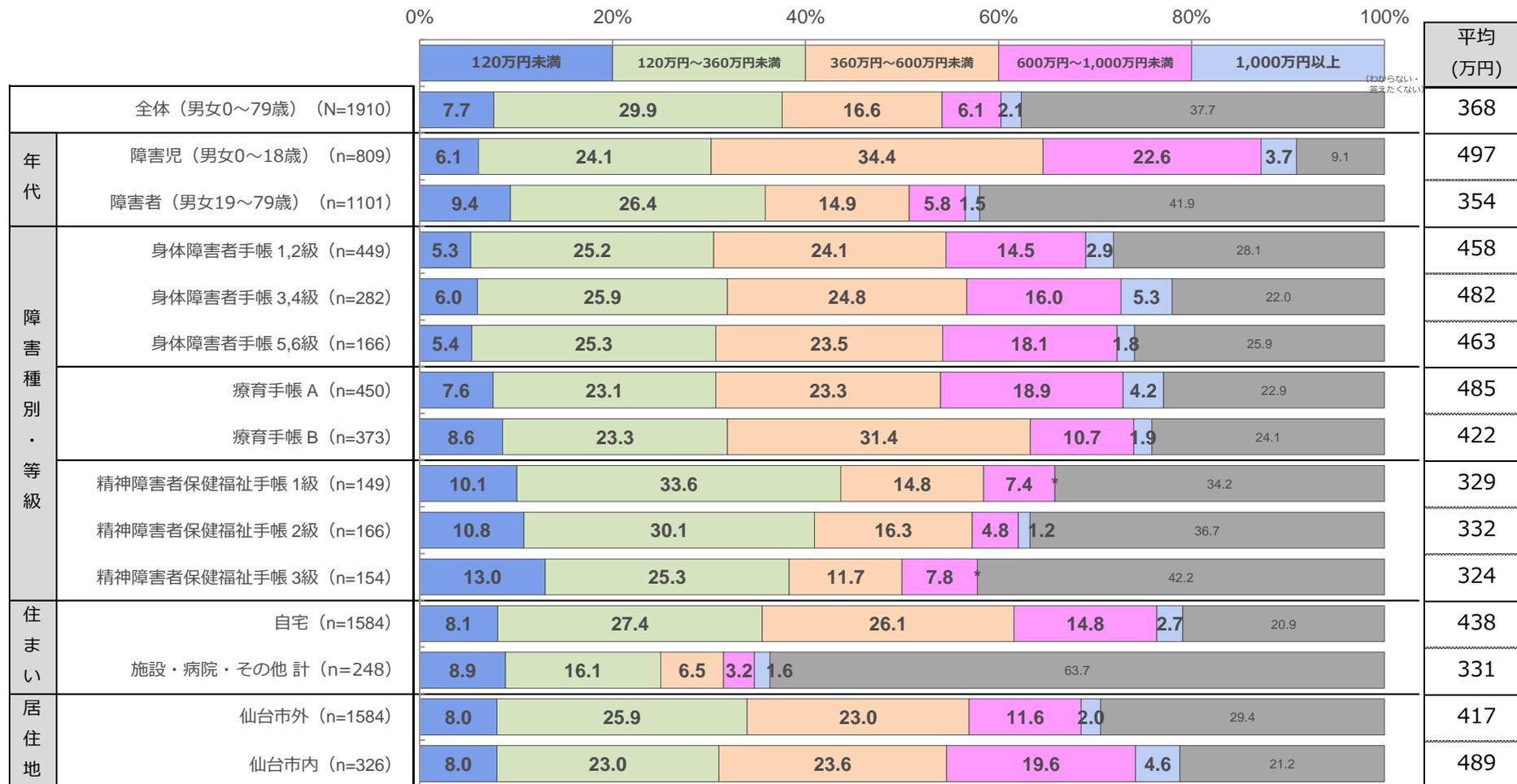
■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

I-3.収入 A.世帯年収

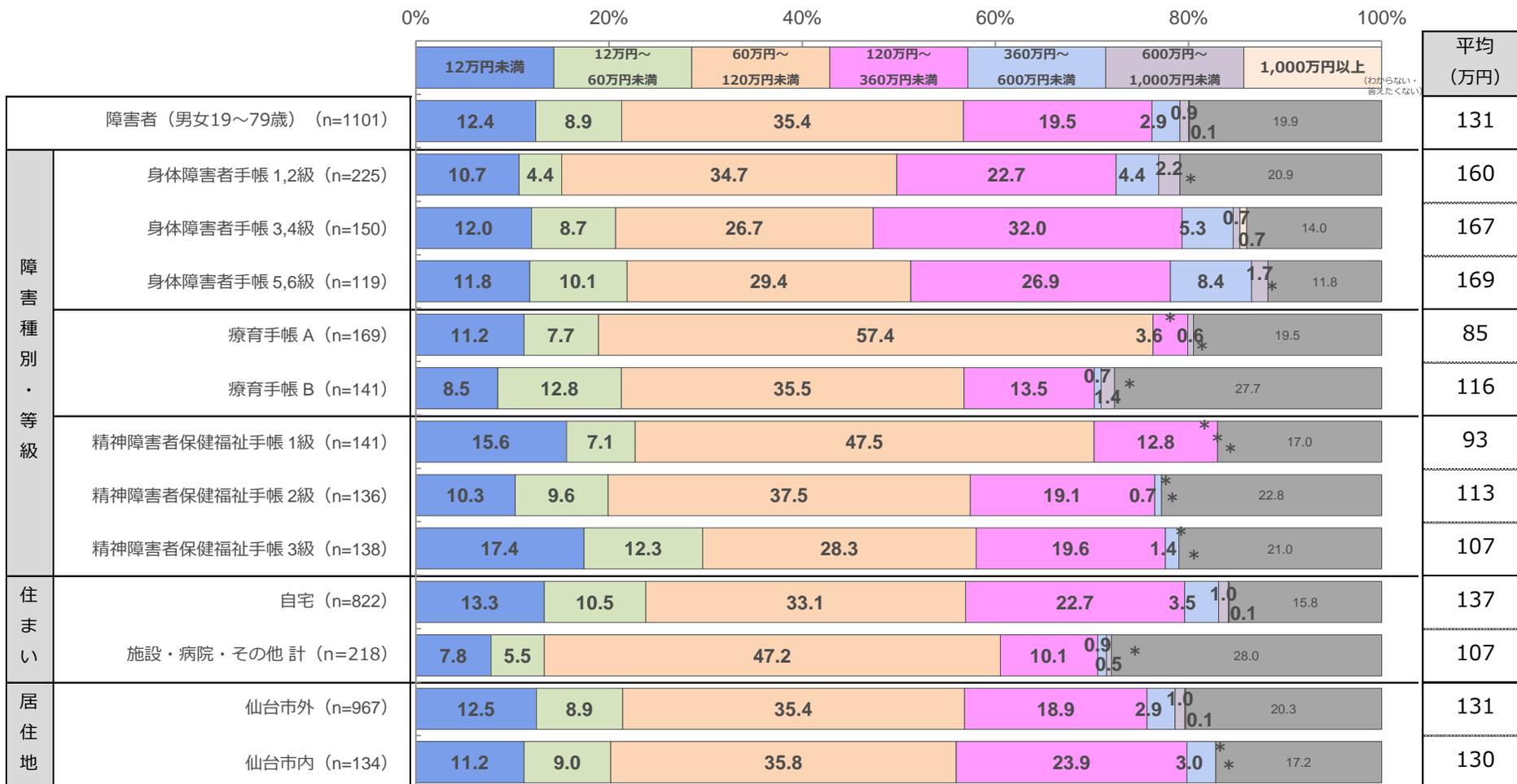
世帯年収について、＜全体＞では、「120～360万円」の割合が約3割で最も高い。平均世帯年収は368万円となっている。
 ■年代別にみると、＜障害児＞は＜障害者＞に比べ「360～600万円」、「600～1,000万円」の割合が高く、平均では約150万円上回っている。
 ■障害種別・等級別にみると、＜精神＞は＜身体＞＜療育＞に比べ「～120万円」、「120～360万円」の割合が高く、平均は低い傾向にある。
 ■居住地別にみると、＜仙台市内＞は＜仙台市外＞に比べ「600～1,000万円」の割合が高く、平均では約70万円上回っている。



※ 「全体 (男女0～79歳)」 のスコアはウェイト集計値です。

I-3.収入 B.本人の年収(障害者)

本人の年収について、<障害者>では、「60万円～120万円」の割合が35.4%と最も高い。平均年収は131万円となっている。
 ■障害種別・等級別に見ると、<療育><精神>は<身体>に比べ「120～360万円」の割合が低く、平均も低い傾向にある。
 ■住まい別に見ると、<施設・病院>は<自宅>に比べ「120～360万円」の割合が低く、平均で30万円下回っている。
 ■居住地別に見て、大きな差はみられない。

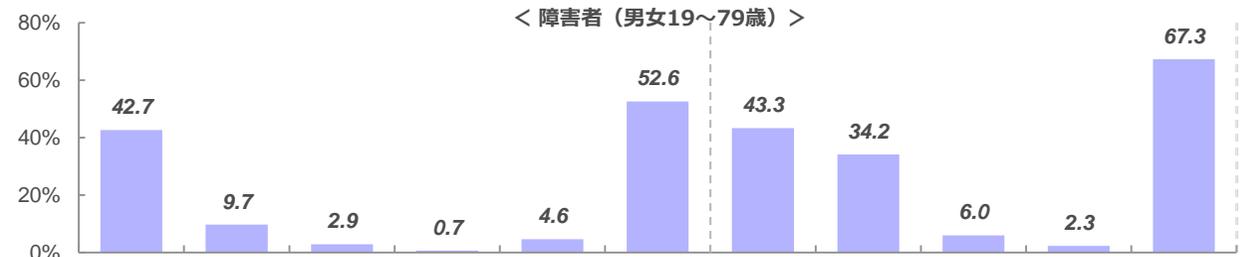


I-3.収入 C. 収入種別(障害者)

収入種別について、＜障害者＞では「障害に関する年金」が43.3%と最も高く、次いで「給与・工賃」、「障害に関係しない年金」の順となっている。
 ■ 障害種別・等級別にみると、「給与・工賃」のスコアは等級が低いほど高くなる傾向となっている。反対に「障害に関する年金」のスコアは等級が高いほど高くなる傾向となっている。
 ■ 住まい別にみると、「給与・工賃」のスコアは＜自宅＞の方が高く、「障害に関する年金」のスコアは＜施設・病院＞の方が高い。
 ■ 居住地別にみると、「障害に関する年金」のスコアは＜仙台市外＞の方が高く、「生活保護」は＜仙台市内＞の方が高くなっている。

※ 「障害者」のスコアが高い順に並べ替え

※ 複数回答



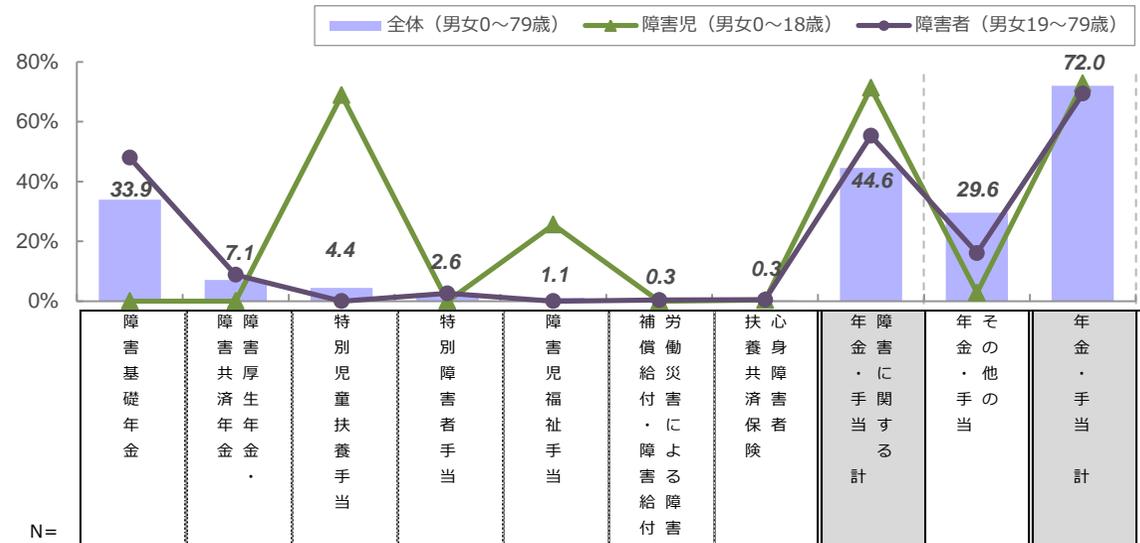
		n=	給与・工賃	営業による収入	財産収入	仕送り	その他	収入計	障害年金	障害年金	生活保護	その他	年金・手当計	収入からはない
障害者 (男女19~79歳)		1,101	42.7	9.7	2.9	0.7	4.6	52.6	43.3	34.2	6.0	2.3	67.3	11.9
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	225	33.8	10.2	2.2	0.9	4.4	44.4	46.7	30.2	3.6	5.8	66.2	16.4
	身体障害者手帳 3,4級	150	49.3	10.7	5.3	*	5.3	62.0	28.0	42.0	2.7	2.0	63.3	9.3
	身体障害者手帳 5,6級	119	56.3	11.8	1.7	1.7	4.2	67.2	14.3	36.1	2.5	1.7	48.7	9.2
	療育手帳 A	169	34.9	9.5	4.7	*	3.0	43.8	71.6	26.6	0.6	6.5	79.3	14.8
	療育手帳 B	141	49.6	10.6	1.4	0.7	2.8	57.4	58.9	29.8	5.7	2.1	73.8	10.6
	精神障害者保健福祉手帳 1級	141	32.6	12.1	3.5	*	3.5	42.6	59.6	46.1	4.3	0.7	78.7	9.2
	精神障害者保健福祉手帳 2級	136	41.9	6.6	2.2	*	5.1	50.7	58.1	27.2	10.3	0.7	72.1	10.3
精神障害者保健福祉手帳 3級	138	47.1	7.2	2.2	2.2	7.2	55.8	20.3	36.2	17.4	1.4	60.9	13.0	
住まい	自宅	822	49.5	11.9	3.3	0.9	5.0	60.6	39.1	38.7	5.5	2.8	66.7	7.3
	施設・病院・その他計	218	23.9	2.8	1.8	*	4.6	29.8	59.6	20.6	7.3	0.9	72.0	23.4
居住地	仙台市外	967	42.8	10.7	2.9	0.8	4.9	53.4	44.2	34.0	4.8	2.5	67.2	11.8
	仙台市内	134	41.8	3.0	3.0	*	3.0	47.0	37.3	35.1	14.9	0.7	67.9	12.7

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

I-3.収入 D.公的年金・手当

公的年金・手当について、＜全体＞では「障害基礎年金」が33.9%と最も高く、次いで「その他の年金・手当」が29.6%となっている。
 ■年代別にみると、＜障害児＞では「特別児童扶養手当」が約7割と最も高く、＜障害者＞では、「障害基礎年金」が約5割と最も高くなっている。
 ■障害種別・等級別にみると、＜身体1,2級＞＜身体3,4級＞と＜療育＞では「特別児童扶養手当」のスコアが最も高く、＜精神1,2級＞では「障害基礎年金」が最も高くなっている。
 ■住まい別にみると、＜自宅＞では「特別児童扶養手当」や「障害児福祉手当」のスコアが高く、＜施設・病院＞では「障害基礎年金」が6割を超え高くなっている。
 ■居住地別にみると、＜仙台市内＞は＜仙台市外＞に比べ「障害基礎年金」のスコアが低くなっている。

※ 複数回答
 ※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		障害基礎年金	障害厚生年金	特別児童扶養手当	特別障害者手当	障害児福祉手当	補償労働給付書による給付書	扶養共済保険	年金・手当に関する計	その他の年金・手当	年金・手当計	わからない	
全体 (男女0~79歳)	1,910	33.9	7.1	4.4	2.6	1.1	0.3	0.3	44.6	29.6	72.0	28.0	
年代	障害児 (男女0~18歳)	-	-	68.9	-	25.6	-	0.4	71.3	2.8	72.8	27.2	
	障害者 (男女19~79歳)	48.0	8.8	-	2.6	-	0.4	0.5	55.3	16.1	69.4	30.6	
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	30.1	5.8	41.9	3.6	29.2	0.2	0.4	77.5	7.6	83.5	16.5
	身体障害者手帳 3,4級	282	12.8	4.3	26.2	0.4	3.2	0.4	0.7	43.6	20.6	62.1	37.9
	身体障害者手帳 5,6級	166	8.4	1.8	5.4	1.2	3.6	0.6	*	18.1	21.7	39.8	60.2
	療育手帳 A	450	32.7	0.9	51.1	4.0	30.0	*	0.4	88.2	2.7	88.9	11.1
	療育手帳 B	373	27.1	1.1	43.2	0.3	3.5	*	0.5	71.8	4.0	74.3	25.7
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	61.7	9.4	4.0	1.3	1.3	0.7	*	72.5	10.1	79.9	20.1
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	50.0	13.3	7.8	*	*	0.6	*	65.1	6.0	69.9	30.1
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	11.0	14.9	4.5	*	*	*	1.3	30.5	18.8	46.8	53.2
住まい	自宅	1,584	21.1	5.2	33.3	1.6	12.5	0.2	0.4	60.2	10.8	69.4	30.6
	施設・病院・その他計	248	64.5	5.2	7.3	1.2	2.8	0.4	0.4	75.4	8.1	80.2	19.8
居住地	仙台市外	1,584	29.4	5.6	28.9	1.8	10.2	0.3	0.4	63.8	10.8	72.9	27.1
	仙台市内	326	19.0	2.8	30.4	0.3	14.1	*	0.3	53.7	8.9	60.7	39.3

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。 各サンプル区分における・・・ 上位1位: (Dark Red) 上位3位以内: (Light Red) 上位5位以内: (Light Purple)

I-3.収入 E.公的年金、手当で困っていること

公的年金・手当で困っていることは、＜全体＞では「障害の程度が軽いと判断され公的年金や手当が支給されない」が15.4%と最も高く、次いで「制度がわからない」、
「手続きがわからない・面倒である」の順となっている。

■年代別にみると、＜障害者＞のスコアは＜全体＞と同じ傾向だが、＜障害児＞では「制度が分からない」、「手続きがわからない・面倒である」のスコアが約1割高めとなっている。

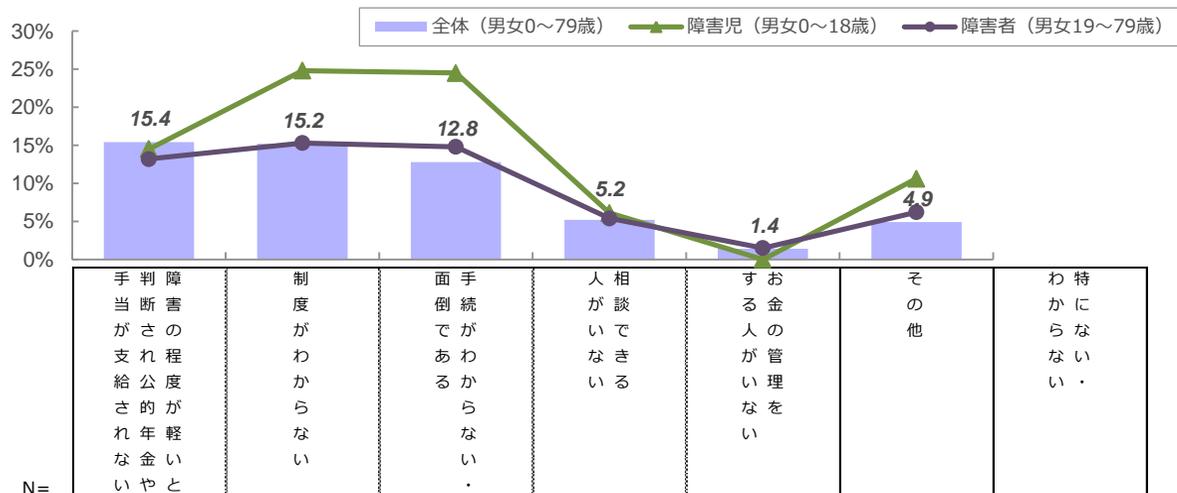
■障害種別・等級別にみると、等級が低い程、「障害の程度が軽いと判断され公的年金や手当が支給されない」のスコアが高くなる傾向となっている。

■住まい別にみると、＜全体＞と比べ、＜自宅＞では「制度がわからない」や「手続きがわからない・面倒である」が高め、＜施設・病院＞では「障害の程度が軽いと判断され公的年金や手当が支給されない」が低めとなっている。

■居住地別にみて、大きな差はみられない。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		1,910	15.4	15.2	12.8	5.2	1.4	4.9	62.4
年 代	全体 (男女0~79歳)	1,910	15.4	15.2	12.8	5.2	1.4	4.9	62.4
	障害児 (男女0~18歳)	809	14.5	24.8	24.5	6.1	-	10.6	44.0
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	13.2	15.3	14.8	5.4	1.5	6.2	62.5
障 害 種 別 ・ 等 級	身体障害者手帳 1,2級	449	6.9	13.4	18.0	4.5	0.4	7.6	62.8
	身体障害者手帳 3,4級	282	21.6	19.5	17.4	6.0	0.7	9.2	48.9
	身体障害者手帳 5,6級	166	25.3	22.9	14.5	5.4	*	7.8	46.4
	療育手帳 A	450	3.3	14.4	18.0	3.6	0.2	9.1	63.8
	療育手帳 B	373	14.5	26.5	21.7	7.0	1.1	5.4	49.9
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	6.0	15.4	20.1	7.4	1.3	8.7	59.1
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	15.1	21.7	19.9	8.4	1.8	11.4	53.0
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	26.0	18.8	19.5	3.9	3.2	8.4	49.4
住 ま い	自宅	1,584	14.7	20.5	20.4	6.1	0.9	9.0	50.9
	施設・病院・その他 計	248	6.0	14.1	10.9	2.4	1.2	2.8	75.8
居 住 地	仙台市外	1,584	13.4	19.5	18.7	5.4	1.0	7.2	55.5
	仙台市内	326	15.0	18.7	19.9	6.7	0.3	12.3	50.6

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

調査結果の詳細



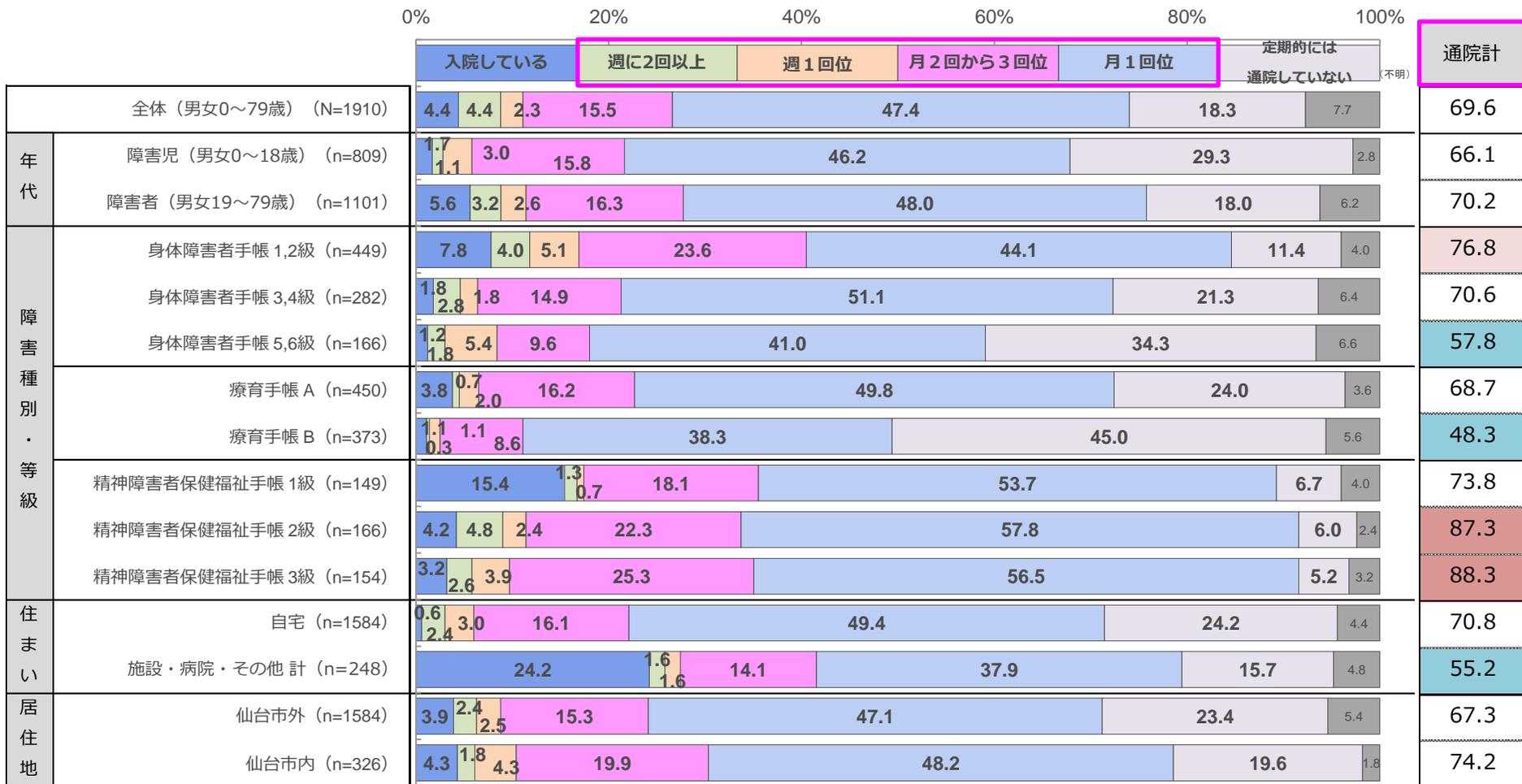
Ⅱ. 医療および福祉サービスの利用状況

※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果（ウェイト集計値）です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

II-1. 医療サービスの利用状況 A. 医療機関への通院状況

医療機関への通院状況について、<全体>では、「月1回位」の割合が47.4%と最も高く、次いで「月2回から3回位」が15.5%。約7割の人が通院している。
 ■年代別にみると、<障害者>は「入院している」、「通院計」ともに<障害児>に比べて高くなっている。
 ■障害種別・等級別にみると、いずれの障害種別においても等級が高いほど「入院している」のスコアが高い傾向となっている。
 特に、<精神1級>では「入院している」が15.4%を占めている。
 ■居住地別にみると、「通院計」は<仙台市内>の方が6.9ポイント高くなっている。



※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

「全体」と比べて...

■ : +10.0%以上

■ : +5.0%以上

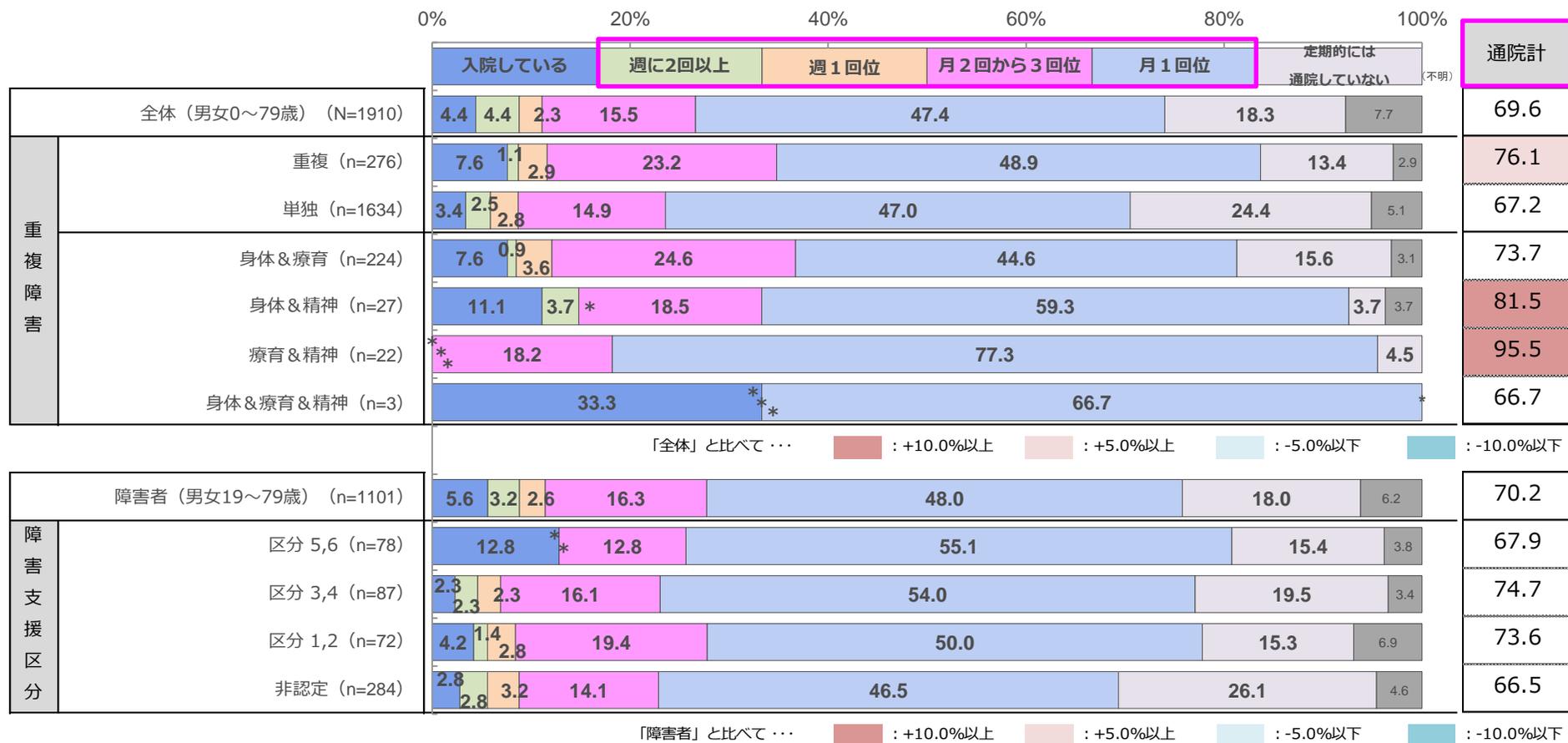
■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

II-1. 医療サービスの利用状況 A. 医療機関への通院状況

- 重複障害別にみると、<重複>は<単独>に比べ「月2回から3回位」の割合が高く、「通院計」は8.9ポイント上回っている。
- 障害支援区分別にみると、<区分5,6>は「通院計」のスコアが他の区分を下回るが、「入院している」は12.8%と高くなっている。

※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。



II-1. 医療サービスの利用状況 B.利用している訓練、リハビリ

利用している訓練、リハビリについて、<全体>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」が14.0%と最も高く、次いで「日常生活の訓練」、「社会生活の訓練」の順となっている。

■年代別にみると、<障害児>は一般的に<障害者>よりスコアが高い傾向にあり、「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」、「発達に関する訓練」、「日常生活の訓練」、「社会生活の訓練」、「聞くこと・話すことなどに関する訓練」が特に高くなっている。

■障害種別・等級別にみると、<身体1,2>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練（42.5%）」のスコアが目立ち、

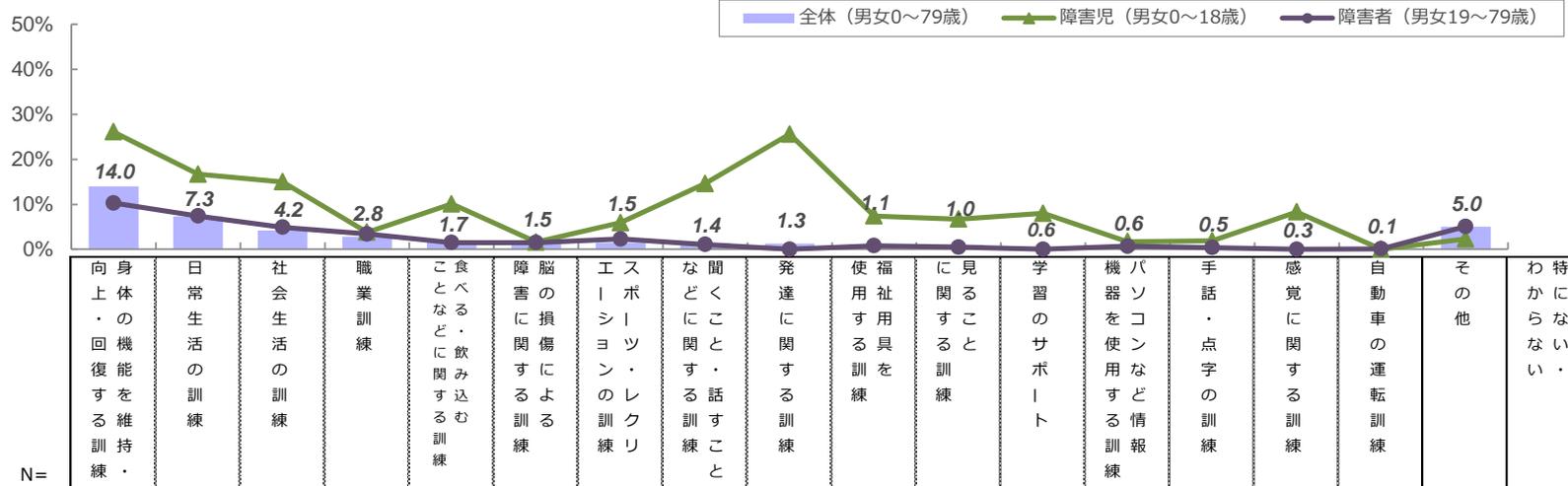
<療育A>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」、「日常生活の訓練」「社会生活の訓練」「発達に関する訓練」がいずれも2割前後と高くなっている。

■住まい別にみると、<自宅>は<施設>に比べ「発達に関する訓練」のスコアが高くなっている。

■居住地別にみると、<仙台市内>は<仙台市外>に比べ「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」、「発達に関する訓練」のスコアが高くなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		1,910	14.0	7.3	4.2	2.8	1.7	1.5	1.5	1.4	1.3	1.1	1.0	0.6	0.6	0.5	0.3	0.1	5.0	72.4
年代	全体 (男女0~79歳)	1,910	14.0	7.3	4.2	2.8	1.7	1.5	1.5	1.4	1.3	1.1	1.0	0.6	0.6	0.5	0.3	0.1	5.0	72.4
	障害児 (男女0~18歳)	809	26.1	16.7	15.0	3.8	10.1	1.6	5.9	14.6	25.6	7.4	6.7	8.0	1.7	1.9	8.3	-	2.3	45.0
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	10.3	7.4	4.9	3.4	1.5	1.5	2.3	1.1	-	0.8	0.5	-	0.7	0.4	-	0.1	5.1	73.8
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	42.5	13.6	7.1	2.9	12.5	1.6	2.0	9.8	13.6	11.4	5.8	2.9	0.9	1.6	5.8	*	1.8	45.0
	身体障害者手帳 3,4級	282	17.4	5.0	3.5	1.4	2.5	1.4	1.1	6.0	6.4	3.9	1.8	2.5	1.1	3.2	1.4	0.4	3.2	70.9
	身体障害者手帳 5,6級	166	15.1	5.4	2.4	*	1.8	*	3.0	8.4	3.6	0.6	1.8	0.6	0.6	0.6	1.8	*	1.2	73.5
	療育手帳 A	450	25.8	22.9	18.9	4.0	10.9	1.3	5.1	10.7	22.7	5.6	5.3	4.7	0.4	0.7	6.9	*	1.8	46.2
	療育手帳 B	373	8.3	11.8	11.3	5.9	4.3	0.8	7.0	8.8	17.2	1.1	3.2	6.7	2.1	*	4.8	*	2.4	64.3
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	8.7	13.4	8.1	5.4	2.0	3.4	8.1	4.0	2.0	1.3	0.7	1.3	1.3	*	0.7	*	8.7	62.4
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	5.4	6.6	7.8	7.2	1.2	3.0	5.4	1.8	3.6	1.2	0.6	3.6	1.2	*	0.6	*	10.2	65.7
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	7.1	5.8	8.4	3.2	1.3	2.6	*	1.9	1.9	0.6	1.9	1.9	2.6	*	0.6	*	7.8	73.4
住まい	自宅	1,584	17.7	10.7	9.2	3.3	4.9	1.5	3.9	7.6	12.6	3.9	3.4	3.9	1.3	1.1	3.9	0.1	4.2	60.5
	施設・病院・その他計	248	13.3	15.3	9.3	4.8	6.5	0.8	4.8	1.6	1.6	2.0	0.4	1.2	*	0.4	1.2	*	1.6	64.9
居住地	仙台市外	1,584	15.5	11.4	9.4	3.7	4.6	1.7	3.9	6.4	9.8	3.7	2.6	3.2	1.3	0.9	3.2	0.1	3.9	62.7
	仙台市内	326	24.2	11.0	8.0	3.1	8.0	0.6	3.7	8.6	15.6	3.4	5.5	4.6	0.6	1.2	4.9	*	4.3	56.4

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

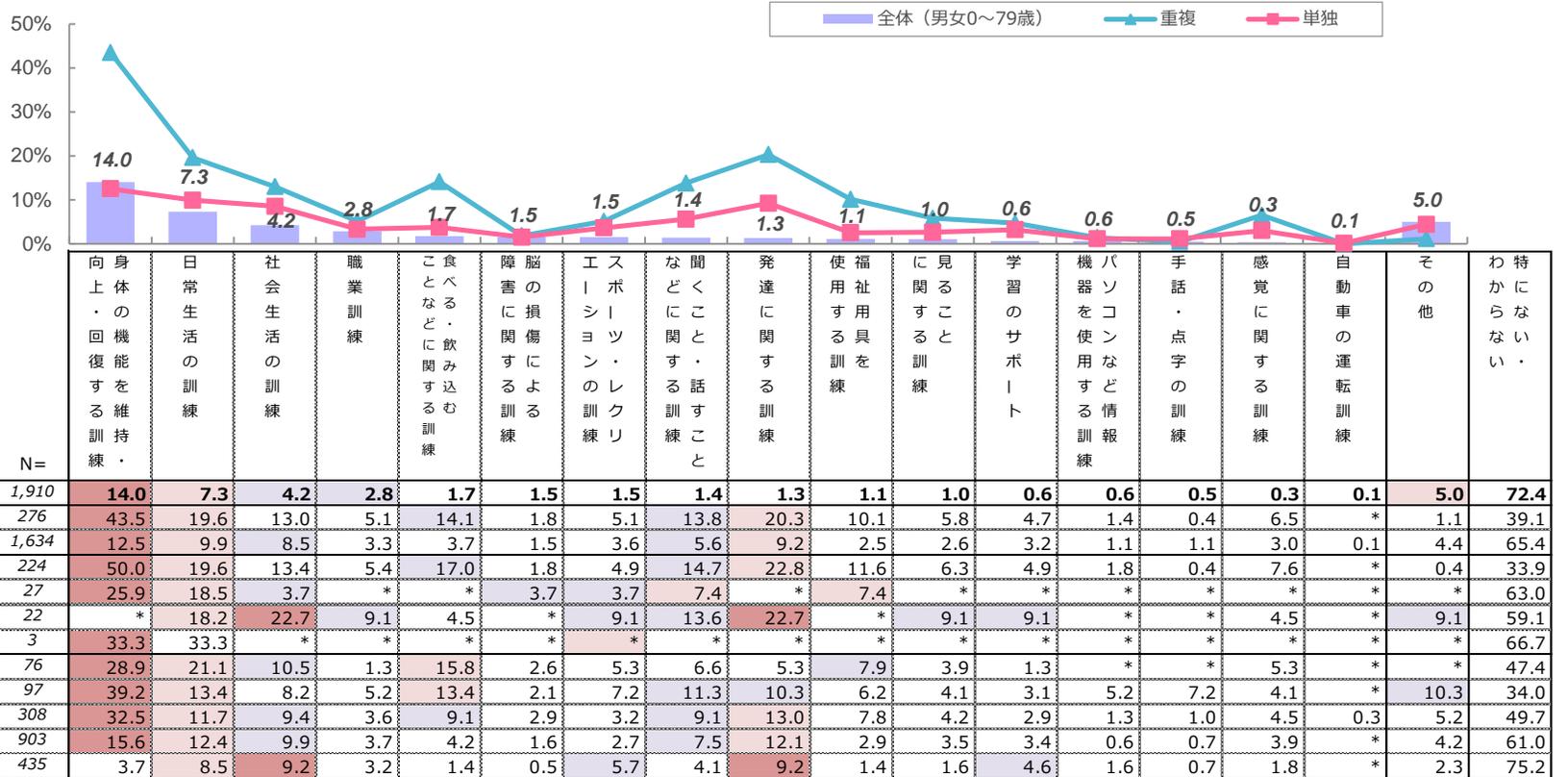
上位3位以内：

上位5位以内：

II-1. 医療サービスの利用状況 B.利用している訓練、リハビリ

- 重複障害別にみると、全般的に<重複>のスコアが<単独>を上回っており、特に、「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」は43.5%と高くなっている。
- 通院状況別にみると、<週に1回以上> <月2回から3回位>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」の利用率が3割を超え高くなっている。
一方、<定期的には通院していない>では「社会生活の訓練」「発達に関する訓練」の利用率が最も高くなっている。
また、「食べる・飲み込むことなどに関する訓練」は通院頻度が高くなるほど、利用率が上がる傾向にある。
- 障害支援区分別にみると、<区分5,6>は「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」や「日常生活の訓練」の利用率が高く、<区分1,2>は他の区分に比べ「職業訓練」の利用率が高い傾向にある。

※ 複数回答
※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



障害	通院状況	N=	スコア																		
			全体 (男女0~79歳)	重複	単独	身体&療育	身体&精神	療育&精神	身体&療育&精神	入院している	週に1回以上	月2回から3回位	月1回位	定期的には通院していない	区分5,6	区分3,4	区分1,2	非認定	その他	わからない	
重複障害	全体 (男女0~79歳)	1,910	14.0	7.3	4.2	2.8	1.7	1.5	1.5	1.4	1.3	1.1	1.0	0.6	0.6	0.5	0.3	0.1	5.0	72.4	
	重複	276	43.5	19.6	13.0	5.1	14.1	1.8	5.1	13.8	20.3	10.1	5.8	4.7	1.4	0.4	6.5	*	1.1	39.1	
	単独	1,634	12.5	9.9	8.5	3.3	3.7	1.5	3.6	5.6	9.2	2.5	2.6	3.2	1.1	1.1	3.0	0.1	4.4	65.4	
	身体&療育	224	50.0	19.6	13.4	5.4	17.0	1.8	4.9	14.7	22.8	11.6	6.3	4.9	1.8	0.4	7.6	*	0.4	33.9	
	身体&精神	27	25.9	18.5	3.7	*	*	3.7	3.7	7.4	*	7.4	*	*	*	*	*	*	*	*	63.0
	療育&精神	22	*	18.2	22.7	9.1	4.5	*	9.1	13.6	22.7	*	9.1	9.1	*	*	4.5	*	9.1	59.1	
通院状況	身体&療育&精神	3	33.3	33.3	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	66.7	
	入院している	76	28.9	21.1	10.5	1.3	15.8	2.6	5.3	6.6	5.3	7.9	3.9	1.3	*	*	5.3	*	*	47.4	
	週に1回以上	97	39.2	13.4	8.2	5.2	13.4	2.1	7.2	11.3	10.3	6.2	4.1	3.1	5.2	7.2	4.1	*	10.3	34.0	
	月2回から3回位	308	32.5	11.7	9.4	3.6	9.1	2.9	3.2	9.1	13.0	7.8	4.2	2.9	1.3	1.0	4.5	0.3	5.2	49.7	
	月1回位	903	15.6	12.4	9.9	3.7	4.2	1.6	2.7	7.5	12.1	2.9	3.5	3.4	0.6	0.7	3.9	*	4.2	61.0	
定期的には通院していない	435	3.7	8.5	9.2	3.2	1.4	0.5	5.7	4.1	9.2	1.4	1.6	4.6	1.6	0.7	1.8	*	2.3	75.2		

障害区分支援	障害者 (男女19~79歳)		スコア																		
	n=	1,101	10.3	7.4	4.9	3.4	1.5	1.5	2.3	1.1	-	0.8	0.5	-	0.7	0.4	-	0.1	5.1	73.8	
	区分5,6	78	30.8	19.2	7.7	*	5.1	*	2.6	1.3	-	1.3	*	-	*	*	-	*	1.3	56.4	
	区分3,4	87	4.6	12.6	9.2	6.9	2.3	*	5.7	*	-	1.1	*	-	*	1.1	-	*	3.4	69.0	
	区分1,2	72	13.9	4.2	8.3	11.1	1.4	1.4	4.2	1.4	-	2.8	1.4	-	1.4	*	-	*	5.6	63.9	
非認定	284	7.4	3.9	1.1	1.1	0.7	0.7	1.4	0.7	-	0.4	*	-	0.7	0.4	-	*	4.6	82.0		

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-1. 医療サービスの利用状況 C.利用したい(して欲しい)訓練、リハビリ

利用したい(して欲しい)訓練、リハビリについて、<全体>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」が14.0%と最も高く、次いで「パソコンなど情報機器を使用する訓練」、「社会生活の訓練」の順となっている。

■年代別にみると、<障害者>は<全体>と同じ傾向だが、<障害児>は全般的にスコアが高く、「発達に関する訓練」、「職業訓練」、「社会生活の訓練」は3割を超えている。

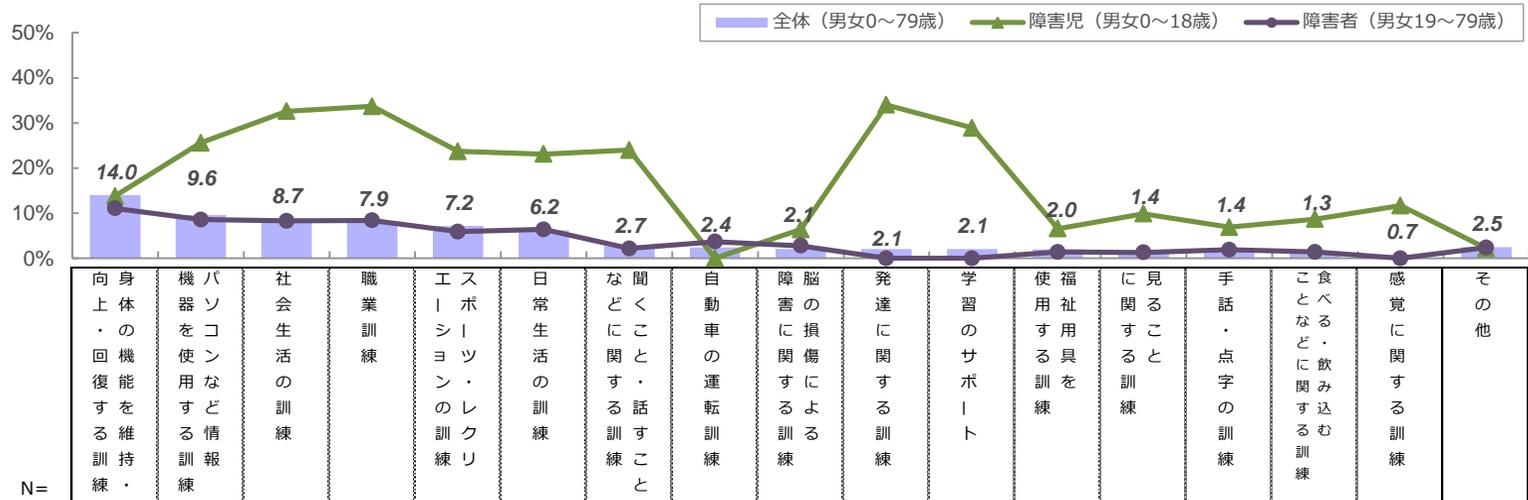
■障害種別・等級別にみると、<身体>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」のスコアが高く、<療育><精神>では「職業訓練」「社会生活の訓練」といった社会とのかかわりに関する項目のスコアが高い。

■住まい別にみると、<施設・病院>は全体と同じ傾向だが、<自宅>は「職業訓練」、「社会生活の訓練」や「パソコンなど情報機器を使用する訓練」のスコアが高い。

■居住地別にみると、全般的に<仙台市内>のスコアは<仙台市外>を上回っている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		14.0	9.6	8.7	7.9	7.2	6.2	2.7	2.4	2.1	2.1	2.1	2.0	1.4	1.4	1.3	0.7	2.5	63.2	
年代	全体 (男女0~79歳)	1,910	14.0	9.6	8.7	7.9	7.2	6.2	2.7	2.4	2.1	2.1	2.1	2.0	1.4	1.4	1.3	0.7	2.5	63.2
	障害児 (男女0~18歳)	809	13.8	25.6	32.6	33.7	23.7	23.1	24.0	*	6.4	34.0	28.9	6.6	9.9	6.9	8.7	11.7	2.2	27.7
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	11.1	8.6	8.3	8.4	5.9	6.4	2.2	3.7	2.8	-	-	1.4	1.3	1.9	1.4	-	2.4	64.8
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	21.4	13.6	13.1	14.0	10.0	15.8	11.1	0.9	4.7	15.4	11.4	7.3	6.5	3.8	7.8	6.5	1.8	46.3
	身体障害者手帳 3,4級	282	15.2	15.2	11.3	12.8	11.0	11.0	9.6	1.4	5.0	9.2	9.6	3.2	2.8	5.3	2.1	2.5	1.1	52.5
	身体障害者手帳 5,6級	166	16.3	12.7	7.8	9.6	6.6	6.6	9.6	1.8	3.0	7.8	7.2	2.4	3.0	7.8	2.4	1.2	1.8	59.6
	療育手帳 A	450	16.4	12.7	28.7	22.0	17.3	26.7	19.6	*	4.7	29.1	14.0	5.6	8.7	3.8	9.8	9.1	1.1	36.9
	療育手帳 B	373	8.8	24.7	29.2	33.8	20.1	12.9	16.1	1.6	4.0	22.8	25.7	3.2	6.7	3.5	4.6	9.1	2.4	44.2
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	6.0	12.8	15.4	16.1	11.4	12.8	4.7	4.7	8.7	0.7	1.3	0.7	1.3	3.4	2.0	0.7	4.7	53.7
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	4.2	18.1	22.9	19.9	15.1	8.4	4.8	6.6	4.8	9.0	10.2	*	2.4	1.8	2.4	1.2	4.2	51.8
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	6.5	17.5	13.0	16.2	9.1	4.5	3.2	5.8	3.2	3.2	1.9	1.9	1.3	3.2	*	1.3	3.2	56.5
	住まい	自宅	1,584	12.2	17.7	20.8	21.6	15.1	14.5	12.9	2.1	4.7	16.9	14.4	4.0	5.5	4.7	4.7	5.7	2.4
施設・病院・その他計		248	13.7	6.5	8.9	7.7	5.6	8.5	4.8	2.0	2.4	2.8	2.0	2.0	2.4	1.2	4.4	2.0	1.6	67.7
居住地	仙台市外	1,584	11.9	15.3	17.8	19.3	12.3	12.4	10.5	2.2	4.0	12.9	11.0	3.2	4.5	3.7	3.9	4.3	2.2	50.4
	仙台市内	326	14.1	18.1	22.4	18.4	19.0	18.7	15.6	1.8	5.8	21.8	18.1	5.5	7.1	5.5	7.4	8.3	2.8	42.6

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

II-1. 医療サービスの利用状況 C.利用したい(して欲しい)訓練、リハビリ

- 重複障害別にみると、<重複>では「発達に関する訓練」が最も高くなっているが、<単独>では「職業訓練」「社会生活の訓練」「パソコンなど情報機器を使用する訓練」が上位となっている。
- 通院状況別にみると、<入院><週1回以上>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」が約2割と最も高いが、通院頻度の低い<月2回から3回位>以下では「社会生活の訓練」「職業訓練」が上位となっている。
- 障害支援区分別にみると、<区分5,6>では「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」が約3割と最も高く、<区分3,4>では「日常生活の訓練」「社会生活の訓練」、<区分1,2>では「社会生活の訓練」「パソコンなど情報機器を使用する訓練」が上位となっている。

※ 複数回答
 ※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		1,910	14.0	9.6	8.7	7.9	7.2	6.2	2.7	2.4	2.1	2.1	2.1	2.0	1.4	1.4	1.3	0.7	2.5	63.2
重複障害	全体 (男女0~79歳)	1,910	14.0	9.6	8.7	7.9	7.2	6.2	2.7	2.4	2.1	2.1	2.1	2.0	1.4	1.4	1.3	0.7	2.5	63.2
	重複	276	23.2	17.4	24.3	20.3	14.1	22.5	15.2	1.1	6.9	25.4	13.4	6.9	7.2	4.0	10.1	8.3	1.1	36.2
	単独	1,634	10.4	15.5	17.6	19.0	13.3	12.0	10.8	2.3	3.9	12.5	12.1	3.0	4.5	4.0	3.5	4.4	2.5	51.2
	身体&療育	224	26.3	16.5	24.1	21.0	15.2	25.0	15.6	*	6.3	30.4	14.7	8.0	8.0	4.0	11.6	9.8	*	33.0
	身体&精神	27	14.8	14.8	14.8	7.4	7.4	11.1	14.8	7.4	14.8	*	3.7	*	3.7	3.7	*	*	3.7	55.6
	療育&精神	22	*	31.8	36.4	31.8	13.6	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	9.1	4.5	9.1	40.9
通院状況	身体&療育&精神	3	33.3	*	33.3	*	*	33.3	33.3	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	66.7
	入院している	76	19.7	6.6	10.5	11.8	6.6	11.8	9.2	1.3	2.6	3.9	2.6	2.6	3.9	*	9.2	5.3	2.6	50.0
	週に1回以上	97	18.6	14.4	13.4	16.5	13.4	11.3	17.5	2.1	6.2	12.4	8.2	9.3	5.2	7.2	4.1	8.2	5.2	50.5
	月2回から3回位	308	12.0	14.3	16.6	17.2	12.7	16.2	12.0	1.9	5.2	15.6	11.7	4.9	5.8	4.2	6.8	6.2	3.2	46.1
	月1回位	903	13.6	17.2	20.7	20.2	15.0	14.8	11.4	2.5	5.0	14.3	13.0	2.4	5.6	4.4	3.8	4.8	1.9	45.6
定期的には通院していない	435	8.7	18.6	21.4	23.0	14.7	11.0	12.0	1.6	2.5	18.4	15.6	4.1	3.9	3.7	4.1	4.8	2.3	51.3	

n=		1,101	11.1	8.6	8.3	8.4	5.9	6.4	2.2	3.7	2.8	-	-	1.4	1.3	1.9	1.4	-	2.4	64.8
障害区分	障害者 (男女19~79歳)	1,101	11.1	8.6	8.3	8.4	5.9	6.4	2.2	3.7	2.8	-	-	1.4	1.3	1.9	1.4	-	2.4	64.8
	区分 5,6	78	28.2	*	5.1	1.3	1.3	12.8	6.4	*	2.6	-	-	1.3	1.3	*	5.1	-	*	59.0
	区分 3,4	87	4.6	3.4	10.3	5.7	4.6	10.3	3.4	1.1	1.1	-	-	*	2.3	2.3	3.4	-	1.1	71.3
	区分 1,2	72	6.9	13.9	15.3	8.3	9.7	4.2	*	1.4	*	-	-	*	1.4	*	*	-	2.8	62.5
非認定	284	14.4	9.2	6.3	6.7	4.9	5.6	*	3.9	2.5	-	-	1.8	1.8	1.1	0.7	-	2.5	64.8	

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

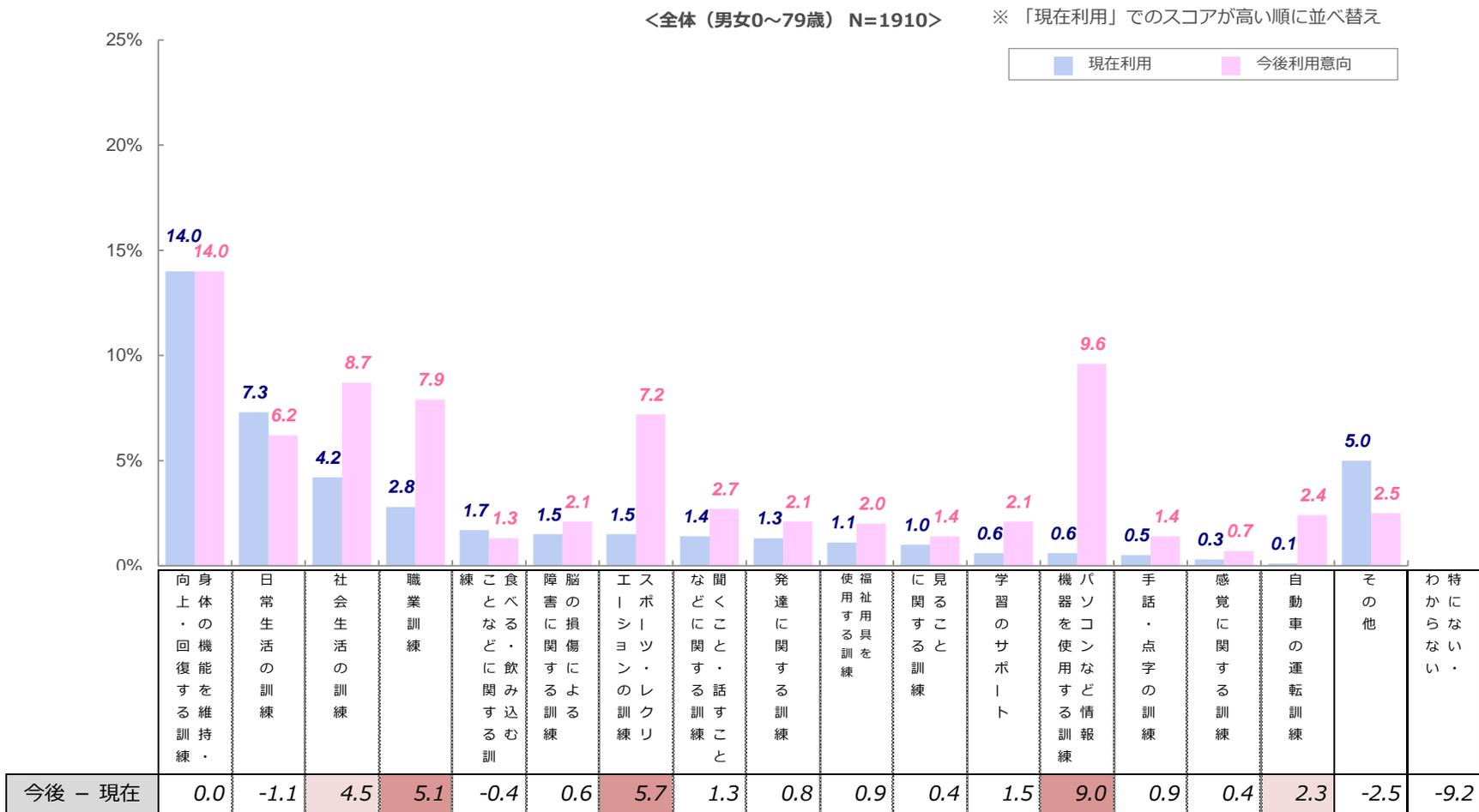
各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

- ・現在利用・今後利用意向ともに「身体の機能を維持・向上・回復する訓練」のスコアが最も高い。
- ・今後利用意向と現在利用の差が最も大きいのは、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」で9.0ポイントの差となっている。
- 次いで「スポーツ・レクリエーションの訓練 (5.7ポイント差)」「職業訓練 (5.1ポイント差)」「社会生活の訓練 (4.5ポイント差)」の差が大きく、今後の充実が望まれている。



※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

：上位3位以内

：上位5位以内

II-1. 医療サービスの利用状況 D.医療機関利用にあたり困っていること

医療機関利用にあたり困っていることについて、〈全体〉では「障害に対応した医療機関が近くにない」「通院のための交通費の負担が大きい」、「医療費の負担が大きい」が2割弱で上位となっている。

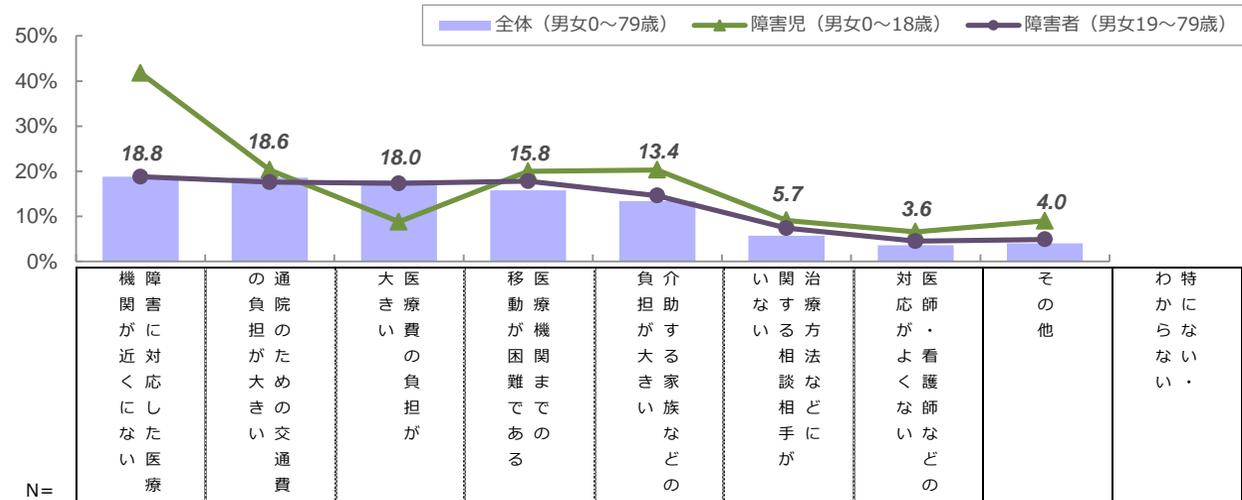
■年代別にみると、〈障害児〉では「障害に対応した医療機関が近くにない」が41.8%と特に高くなっている。

■障害種別・等級別にみると、「障害に対応した医療機関が近くにない」はいずれの種別・等級においても上位となっている。また、「介助する家族などの負担が大きい」は上位の等級ほどスコアが高い傾向がみられる。

■居住地別にみると、〈仙台市外〉は「障害に対応した医療機関が近くにない」が30.9%と高く、〈仙台市内〉と比べ約2倍のスコアとなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



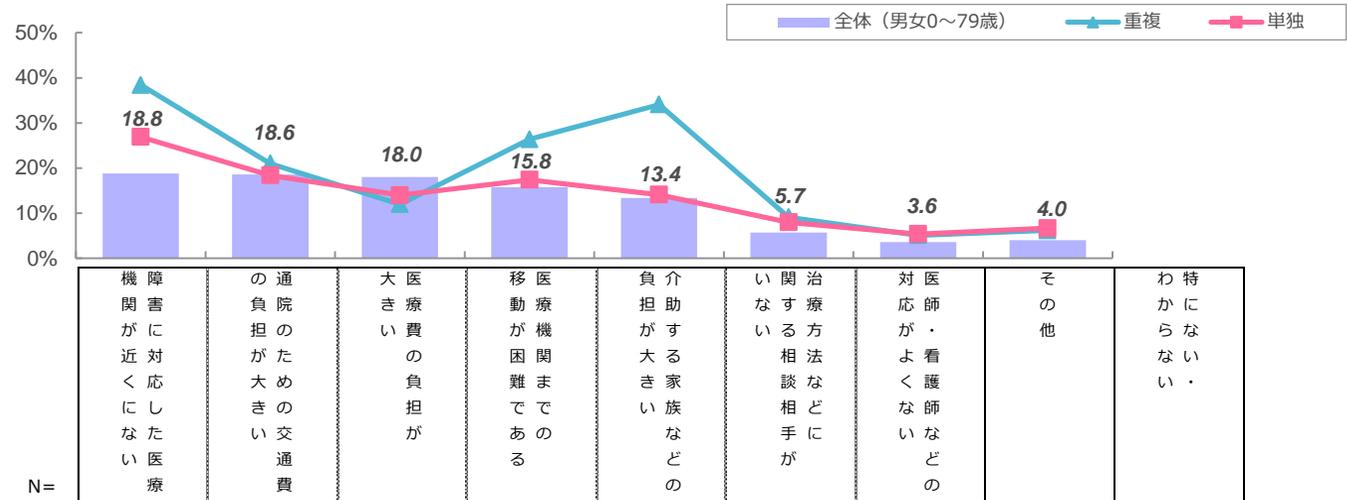
N=		全体 (男女0～79歳)	障害児 (男女0～18歳)	障害者 (男女19～79歳)	その他	わからない					
全体 (男女0～79歳)	1,910	18.8	18.6	18.0	15.8	13.4	5.7	3.6	4.0	47.2	
年代	障害児 (男女0～18歳)	809	41.8	20.3	8.8	20.0	20.3	9.1	6.6	9.0	33.1
	障害者 (男女19～79歳)	1,101	18.8	17.6	17.3	17.8	14.6	7.4	4.5	4.9	46.2
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	34.1	23.2	9.6	24.1	26.9	7.1	4.5	7.8	31.6
	身体障害者手帳 3,4級	282	30.5	19.5	18.1	15.6	11.7	6.7	2.1	5.0	41.5
	身体障害者手帳 5,6級	166	23.5	22.3	22.3	15.7	7.2	6.6	4.2	4.2	45.8
	療育手帳 A	450	35.3	13.8	6.4	21.1	29.8	8.0	6.4	8.9	35.8
	療育手帳 B	373	28.7	13.9	14.5	14.2	12.3	7.5	6.7	3.5	49.9
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	26.8	26.8	23.5	28.9	28.2	11.4	6.7	6.7	32.2
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	21.7	18.7	16.9	20.5	12.0	14.5	7.8	7.8	41.6
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	20.8	24.0	12.3	18.8	8.4	8.4	4.5	8.4	39.6
住まい	自宅	1,584	31.8	19.9	13.5	18.9	17.6	9.0	5.4	7.1	37.2
	施設・病院・その他 計	248	14.1	10.5	14.1	17.3	14.1	4.0	5.6	4.4	58.9
居住地	仙台市外	1,584	30.9	19.6	13.3	19.9	16.5	8.1	5.3	5.9	39.8
	仙台市内	326	16.9	14.7	15.3	13.2	19.3	8.0	5.8	10.1	45.1

※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。各サンプル区分における・・・ 上位1位: (赤) 上位3位以内: (茶) 上位5位以内: (紫)

II-1. 医療サービスの利用状況 D.医療機関利用にあたり困っていること

- 重複障害別にみると、＜重複＞は＜単独＞に比べ「障害に対応した医療機関が近くにない」、「医療機関までの移動が困難である」、「介助する家族などの負担が大きい」のスコアが高く、いずれも10ポイント前後上回っている。
- 通院状況別にみると、＜入院している＞では「介助する家族などの負担が大きい」が最も高くなっているが、他の区分では「障害に対応した医療機関が近くにない」をはじめ通院に関する負担が多くあげられている。
- 障害支援区分別にみると、＜区分5,6＞では「障害に対応した医療機関が近くにない」、「介助する家族などの負担が大きい」が24.4%と最も高くなっている。また、「医療費の負担が大きい」は支援の必要度合いが低い区分ほどスコアが高くなっている。

※ 複数回答
 ※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		機 関 が に 近 く 応 じ ない 医 療	の 通 院 負 担 が た め の 交 通 費	大 き い 費 の 負 担 が	移 動 が 困 難 ま で あ る	負 担 が 大 き い 家 族 な ど の	い じ ゃ ん づ ら い な る 方 法 相 手 が	対 応 が よ く 看 護 師 な ど の	そ の 他	わ け が 不 明 確 な 点	
全体 (男女0~79歳)	1,910	18.8	18.6	18.0	15.8	13.4	5.7	3.6	4.0	47.2	
重 複 障 害	重複	276	38.4	21.0	12.0	26.4	34.1	9.1	5.1	6.2	29.7
	単独	1,634	26.9	18.4	14.0	17.4	14.1	8.0	5.4	6.7	42.5
	身体&療育	224	39.3	18.3	7.1	25.9	36.6	8.0	4.9	6.3	30.4
	身体&精神	27	29.6	29.6	25.9	29.6	25.9	11.1	7.4	7.4	25.9
	療育&精神	22	40.9	31.8	36.4	27.3	13.6	18.2	4.5	*	27.3
身体&療育&精神	3	33.3	66.7	66.7	33.3	66.7	*	*	33.3	33.3	
通 院 状 況	入院している	76	17.1	17.1	27.6	17.1	32.9	5.3	7.9	7.9	39.5
	週に1回以上	97	25.8	21.6	12.4	24.7	17.5	9.3	3.1	11.3	39.2
	月2回から3回位	308	30.2	24.7	15.3	26.0	23.1	10.4	5.8	12.0	30.2
	月1回位	903	31.0	21.3	15.0	20.0	16.9	7.8	4.5	5.4	38.0
	定期的には通院していない	435	26.9	10.6	7.4	11.3	11.3	8.3	7.6	4.4	51.3

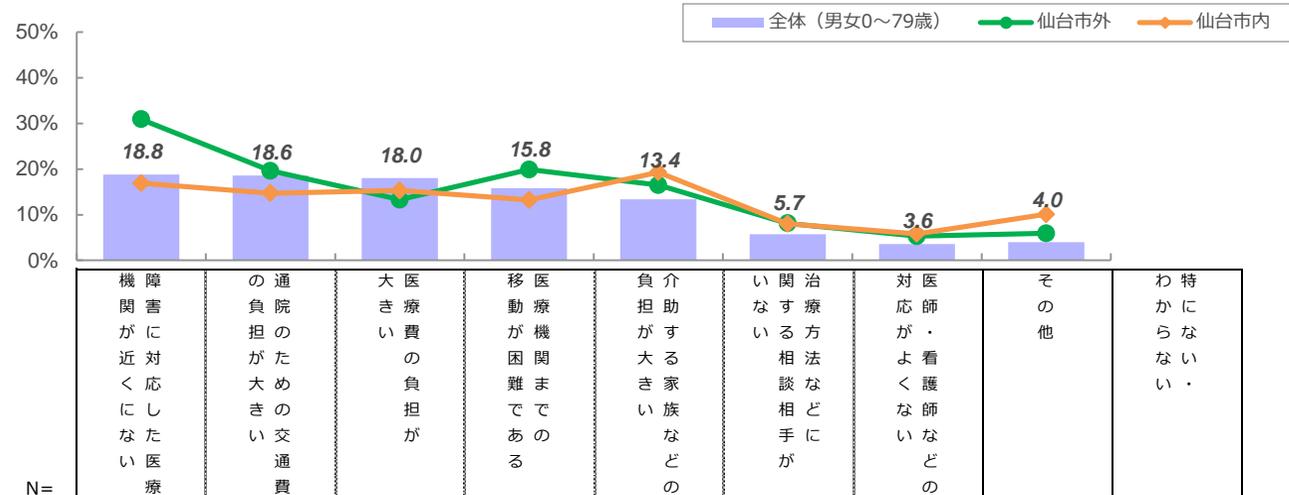
n=		障 害 者 (男女19~79歳)	18.8	17.6	17.3	17.8	14.6	7.4	4.5	4.9	46.2
障 害 区 分 支 援	区分 5,6	78	24.4	5.1	2.6	20.5	24.4	5.1	6.4	3.8	52.6
	区分 3,4	87	14.9	19.5	9.2	16.1	17.2	2.3	3.4	*	60.9
	区分 1,2	72	15.3	18.1	18.1	13.9	11.1	2.8	1.4	2.8	45.8
	非認定	284	20.4	15.5	21.1	14.8	8.5	9.2	3.9	3.2	46.1

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。 各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-1. 医療サービスの利用状況 D.医療機関利用にあたり困っていること

■ 居住エリア別にみると、＜仙台市＞以外のエリアでは＜全体＞と同じく「障害に対応した医療機関が近くにない」が最も高くなっている。一方、＜仙台市＞では「介助する家族などの負担が大きい」が最も高くなっている。また、＜栗原圏域＞＜気仙沼圏域＞では「通院のための交通費の負担が大きい」、＜登米圏域＞では「医療機関までの移動が困難である」がそれぞれ約25%と高くなっている。

※ 複数回答
 ※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		全体 (男女0~79歳)	1,910	18.8	18.6	18.0	15.8	13.4	5.7	3.6	4.0	47.2
居住 エ リ ア 別	仙台市外	1,584	30.9	19.6	13.3	19.9	16.5	8.1	5.3	5.9	39.8	
	仙台市内	326	16.9	14.7	15.3	13.2	19.3	8.0	5.8	10.1	45.1	
	仙南圏域	229	36.7	17.9	12.2	17.5	15.3	11.8	6.1	4.4	36.7	
	仙台市	326	16.9	14.7	15.3	13.2	19.3	8.0	5.8	10.1	45.1	
	仙台圏域	552	25.5	16.8	12.9	20.7	15.9	7.2	6.0	8.5	42.2	
	大崎圏域	254	32.7	18.9	12.2	19.3	14.2	8.3	4.3	5.9	40.6	
	栗原圏域	98	38.8	25.5	21.4	22.4	17.3	10.2	8.2	3.1	31.6	
	登米圏域	122	38.5	21.3	15.6	26.2	15.6	7.4	1.6	3.3	37.7	
	石巻圏域	240	27.5	22.9	12.9	17.5	20.4	5.8	2.9	4.6	42.1	
	気仙沼圏域	89	34.8	24.7	11.2	18.0	20.2	9.0	10.1	4.5	36.0	
	石巻・気仙沼圏域	329	29.5	23.4	12.5	17.6	20.4	6.7	4.9	4.6	40.4	

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-1. 医療サービスの利用状況 E.障害支援区分認定(障害者)

障害支援区分認定について、〈障害者〉では約5割の人が「わからない」と回答。

■障害種別・等級別にみると、〈療育〉では認定の割合が〈身体〉〈精神〉に比べて高い傾向にあり、特に〈療育A〉では「区分5,6」が35.5%を占めている。

■住まい別にみると、〈施設・病院〉は〈自宅〉に比べ認定の割合が高く、「区分3,4」「区分5,6」がそれぞれ2割を超えている。

■居住地別にみると、認定を受けている人のトータル割合は〈仙台市外〉〈仙台市内〉で同程度となっている。



「障害者」と比べて・・・

■ : +10.0%以上

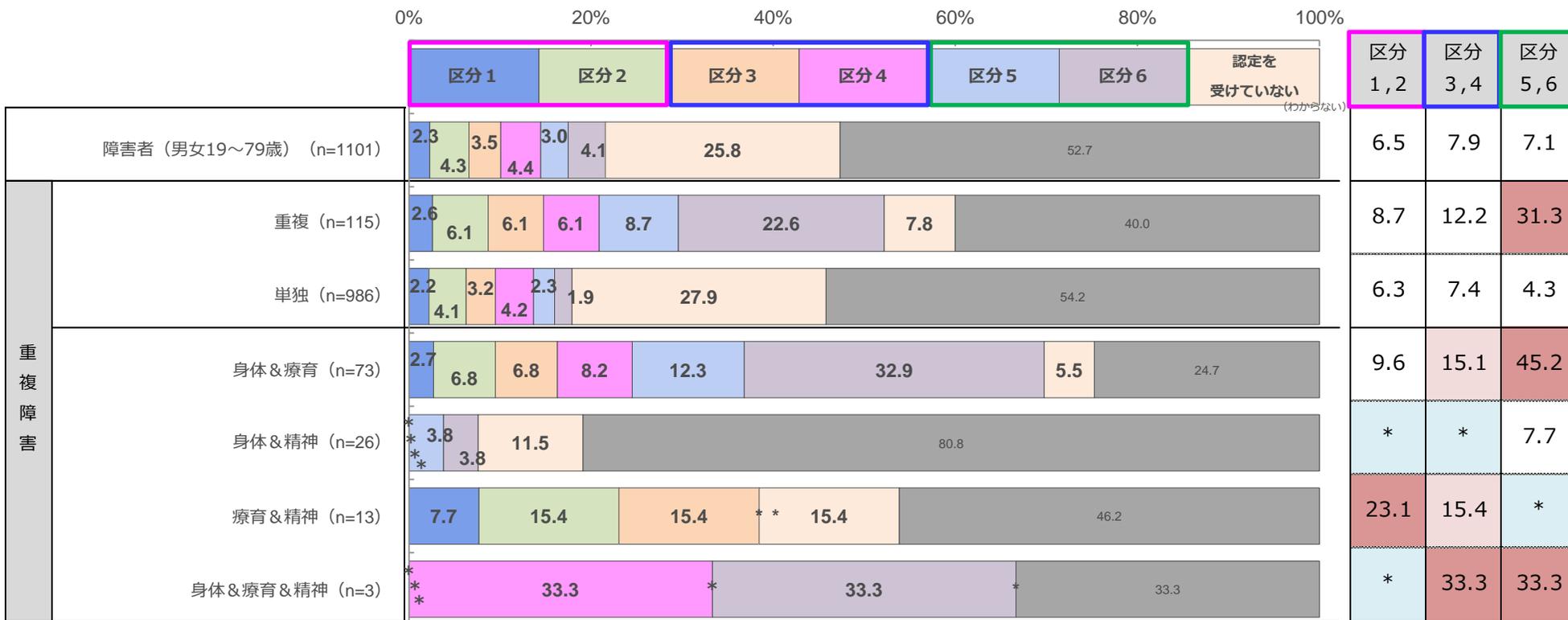
■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

II-1. 医療サービスの利用状況 E.障害支援区分認定(障害者)

■重複障害別にみると、〈重複〉は〈単独〉に比べ各認定区分の割合が高く、「区分5,6」が約3割を占めている。
また、〈身体&療育〉は認定者の割合が特に高く、合計で約7割となっている。



「障害者」と比べて…
■ : +10.0%以上
■ : +5.0%以上
■ : -5.0%以下
■ : -10.0%以下

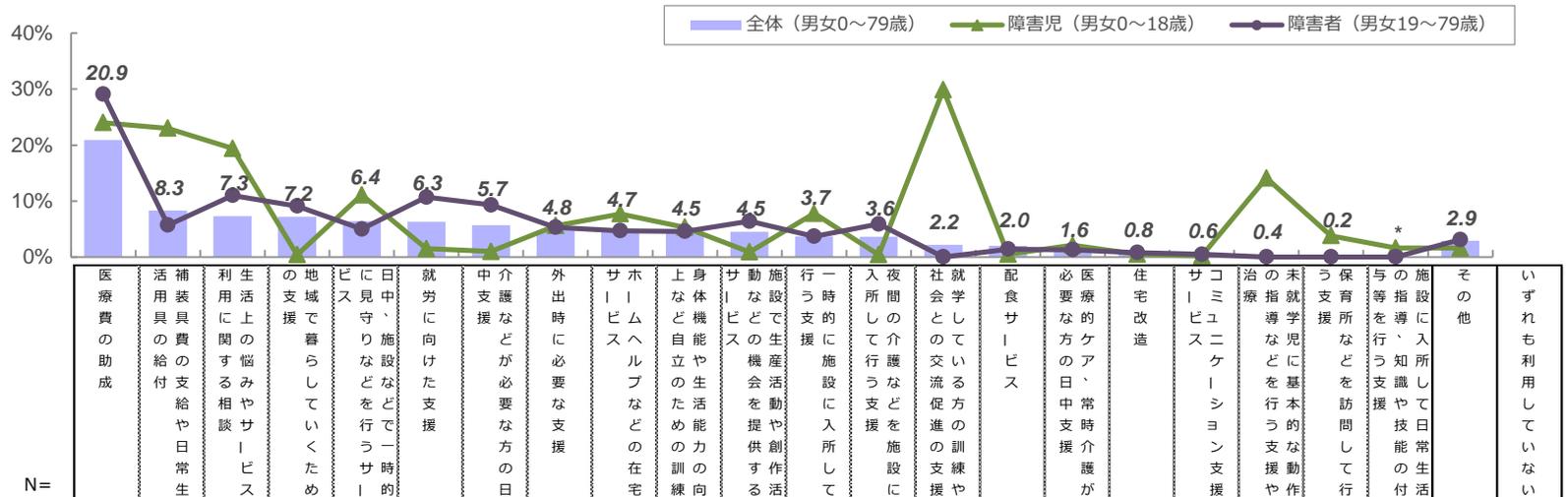
II-2. 福祉サービスの利用状況 A.現在利用している福祉サービス

現在利用している福祉サービスについて、<全体>では「医療費の助成」が20.9%と最も高く、次いで「補装具費の支給や～」、「生活上の悩みや～」の順となっている。

- 年代別にみると、<障害者>は全体と同じく「医療費の助成」が約3割と最も高いが、<障害児>では「就学している方の訓練や～」が最も高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、<身体>では「補装具費の支給や～」が最も高く、次いで「医療費の助成」となっており、それぞれ等級が高いほどスコアも高くなっている。<療育A>では「就学している方の訓練や～」、「医療費の助成」が3割を超えている。<精神>では「医療費の助成」が最も高く、4～5割のスコアとなっている。
- 住まい別にみると、<施設・病院>では「医療費の助成」、「地域で暮らしていく～」、「介護などが必要な方～」がそれぞれ3割前後で特になくなっている。
- 居住地別にみると、<仙台市外><仙台市内>とも「医療費の助成」が最も高い点は共通だが、「補装具費の支給や～」、「未就学児に基本的な～」は<仙台市内>のスコアが高めとなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		医療費の助成	補装具費の支給や日常生活に関する相談	生活上の悩みやサービスの利用に関する相談	地域で暮らしていくための支援	日中、施設などを行うサービ	就労に向けた支援	介護などが必要な方の日	外出時に必要な支援	ホームヘルプなどの在宅	身体機能や生活能力の訓練	サードパーティの機会を提供する	施設での活動や創作活動	一時的に施設に入所して	夜間の介護などを施設に	社会との交流促進の訓練や	就学している方の訓練や	配食サービス	必要なケアの日中支援が	住宅改造	ソーシャルコミュニケーション支援	治療の指導などを行う支援	未就学児に基本的な動作	保育所などを訪問して行	与等を行う支援	施設の指導、知識や技能の付	その他	いずれも利用していない	
年代	全体 (男女0～79歳)	1,910	20.9	8.3	7.3	7.2	6.4	6.3	5.7	4.8	4.7	4.5	4.5	3.7	3.6	2.2	2.0	1.6	0.8	0.6	0.4	0.2	*	2.9	50.1				
	障害児 (男女0～18歳)	809	24.0	23.0	19.4	0.4	11.1	1.5	1.0	5.6	7.7	5.3	0.9	7.8	0.4	29.9	0.5	2.1	0.5	0.2	14.1	3.8	1.6	1.6	1.6	31.1			
	障害者 (男女19～79歳)	1,101	29.1	5.7	11.0	9.1	5.0	10.7	9.3	5.3	4.7	4.6	6.4	3.7	5.9	-	1.4	1.3	0.8	0.5	-	-	-	-	3.1	40.6			
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	33.0	36.1	14.9	3.8	10.5	2.9	8.2	7.1	13.8	9.8	3.8	10.0	5.1	13.4	1.3	5.3	1.6	0.7	9.6	2.7	1.6	2.9	24.5				
	身体障害者手帳 3,4級	282	14.9	17.0	6.4	2.5	2.1	1.8	2.8	1.4	2.8	1.8	2.1	1.1	1.8	6.4	0.7	0.7	0.4	1.1	2.8	0.7	0.4	2.1	54.3				
	身体障害者手帳 5,6級	166	7.8	13.3	7.2	1.8	0.6	2.4	1.2	2.4	1.2	1.8	0.6	0.6	*	4.8	*	0.6	0.6	*	1.8	0.6	0.6	1.8	67.5				
	療育手帳 A	450	32.7	19.1	28.2	7.6	18.9	6.4	13.8	12.4	10.4	6.9	6.2	16.2	10.7	38.0	0.4	3.6	0.9	0.2	9.6	2.2	1.8	2.0	10.7				
	療育手帳 B	373	12.9	4.8	15.3	7.2	5.6	11.3	4.0	2.4	1.6	2.9	3.5	2.1	1.3	13.4	0.3	0.5	*	*	11.0	3.8	*	0.5	45.8				
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	46.3	2.7	11.4	4.7	8.1	7.4	5.4	6.0	6.0	7.4	6.7	6.7	2.7	3.4	2.0	1.3	*	*	*	*	*	*	6.0	34.2			
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	41.0	3.0	13.9	8.4	3.0	16.9	4.8	3.0	8.4	6.0	7.2	2.4	1.2	4.8	1.2	0.6	1.2	0.6	*	*	*	1.2	3.0	26.5			
精神障害者保健福祉手帳 3級	154	51.3	*	15.6	4.5	1.3	7.8	1.3	3.9	3.9	1.9	3.9	*	0.6	1.3	2.6	*	1.3	*	0.6	*	*	*	3.2	30.5				
住まい	自宅	1,584	26.7	14.3	14.3	1.4	8.6	6.4	2.4	4.8	6.4	4.3	3.8	6.3	0.6	15.2	0.6	1.2	0.7	0.4	6.8	1.9	0.2	2.2	38.8				
	施設・病院・その他計	248	31.9	6.5	19.8	29.4	1.6	8.5	28.2	8.5	3.6	8.9	6.0	1.2	22.6	0.4	3.2	4.4	0.4	0.4	1.2	*	3.6	2.8	18.1				
居住地	仙台市外	1,584	26.2	12.1	14.8	5.5	8.3	7.5	6.4	4.9	5.2	4.9	4.5	5.2	4.0	12.4	0.9	1.6	0.7	0.3	5.1	2.0	0.4	2.2	37.1				
	仙台市内	326	30.4	17.8	13.5	4.9	4.3	3.4	2.8	7.7	9.8	4.9	1.8	6.4	1.2	13.8	1.5	1.8	0.6	0.9	10.1	*	1.8	3.7	34.0				

※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

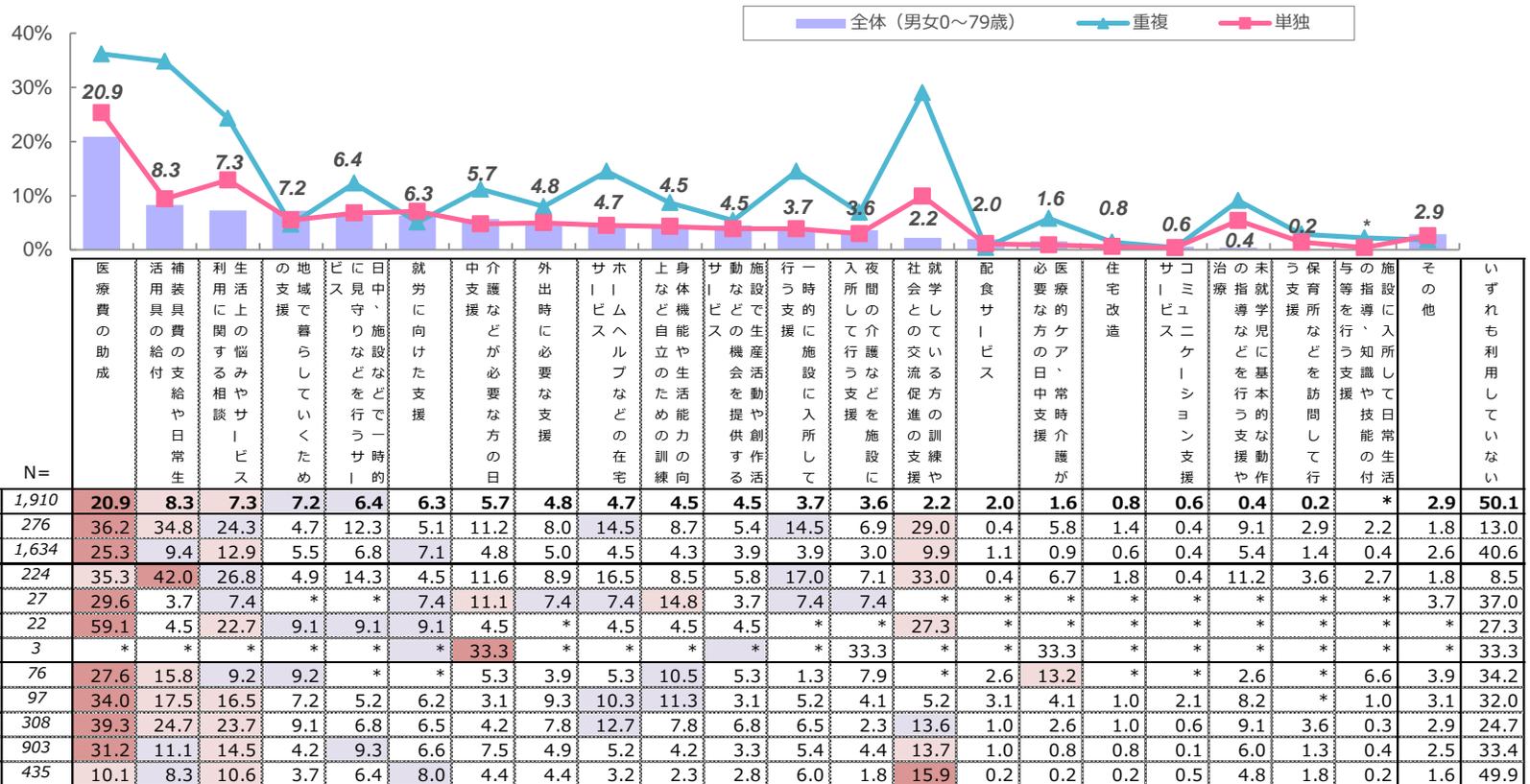
上位5位以内：

II-2. 福祉サービスの利用状況 A.現在利用している福祉サービス

- 重複障害別にみると、＜重複＞は＜単独＞に比べ全般的にスコアが高く、「医療費の助成」、「補装具費の支給や～」、「就学している方の訓練や～」は3割前後となっている。
- 通院状況別にみると、＜定期的には通院していない＞を除く各区分では＜全体＞と同じく「医療費の助成」が最も高い。また、「就学している方の訓練や～」は通院頻度が低くなるほどスコアが高くなる傾向がみられる。
- 障害支援区分別にみると、＜区分5,6＞では「介護などが必要な方の～」が56.4%と特に高く、次いで「夜間の介護などを～（41.0%）」となっている。また、＜区分3,4＞では「地域で暮らしていく～」、「介護などが必要な方の～」が、＜区分1,2＞では「就労に向けた支援」、「地域で暮らしていく～」、「医療費の助成」が上位となっており、それぞれ3割を超えている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



障害状況	N=	スコア																								
		医療費の助成	補装具費の支給や日常生活用品の購入	生活上の悩みや相談	地域で暮らしていくための支援	日中、施設などで一時的に見守りなどを行うサービス	就労に向けた支援	介護などが必要な方の日中支援	外出時に必要な支援	ホームヘルプなどの在宅サービス	身体機能や生活能力の向上など自立のための訓練	施設での生産活動や創作活動などの機会を提供するサービス	一時的に施設に入所して行う支援	夜間の介護などを施設に入所して行う支援	就学している方の訓練や社会との交流促進の支援	配食サービス	医療的ケアの日中支援が必要な方の日中支援	住宅改造	コミュニケーション支援	治療の指導などを行う支援	未就学児に基本的な動作や生活習慣を教える支援	保育所などを訪問して行う支援	与等を行う支援	施設に入所して日常生活の指導や知識の付与	その他	いずれも利用していない
全体 (男女0～79歳)	1,910	20.9	8.3	7.3	7.2	6.4	6.3	5.7	4.8	4.7	4.5	4.5	3.7	3.6	2.2	2.0	1.6	0.8	0.6	0.4	0.2	*	2.9	50.1		
重複障害	重複	276	36.2	34.8	24.3	4.7	12.3	5.1	11.2	8.0	14.5	8.7	5.4	14.5	6.9	29.0	0.4	5.8	1.4	0.4	9.1	2.9	2.2	1.8	13.0	
	単独	1,634	25.3	9.4	12.9	5.5	6.8	7.1	4.8	5.0	4.5	4.3	3.9	3.9	3.0	9.9	1.1	0.9	0.6	0.4	5.4	1.4	0.4	2.6	40.6	
	身体&療育	224	35.3	42.0	26.8	4.9	14.3	4.5	11.6	8.9	16.5	8.5	5.8	17.0	7.1	33.0	0.4	6.7	1.8	0.4	11.2	3.6	2.7	1.8	8.5	
	身体&精神	27	29.6	3.7	7.4	*	*	7.4	11.1	7.4	7.4	14.8	3.7	7.4	7.4	*	*	*	*	*	*	*	*	*	3.7	37.0
	療育&精神	22	59.1	4.5	22.7	9.1	9.1	9.1	4.5	*	4.5	4.5	4.5	*	*	27.3	*	*	*	*	*	*	*	*	27.3	
身体&療育&精神	3	*	*	*	*	*	*	33.3	*	*	*	*	*	33.3	*	*	33.3	*	*	*	*	*	*	*	33.3	
通院状況	入院している	76	27.6	15.8	9.2	9.2	*	5.3	3.9	5.3	10.5	5.3	1.3	7.9	*	2.6	13.2	*	*	2.6	*	6.6	3.9	34.2		
	週に1回以上	97	34.0	17.5	16.5	7.2	5.2	6.2	3.1	9.3	10.3	11.3	3.1	5.2	4.1	5.2	3.1	4.1	1.0	2.1	8.2	*	1.0	3.1	32.0	
	月2回から3回位	308	39.3	24.7	23.7	9.1	6.8	6.5	4.2	7.8	12.7	7.8	6.8	6.5	2.3	13.6	1.0	2.6	1.0	0.6	9.1	3.6	0.3	2.9	24.7	
	月1回位	903	31.2	11.1	14.5	4.2	9.3	6.6	7.5	4.9	5.2	4.2	3.3	5.4	4.4	13.7	1.0	0.8	0.8	0.1	6.0	1.3	0.4	2.5	33.4	
定期的には通院していない	435	10.1	8.3	10.6	3.7	6.4	8.0	4.4	4.4	3.2	2.3	2.8	6.0	1.8	15.9	0.2	0.2	0.2	0.5	4.8	1.8	0.2	1.6	49.9		

障害区分	支援	n=	スコア																									
			医療費の助成	補装具費の支給や日常生活用品の購入	生活上の悩みや相談	地域で暮らしていくための支援	日中、施設などで一時的に見守りなどを行うサービス	就労に向けた支援	介護などが必要な方の日中支援	外出時に必要な支援	ホームヘルプなどの在宅サービス	身体機能や生活能力の向上など自立のための訓練	施設での生産活動や創作活動などの機会を提供するサービス	一時的に施設に入所して行う支援	夜間の介護などを施設に入所して行う支援	就学している方の訓練や社会との交流促進の支援	配食サービス	医療的ケアの日中支援が必要な方の日中支援	住宅改造	コミュニケーション支援	治療の指導などを行う支援	未就学児に基本的な動作や生活習慣を教える支援	保育所などを訪問して行う支援	与等を行う支援	施設に入所して日常生活の指導や知識の付与	その他	いずれも利用していない	
			障害者 (男女19～79歳)	1,101	29.1	5.7	11.0	9.1	5.0	10.7	9.3	5.3	4.7	4.6	6.4	3.7	5.9	-	1.4	1.3	0.8	0.5	-	-	-	-	3.1	40.6
			区分 5,6	78	35.9	16.7	28.2	12.8	11.5	5.1	56.4	19.2	11.5	10.3	12.8	12.8	41.0	-	1.3	7.7	*	*	-	-	-	-	1.3	6.4
			区分 3,4	87	29.9	3.4	27.6	34.5	13.8	17.2	33.3	9.2	2.3	5.7	13.8	12.6	21.8	-	1.1	*	1.1	1.1	-	-	-	-	2.3	10.3
区分 1,2	72	31.9	*	16.7	31.9	6.9	33.3	6.9	13.9	12.5	4.2	13.9	8.3	2.8	-	1.4	*	1.4	*	-	-	-	-	2.8	13.9			
非認定	284	21.1	6.3	4.2	1.1	0.7	4.9	0.7	1.1	0.7	1.1	2.5	0.7	1.4	-	1.1	*	0.4	*	-	-	-	-	2.1	60.9			

※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

II-2. 福祉サービスの利用状況 B. 今後利用したい(して欲しい)福祉サービス

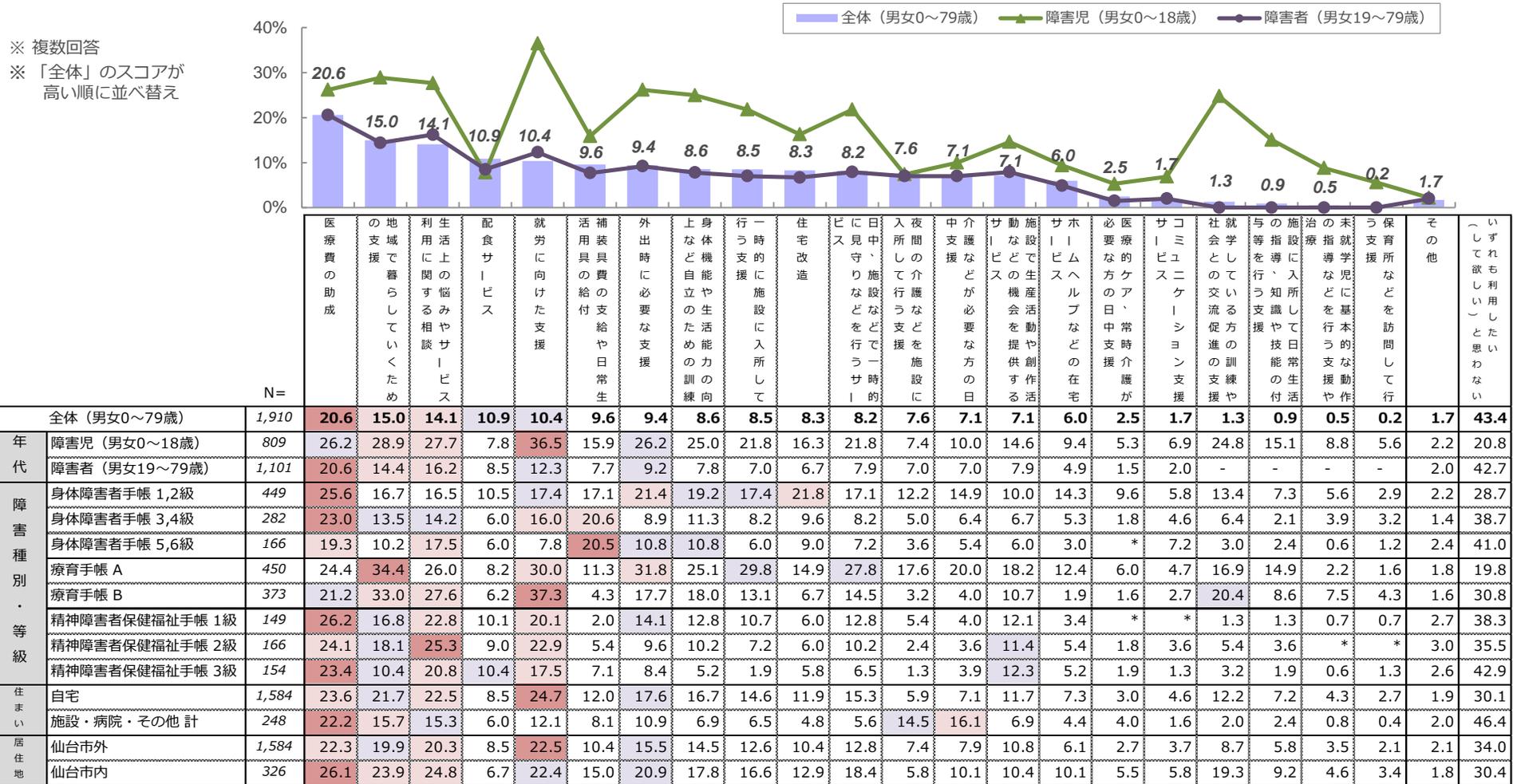
今後利用したい(して欲しい)福祉サービスについて、<全体>では「医療費の助成」が20.6%と最も高く、次いで「地域で暮らしていく～」、「生活上の悩みや～」の順となっている。

■年代別にみると、<障害児>のスコアは全般的に<障害者>を上回り、「就労に向けた支援」が36.5%と最も高くなっている。

■障害種別・等級別にみると、<身体>では「補装具費の支給や～」が2割前後と<療育><精神>に比べ高くなっている。<療育>では「就労に向けた支援」、「地域で暮らしていく～」が3割以上で上位となっている。<精神>では「医療費の助成」、「生活上の悩みや～」、「就労に向けた支援」が2割前後で上位となっている。

■住まい別にみると、<自宅>では「就労に向けた支援」、「医療費の助成」、「生活上の悩みや～」、「地域で暮らしていく～」が2割を超え上位となっている。

■居住地別にみると、<仙台市内>は<仙台市外>に比べ「就学している方の訓練～」、「外出時に必要な支援」、「日中、施設などで一時的に～」が高めとなっている。



※ 複数回答
 ※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え

※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

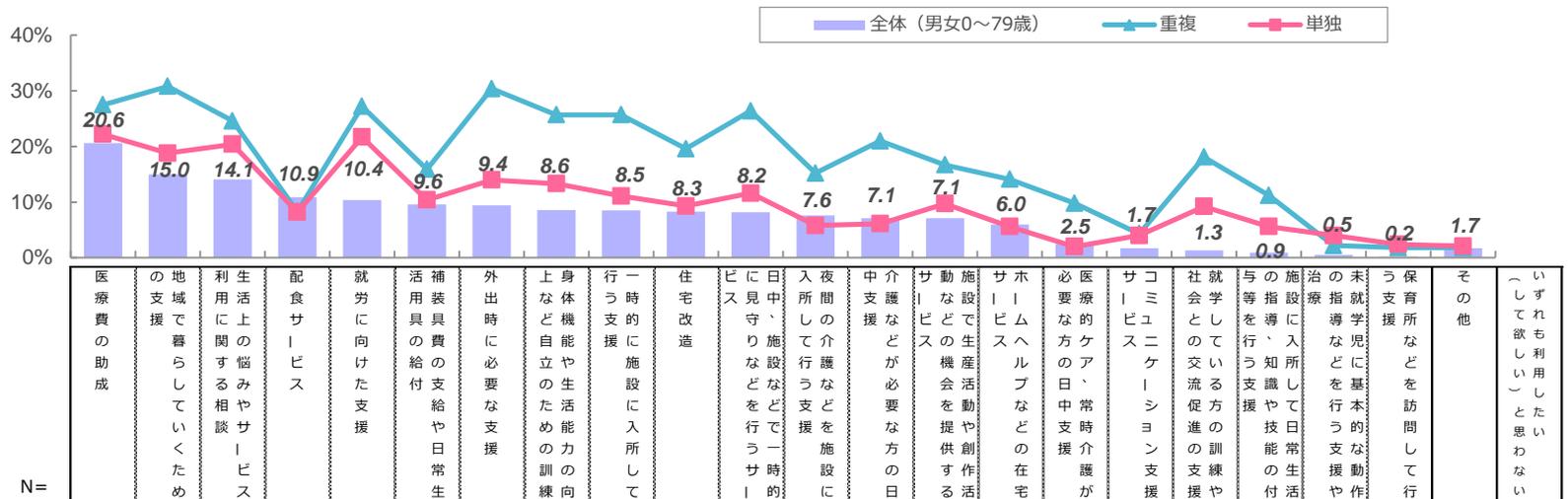
上位5位以内：

II-2. 福祉サービスの利用状況 B. 今後利用したい(して欲しい)福祉サービス

- 重複障害別にみると、<重複>では「地域で暮らしていく～」、「外出時に必要な支援」が3割を超え上位となっている。
- 通院状況別にみると、<入院> <週1回>では「医療費の助成」が約3割と最も高いが、通院頻度が<月2回から3回位>以下では「就労に向けた支援」、「地域で暮らしていく～」、「生活上の悩みや～」など普段の生活に関係する項目も2割前後で上位となっている。
- 障害支援区分別にみると、<区分5,6>では「夜間の介護などを～」、「介護などが必要な方の～」が3割を超え特に高くなっている。<区分3,4> <区分1,2>では「地域で暮らしていく～」、次いで「生活上の悩みや～」となっている。また、「ホームヘルプなどの～」、「就労に向けた支援」、「地域で暮らしていく～」、「日中、施設などで～」、「施設で生産活動や～」は支援の必要度合いが低い区分ほど利用意向が高い傾向となっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=	スコア																								
	医療費の助成	地域で暮らしていくため	生活上の悩みやサービス	配食サービス	就労に向けた支援	補装具の支給や日常生活用具の給付	外出時に必要な支援	身体機能や生活能力の訓練	一時的に施設に入所して	住宅改造	日中、施設などを行うサ	夜間の介護などを施設に	介護などが必要な方の日	施設で生産活動や創作活	ホームヘルプなどの在宅	必要な方の中、常時介護が	社会的な交流促進の訓練や	就学している方の訓練や	指導や知識や技能の付	未就学児に基本的な動作	保育所などを訪問して行	その他	いずれも利用したいと思わない		
全体 (男女0～79歳)	1,910	20.6	15.0	14.1	10.9	10.4	9.6	9.4	8.6	8.5	8.3	8.2	7.6	7.1	7.1	6.0	2.5	1.7	1.3	0.9	0.5	0.2	1.7	43.4	
重複障害	重複	276	27.5	30.8	24.6	8.3	27.2	15.9	30.4	25.7	19.6	26.4	15.2	21.0	16.7	14.1	9.8	4.3	18.1	11.2	2.2	1.8	1.8	18.8	
	単独	1,634	22.2	18.8	20.4	8.2	21.7	10.4	14.0	13.3	11.1	9.3	11.6	5.8	6.1	9.7	5.6	2.0	4.0	9.2	5.6	4.0	2.4	2.1	35.9
	身体&療育	224	26.8	32.6	25.0	7.1	26.3	18.3	33.9	28.1	29.0	22.3	29.5	16.1	23.7	17.4	16.5	11.6	4.5	21.9	12.9	1.8	1.8	1.8	15.2
	身体&精神	27	37.0	18.5	14.8	11.1	18.5	7.4	7.4	14.8	7.4	3.7	3.7	14.8	11.1	7.4	7.4	3.7	7.4	*	*	*	*	3.7	37.0
	療育&精神	22	22.7	27.3	31.8	18.2	50.0	*	22.7	13.6	13.6	13.6	22.7	4.5	4.5	18.2	*	*	*	4.5	9.1	9.1	4.5	*	27.3
身体&療育&精神	3	33.3	33.3	33.3	*	*	33.3	33.3	33.3	33.3	*	33.3	33.3	33.3	33.3	*	*	*	*	*	*	*	*	*	66.7
通院状況	入院している	76	31.6	11.8	13.2	7.9	9.2	14.5	15.8	6.6	17.1	7.9	10.5	13.2	10.5	9.2	5.3	10.5	*	6.6	5.3	3.9	2.6	3.9	39.5
	週に1回以上	97	28.9	15.5	15.5	11.3	18.6	21.6	13.4	19.6	7.2	18.6	13.4	4.1	10.3	8.2	11.3	4.1	6.2	9.3	3.1	3.1	4.1	2.1	24.7
	月2回から3回位	308	23.1	20.8	22.4	12.3	23.4	12.3	18.5	19.2	14.3	19.2	15.3	8.1	12.3	12.0	11.0	6.5	4.9	14.3	6.5	4.2	3.2	2.9	28.2
	月1回位	903	25.4	21.2	23.8	7.9	22.5	10.7	18.1	15.7	13.8	10.1	14.3	7.5	8.3	11.3	6.2	2.7	3.7	10.6	6.4	4.2	2.8	1.7	31.0
定期的には通院していない	435	17.0	23.0	18.6	4.8	28.5	9.4	14.0	13.1	13.1	6.2	12.2	5.3	5.7	10.3	4.1	0.7	5.1	10.1	8.0	3.2	0.9	1.6	38.4	

n=		スコア																								
区分別	障害者 (男女19～79歳)	1,101	20.6	14.4	16.2	8.5	12.3	7.7	9.2	7.8	7.0	6.7	7.9	7.0	7.0	7.9	4.9	1.5	2.0	-	-	-	-	2.0	42.7	
	区分5,6	78	17.9	15.4	21.8	3.8	3.8	12.8	20.5	12.8	12.8	3.8	11.5	32.1	30.8	9.0	3.8	6.4	1.3	-	-	-	-	3.8	33.3	
	区分3,4	87	16.1	28.7	21.8	3.4	16.1	4.6	9.2	8.0	14.9	3.4	13.8	16.1	17.2	10.3	4.6	1.1	1.1	-	-	-	-	*	39.1	
	区分1,2	72	20.8	30.6	23.6	4.2	20.8	2.8	12.5	6.9	12.5	4.2	18.1	4.2	5.6	12.5	11.1	1.4	1.4	-	-	-	-	1.4	30.6	
	非認定	284	22.5	11.3	15.1	10.6	10.2	10.9	5.6	6.7	4.9	12.0	6.7	4.2	4.6	6.7	4.9	0.7	2.8	-	-	-	-	1.8	41.9	

※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

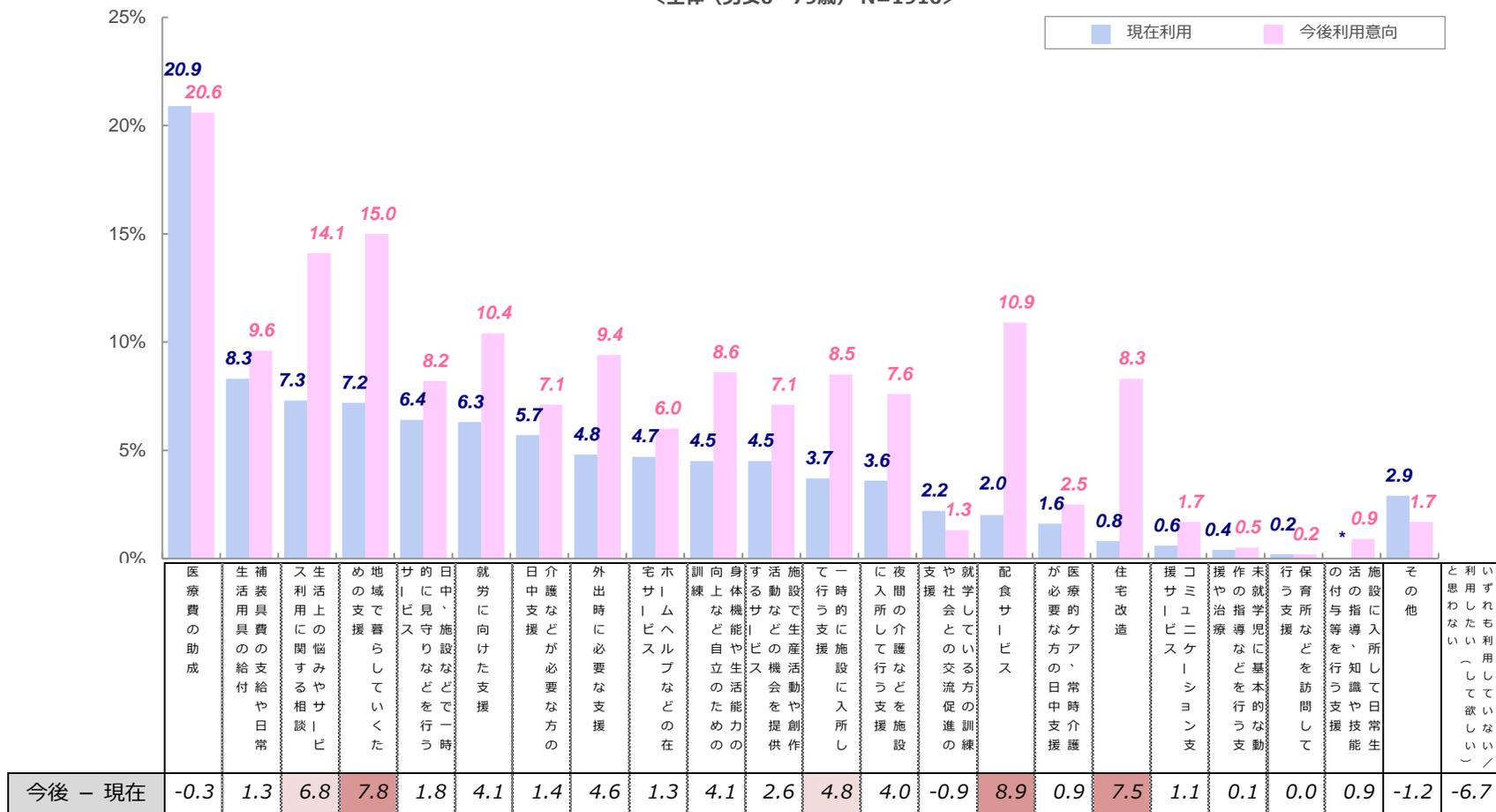
各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-2. 福祉サービスの利用状況 A.利用している／B.利用したい(して欲しい)福祉サービス

- ・現在利用、今後利用意向ともに「医療費の助成」のスコアが最も高くなっている。
- ・今後利用意向と現在利用の差が最も大きいのは「配食サービス」で8.9ポイントの差となっている。次いで「地域で暮らしていくための支援（7.8ポイント差）」、「住宅改造（7.5ポイント差）」、「生活上の悩みやサービス利用に関する相談（6.8ポイント差）」の差が大きく、今後の充実が望まれている。

※ 「現在利用」でのスコアが高い順に並べ替え

<全体（男女0～79歳） N=1910>



※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

：上位3位以内

：上位5位以内

II-2. 福祉サービスの利用状況 C.福祉サービス利用にあたり困っていること

福祉サービス利用にあたり困っていることについて、〈全体〉では「サービス内容に関する情報が少ない」が13.0%と最も高く、次いで「手順が面倒である」、「障害程度や希望に合った〜」の順となっている。

■年代別にみると、〈障害児〉のスコアは全般的に〈障害者〉を上回っており、「サービス内容に関する情報が少ない」、「手順が面倒である」、「障害程度や希望に合った〜」が2割前後で上位となっている。また、「定員がいっぱいで施設に〜」のスコア差が12.1ポイントと大きい。

■障害種別・等級別にみると、〈身体〉では「障害程度や希望に合った〜」、「通いにくい」で等級が高いほどスコアが高くなっている。〈療育A〉では「定員がいっぱいで施設に〜」、〈療育B〉では「サービス内容に関する情報が少ない」が2割を超え最も高くなっている。

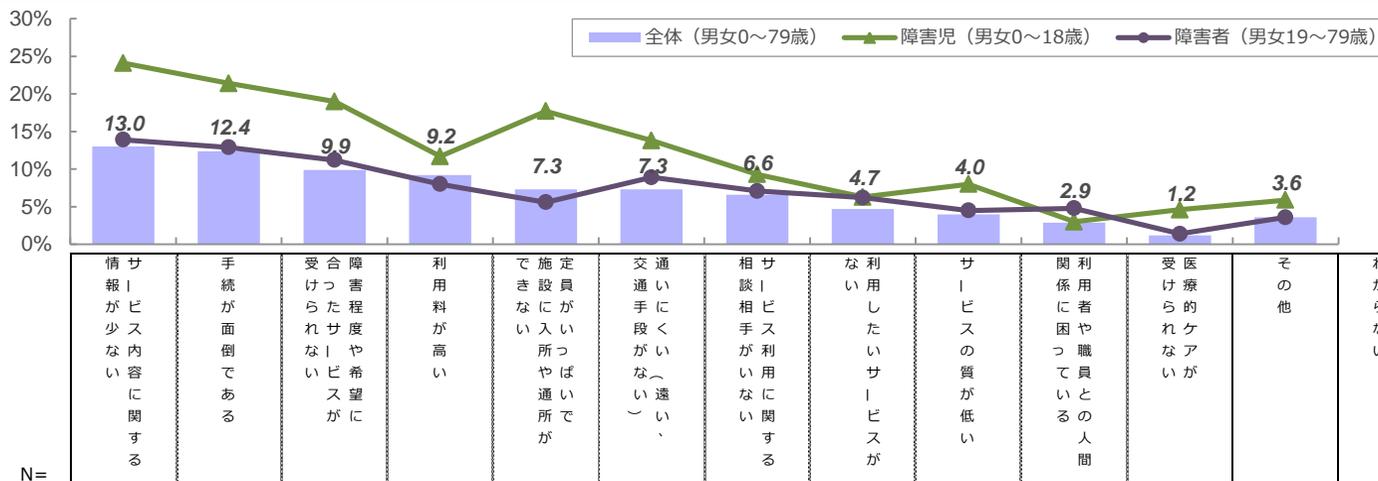
〈精神〉では「手順が面倒である」、「利用料が高い」で等級が高いほどスコアが高い傾向がみられる。

■住まい別にみると、〈施設・病院〉のスコアは〈全体〉を下回っている項目が多く、比較的困り事が少ないことが窺える。

■居住地別にみると、〈仙台市内〉は〈仙台市外〉に比べ「利用料が高い」のスコアが高くなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=

全体 (男女0~79歳)		1,910	13.0	12.4	9.9	9.2	7.3	7.3	6.6	4.7	4.0	2.9	1.2	3.6	60.2
年代	障害児 (男女0~18歳)	809	24.1	21.4	19.0	11.7	17.7	13.8	9.3	6.3	8.0	3.0	4.6	5.9	39.8
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	13.9	12.9	11.2	8.0	5.6	8.9	7.1	6.2	4.5	4.8	1.4	3.6	59.8
	障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	15.1	19.8	15.6	10.7	14.5	13.8	3.8	4.5	8.5	3.3	5.1	4.2
身体障害者手帳 3,4級		282	17.4	14.2	11.0	7.1	5.7	8.9	8.5	5.0	1.8	0.7	1.8	4.3	56.7
身体障害者手帳 5,6級		166	16.9	16.9	10.8	7.2	6.0	6.0	8.4	6.6	2.4	1.2	1.8	4.2	57.8
療育手帳 A		450	18.2	18.9	19.1	12.4	25.1	12.9	6.0	4.2	9.8	4.4	5.1	6.7	40.2
療育手帳 B		373	23.6	19.6	15.0	10.7	10.2	8.8	10.2	6.4	7.0	3.2	1.3	3.8	50.9
精神障害者保健福祉手帳 1級		149	17.4	19.5	19.5	14.8	6.0	17.4	10.1	10.1	7.4	8.7	3.4	4.7	50.3
精神障害者保健福祉手帳 2級		166	19.9	13.3	19.9	9.6	6.0	18.1	16.9	8.4	7.8	11.4	3.6	5.4	48.8
精神障害者保健福祉手帳 3級		154	20.1	11.0	13.0	7.8	5.8	10.4	9.1	11.7	6.5	5.2	*	4.5	56.5
住まい		自宅	1,584	20.5	17.9	15.6	9.7	11.6	11.7	9.0	7.2	6.3	4.0	3.1	5.0
	施設・病院・その他 計	248	7.3	8.9	8.1	9.7	6.0	6.0	2.4	0.8	3.6	3.6	*	2.4	69.8
居住地	仙台市外	1,584	17.6	16.1	14.3	8.6	10.5	11.0	8.1	6.5	5.9	4.1	2.7	4.4	52.3
	仙台市内	326	21.5	18.4	15.6	14.1	12.0	11.0	7.4	4.9	6.1	3.7	2.8	5.8	46.3

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

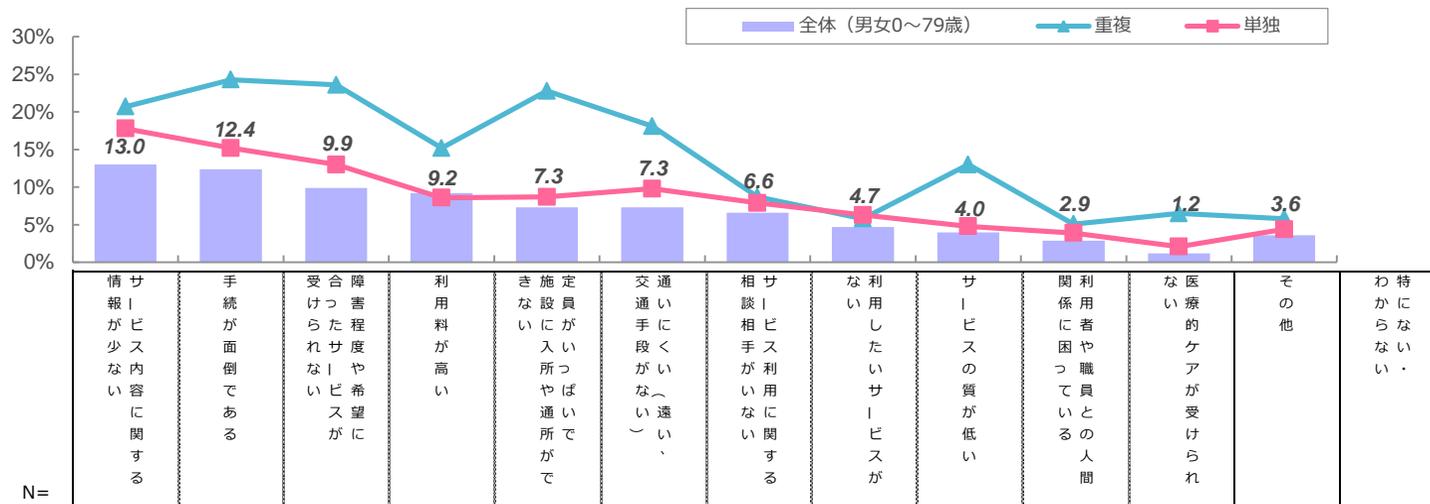
上位3位以内：

上位5位以内：

II-2. 福祉サービスの利用状況 C.福祉サービス利用にあたり困っていること

- 重複障害別にみると、＜重複＞は＜単独＞に比べ全般的にスコアが高く、特に、「手続きが面倒である」、「障害程度や希望に合った～」、「定員がいっぱいで施設に～」、「通いにくい」、「サービスの質が低い」のスコア差が大きくなっている。
- 通院状況別にみると、＜入院している＞では「定員がいっぱいで施設に～」が最も高くなっている。
- 障害支援区分別にみると、＜区分5,6＞では「定員がいっぱいで施設に～」、「通いにくい」、「利用者や職員との人間関係に～」のスコアが最も高く、他の区分と傾向が異なっている。＜区分3,4＞では「障害程度や希望に合った～」が最も高くなっている。

※ 複数回答
 ※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		13.0	12.4	9.9	9.2	7.3	7.3	6.6	4.7	4.0	2.9	1.2	3.6	60.2	
		情報サービス内容に関する	手続きが面倒である	受けられたサービスが障害程度や希望に	利用料が高い	施設に入所や通所が	きないが、入所や通所が	定員がいっぱいで	交通手段が不便(遠い、)	相談サービス利用に関する	サービス利用に	サービスの質が低い	関係に困っている人間	医療的ケアが受けられ	その他
全体 (男女0~79歳)	1,910	13.0	12.4	9.9	9.2	7.3	7.3	6.6	4.7	4.0	2.9	1.2	3.6	60.2	
重複障害	重複	276	20.7	24.3	23.6	15.2	22.8	18.1	8.7	5.8	13.0	5.1	6.5	5.8	36.6
	単独	1,634	17.8	15.2	13.0	8.6	8.7	9.8	7.9	6.3	4.8	3.9	2.1	4.4	53.8
	身体&療育	224	20.1	24.1	22.8	14.3	25.9	18.8	7.1	4.9	12.1	4.0	7.6	6.3	35.3
	身体&精神	27	18.5	22.2	11.1	14.8	3.7	22.2	11.1	7.4	14.8	7.4	*	*	51.9
	療育&精神	22	31.8	27.3	45.5	22.7	9.1	9.1	22.7	13.6	18.2	13.6	4.5	4.5	31.8
通院状況	身体&療育&精神	3	*	33.3	33.3	33.3	66.7	*	*	*	33.3	*	*	33.3	33.3
	入院している	76	11.8	15.8	7.9	11.8	17.1	6.6	6.6	1.3	2.6	2.6	1.3	5.3	55.3
	週に1回以上	97	21.6	18.6	12.4	10.3	8.2	14.4	8.2	4.1	6.2	5.2	4.1	6.2	51.5
	月2回から3回位	308	19.5	18.2	17.9	12.7	11.0	16.9	9.7	8.8	6.8	6.2	8.1	6.5	43.2
	月1回位	903	19.5	17.1	16.6	9.7	10.6	11.8	8.5	7.1	7.1	4.5	1.9	5.2	48.8
定期的には通院していない	435	17.5	14.7	10.8	7.4	11.0	6.2	6.9	4.8	3.9	2.1	0.7	2.3	56.6	

n=		13.9	12.9	11.2	8.0	5.6	8.9	7.1	6.2	4.5	4.8	1.4	3.6	59.8	
		障害者 (男女19~79歳)	区分 5,6	区分 3,4	区分 1,2	非認定	区分 5,6	区分 3,4	区分 1,2	非認定	区分 5,6	区分 3,4	区分 1,2	非認定	
障害者 (男女19~79歳)	1,101	13.9	12.9	11.2	8.0	5.6	8.9	7.1	6.2	4.5	4.8	1.4	3.6	59.8	
区分支援	区分 5,6	78	5.1	5.1	6.4	3.8	10.3	10.3	2.6	1.3	6.4	10.3	1.3	2.6	66.7
	区分 3,4	87	13.8	9.2	16.1	6.9	6.9	9.2	3.4	2.3	3.4	1.1	2.3	1.1	60.9
	区分 1,2	72	9.7	12.5	8.3	12.5	9.7	5.6	4.2	4.2	5.6	9.7	*	4.2	55.6
	非認定	284	15.5	14.4	12.0	4.6	3.5	7.0	10.2	8.1	2.5	1.8	1.8	2.5	61.3

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

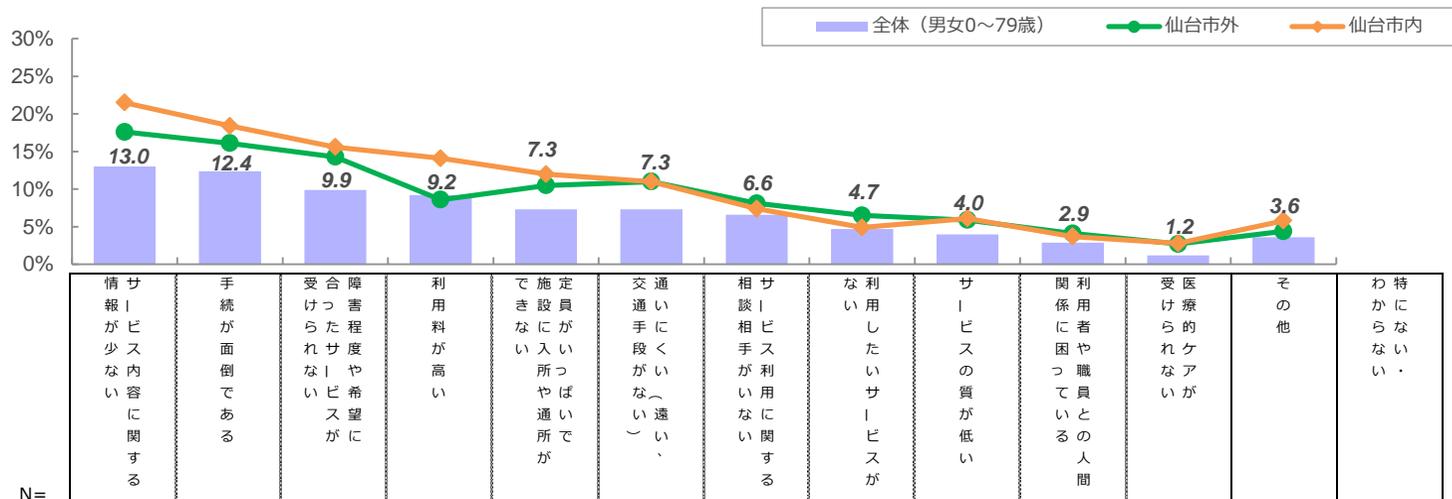
各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

II-2. 福祉サービスの利用状況 C.福祉サービス利用にあたり困っていること

■ 居住エリア別にみると、各エリアとも＜全体＞の傾向に近いが、＜栗原圏域＞、＜登米圏域＞では「手続きが面倒である」が最も高くなっている。また、＜気仙沼圏域＞では「利用したいサービスがない」が10.1%と他のエリアに比べ高くなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=

		全体 (男女0~79歳)	1,910	13.0	12.4	9.9	9.2	7.3	7.3	6.6	4.7	4.0	2.9	1.2	3.6	60.2
居住 エリア	仙台市外	1,584	17.6	16.1	14.3	8.6	10.5	11.0	8.1	6.5	5.9	4.1	2.7	4.4	52.3	
	仙台市内	326	21.5	18.4	15.6	14.1	12.0	11.0	7.4	4.9	6.1	3.7	2.8	5.8	46.3	
	仙南圏域	229	20.5	18.8	18.3	8.7	12.2	14.0	11.8	5.2	8.7	7.0	3.1	2.6	48.5	
	仙台市	326	21.5	18.4	15.6	14.1	12.0	11.0	7.4	4.9	6.1	3.7	2.8	5.8	46.3	
	仙台圏域	552	16.7	15.2	14.7	9.8	11.2	11.2	6.5	6.9	5.4	3.3	2.4	5.1	49.3	
	大崎圏域	254	18.9	16.5	13.4	5.1	7.9	8.7	10.6	7.5	4.3	4.7	3.1	4.7	56.3	
	栗原圏域	98	17.3	22.4	17.3	13.3	14.3	10.2	12.2	7.1	4.1	4.1	4.1	3.1	51.0	
	登米圏域	122	17.2	18.9	15.6	6.6	8.2	11.5	6.6	8.2	8.2	4.9	1.6	5.7	50.8	
	石巻圏域	240	16.7	13.8	9.6	10.8	9.6	10.0	5.0	3.3	5.8	2.5	2.5	3.3	55.4	
	気仙沼圏域	89	14.6	9.0	11.2	3.4	10.1	11.2	7.9	10.1	5.6	3.4	3.4	5.6	65.2	
	石巻・気仙沼圏域	329	16.1	12.5	10.0	8.8	9.7	10.3	5.8	5.2	5.8	2.7	2.7	4.0	58.1	

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

調査結果の詳細



Ⅲ. 住まいと日常生活

※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果（ウェイト集計値）です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

Ⅲ-1.住まいについて A.現在の住まい

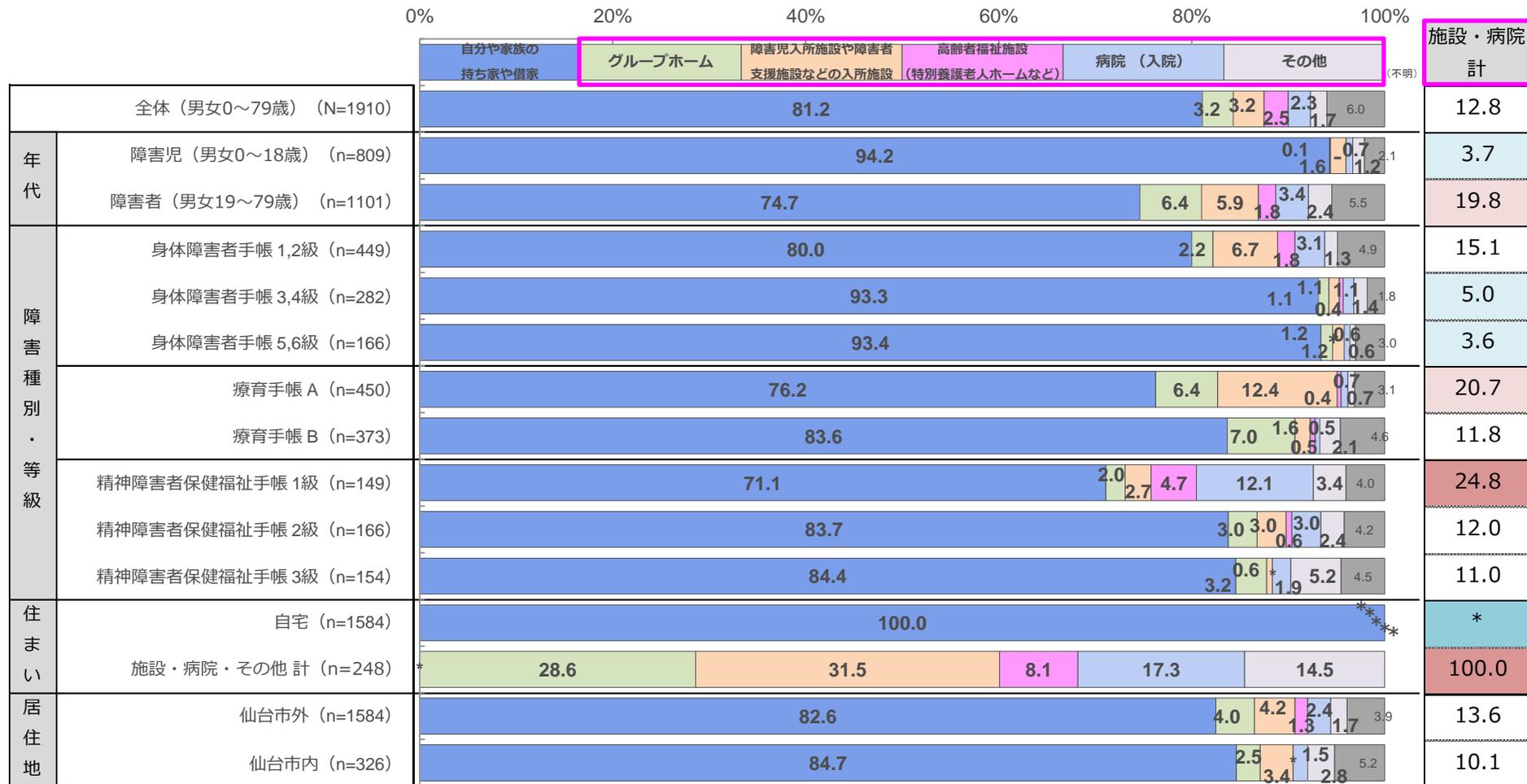
現在の住まいについて、＜全体＞では「自分や家族の持ち家や借家」が約8割、「施設・病院計」が1割強となっている。

■年代別にみると、＜障害児＞は＜障害者＞に比べ「自分や家族の持ち家や借家」の割合が高く、9割を超えている。

■障害種別・等級別にみると、＜身体1,2級＞＜療育A＞＜精神1級＞は他の区分と比べて「自分や家族の持ち家や借家」の割合が低く、＜療育A＞では「障害時入所施設や～」、＜精神1級＞では「病院（入院）」がそれぞれ1割強を占めている。

■住まい別にみると、＜施設・病院＞で最も多いのは「障害児入所施設や～（31.5%）」。次いで「グループホーム（28.6%）」、「病院（入院）（17.3%）」の順になっている。

■居住地別にみて、大きな差はみられない。



※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

「全体」と比べて・・・

■ : +10.0%以上

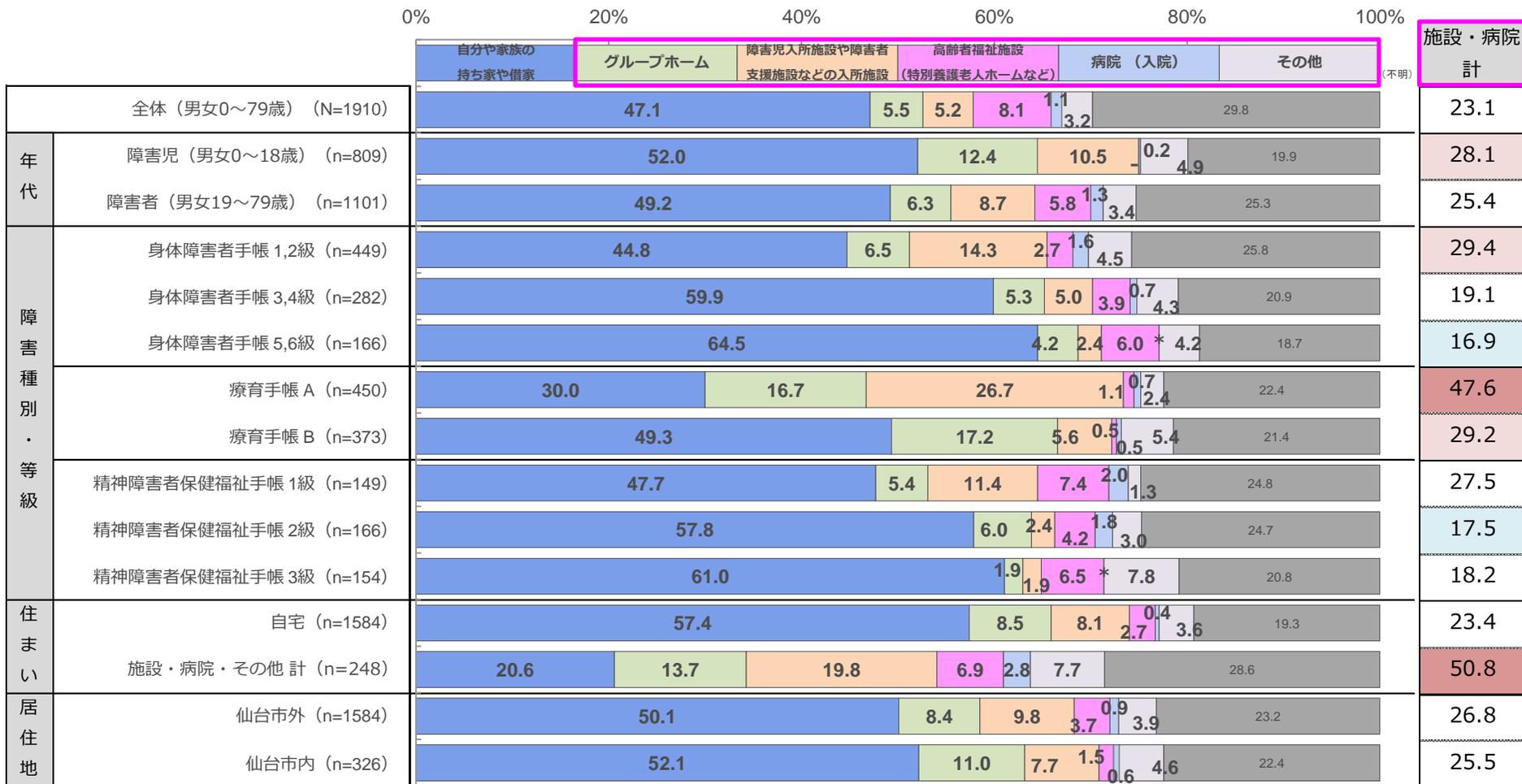
■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

Ⅲ-1.住まいについて B.将来暮らしたい(暮らして欲しい)場所

将来暮らしたい(暮らして欲しい)場所について、<全体>では「自分や家族の持ち家や借家」が最も高く、約半数を占めている。
 ■年代別にみると、<障害児>では「グループホーム」の割合が12.4%と<障害者>に比べ高くなっている
 ■障害種別・等級別にみると、いずれの障害種別でも等級が低くなるほど「自分や家族の持ち家や借家」の割合が高くなっている。
 また、<療育A>は「自分や家族の持ち家や借家」の割合が30.0%と他の区分に比べて低く、「障害児入所施設や～」が26.7%と高くなっている。
 ■住まい別にみると、現在<自宅>では「自分や家族の持ち家や借家」の割合が約6割なのに対し、現在<施設・病院>では約2割となっている。
 ■居住地別にみて、大きな差はみられない。



※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

「全体」と比べて・・・

■ : +10.0%以上

■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

Ⅲ-1.住まいについて A.現在の住まい × B.将来暮らしたい(暮らして欲しい)場所

現在の住まいと将来暮らしたい(暮らして欲しい)場所との組み合わせについて、<全体>では現在の住まい・将来暮らしたい場所ともに「自宅」の人が45.3%と最も多くを占め、現在「施設・病院」で、将来は「自宅」で暮らしたいと思っている人が1.8%と最も少なくなっている。また、現在「自宅」の人においては、将来も「自宅」の割合の方が高く、現在「施設・病院」の人においても、将来も「施設・病院」の割合の方が高くなっている。

■年代別にみると、<障害児><障害者>ともに、現在「自宅」で将来も「自宅」の割合が最も高く、構成比の順位は共通だが、<障害児>においては、現在「自宅」だが、将来は「施設・病院」を希望する割合が<障害者>より12.3%高くなっている。

全体 (男女0~79歳)

(N=1910)

		将来	
		自宅	施設・病院 ・他
現在	自宅	45.3% >	15.7%
	施設・病院 ・他	1.8% <	5.7%

(不明: 31.6%)

障害児 (男女0~18歳)

(n=809)

		将来	
		自宅	施設・病院 ・他
現在	自宅	50.7% >	26.5%
	施設・病院 ・他	1.2% <	1.6%

(不明: 20.0%)

障害者 (男女19~79歳)

(n=1101)

		将来	
		自宅	施設・病院 ・他
現在	自宅	45.3% >	14.2%
	施設・病院 ・他	3.7% <	10.3%

(不明: 26.5%)

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

Ⅲ-1.住まいについて C.一緒に暮らしているひと

一緒に暮らしているひとについて、<全体>では「配偶者」が36.6%で最も高く、次いで「親」、「子ども」の順となっており、「同居」合計は76.1%、「ひとり暮らし」が22.4%となっている。

■年代別にみると、<障害児>では「親」が9割を超え、「同居」合計は97.3%となっている。

■障害種別・等級別にみると、いずれの区分も「親」が最も高くなっている。

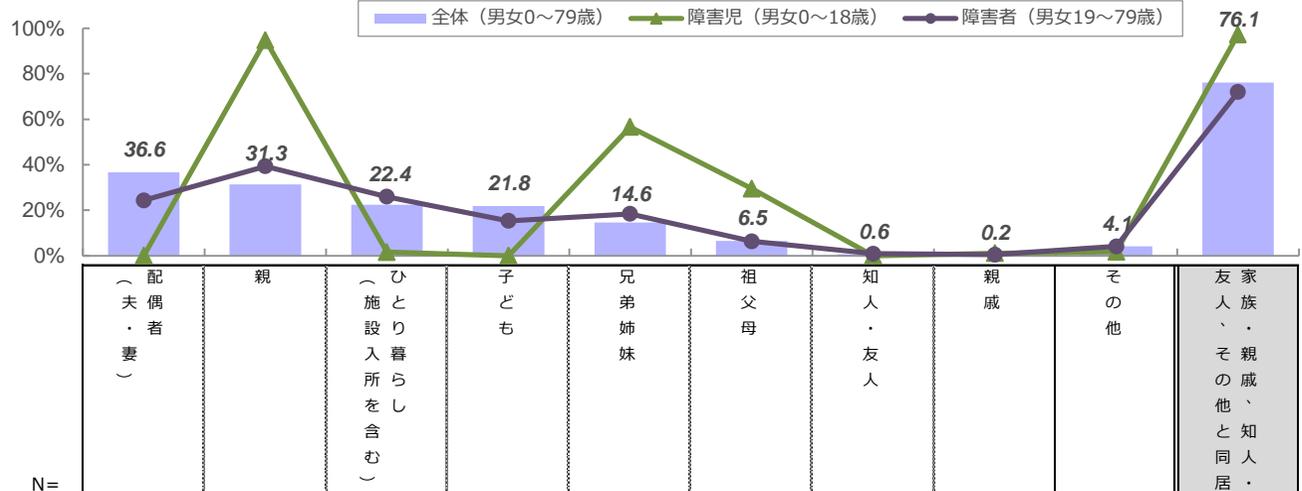
また、<精神>ではいずれの等級も「同居」合計が8割を下回り、「ひとり暮らし」が2割を超え、他の障害種別より高くなっている。

■住まい別にみると、<自宅>では「同居」合計が9割超。一方、<施設・病院>では「ひとり暮らし」が約7割を占めるが、「同居」合計も25.0%となっている。

■居住地別にみると、<仙台市外>は「祖父母」のスコアが17.5%と<仙台市内>に比べて高くなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		全体 (男女0~79歳)	1,910	36.6	31.3	22.4	21.8	14.6	6.5	0.6	0.2	4.1	76.1
年代	障害児 (男女0~18歳)	809	-	94.8	1.6	-	56.6	29.5	*	1.1	1.7	97.3	
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	24.3	39.3	25.9	15.3	18.4	6.3	0.9	0.5	4.1	72.0	
	障害種別・等級												
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	14.5	62.1	15.1	8.0	37.0	18.9	0.4	1.3	5.1	82.6	
	身体障害者手帳 3,4級	282	22.7	65.6	7.1	15.6	33.0	16.0	0.7	0.4	1.4	92.2	
	身体障害者手帳 5,6級	166	33.7	49.4	11.4	24.1	27.1	12.7	*	1.2	2.4	88.0	
	療育手帳 A	450	0.2	74.9	19.6	0.2	46.2	22.2	0.4	1.1	1.8	79.6	
	療育手帳 B	373	1.6	80.4	9.7	0.5	44.5	22.0	1.1	0.5	2.9	87.9	
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	12.8	51.7	22.1	7.4	25.5	6.7	*	*	5.4	73.8	
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	18.1	52.4	21.7	9.0	22.9	9.0	1.2	1.2	3.6	77.1	
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	22.7	40.9	24.0	17.5	18.8	7.8	*	0.6	4.5	74.7	
住まい	自宅	1,584	16.1	73.0	6.6	10.0	40.3	18.9	0.4	0.9	1.6	93.2	
	施設・病院・その他 計	248	2.4	8.1	71.8	2.0	6.5	1.6	0.8	*	11.3	25.0	
居住地	仙台市外	1,584	15.2	61.5	15.8	9.5	34.4	17.5	0.5	0.8	3.3	82.6	
	仙台市内	326	8.6	69.3	14.7	5.5	35.6	9.5	0.6	0.3	2.1	83.4	

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

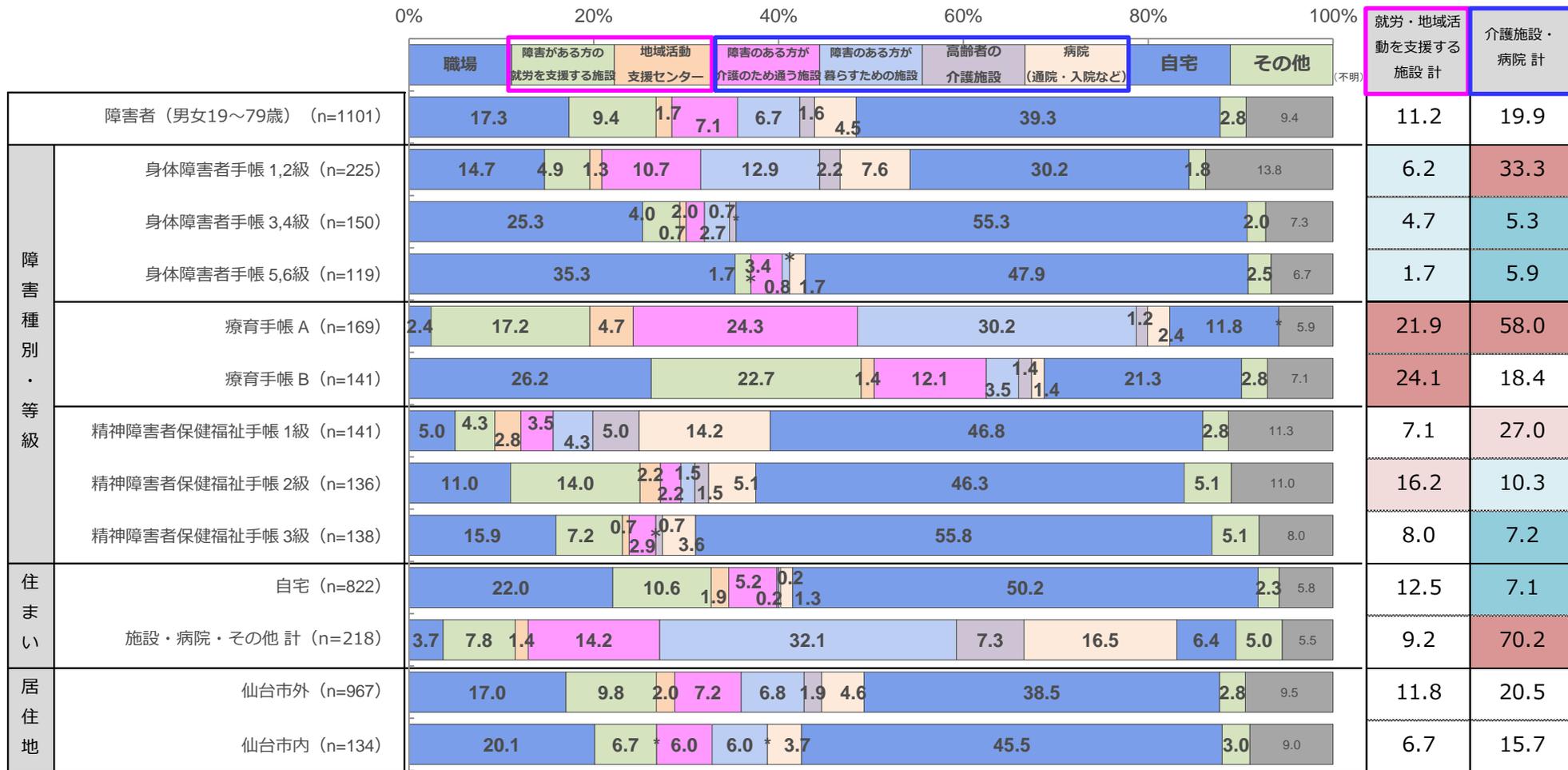
上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

Ⅲ-2. 日中の活動について A. 平日日中に過ごしている場所(障害者)

平日日中に過ごしている場所について、<障害者>では「自宅」の割合が最も高く約4割。
 自宅以外では「介護施設・病院計」が19.9%、「職場」が17.3%、「就労・地域活動を支援する施設計」が11.2%となっている。
 ■障害種別・等級別にみると、<身体><療育><精神>ともに等級が低いほど「職場」の割合が高く、「介護施設・病院」の割合が低い傾向となっている。
 また、<療育A>は「介護施設・病院計」の割合が高く約6割を占めているが、<療育B>は「職場」および「就労・地域活動を支援する施設計」で約5割を占めている。
 ■住まい別にみると、<自宅>では「職場」の割合が22.0%であるのに対し、<施設・病院>では3.7%と大きな差がみられる。
 ■居住地別にみると、<仙台市内>は<仙台市外>に比べ「自宅」の割合が高くなっている。



「障害者」と比べて・・・
■ : +10.0%以上
■ : +5.0%以上
■ : -5.0%以下
■ : -10.0%以下

平日日中に過ごしたい場所について、<障害者>では「自宅」が最も高く約3割。

自宅以外では「介護施設・病院計」が18.3%、「職場」17.0%、「就労・地域活動を支援する施設計」が8.7%となっている。

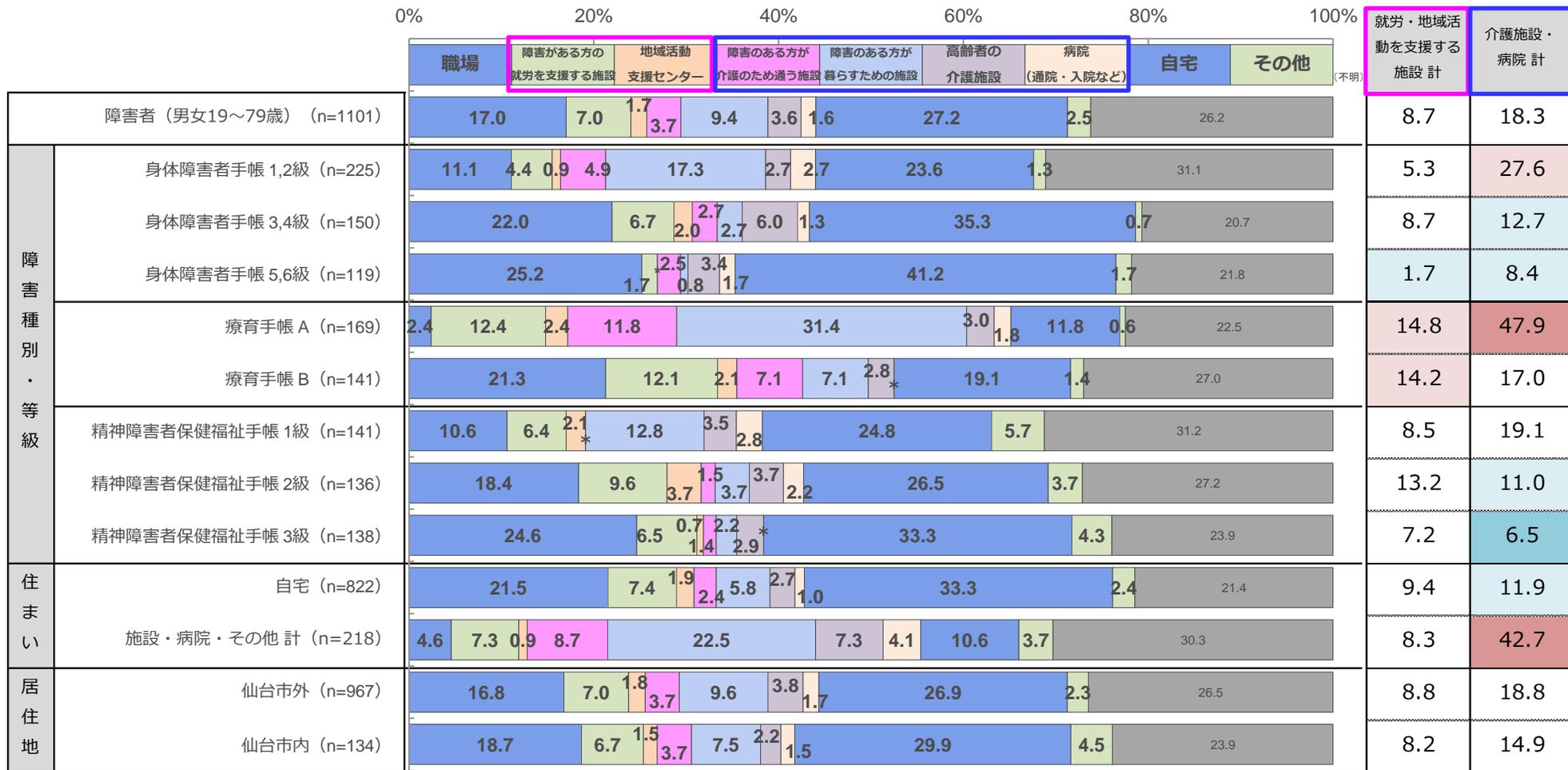
■ 障害種別・等級別にみると、<身体><療育><精神>ともに等級が低いほど「職場」の割合が高く、「介護施設・病院計」の割合が低い傾向となっている。

<療育A>では「介護施設・病院計」の割合が高く約5割を占めているが、<療育B>では「職場」および「就労・地域活動を支援する施設計」で4割弱を占めている。

■ 住まい別にみると、<自宅>では「職場」の割合が21.5%であるのに対し、<施設・病院>では4.6%と大きな差がみられる。

(以上は、前項の「A.平日日中に過ごしている場所」と同傾向)

■ 居住地別にみて、大きな差はみられない。



「障害者」と比べて...

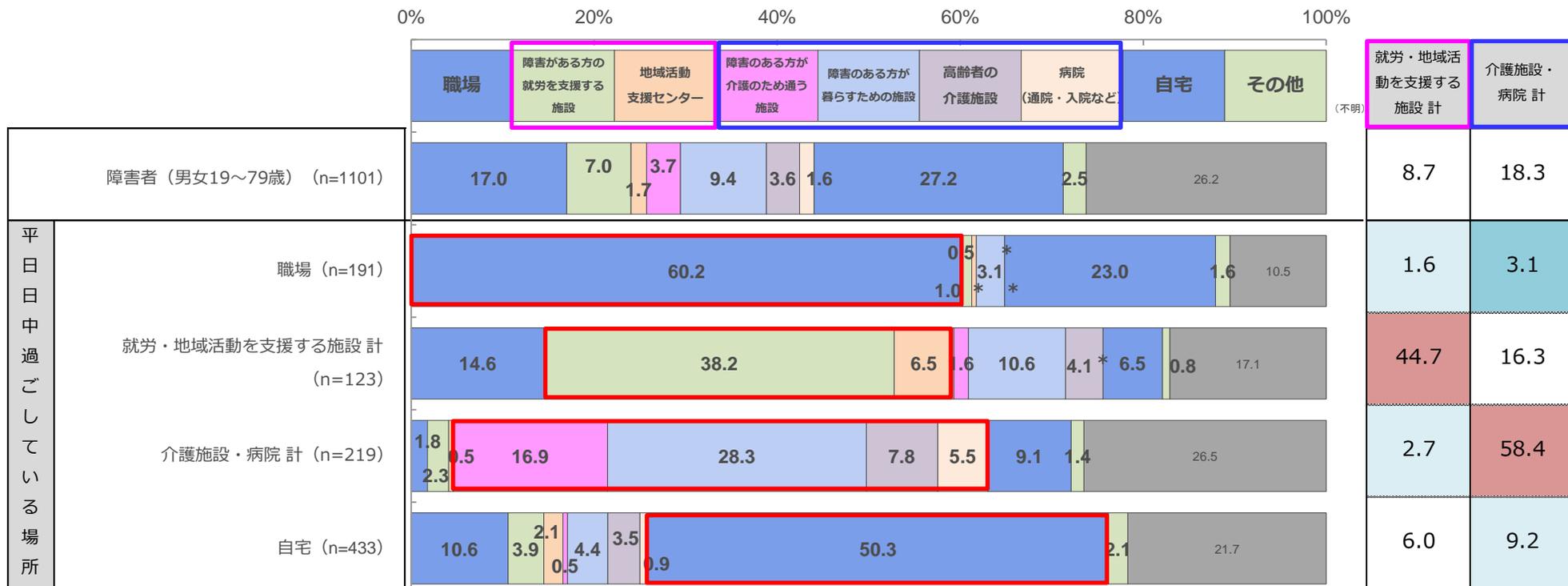
■ : +10.0%以上

■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

- 平日日中過ごしている場所別に過ごしたい場所をみると、現在過ごしている場所と過ごしたい場所が一致している割合は、<職場>と<介護施設・病院計>では約6割、<自宅>では約5割、「就労・地域活動を支援する施設計」では44.7%と、いずれも5割前後の人は希望と一致している。
- 現在過ごしている場所と過ごしたい場所が異なる回答として、<職場>では「自宅」で過ごしたい人が約2割を占めている。また、<就労・地域活動を支援する施設計>では「職場」、「介護施設・病院計」で過ごしたい人がそれぞれ約15%、<介護施設・病院計>では「自宅」で過ごしたい人が約1割、<自宅>では「職場」で過ごしたい人が約1割を占めている。



「障害者」と比べて・・・

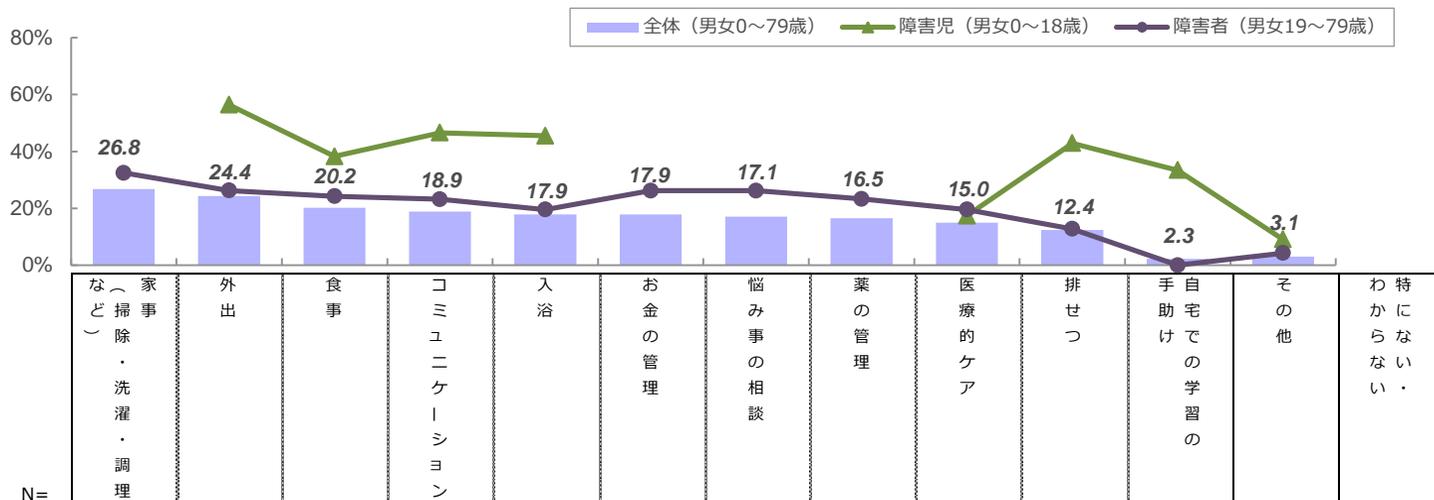
- +: +10.0%以上
- : +5.0%以上
- : -5.0%以下
- : -10.0%以下

Ⅲ-3. 日常生活(家庭)で必要な支援

日常生活(家庭)で必要な支援について、<全体>では「家事」が26.8%と最も高く、次いで「外出」、「食事」も2割を超え高くなっている。
 ■年代別にみると、<障害者>では<全体>と同じく「家事」が最も高いが、<障害児>では「外出」が最も高く、次いで「コミュニケーション」、「入浴」の順となっている。
 ■障害種別・等級別にみると、<身体><療育>では「外出」が最も高く、上位の項目は<全体>と同様となっている。一方、<精神>では「家事」、「コミュニケーション」、「悩み事の相談」が上位で、「悩み事の相談」は等級が低いほどスコアが高い傾向となっている。
 ■住まい別にみると、<自宅>では上位の項目が<全体>と同じ傾向だが、<施設・病院>では「お金の管理」が最も高く、次いで「外出」、「薬の管理」が上位となっている。
 ■居住地別にみると、上位の項目は共通であるが、<仙台市内>は「食事」、「排せつ」、「入浴」、「コミュニケーション」、「外出」、「自宅での学習の手助け」で<仙台市外>のスコアを上回っている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		全体 (男女0~79歳)	家事 (掃除・洗濯・調理)	外出	食事	コミュニケーション	入浴	お金の管理	悩み事の相談	薬の管理	医療的ケア	排せつ	自宅での学習の手助け	その他	わからない
全体 (男女0~79歳)		1,910	26.8	24.4	20.2	18.9	17.9	17.9	17.1	16.5	15.0	12.4	2.3	3.1	43.4
年代	障害児 (男女0~18歳)	809	-	56.4	38.3	46.6	45.5	-	-	-	17.4	42.9	33.4	9.1	22.1
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	32.5	26.3	24.3	23.2	19.6	26.2	26.2	23.3	19.6	12.8	-	4.3	34.7
	障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	17.1	53.9	45.7	35.9	51.2	13.1	9.1	13.4	30.3	45.2	16.0	7.3
身体障害者手帳 3,4級		282	11.7	25.2	15.6	17.4	15.2	5.3	7.8	6.0	12.8	14.9	10.3	5.3	50.0
身体障害者手帳 5,6級		166	13.9	18.1	15.7	13.9	14.5	6.0	12.7	5.4	8.4	10.2	4.2	8.4	53.0
療育手帳 A		450	23.1	76.2	60.9	59.6	70.7	24.4	9.6	23.8	34.0	60.9	23.6	9.1	6.2
療育手帳 B		373	13.1	39.7	23.3	33.8	23.3	15.8	12.1	11.8	11.3	20.1	24.7	5.6	28.4
精神障害者保健福祉手帳 1級		149	40.3	34.9	32.9	33.6	26.8	28.2	28.2	27.5	25.5	18.1	3.4	8.1	20.8
精神障害者保健福祉手帳 2級		166	26.5	23.5	22.9	31.9	12.0	19.3	30.7	12.0	13.3	4.8	10.2	4.2	24.1
精神障害者保健福祉手帳 3級		154	17.5	11.7	14.3	27.9	5.8	11.7	37.7	6.5	12.3	1.9	3.2	5.2	31.8
住まい	自宅	1,584	14.3	38.2	28.3	34.0	29.0	9.2	12.7	7.8	14.5	25.4	16.4	6.8	30.1
	施設・病院・その他 計	248	45.6	50.4	43.1	31.9	44.0	54.0	30.6	48.4	46.0	30.2	3.2	4.4	17.7
居住地	仙台市外	1,584	19.8	38.4	29.4	32.3	29.7	16.3	16.0	14.3	18.7	24.4	12.9	5.9	29.2
	仙台市内	326	13.5	42.0	34.7	36.8	34.7	9.5	10.7	8.9	18.7	31.3	19.9	8.3	30.1

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

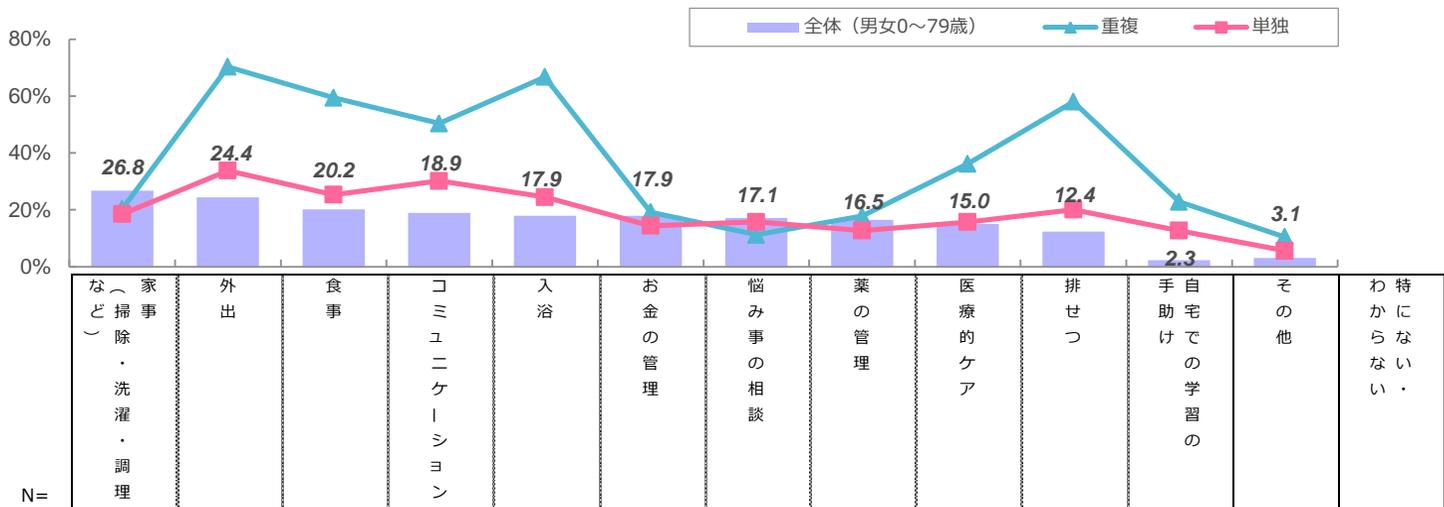
上位5位以内：

Ⅲ-3. 日常生活(家庭)に必要な支援

- 重複障害別にみると、＜重複＞では「外出」、「入浴」、「食事」、「排せつ」、「コミュニケーション」のスコアが約5割～7割と高く、＜単独＞との差も大きくなっている。
- 障害支援区分別にみると、全般的に支援の必要度合いが高い区分ほどスコアが高い傾向がみられるが、「悩み事の相談」については支援の必要度合いが低い区分ほどスコアが高くなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		なご掃事(掃除・洗濯・調理)	外出	食事	コミュニケーション	入浴	お金の管理	悩み事の相談	薬の管理	医療的ケア	排せつ	手助けでの学習の	その他	わからない・	
全体 (男女0~79歳)		1,910	26.8	24.4	20.2	18.9	17.9	17.9	17.1	16.5	15.0	12.4	2.3	3.1	43.4
重複障害	重複	276	20.3	70.3	59.4	50.4	66.7	19.2	11.2	17.8	36.2	58.0	22.8	10.5	10.9
	単独	1,634	18.5	33.8	25.3	30.2	24.5	14.4	15.8	12.7	15.7	20.1	12.7	5.6	32.5
	身体&療育	224	17.4	77.2	66.1	53.6	75.0	17.0	8.0	15.6	41.1	66.5	25.9	11.6	7.1
	身体&精神	27	40.7	37.0	37.0	18.5	33.3	29.6	22.2	29.6	11.1	22.2	*	3.7	37.0
	療育&精神	22	13.6	36.4	13.6	54.5	18.2	18.2	18.2	13.6	9.1	18.2	22.7	4.5	18.2
身体&療育&精神	3	100.0	100.0	100.0	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	33.3	*	33.3	*	

n=

n=		障害者 (男女19~79歳)	区分 5,6	区分 3,4	区分 1,2	非認定									
障害者 (男女19~79歳)		1,101	32.5	26.3	24.3	23.2	19.6	26.2	26.2	23.3	19.6	12.8	-	4.3	34.7
障害区分支援	区分 5,6	78	71.8	75.6	67.9	51.3	82.1	76.9	26.9	78.2	57.7	64.1	-	3.8	5.1
	区分 3,4	87	60.9	56.3	37.9	39.1	33.3	62.1	32.2	59.8	27.6	17.2	-	2.3	11.5
	区分 1,2	72	45.8	23.6	20.8	23.6	19.4	38.9	37.5	31.9	16.7	6.9	-	4.2	19.4
	非認定	284	21.1	14.8	14.4	12.0	9.2	12.7	21.5	9.5	13.0	5.3	-	2.8	51.1

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

Ⅲ-4.外出について A.外出頻度

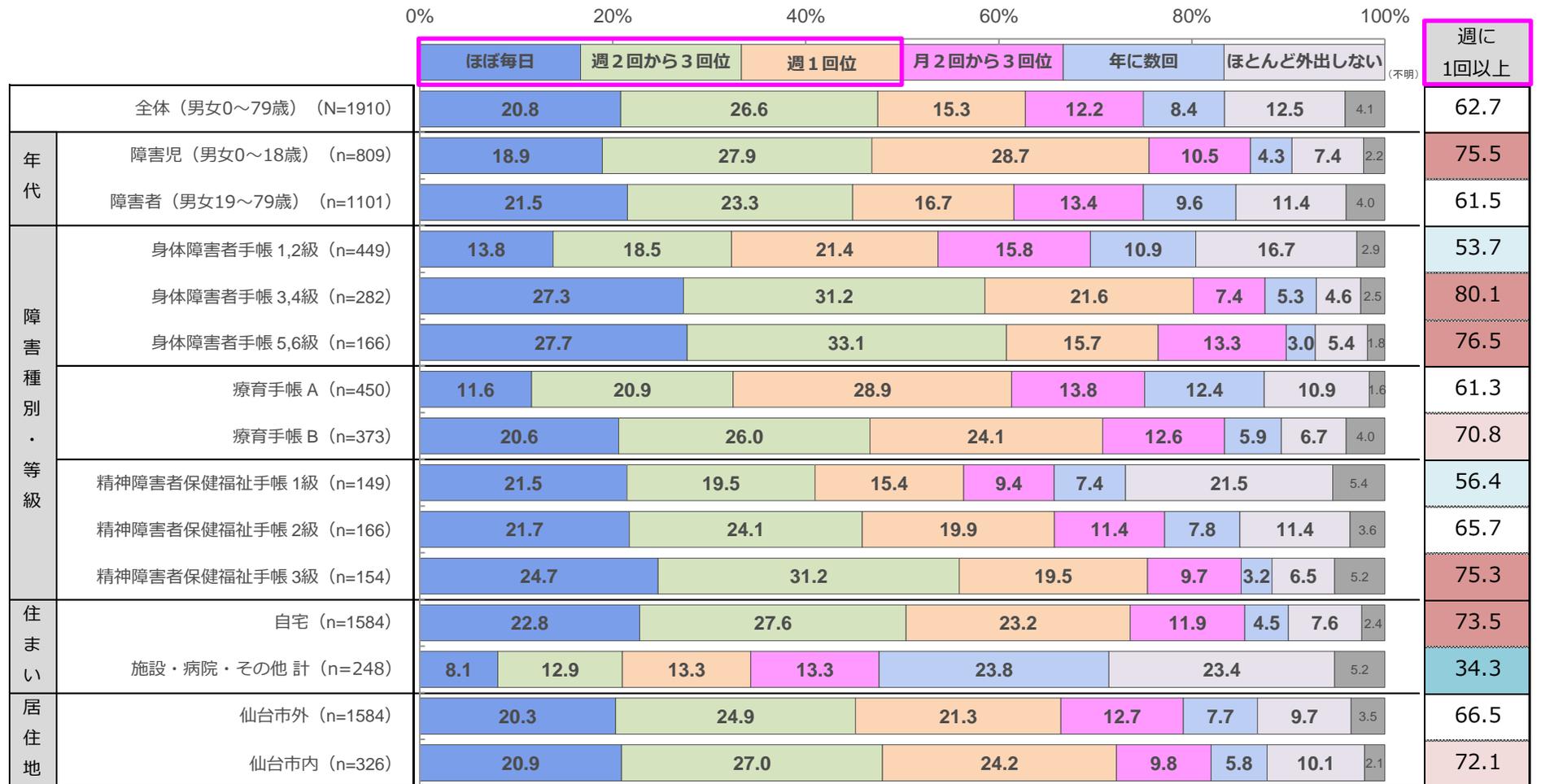
外出頻度について、<全体>では「週2回から3回位」の割合が26.6%と最も高く、「ほぼ毎日」、「週1回位」と続き、これらを合わせた「週に1回以上」が62.7%を占めている。

■年代別にみると、<障害児>は<障害者>に比べ「週に1回位」の割合が高く、「週に1回以上」が75.5%と<障害者>を14.0ポイント上回っている。

■障害種別・等級別にみると、いずれも等級が高いほど、外出頻度は低い傾向となっており、<身体1,2級><療育A><精神1級>では「ほとんど外出しない」が約1割～2割を占めている。

■住まい別にみると、<施設・病院>では「年に数回」、「ほとんど外出しない」の割合がそれぞれ2割を超え高く、「週に1回以上」の割合は3割強と<自宅>の約半分となっている。

■居住地別にみると、<仙台市内>は<仙台市外>に比べ「週に1回以上」の割合が高くなっている。



※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

「全体」と比べて…

■ : +10.0%以上

■ : +5.0%以上

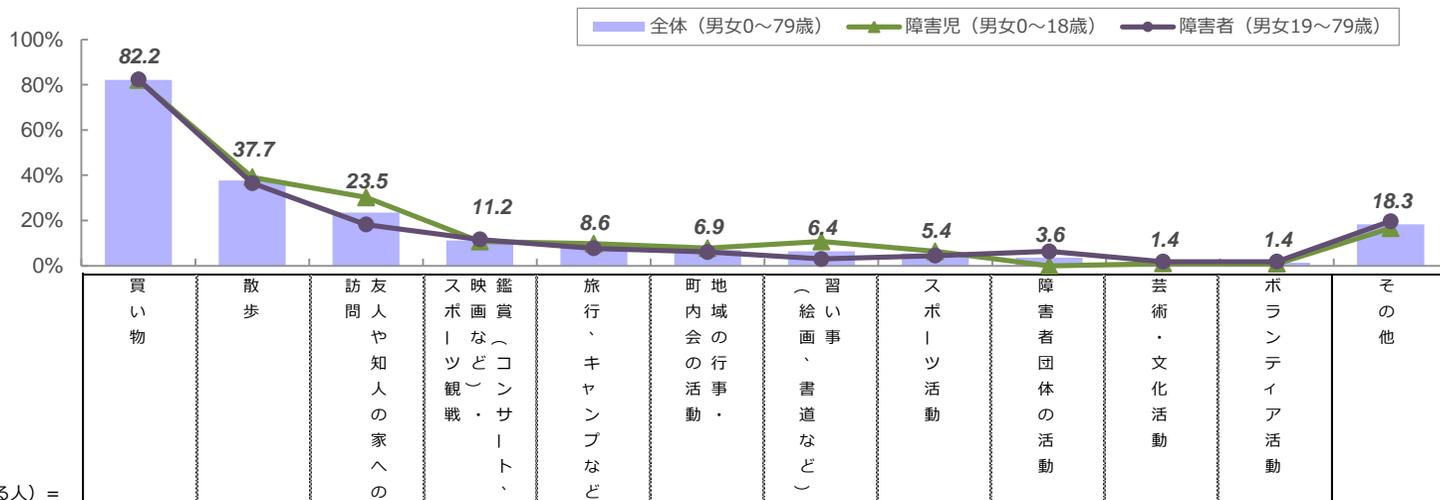
■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

Ⅲ-4.外出について B.外出目的

- 外出目的について、<全体>では「買い物」が82.2%と最も高く、次いで「散歩」、「友人や知人の家～」の順となっている。
- 年代別にみると、「友人や知人の家～」、「習い事」は、<障害者>に比べ<障害児>のスコアが高くなっている。
 - 障害種別・等級別にみると、<療育>では、「買い物」、「友人や知人の家～」といった人とのコミュニケーションをとまなう外出目的のスコアはの方が高いが、「散歩」は<A>の方が高くなっている。また、「旅行・キャンプなど」のスコアは<A>とも、他の区分に比べて高くなっている。
 - 住まい別にみると、「友人や知人の家～」のスコアは<施設・病院>に比べ<自宅>の方が高く、「旅行、キャンプなど」は<施設・病院>の方が高くなっている。
 - 居住地別にみると、「習い事」のスコアは<仙台市内>の方が<仙台市外>よりも高くなっている。

※ 3つまで回答
 ※ 「外出することがある人全体」のスコアが高い順に並べ替え



n (外出することがある人) =

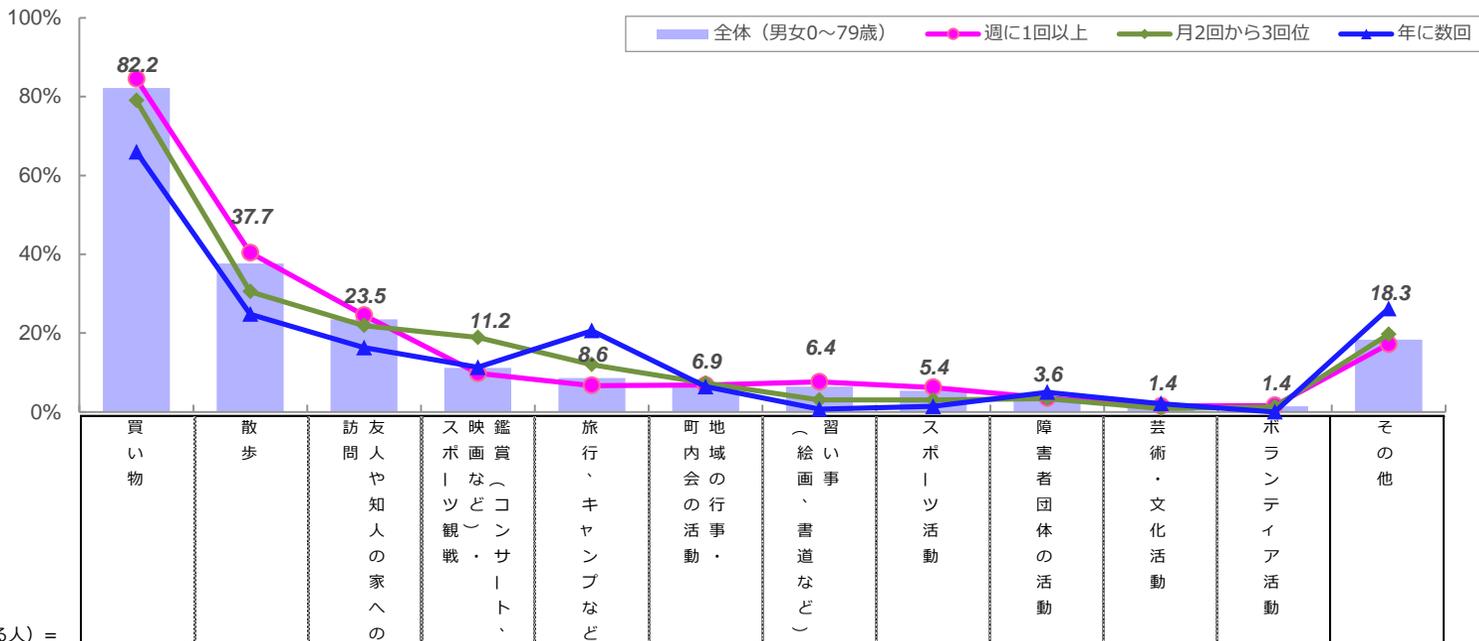
外出することがある人全体 (男女0～79歳)		1,662	82.2	37.7	23.5	11.2	8.6	6.9	6.4	5.4	3.6	1.4	1.4	18.3
年代	障害児 (男女0～18歳)	731	82.1	39.1	30.2	10.7	9.7	7.8	10.7	6.4	-	1.0	0.8	16.6
	障害者 (男女19～79歳)	931	82.3	36.5	18.2	11.6	7.7	6.1	3.0	4.5	6.4	1.8	1.8	19.7
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	361	77.0	36.3	25.2	11.6	10.8	5.0	5.5	3.0	3.0	1.1	1.1	20.8
	身体障害者手帳 3,4級	262	87.4	34.4	28.2	11.1	6.5	7.6	13.4	6.9	1.9	1.5	0.4	14.5
	身体障害者手帳 5,6級	154	81.8	33.1	29.2	16.9	5.2	14.3	8.4	9.1	1.3	2.6	4.5	17.5
	療育手帳 A	394	77.2	45.7	16.0	7.9	13.5	6.6	2.8	4.1	3.6	1.3	0.8	23.9
	療育手帳 B	333	85.9	35.4	25.2	11.7	11.4	7.2	7.2	7.2	3.0	0.9	0.6	13.5
	精神障害者保健福祉手帳 1級	109	78.0	38.5	18.3	8.3	2.8	4.6	1.8	0.9	11.0	0.9	2.8	22.0
	精神障害者保健福祉手帳 2級	141	87.2	34.0	22.0	13.5	1.4	2.1	3.5	1.4	6.4	0.7	1.4	19.1
	精神障害者保健福祉手帳 3級	136	80.9	41.2	17.6	9.6	2.2	5.1	4.4	5.9	3.7	1.5	1.5	21.3
住まい	自宅	1,425	83.2	37.4	25.7	11.6	8.1	6.5	7.0	5.8	3.0	1.3	1.5	17.7
	施設・病院・その他 計	177	75.7	40.1	7.3	7.9	14.7	9.0	2.3	2.8	8.5	2.8	*	23.7
居住地	仙台市外	1,376	82.6	37.8	23.8	10.8	9.1	7.0	5.3	5.1	3.9	1.5	1.1	18.3
	仙台市内	286	80.1	37.1	21.7	13.3	6.3	5.9	11.5	6.6	2.1	1.4	2.8	18.2

各サンプル区分における・・・ 上位1位: (赤) 上位3位以内: (茶) 上位5位以内: (紫)

Ⅲ-4.外出について B.外出目的

■外出頻度別にみると、日常的な外出機会である「買い物」、「散歩」、「友人や知人の家～」といった項目については外出頻度の高い区分ほどスコアが高い傾向がみられる。反対に、「旅行、キャンプなど」は外出頻度の低い区分ほどスコアが高い傾向となっている。また、「鑑賞・スポーツ観戦」は<月2回から3回位>のスコアが最も高くなっている。

※ 3つまで回答
 ※ 「外出することがある人全体」のスコアが高い順に並べ替え



n (外出することがある人) =

外出することがある人全体 (男女0~79歳)		1,662	82.2	37.7	23.5	11.2	8.6	6.9	6.4	5.4	3.6	1.4	1.4	18.3
外出頻度	週に1回以上	1,288	84.5	40.4	24.5	9.8	6.7	6.8	7.6	6.2	3.5	1.5	1.6	17.2
	ほぼ毎日	390	80.3	44.4	25.6	11.3	6.2	7.9	7.4	8.5	4.6	1.8	1.5	23.3
	週2回から3回位	482	87.3	45.4	26.1	9.8	6.4	7.7	10.4	6.0	3.3	1.5	1.9	14.5
	週1回位	416	85.3	30.8	21.6	8.4	7.5	4.8	4.6	4.3	2.6	1.2	1.2	14.4
	月2回から3回位	233	79.0	30.5	21.9	18.9	12.0	7.3	3.0	3.0	3.4	0.9	1.3	19.7
	年に数回	141	66.0	24.8	16.3	11.3	20.6	6.4	0.7	1.4	5.0	2.1	*	26.2

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

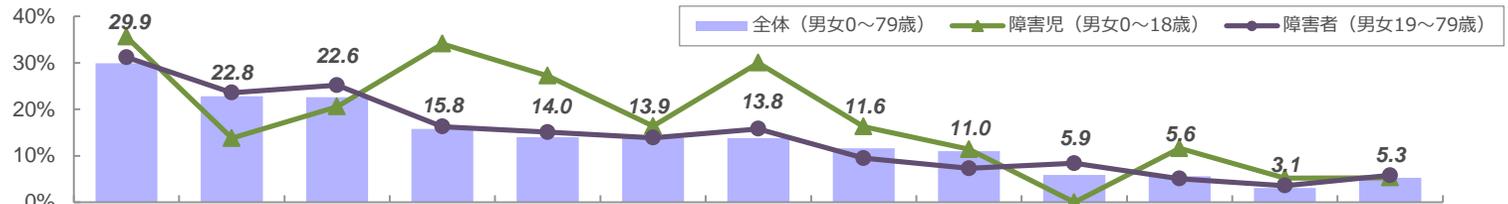
Ⅲ-4.外出について C.外出しやすくするために必要なこと

外出しやすくするために必要なことについて、<全体>では「一緒に出かけてくれる人がいること」が29.9%と最も高く、次いで「交通費が安く済むこと」、「公共交通機関が充実していること」の順となっている。

- 年代別に見ると、<障害児>では「県民の障害に対する～」、「移動支援が充実していること」、「障害者も参加できる～」のスコアが<障害者>に比べて高くなっている。
- 障害種別・等級別に見ると、等級が高い区分ほど「一緒に出かけてくれる人がいること」、「県民の障害に対する理解が深まること」、「移動支援が充実していること」のスコアが高く、人的支援の必要性の高さが現れている。一方、等級が低い区分では「交通費が安く済むこと」、「公共交通機関が充実していること」のスコアが高くなっている。また、<精神>では「自動車の運転ができるようになること」が他の障害種別に比べて高くなっている。
- 住まい別に見ると、<施設・病院>では「一緒に出かけてくれる人がいること」、「移動支援が充実していること」といった人的支援を希望する割合が高い。一方、<自宅>では「公共交通機関が充実していること」、「県民の障害に対する理解が深まること」のスコアが<施設・病院>に比べて高くなっている。
- 居住地別に見て、大きな差はみられない。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		一緒に出かけてくれる人がいること	交通費が安く済むこと	公共交通機関(鉄道・バスなど)が充実していること	県民の障害に対する理解が深まること	移動支援(同行支援など)が充実していること	休憩場所があること	障害者も参加できる行事があること	施設・道路などが整備されていること	駐車場の充実していること	自動車が運転できるようになること	スポーツやレクリエーションの指導者がいること	コミュニケーションの取組が充実していること	その他	わからない	
全体 (男女0~79歳)	1,910	29.9	22.8	22.6	15.8	14.0	13.9	13.8	11.6	11.0	5.9	5.6	3.1	5.3	26.0	
年代	障害児 (男女0~18歳)	809	35.6	13.8	20.6	34.1	27.2	16.4	30.0	16.3	11.4	-	11.6	5.2	5.3	14.2
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	31.2	23.6	25.2	16.3	15.1	13.9	15.8	9.5	7.3	8.4	5.1	3.6	5.8	24.3
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	31.2	16.5	22.7	23.8	23.8	21.6	20.5	24.5	20.0	1.6	5.1	3.3	8.2	16.3
	身体障害者手帳 3,4級	282	22.7	20.6	19.1	19.1	12.8	15.6	16.7	11.3	11.3	3.9	6.4	6.4	4.6	29.4
	身体障害者手帳 5,6級	166	21.7	28.9	32.5	12.0	7.2	15.7	17.5	13.9	11.4	7.2	7.8	3.0	9.0	25.3
	療育手帳 A	450	47.6	7.1	10.7	38.0	42.2	16.4	29.8	15.8	11.6	0.2	10.0	4.0	6.4	11.3
	療育手帳 B	373	36.2	18.8	27.1	26.3	20.9	12.1	25.7	9.4	5.1	1.3	11.3	4.8	3.5	18.5
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	40.3	24.2	20.8	20.1	24.2	14.8	20.8	8.1	4.7	11.4	3.4	4.7	8.1	20.8
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	32.5	25.3	28.9	24.1	9.6	13.9	15.7	6.6	3.0	18.1	7.8	3.0	4.2	18.7
精神障害者保健福祉手帳 3級	154	25.3	33.1	30.5	14.9	8.4	13.6	21.4	4.5	*	9.1	9.7	3.2	5.2	22.1	
住まい	自宅	1,584	31.8	20.6	24.3	25.5	19.2	15.7	22.8	13.2	10.2	5.2	8.4	4.3	5.9	18.5
	施設・病院・その他 計	248	42.7	12.1	17.3	16.1	29.0	12.9	17.7	8.9	2.8	2.4	3.2	4.8	4.0	26.2
居住地	仙台市外	1,584	32.5	19.4	23.6	23.0	19.6	15.2	21.8	11.9	9.0	5.2	7.4	4.2	5.1	20.5
	仙台市内	326	35.9	19.6	21.8	27.6	23.3	14.1	22.1	14.7	8.9	3.1	9.8	4.6	8.3	18.1

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

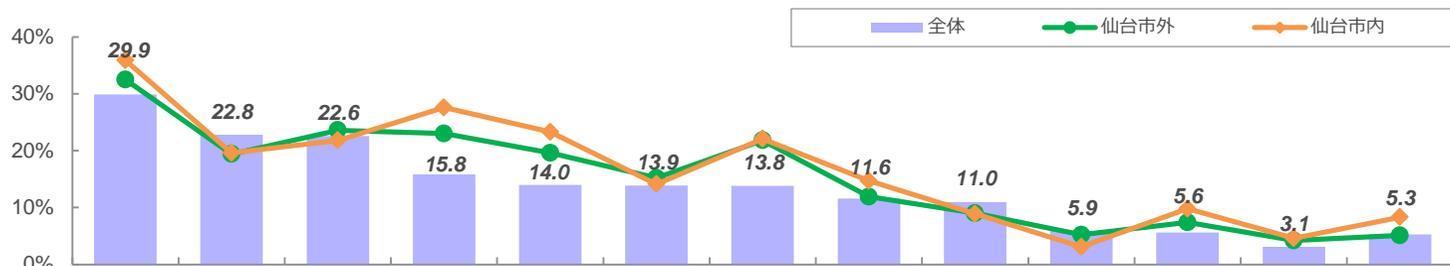
各サンプル区分における・・・ 上位1位: 上位3位以内: 上位5位以内:

Ⅲ-4.外出について C.外出しやすくするために必要なこと

- 外出頻度別にみると、「一緒に出かけてくれる人がいること」のスコアは、概ね外出頻度が低い区分ほど高まる傾向で、<年に数回>では5割を超えている。
- 居住エリア別にみると、「一緒に出かけてくれる人がいること」のスコアは<仙台市> <栗原圏域> <気仙沼圏域>で高く、「公共交通機関が充実していること」は<仙南圏域> <栗原圏域> <登米圏域>で高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		一緒に出かけてくれる人がいること	交通費が安く済むこと	公共交通機関(鉄道・バスなど)が充実していること	国民の障害に対する理解が深まること	移動支援(同行支援・移動支援など)が充実していること	休憩場所が充実していること	障害者も参加できる行事が充実すること	施設・道路などが整備されていること	駐車場が充実していること	自動車が運転できるようになること	スマートフォンやレクリエーションの活用が広がること	コミュニケーションの支えが充実していること	その他	わからない	
全体(男女0~79歳)	1,910	29.9	22.8	22.6	15.8	14.0	13.9	13.8	11.6	11.0	5.9	5.6	3.1	5.3	26.0	
外出頻度	ほぼ毎日	390	25.9	24.4	24.1	22.6	12.8	15.6	23.8	12.6	8.2	5.6	7.4	6.2	4.9	22.3
	週2回から3回位	482	30.1	22.2	24.9	25.9	17.2	15.6	24.7	12.0	9.8	6.2	10.2	3.5	5.2	17.6
	週1回位	416	38.7	17.1	25.2	25.7	24.8	16.3	23.8	14.9	9.6	3.6	8.9	3.8	5.0	12.7
	月2回から3回位	233	32.6	20.6	30.9	21.9	22.7	12.4	17.6	12.0	12.4	6.4	6.4	3.9	6.4	18.5
	年に数回	141	51.8	15.6	17.7	25.5	26.2	19.1	22.7	15.6	8.5	2.1	2.1	5.7	2.8	19.1
居住エリア	仙台市外	1,584	32.5	19.4	23.6	23.0	19.6	15.2	21.8	11.9	9.0	5.2	7.4	4.2	5.1	20.5
	仙台市内	326	35.9	19.6	21.8	27.6	23.3	14.1	22.1	14.7	8.9	3.1	9.8	4.6	8.3	18.1
	仙南圏域	229	32.3	21.4	27.9	21.0	21.8	14.0	25.8	14.0	9.6	5.7	11.4	7.0	7.0	15.7
	仙台市	326	35.9	19.6	21.8	27.6	23.3	14.1	22.1	14.7	8.9	3.1	9.8	4.6	8.3	18.1
	仙台圏域	552	31.7	19.2	23.0	24.5	20.3	15.2	21.7	12.3	8.9	4.9	8.3	4.2	5.8	20.8
	大崎圏域	254	32.3	16.9	22.0	22.4	16.1	15.4	24.0	9.4	11.4	7.5	7.5	3.5	3.1	21.7
	栗原圏域	98	35.7	23.5	29.6	18.4	17.3	16.3	19.4	12.2	7.1	1.0	5.1	4.1	3.1	22.4
	登米圏域	122	28.7	19.7	28.7	22.1	17.2	18.0	16.4	7.4	10.7	4.9	3.3	2.5	4.1	26.2
	石巻圏域	240	33.8	20.0	18.8	25.0	20.0	14.2	18.8	14.2	7.9	5.0	6.7	3.3	4.6	19.6
	気仙沼圏域	89	37.1	16.9	20.2	22.5	23.6	14.6	23.6	11.2	4.5	5.6	2.2	4.5	5.6	19.1
石巻・気仙沼圏域	329	34.7	19.1	19.1	24.3	21.0	14.3	20.1	13.4	7.0	5.2	5.5	3.6	4.9	19.5	

※ 「全体(男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

調査結果の詳細



IV. 就学・就業状況

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。[n=50未満の区分については参考値](#)となります。

IV-1. 就学状況 A. 就学状況(障害児)

就学状況について、<障害児>では「特別支援学級・学校」が5割強、「通常学級」が1割強、「就学していない」が3割弱となっている。
 ■ 障害種別・等級別にみると、<身体>では等級が高いほど「就学していない」の割合が高くなっている。<療育>では「特別支援学級・学校」の割合が「通常学級」を大きく上回っており、「通常学級」は5%未満となっている。<精神1～3級>では「特別支援学級・学校」が5割以上を占めているが、「通常学級」も4割弱を占めている。
 ■ 住まい別にみると、<施設・病院>は<自宅>に比べ、「特別支援学級・学校」の割合が高く、「通常学級」の割合が低くなっている。
 ■ 居住地別にみると、<仙台市内>は<仙台市外>に比べ、「通常学級」の割合が高く、「特別支援学級・学校」の割合が低くなっている。



「障害児」と比べて・・・
■ : +10.0%以上
■ : +5.0%以上
■ : -5.0%以下
■ : -10.0%以下

学校生活で困っていることについて、〈障害児〉では「一人での登下校が難しい〜」が25.1%と最も高く、次いで「お子様が教員や友人と〜」、「頼りになる教員がいない」、「授業についていけない」が1割以上となっている。

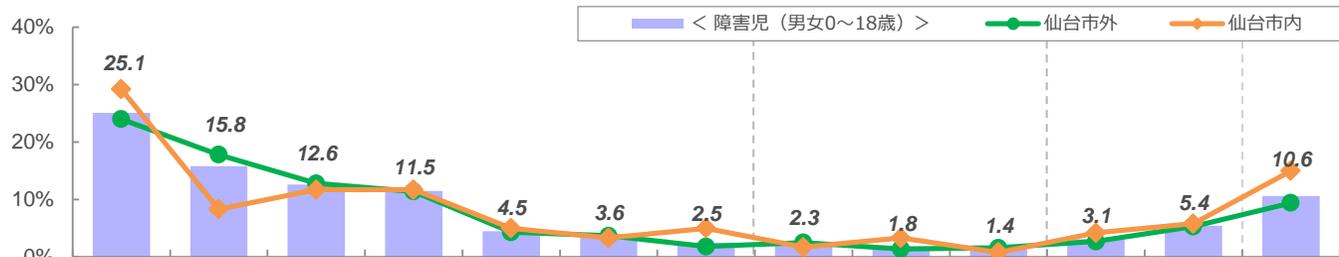
■障害種別・等級別にみると、ほとんどの区分において「一人での登下校が難しい〜」のスコアが最も高く、〈身体1,2級〉では36.6%となっている。

これ以外の項目について、〈療育A〉では「お子様が教員や友人と〜」が2割を超え高く、〈精神1〜3級〉では「頼りになる教員がいない」、「お子様が教員や友人と〜」、「授業についていけない」も3割程度あげられている。

■居住地別にみると、〈仙台市内〉では「お子様が教員や友人と〜」のスコアが低くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害児」のスコアが高い順に並べ替え



n (就学児) =

障害児 (男女0~18歳)		557	25.1	15.8	12.6	11.5	4.5	3.6	2.5	2.3	1.8	1.4	3.1	5.4	10.6	44.9
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	131	36.6	10.7	10.7	8.4	3.1	9.2	1.5	0.8	1.5	0.8	2.3	3.1	13.7	39.7
	身体障害者手帳 3,4級	90	16.7	10.0	11.1	13.3	4.4	4.4	1.1	1.1	*	1.1	1.1	2.2	8.9	52.2
	身体障害者手帳 5,6級	38	18.4	7.9	7.9	7.9	5.3	2.6	*	2.6	2.6	*	2.6	5.3	5.3	57.9
	療育手帳 A	217	29.5	21.7	12.9	7.8	2.3	5.1	1.4	0.5	0.5	*	0.5	0.9	11.1	41.5
	療育手帳 B	161	23.6	14.3	14.3	13.0	4.3	1.9	2.5	5.0	4.3	1.2	5.6	10.6	8.1	42.9
	精神障害者保健福祉手帳 1~3級	48	33.3	29.2	29.2	27.1	14.6	*	12.5	2.1	4.2	8.3	10.4	12.5	14.6	27.1
	精神障害者保健福祉手帳 1級	7	42.9	42.9	28.6	*	*	*	28.6	*	14.3	*	14.3	14.3	*	28.6
	精神障害者保健福祉手帳 2級	28	42.9	28.6	25.0	28.6	21.4	*	14.3	3.6	*	7.1	7.1	10.7	10.7	21.4
	精神障害者保健福祉手帳 3級	13	7.7	23.1	38.5	38.5	7.7	*	*	*	7.7	15.4	15.4	15.4	30.8	38.5
住まい	自宅	526	25.5	16.3	12.5	11.6	4.6	3.6	2.1	2.3	1.5	1.3	2.7	4.9	10.1	44.5
	施設・病院・その他 計	21	23.8	9.5	19.0	9.5	4.8	*	14.3	4.8	9.5	*	9.5	14.3	23.8	38.1
居住地	仙台市外	437	24.0	17.8	12.8	11.4	4.3	3.7	1.8	2.5	1.4	1.6	2.7	5.3	9.4	44.4
	仙台市内	120	29.2	8.3	11.7	11.7	5.0	3.3	5.0	1.7	3.3	0.8	4.2	5.8	15.0	46.7

各サンプル区分における・・・ 上位1位: 上位3位以内: 上位5位以内:

IV-1. 就学状況

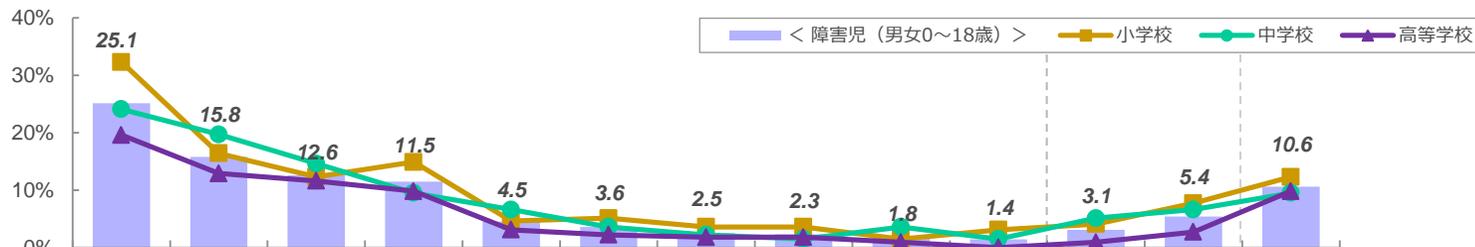
B. 学校生活で困っていること(障害児)

■ 就学状況(小・中・高)別みると、「一人での登下校が難しい～」と「授業についていけない」は学齢の低い区分ほどスコアが高い傾向となっている。また、「お様が教員や友人と～」は、<中学校>でのスコアが最も高く、次いで<小学校><高等学校>の順となっている。

■ 居住エリア別みると、「一人での登下校が難しい～」は<仙南圏域>、<石巻圏域>で3割を超え高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害児」のスコアが高い順に並べ替え



n(就学児) =

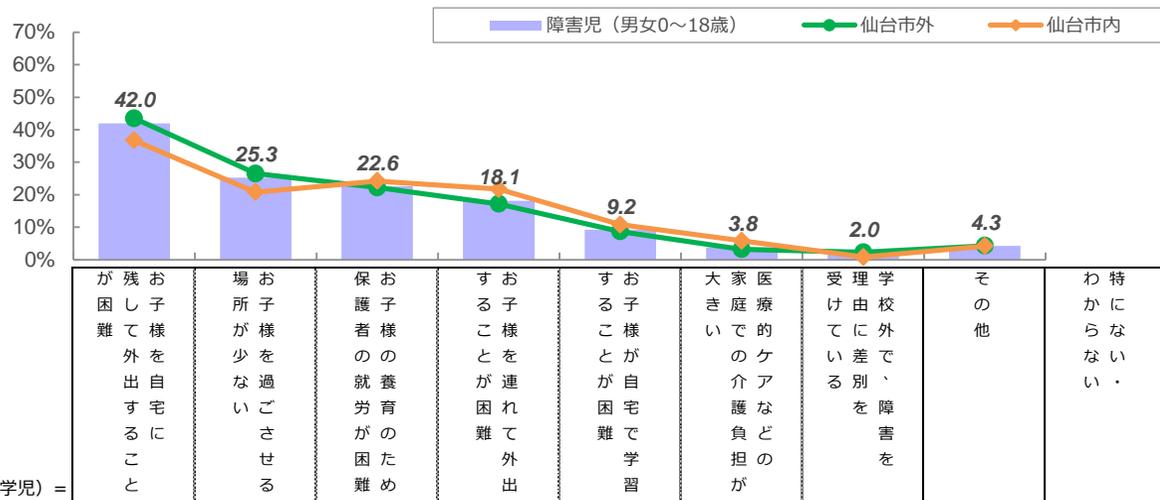
		一人での登下校が難しい	お様が教員や友人とコミュニケーションが難しい	教員がいらない	授業についていけない	学校内で、障害を理由に差別を受けている	学校のいじめやいじめ体制作り	医療的ケアなどが必要な児童の介護体制が整っていない	通学が困難	不登校などで通常の学級に就学させたい	特別支援学校に就学させたい	特別支援学校に就学させたい	特別支援学校に就学について	その他	わからない		
障害児(男女0~18歳)		557	25.1	15.8	12.6	11.5	4.5	3.6	2.5	2.3	1.8	1.4	3.1	5.4	10.6	44.9	
就学状況	小学校	195	32.3	16.4	12.3	14.9	4.6	5.1	3.6	3.6	1.5	3.1	4.1	7.7	12.3	36.9	
	中学校	137	24.1	19.7	14.6	9.5	6.6	3.6	2.2	1.5	3.6	1.5	5.1	6.6	9.5	43.1	
	高等学校	225	19.6	12.9	11.6	9.8	3.1	2.2	1.8	1.8	0.9	*	0.9	2.7	9.8	52.9	
	小学校(通常学級)	33	6.1	18.2	15.2	21.2	9.1	6.1	*	*	*	3.0	3.0	3.0	12.1	54.5	
	小学校(特別支援学級・学校)	162	37.7	16.0	11.7	13.6	3.7	4.9	4.3	4.3	1.9	3.1	4.3	8.6	12.3	33.3	
	中学校(通常学級)	29	20.7	6.9	10.3	10.3	20.7	3.4	*	*	*	*	*	*	13.8	51.7	
	中学校(特別支援学級・学校)	108	25.0	23.1	15.7	9.3	2.8	3.7	2.8	1.9	4.6	1.9	6.5	8.3	8.3	40.7	
	高等学校(通常学級)	47	10.6	2.1	8.5	17.0	6.4	2.1	4.3	2.1	*	*	*	2.1	4.3	61.7	
	高等学校(特別支援学校)	178	21.9	15.7	12.4	7.9	2.2	2.2	1.1	1.7	1.1	*	1.1	2.8	11.2	50.6	
居住エリア	仙台市外	437	24.0	17.8	12.8	11.4	4.3	3.7	1.8	2.5	1.4	1.6	2.7	5.3	9.4	44.4	
	仙台市内	120	29.2	8.3	11.7	11.7	5.0	3.3	5.0	1.7	3.3	0.8	4.2	5.8	15.0	46.7	
	仙南圏域	64	34.4	12.5	14.1	12.5	3.1	3.1	1.6	6.3	1.6	*	1.6	7.8	10.9	32.8	
	仙台市	120	29.2	8.3	11.7	11.7	5.0	3.3	5.0	1.7	3.3	0.8	4.2	5.8	15.0	46.7	
	仙台圏域	156	23.7	16.0	13.5	7.1	5.8	2.6	2.6	0.6	1.3	2.6	3.2	3.8	10.3	49.4	
	大崎圏域	70	12.9	18.6	14.3	17.1	4.3	4.3	*	4.3	2.9	2.9	5.7	10.0	2.9	47.1	
	栗原圏域	21	28.6	33.3	14.3	19.0	9.5	4.8	*	*	*	*	*	*	19.0	33.3	
	登米圏域	34	17.6	14.7	5.9	8.8	2.9	*	2.9	*	*	*	*	*	*	5.9	58.8
	石巻圏域	69	30.4	21.7	10.1	11.6	2.9	8.7	1.4	4.3	*	1.4	1.4	5.8	13.0	37.7	
	気仙沼圏域	23	17.4	21.7	17.4	17.4	*	*	4.3	*	4.3	*	4.3	4.3	4.3	43.5	
	石巻・気仙沼圏域	92	27.2	21.7	12.0	13.0	2.2	6.5	2.2	3.3	1.1	1.1	2.2	5.4	10.9	39.1	

各サンプル区分における・・・ 上位1位: 上位3位以内: 上位5位以内:

放課後・休日に困っていることについて、〈障害児〉では「お子様を自宅に残して～」が42.0%と最も高く、次いで「お子様を過ごさせる場所が少ない」、
 「お子様の養育のため～」、「お子様を連れて外出～」が2割前後となっている。
 ■障害種別・等級別にみると、「お子様を自宅に残して～」のスコアは、ほとんどの区分で最も高く、〈身体1,2級〉では約5割、〈療育A〉では約7割となっている。
 〈身体1,2級〉は〈障害児〉と比べ「お子様の養育のため」、「お子様を連れて外出～」のスコアが高い。〈療育A〉では「お子様を過ごさせる場所が少ない」、
 「お子様の養育のため～」、「お子様を連れて外出～」のスコアも高く、いずれも35%前後。〈精神1～3級〉では「お子様が自宅で学習～」も4割弱と高くなっている。
 ■居住地別にみると、〈仙台市内〉は〈仙台市外〉に比べ「お子様を自宅に残して～」、「お子様を過ごさせる場所が少ない」のスコアが低くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害児」のスコアが高い順に並べ替え



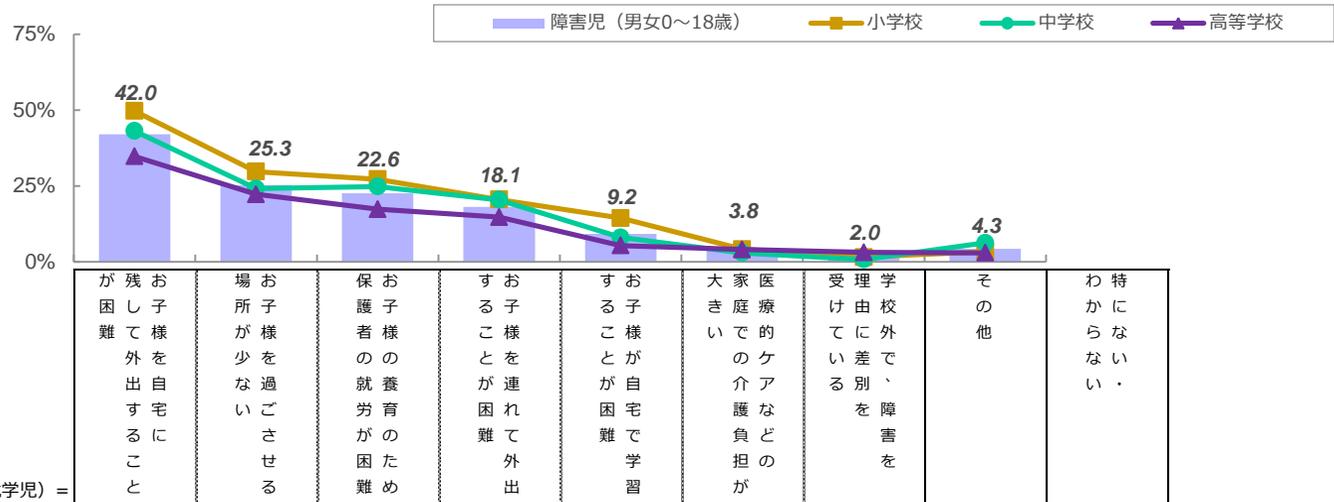
n (就学児) =		が残り難いこと	お子様を自宅に残して～	場所が少くない	保護者の就労が困難	お子様を連れて外出	お子様が自宅で学習	大きな医療的ケアなど負担が大きい	学校外で、別な障害を受けにくい	その他	わからない
障害児 (男女0～18歳)		557	42.0	25.3	22.6	18.1	9.2	3.8	2.0	4.3	41.8
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	131	48.9	26.7	29.8	24.4	3.8	12.2	0.8	3.1	36.6
	身体障害者手帳 3,4級	90	21.1	12.2	12.2	7.8	6.7	3.3	3.3	4.4	61.1
	身体障害者手帳 5,6級	38	28.9	10.5	21.1	7.9	5.3	2.6	*	2.6	63.2
	療育手帳 A	217	71.0	36.4	35.0	36.4	7.8	6.5	0.9	4.1	16.6
	療育手帳 B	161	30.4	22.4	15.5	8.1	8.7	0.6	3.7	3.1	51.6
	精神障害者保健福祉手帳 1～3級	48	37.5	29.2	27.1	10.4	37.5	2.1	6.3	8.3	25.0
	精神障害者保健福祉手帳 1級	7	85.7	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	*	*	*
	精神障害者保健福祉手帳 2級	28	39.3	28.6	32.1	14.3	42.9	*	7.1	7.1	21.4
	精神障害者保健福祉手帳 3級	13	7.7	30.8	15.4	*	30.8	*	7.7	15.4	46.2
住まい	自宅	526	44.1	26.4	23.6	18.4	9.1	4.0	2.1	4.4	39.7
	施設・病院・その他 計	21	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	*	*	4.8	76.2
居住地	仙台市外	437	43.5	26.5	22.2	17.2	8.7	3.2	2.3	4.3	39.6
	仙台市内	120	36.7	20.8	24.2	21.7	10.8	5.8	0.8	4.2	50.0

各サンプル区分における・・・ 上位1位: (Dark Red) 上位3位以内: (Light Red) 上位5位以内: (Light Purple)

- 就学状況（小・中・高）別に見ると、「お子様を自宅に残して～」のスコアは<小学生>が最も高く、学齢の低い区分ほどスコアが高い傾向となっている。また、「お子様を過ごさせる場所が少ない」、「お子様の養育のため～」も<小学生>で最も高くなっている。
- 居住エリア別に見ると、「お子様を過ごさせる場所が少ない」は<仙南圏域>で37.5%と高くなっている。また、「お子様の養育のため～」は<仙南圏域>、<石巻圏域>で3割弱と高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害児」のスコアが高い順に並べ替え



n (就学児) =

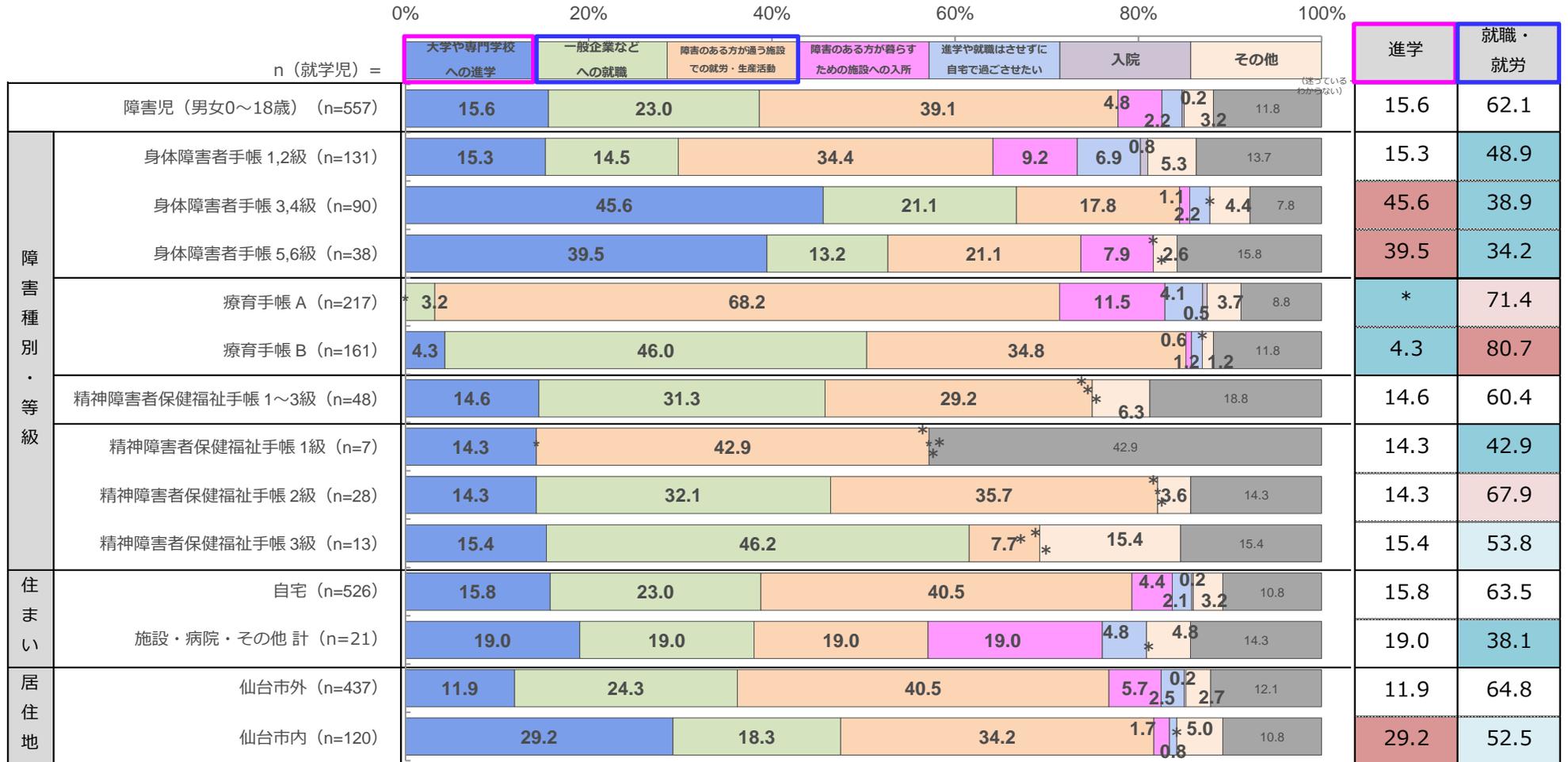
		が残りお	困し子	で様を	外出自	するに	こと	その他	わかに	ない
障害児 (男女0~18歳)		557	42.0	25.3	22.6	18.1	9.2	3.8	2.0	4.3
就学状況	小学校	195	49.7	29.7	27.2	20.5	14.4	4.1	1.5	6.2
	中学校	137	43.1	24.1	24.8	20.4	8.0	2.9	0.7	2.9
	高等学校	225	34.7	22.2	17.3	14.7	5.3	4.0	3.1	3.6
	小学校 (通常学級)	33	21.2	9.1	6.1	*	18.2	*	3.0	6.1
	小学校 (特別支援学級・学校)	162	55.6	34.0	31.5	24.7	13.6	4.9	1.2	6.2
	中学校 (通常学級)	29	6.9	3.4	13.8	3.4	10.3	*	3.4	3.4
	中学校 (特別支援学級・学校)	108	52.8	29.6	27.8	25.0	7.4	3.7	*	2.8
	高等学校 (通常学級)	47	10.6	6.4	6.4	4.3	4.3	*	2.1	2.1
	高等学校 (特別支援学校)	178	41.0	26.4	20.2	17.4	5.6	5.1	3.4	3.9
居住エリア	仙台市外	437	43.5	26.5	22.2	17.2	8.7	3.2	2.3	4.3
	仙台市内	120	36.7	20.8	24.2	21.7	10.8	5.8	0.8	4.2
	仙南圏域	64	48.4	37.5	28.1	17.2	6.3	6.3	4.7	3.1
	仙台市	120	36.7	20.8	24.2	21.7	10.8	5.8	0.8	4.2
	仙台圏域	156	44.2	23.7	21.8	19.2	11.5	2.6	1.3	6.4
	大崎圏域	70	35.7	17.1	22.9	14.3	5.7	*	4.3	2.9
	栗原圏域	21	47.6	52.4	19.0	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8
	登米圏域	34	41.2	26.5	8.8	8.8	11.8	2.9	2.9	5.9
	石巻圏域	69	44.9	23.2	29.0	20.3	8.7	5.8	*	2.9
	気仙沼圏域	23	43.5	30.4	8.7	17.4	4.3	*	*	*
	石巻・気仙沼圏域	92	44.6	25.0	23.9	19.6	7.6	4.3	*	2.2

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

IV-1. 就学状況 D. 卒業後の進路(障害児)

卒業後の進路について、〈障害児〉では「障害のある方が通う施設での就労〜」の割合が最も高く約4割、次いで「一般企業などへの就職」が約2割強。合わせて約6割が「就職・就労」。「大学や専門学校への進学」は15.6%となっている。

- 障害種別・等級別にみると、〈身体3,4級〉〈身体5,6級〉は〈1,2級〉に比べ「進学」の割合が大幅に高くなっている。
 〈療育〉は他の障害種別に比べ「進学」の割合が低く、「就職・就労」の割合が高く、〈療育A〉では「障害のある方が通う施設での就労〜」が約7割を占めている。
 〈精神1〜3級〉では、「就職・就労」の割合が約6割と〈障害児〉と同様だが、「一般企業などへの就職」の割合が高めとなっている。
- 居住地別にみると、「進学」の割合は〈仙台市外〉に比べ〈仙台市内〉の方が高く、「一般企業などへの就職」、「障害のある方が通う施設での就労〜」は〈仙台市外〉の方が高くなっている。

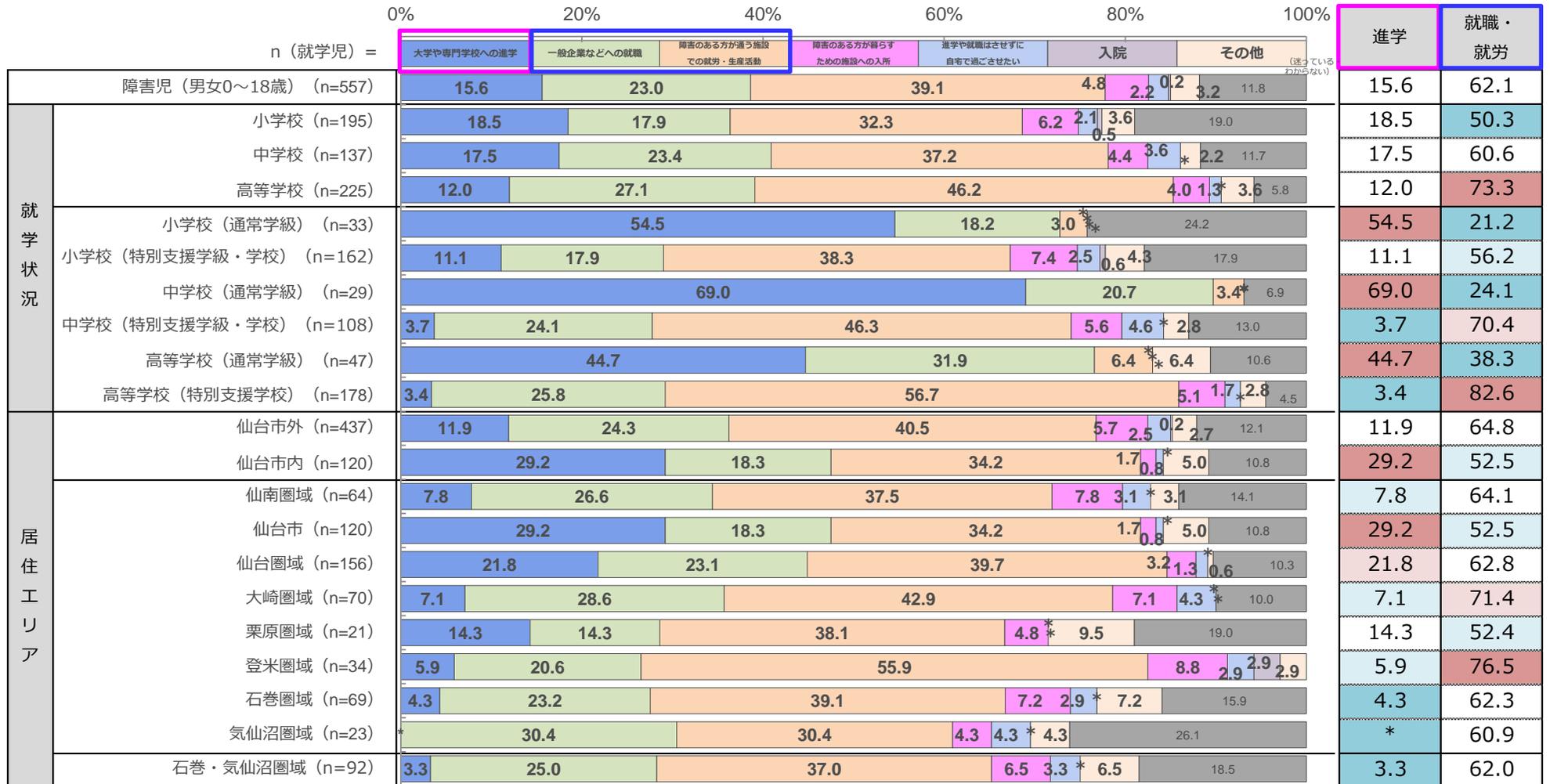


「障害児」と比べて … : +10.0%以上 : +5.0%以上 : -5.0%以下 : -10.0%以下

IV-1. 就学状況 D. 卒業後の進路(障害児)

■就学状況別にみると、<小><中><高>と学齢が上がるにつれて、<進学>の割合が低下し、<就職・就労>の割合が増加する傾向となっている。また、いずれの学齢においても、<通常学級>は<特別支援学級・学校>に比べ「進学」のスコアが大幅に高い傾向となっている。

■居住エリア別にみると、「進学」の割合は<仙台市>と<仙台圏域>で他の圏域に比べて高くなっている。



「障害児」と比べて...

■ : +10.0%以上

■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

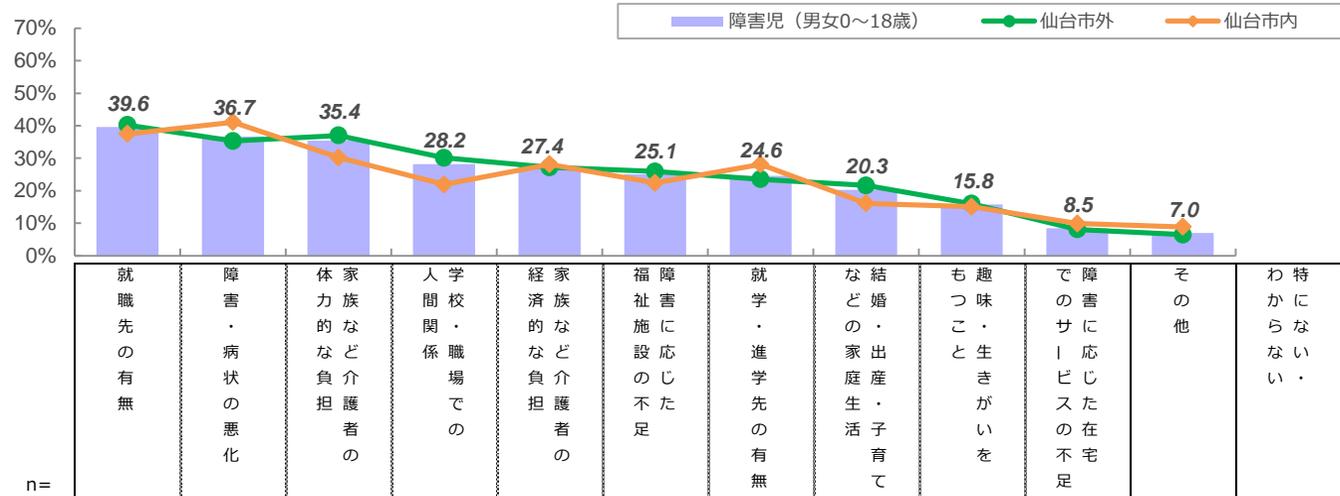
IV-1.就学状況 E.今後の不安(障害児)

今後の不安について、＜障害児＞では「就職先の有無」が39.6%と最も高く、次いで「障害・病状の悪化」、「家族など介護者の体力的な負担」が35%超。以下5項目についても2割以上となっている。

- 障害種別・等級別にみると、＜身体＞では「障害・病状の悪化」のスコアが5割前後と高く、＜身体1,2級＞では「家族など介護者の体力的な負担」も約5割と高くなっている。
 ＜療育A＞では「家族など介護者の体力的な負担」が最も高く、次いで「障害に応じた福祉施設の不足」となっている。
- ＜精神1～3級＞では＜障害児＞同様、「就職先の有無」が最も高いが、「学校・職場での人間関係」も約5割と高くなっている。
- 居住地別にみると、＜仙台市内＞では「家族など介護者の体力的な負担」、「学校・職場での人間関係」、「結婚・出産・子育てなどの家庭生活」のスコアが＜仙台市外＞に比べて低くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害児」のスコアが高い順に並べ替え



		n=	就職先の有無	障害・病状の悪化	家族など介護者の体力的な負担	学校・職場での人間関係	家族など介護者の経済的な負担	福祉施設に応じた不足	就学・進学先の有無	結婚・出産・子育てなどの家庭生活	趣味・生きがい	障害に応じた在宅不足	その他	わからない
障害児 (男女0~18歳)		809	39.6	36.7	35.4	28.2	27.4	25.1	24.6	20.3	15.8	8.5	7.0	4.2
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	224	28.6	50.0	50.9	17.0	32.1	30.4	20.1	17.4	12.1	15.2	6.3	3.6
	身体障害者手帳 3,4級	132	42.4	44.7	12.9	29.5	19.7	12.9	31.1	27.3	8.3	4.5	5.3	7.6
	身体障害者手帳 5,6級	47	36.2	55.3	17.0	40.4	25.5	8.5	31.9	27.7	8.5	*	10.6	6.4
	療育手帳 A	281	29.2	34.9	63.7	8.5	38.1	49.1	8.9	6.8	16.0	15.3	10.0	2.1
	療育手帳 B	232	50.9	23.7	22.4	39.7	23.7	16.4	31.0	25.9	20.7	3.4	8.2	3.9
	精神障害者保健福祉手帳 1~3級	54	55.6	35.2	27.8	51.9	24.1	11.1	35.2	24.1	13.0	5.6	3.7	*
	精神障害者保健福祉手帳 1級	8	50.0	25.0	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	*
	精神障害者保健福祉手帳 2級	30	43.3	40.0	26.7	50.0	23.3	16.7	43.3	23.3	13.3	6.7	3.3	*
	精神障害者保健福祉手帳 3級	16	81.3	31.3	18.8	62.5	31.3	*	31.3	25.0	12.5	*	*	*
住まい	自宅	762	40.6	36.6	35.7	28.7	27.0	25.5	24.9	21.0	15.7	8.3	6.8	3.4
	施設・病院・その他 計	30	20.0	43.3	26.7	13.3	43.3	20.0	20.0	6.7	20.0	16.7	13.3	10.0
居住地	仙台市外	617	40.2	35.3	37.0	30.1	27.2	25.9	23.5	21.6	16.0	8.1	6.5	3.7
	仙台市内	192	37.5	41.1	30.2	21.9	28.1	22.4	28.1	16.1	15.1	9.9	8.9	5.7

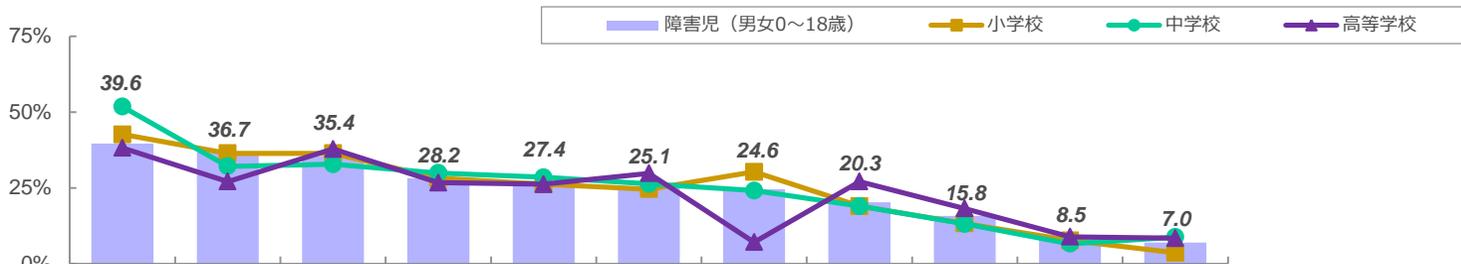
各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

■就学状況(小・中・高)別みると、「就学先の有無」は、<小><中><高>の中では<中学校>で約5割と最も高くなっている。
 また、各学齢において<通常学級>と<特別支援学級・学校>でのスコア差が顕著となっている。「障害・病状の悪化」、「就学・進学先の有無」、「結婚・出産・子育てなどの家庭生活」は、<通常学級>でのスコアが高く、「家族など介護者の体力的な負担」、「家族など介護者の経済的な負担」、「障害に応じた福祉施設の不足」、「趣味・生きがいをもつこと」は<特別支援学級・学校>の方が高くなっている。

■居住エリア別みると、<仙台市>では「障害・病状の悪化」のスコアが他の圏域に比べて高くなっている。
 また、<大崎圏域>では「学校・職場での人間関係」が他の圏域に比べて高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「障害児」のスコアが高い順に並べ替え



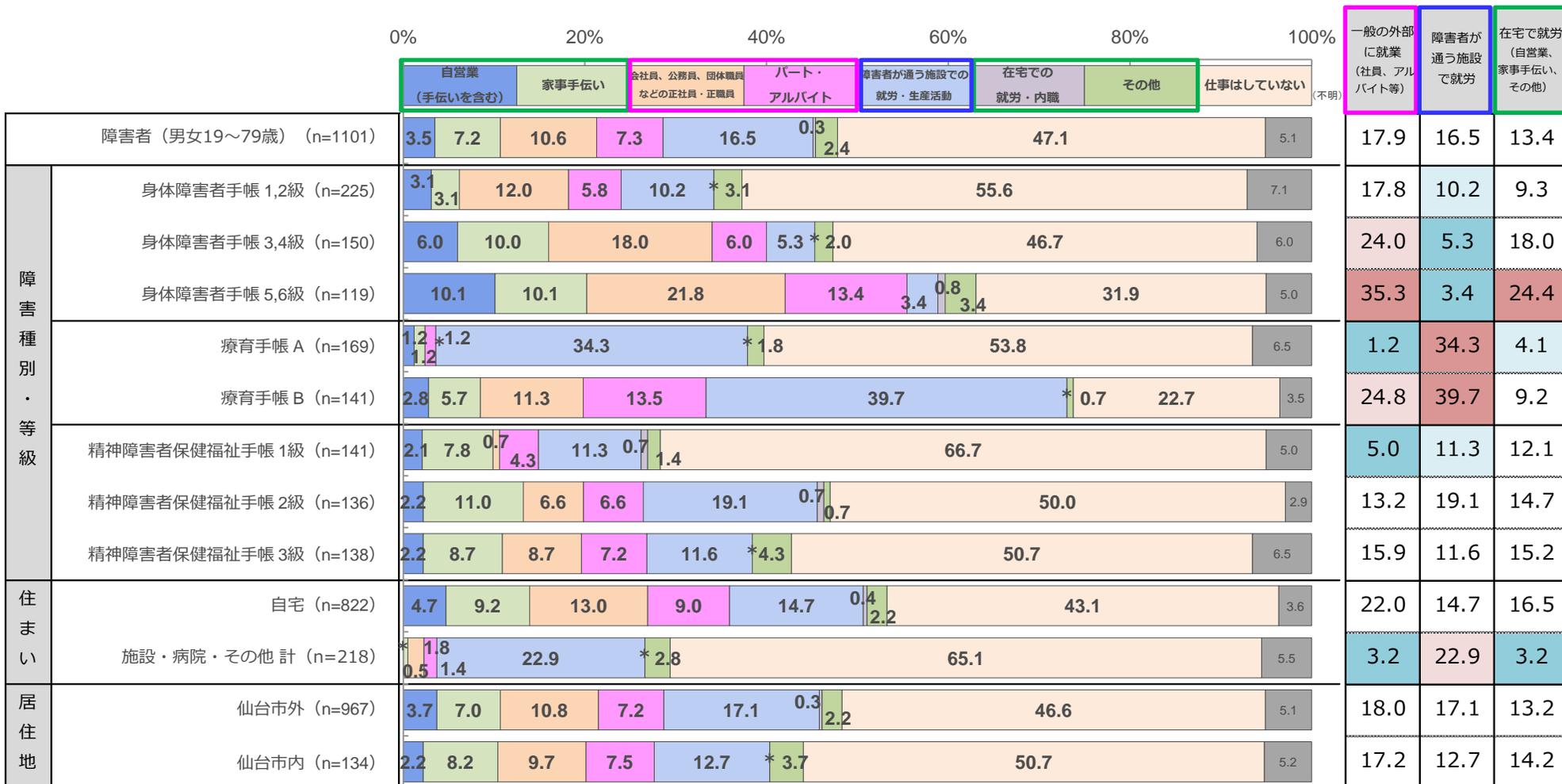
就学状況	n=	就職先の有無	障害・病状の悪化	体力的な負担	家族など介護者の負担	学校・職場での人間関係	経済的な負担	福祉施設の不足	就学・進学先の有無	結婚・出産・子育て	趣味・生きがい	障害に応じた在宅不足	その他	わからない
		障害児(男女0~18歳)	809	39.6	36.7	35.4	28.2	27.4	25.1	24.6	20.3	15.8	8.5	7.0
就学状況	小学校	195	42.6	36.4	36.4	28.2	26.2	24.6	30.3	19.0	13.3	7.7	3.6	5.6
	中学校	137	51.8	32.1	32.8	29.9	28.5	26.3	24.1	19.0	13.1	6.6	8.8	4.4
	高等学校	225	38.2	27.1	37.8	26.7	26.2	29.8	7.1	27.1	18.2	8.9	8.4	4.4
	小学校(通常学級)	33	33.3	54.5	6.1	60.6	18.2	*	42.4	27.3	6.1	*	3.0	6.1
	小学校(特別支援学級・学校)	162	44.4	32.7	42.6	21.6	27.8	29.6	27.8	17.3	14.8	9.3	3.7	5.6
	中学校(通常学級)	29	48.3	51.7	3.4	51.7	17.2	3.4	34.5	34.5	*	*	6.9	10.3
	中学校(特別支援学級・学校)	108	52.8	26.9	40.7	24.1	31.5	32.4	21.3	14.8	16.7	8.3	9.3	2.8
	高等学校(通常学級)	47	61.7	48.9	6.4	25.5	10.6	4.3	19.1	46.8	6.4	2.1	2.1	10.6
高等学校(特別支援学校)	178	32.0	21.3	46.1	27.0	30.3	36.5	3.9	21.9	21.3	10.7	10.1	2.8	
居住エリア	仙台市外	617	40.2	35.3	37.0	30.1	27.2	25.9	23.5	21.6	16.0	8.1	6.5	3.7
	仙台市内	192	37.5	41.1	30.2	21.9	28.1	22.4	28.1	16.1	15.1	9.9	8.9	5.7
	仙南圏域	85	43.5	36.5	41.2	27.1	23.5	27.1	28.2	24.7	18.8	10.6	5.9	2.4
	仙台市	192	37.5	41.1	30.2	21.9	28.1	22.4	28.1	16.1	15.1	9.9	8.9	5.7
	仙台圏域	234	40.6	34.6	32.1	32.5	28.6	26.5	24.8	22.6	17.5	6.0	6.8	4.7
	大崎圏域	100	35.0	34.0	35.0	35.0	25.0	26.0	18.0	23.0	14.0	6.0	11.0	3.0
	栗原圏域	24	37.5	33.3	45.8	37.5	29.2	20.8	20.8	16.7	16.7	8.3	4.2	*
	登米圏域	46	43.5	45.7	41.3	23.9	26.1	23.9	21.7	21.7	10.9	15.2	2.2	*
	石巻圏域	98	39.8	32.7	42.9	25.5	29.6	27.6	23.5	19.4	12.2	11.2	4.1	3.1
	気仙沼圏域	30	43.3	36.7	36.7	23.3	26.7	20.0	23.3	10.0	23.3	3.3	6.7	13.3
石巻・気仙沼圏域	128	40.6	33.6	41.4	25.0	28.9	25.8	23.4	17.2	14.8	9.4	4.7	5.5	

各サンプル区分における・・・ 上位1位: 上位3位以内: 上位5位以内:

IV-2.就業状況 A.就業状況(障害者)

就業状況について、<障害者>では「一般の外部に就業」が17.9%、「障害者が通う施設で就労」が16.5%、「在宅で就労」が13.4%、合わせて5割弱の人が仕事をしている。

- 障害種別・等級別にみると、<身体>は他の障害種別と比べ「一般の外部に就業」の割合が高く、<身体5,6級>では35.3%となっている。
- <療育>は「障害者が通う施設で就労」の割合が高く、<療育B>では約4割を占めている。
- <精神>は、いずれの等級も仕事をしている人の割合が低く、<精神1級>では3割弱にとどまっている。
- 住まい別にみると、<施設・病院>では仕事をしている人の割合が約3割と低く、そのほとんどを「障害者が通う施設で就労」が占めている。
- 居住地別にみると、概ね似た傾向だが、「障害者が通う施設で就労」のスコアは<仙台市外>の方が高くなっている。



「障害者」と比べて・・・

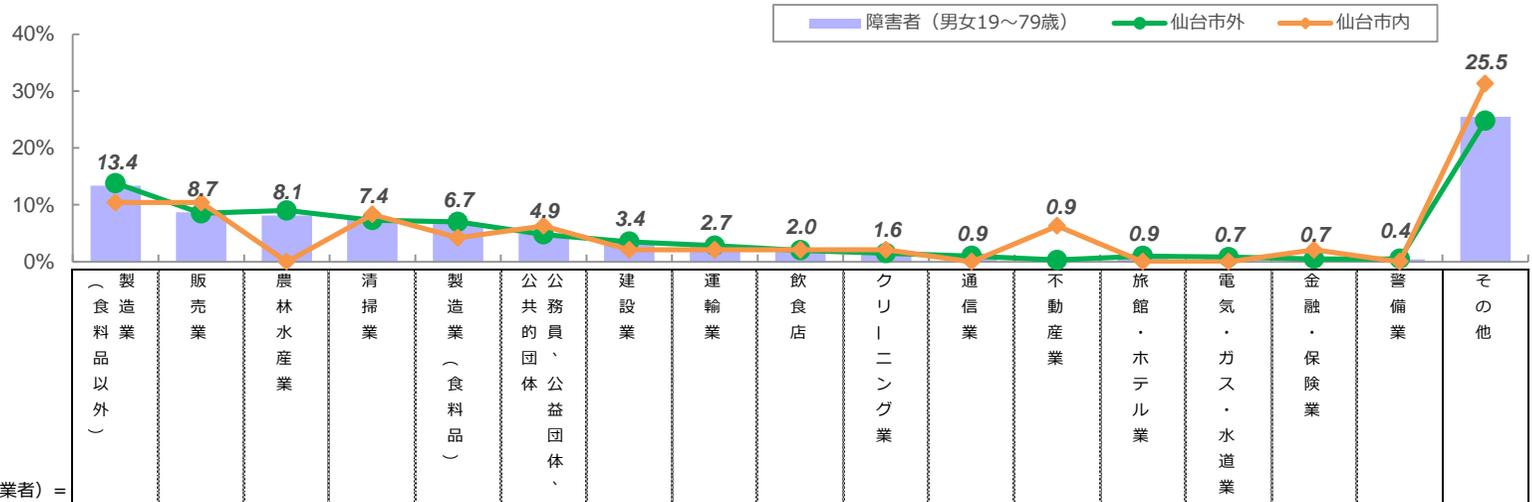
■ : +10.0%以上
 ■ : +5.0%以上
 ■ : -5.0%以下
 ■ : -10.0%以下

IV-2.就業状況 B.業種(障害者)

業種について、〈障害者〉では「製造業（食料品以外）」が13.4%と最も高く、次いで「販売業」、「農林水産業」、「清掃業」、「製造業（食品）」の順となっている。

- 障害種別・等級別にみると、〈身体〉では「販売業」、「公務員、公益団体、公共的団体」の割合が他の障害種別と比べて高くなっている。
また、〈療育A〉では「製造業（食料品以外）」、「農林水産業」の割合が他の区分に比べ最も高くなっている。
- 住まい別にみると、〈施設・病院〉では「製造業（食料品以外）」が最も高く、次いで「製造業（食料品）」となっており、製造業に従事する割合が3割を超えている。
- 居住地別にみると、〈仙台市外〉は「農林水産業」の割合が〈仙台市〉に比べて高い。また、〈仙台市内〉は「不動産業」の割合が〈仙台市外〉に比べて高くなっている。

※ 「障害者」のスコアが高い順に並べ替え



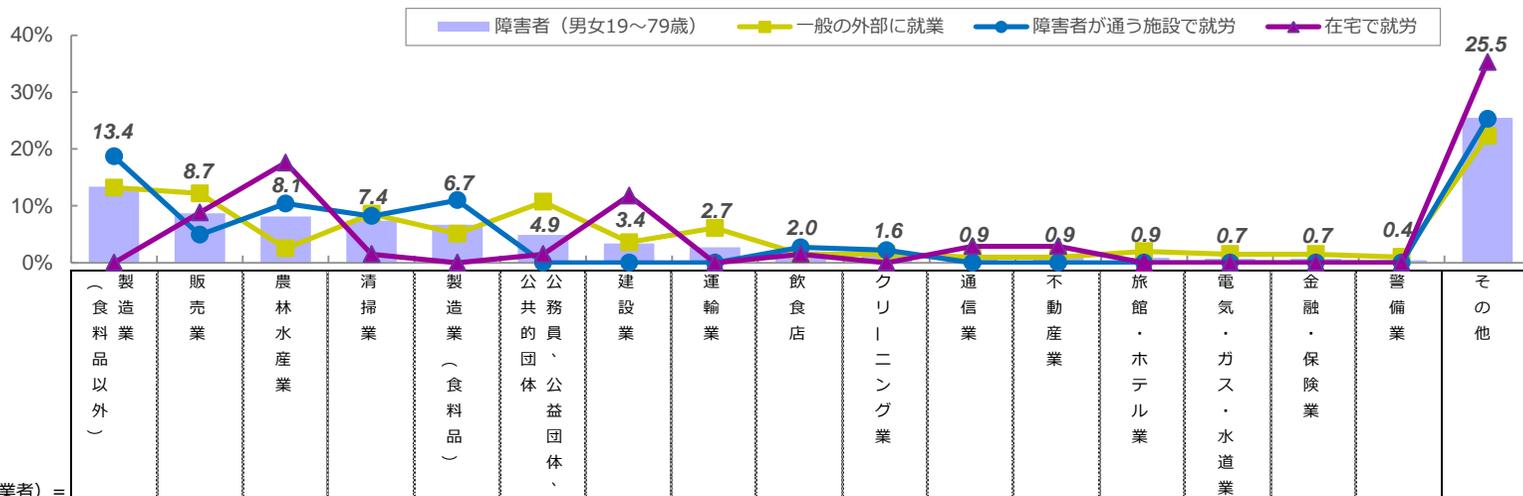
n (就業者) =		障害者 (男女19~79歳)	製造業 (食料品以外)	販売業	農林水産業	清掃業	製造業 (食品)	公務員、公益団体、公共的団体	建設業	運輸業	飲食店	クリーニング業	通信業	不動産業	旅館・ホテル業	電気・ガス・水道業	金融・保険業	警備業	その他	
障害者 (男女19~79歳)		447	13.4	8.7	8.1	7.4	6.7	4.9	3.4	2.7	2.0	1.6	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.4	25.5	
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	77	11.7	9.1	5.2	3.9	6.5	6.5	7.8	2.6	3.9	*	*	1.3	1.3	*	*	1.3	26.0	
	身体障害者手帳 3,4級	56	12.5	10.7	8.9	5.4	3.6	7.1	3.6	3.6	*	*	1.8	1.8	1.8	1.8	*	*	32.1	
	身体障害者手帳 5,6級	63	9.5	11.1	7.9	4.8	3.2	12.7	6.3	7.9	3.2	1.6	1.6	1.6	3.2	*	*	1.6	20.6	
	療育手帳 A	65	18.5	4.6	13.8	3.1	10.8	*	*	*	3.1	1.5	*	*	*	*	*	*	*	30.8
	療育手帳 B	96	15.6	8.3	8.3	12.5	10.4	1.0	*	2.1	1.0	5.2	*	*	1.0	*	*	*	24.0	
	精神障害者保健福祉手帳 1級	29	17.2	10.3	6.9	3.4	10.3	*	3.4	*	*	*	*	*	3.4	*	*	*	*	20.7
	精神障害者保健福祉手帳 2級	49	14.3	8.2	2.0	16.3	6.1	2.0	2.0	*	4.1	*	*	*	*	*	*	2.0	*	26.5
精神障害者保健福祉手帳 3級	47	6.4	6.4	4.3	6.4	4.3	6.4	2.1	2.1	4.3	2.1	4.3	*	*	4.3	4.3	*	27.7		
住まい	自宅	362	13.0	9.1	7.2	7.2	6.1	6.1	3.9	3.3	2.2	0.6	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	25.4
	施設・病院・その他計	63	19.0	3.2	9.5	9.5	12.7	*	*	*	1.6	6.3	*	*	*	*	*	*	28.6	
居住地	仙台市外	399	13.8	8.5	9.0	7.3	7.0	4.8	3.5	2.8	2.0	1.5	1.0	0.3	1.0	0.8	0.5	0.5	24.8	
	仙台市内	48	10.4	10.4	*	8.3	4.2	6.3	2.1	2.1	2.1	2.1	*	6.3	*	*	2.1	*	31.3	

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

IV-2.就業状況 B.業種(障害者)

- 就業状況別にみると、＜一般の外部に就業＞では「公務員・公益団体・公共的団体」が約1割と他の区分に比べて高くなっている。また、＜障害者が通う施設で就労＞では「製造業（食料品）・（食料品以外）」の割合が高く、＜在宅で就労＞は「農林水産業」、「建設業」の割合が高くなっている。
- 居住エリア別にみると、＜仙南圏域＞は他のエリアと比べ「製造業（食料品）・（食料品以外）」の割合が高くなっている。また、＜仙台市＞＜仙台圏域＞＜石巻圏域＞＜気仙沼圏域＞では「販売業」の割合が高く、＜大崎圏域＞＜栗原圏域＞＜登米圏域＞では「農林水産業」、「製造業（食料品以外）」の割合が高くなっている。

※「障害者」のスコアが
高い順に並べ替え



n (就業者) =		障害者 (男女19~79歳)	一般の外部に就業	障害者が通う施設で就労	在宅で就労	その他													
就業状況	障害者 (男女19~79歳)	447	13.4	8.7	8.1	7.4	6.7	4.9	3.4	2.7	2.0	1.6	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.4	25.5
	一般の外部に就業	197	13.2	12.2	2.5	8.6	5.1	10.7	3.6	6.1	1.5	1.5	1.0	1.0	2.0	1.5	1.5	1.0	22.3
	障害者が通う施設で就労	182	18.7	4.9	10.4	8.2	11.0	*	*	*	2.7	2.2	*	*	*	*	*	*	25.3
	在宅で就労	68	*	8.8	17.6	1.5	*	1.5	11.8	*	1.5	*	2.9	2.9	*	*	*	*	35.3
居住エリア	仙台市外	399	13.8	8.5	9.0	7.3	7.0	4.8	3.5	2.8	2.0	1.5	1.0	0.3	1.0	0.8	0.5	0.5	24.8
	仙台市内	48	10.4	10.4	*	8.3	4.2	6.3	2.1	2.1	2.1	2.1	*	6.3	*	*	2.1	*	31.3
	仙南圏域	66	22.7	4.5	10.6	6.1	12.1	1.5	4.5	*	3.0	3.0	1.5	*	*	1.5	*	*	16.7
	仙台市	48	10.4	10.4	*	8.3	4.2	6.3	2.1	2.1	2.1	2.1	*	6.3	*	*	2.1	*	31.3
	仙台圏域	113	7.1	10.6	4.4	6.2	7.1	8.0	2.7	5.3	1.8	1.8	1.8	0.9	2.7	1.8	0.9	*	26.5
	大崎圏域	68	20.6	7.4	13.2	8.8	2.9	5.9	2.9	5.9	1.5	*	1.5	*	*	*	*	1.5	22.1
	栗原圏域	35	20.0	2.9	11.4	2.9	*	2.9	2.9	*	2.9	*	*	*	*	*	2.9	*	25.7
	登米圏域	31	22.6	6.5	9.7	6.5	6.5	3.2	3.2	*	*	3.2	*	*	*	*	*	3.2	32.3
	石巻圏域	70	4.3	12.9	10.0	10.0	11.4	4.3	5.7	*	2.9	1.4	*	*	1.4	*	*	*	25.7
	気仙沼圏域	16	6.3	12.5	6.3	12.5	*	*	*	6.3	*	*	*	*	*	*	*	*	37.5
	石巻・気仙沼圏域	86	4.7	12.8	9.3	10.5	9.3	3.5	4.7	1.2	2.3	1.2	*	*	1.2	*	*	*	27.9

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

IV-2.就業状況 C.月収(障害者)

月収について、〈障害者〉では「1万円未満」が23.3%と最も高く、次いで「5万円～10万円未満」、「10万円～15万円未満」の順で、平均は8.0万円となっている。

- 障害種別・等級別にみると、〈身体〉の各等級は〈療育〉〈精神〉に比べ平均月収が高くなっており、いずれも「20万円以上」の割合が最も高くなっている。また、いずれの障害種別においても、等級が高いほど平均月収が低い傾向となっている。
- 住まい別にみると、〈施設・病院〉では「1万円未満」が4割を超えており、平均月収は〈自宅〉を大きく下回っている。
- 居住地別にみると、〈仙台市内〉は〈仙台市外〉に比べ「10万円～15万円未満」、「15万円～20万円未満」の割合が高く、平均月収は1万円上回っている。



IV-2.就業状況 C.月収(障害者)

■就業状況別にみると、＜一般の外部に就業＞では「10万円以上」が約6割を占め、平均月収は13.1万円と最も高くなっている。
一方、＜障害者が通う施設で就労＞では「1万円未満」が5割を占め、平均月収は2.1万円と大きな開きがある。

■居住エリア別にみると、＜仙台市＞、＜仙台圏域＞は平均月収が約9万円と他のエリアに比べて高く、都市圏とそれ以外との賃金差が反映されていると考えられる。



IV-2.就業状況 D.就業年数(障害者)

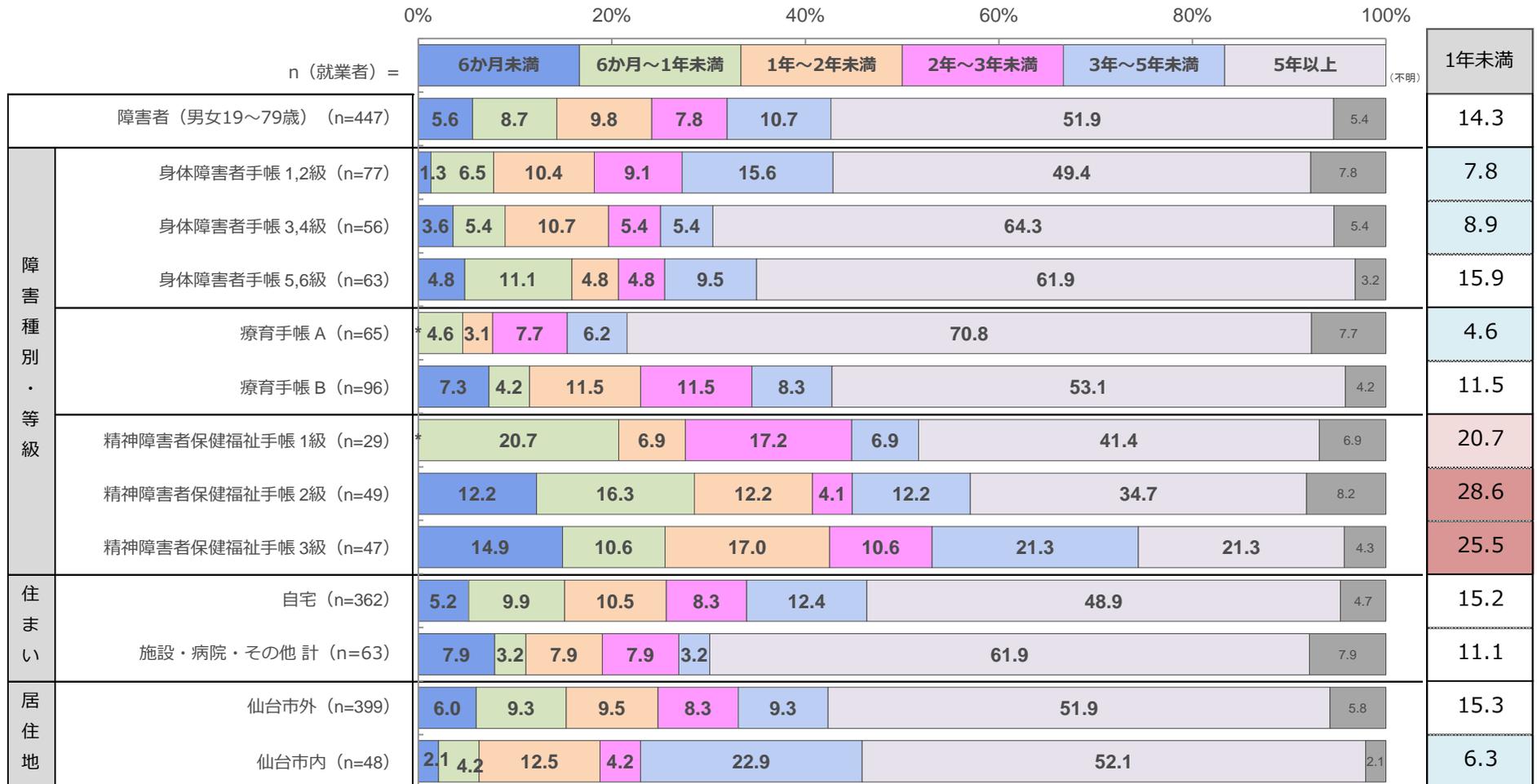
就業年数について、<障害者>では「5年以上」が約5割を占めており、「1年未満」の割合は14.3%となっている。

■ 障害種別・等級別にみると、いずれの障害区分においても、等級が高いほど「1年未満」の割合が低くなる傾向があり、定着率という面では等級の高い区分が勝っているが、等級が高くなると転職等の自由度が低くなることを反映した結果とも考えられる。

<療育A>では「5年以上」が約7割と他の区分と比べ最も高くなっている。<精神>は<身体><療育>に比べ「1年未満」の割合が高く、いずれも2割を超えている。

■ 住まい別にみると、<施設・病院>は<自宅>に比べ「5年以上」の割合が高くなっている。

■ 居住地別にみると、<仙台市内>は<仙台市外>に比べ「1年未満」の割合が低く、「3年以上」の割合が高くなっている。



「障害児」と比べて・・・

■ : +10.0%以上

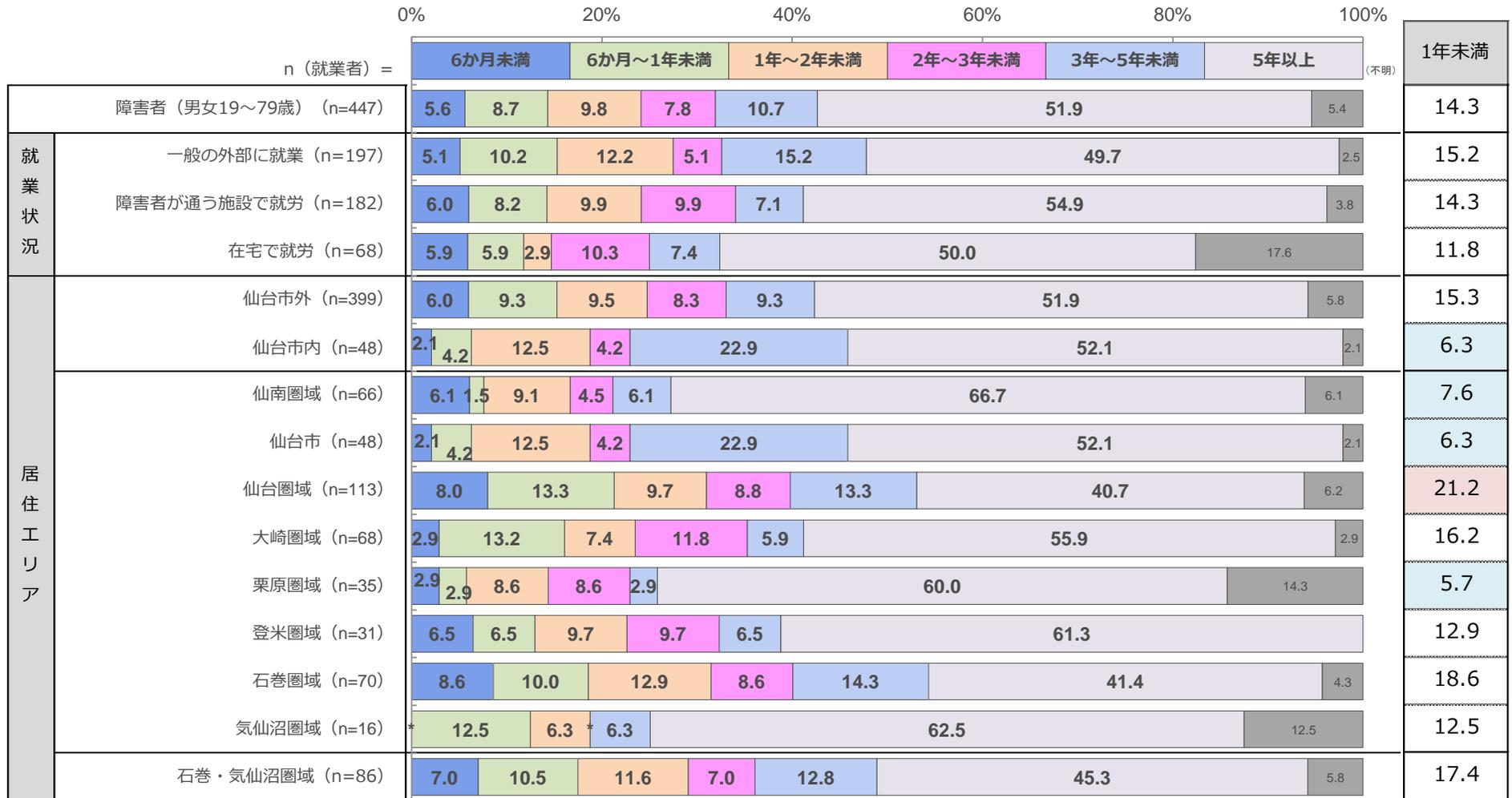
■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

IV-2.就業状況 D.就業年数(障害者)

- 就業状況別にみると、いずれの区分でも「5年以上」が最も高く、5割前後を占めている。「1年未満」の割合は<在宅で就労>で11.8%と最も低くなっている。
- 居住エリア別にみると、<仙南圏域> <仙台市>では「1年未満」が1割未満と低くなっている。一方、<仙台圏域> <大崎圏域> <石巻圏域>では2割前後と高くなっている。



「障害児」と比べて・・・

■ : +10.0%以上

■ : +5.0%以上

■ : -5.0%以下

■ : -10.0%以下

仕事・就職で困っていることについて、＜障害者＞では「給料・工賃が低い」が15.7%と最も高く、次いで「体調や症状に合わせて～」、「職場の人間関係がうまくいかない～」と続き、上位6項目までが1割以上となっている。

■障害種別・等級別にみると、＜身体＞のスコアは概ね＜障害者＞と似た傾向だが、「職場までの移動が大変である」は等級の低い区分ほど高くなっている。

＜療育＞では、＜療育A＞のスコアが全般的に低めであり、＜療育B＞は「給料・工賃が安い」のスコアが他の区分と比べて最も高くなっている。

＜精神＞では、いずれの等級も「体調や症状に合わせて～」のスコアが最も高く、他の上位項目も全般的にスコアが高めであり、困り事が多いことが伺える。

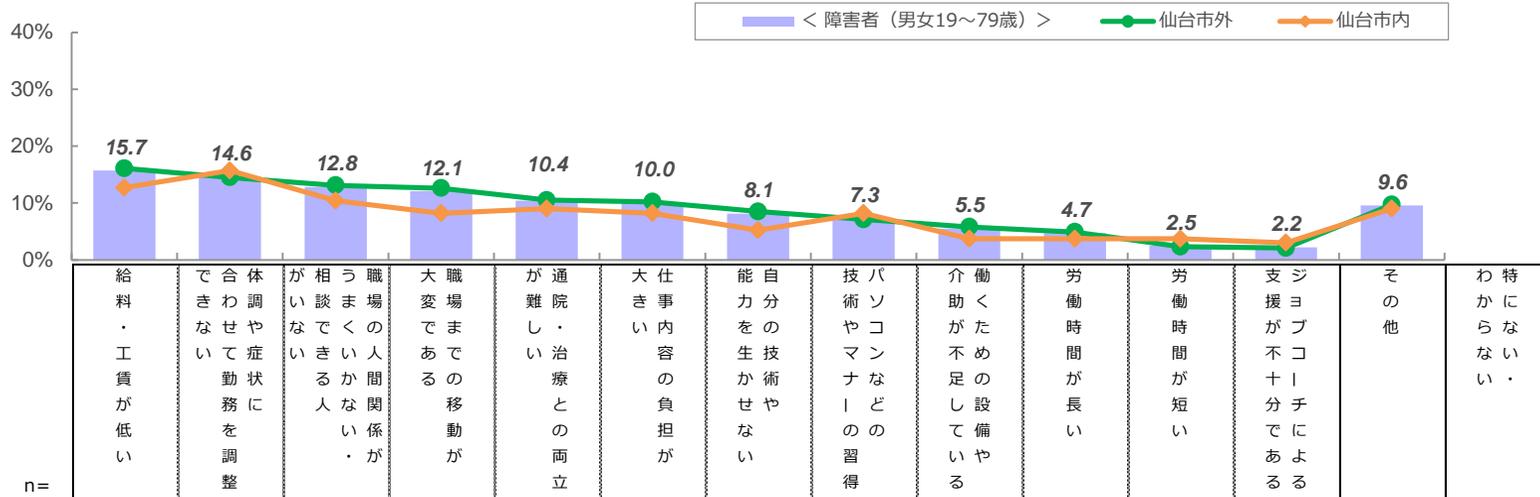
■住まい別にみると、＜施設・病院＞は＜自宅＞に比べ全般的にスコアが低く、特に「体調や症状に合わせて～」、「仕事内容の負担が大きい」、

「職場までの移動が大変である」は＜自宅＞を10ポイント以上、下回っている。

■居住地別にみて、大きな差は見られない。

※ 複数回答

※ 「障害者」のスコアが
高い順に並べ替え



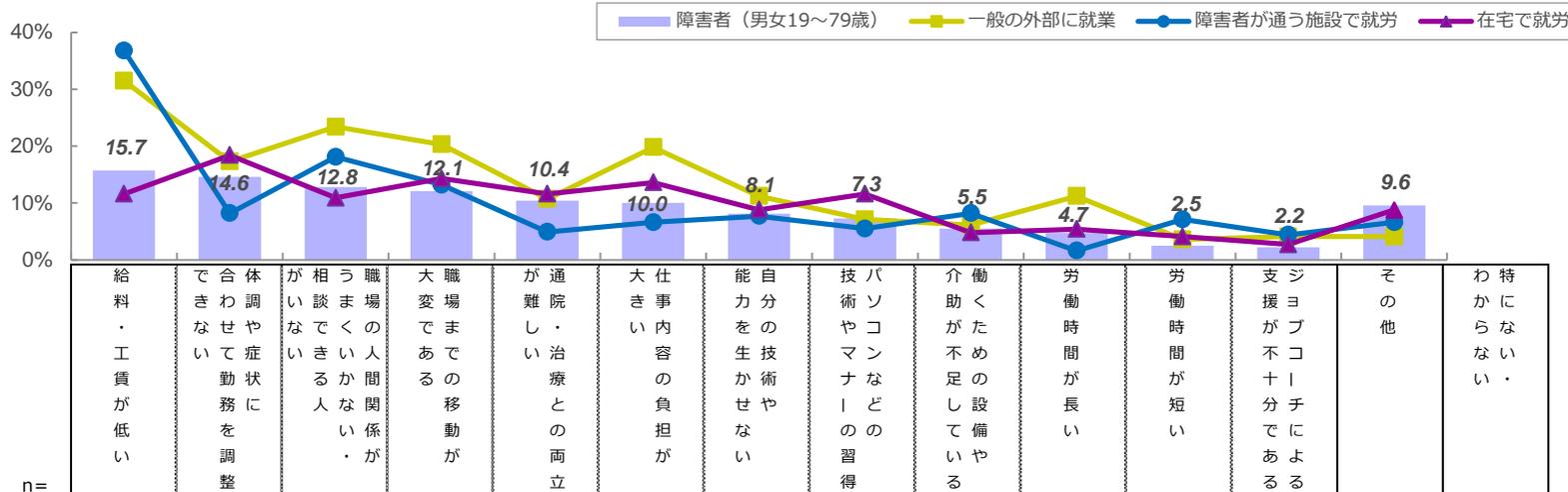
障害者 (男女19~79歳)		n=	給料・工賃が低い	体調や症状に合わせて～	職場の人間関係が	職場までの移動が	通院・治療との両立	仕事内容の負担が	自分の技術や習得	パソコンなどの習得	働くための設備や	労働時間が長い	労働時間が短い	支援プログラムなどによる	その他	わからない・
障害種別・等級	障害者 (男女19~79歳)	1,101	15.7	14.6	12.8	12.1	10.4	10.0	8.1	7.3	5.5	4.7	2.5	2.2	9.6	48.9
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	225	13.8	8.9	7.6	6.7	10.2	7.6	4.9	5.8	6.2	2.2	1.3	0.4	14.2	52.0
	身体障害者手帳 3,4級	150	13.3	14.0	8.0	10.7	8.7	10.7	5.3	8.0	7.3	5.3	2.0	3.3	8.0	55.3
	身体障害者手帳 5,6級	119	13.4	11.8	10.9	16.8	7.6	13.4	6.7	6.7	5.9	9.2	1.7	1.7	8.4	47.1
療育手帳	療育手帳 A	169	13.0	1.8	4.1	4.1	1.8	3.6	3.6	0.6	8.9	0.6	2.4	1.8	10.1	63.9
	療育手帳 B	141	22.7	11.3	19.1	17.7	9.2	8.5	7.8	3.5	6.4	2.1	3.5	2.8	3.5	48.9
	精神障害者保健福祉手帳 1級	141	11.3	22.0	15.6	14.9	10.6	11.3	12.1	8.5	7.8	4.3	2.1	2.8	16.3	47.5
精神障害者保健福祉手帳	精神障害者保健福祉手帳 2級	136	18.4	27.2	22.8	18.4	18.4	16.2	11.8	9.6	2.2	8.8	2.9	2.2	9.6	31.6
	精神障害者保健福祉手帳 3級	138	19.6	22.5	19.6	12.3	17.4	11.6	11.6	15.2	3.6	6.5	4.3	2.9	7.2	40.6
住まい	自宅	822	17.4	18.0	14.6	14.8	11.9	12.4	9.5	8.8	6.3	6.0	2.7	2.8	9.9	43.2
	施設・病院・その他 計	218	9.2	4.1	7.3	2.8	4.6	1.4	3.7	2.3	3.2	0.5	2.3	0.5	10.6	66.5
居住地	仙台市外	967	16.1	14.5	13.1	12.6	10.5	10.2	8.5	7.1	5.8	4.9	2.3	2.1	9.7	48.3
	仙台市内	134	12.7	15.7	10.4	8.2	9.0	8.2	5.2	8.2	3.7	3.7	3.7	3.0	9.0	53.0

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

■就業状況別にみると、「給料・工賃が低い」は<一般の外部に就業>、<障害者が通う施設で就労>では3割を超え最も高い項目となっているのに対し、<在宅で就労>では約1割となっている。
 また、<一般の外部に就業>では「職場までの移動が大変」、「仕事内容の負担が大きい」のスコアが他の区分と比べて高い。一方、<障害者が通う施設で就労>では「体調や症状に合わせて〜」、「通院・治療との両立が難しい」、「仕事内容の負担が大きい」が他の区分と比べて低くなっている。
 ■居住エリア別にみると、<登米圏域>では「仕事内容の負担が大きい」、「労働時間が長い」のスコアが他のエリアと比べて高い点が目立つ。

※ 複数回答

※ 「障害者」のスコアが高い順に並べ替え



n=		給料・工賃が低い	体調や症状に合わせて勤務を調整できない	職場の人間関係がうまくいかない	職場での移動が大変	通院・治療との両立が難しい	仕事内容の負担が大きい	自分の技術や知識を生かせない	パソコンなどの習得が難しい	働くための設備が不足している	労働時間が長い	労働時間が短い	支援が不十分である	その他	わからない	
障害者 (男女19~79歳)	1,101	15.7	14.6	12.8	12.1	10.4	10.0	8.1	7.3	5.5	4.7	2.5	2.2	9.6	48.9	
就業状況	一般の外部に就業	197	31.5	17.3	23.4	20.3	10.7	19.8	11.2	7.1	6.1	11.2	3.6	4.1	4.1	32.5
	障害者が通う施設で就労	182	36.8	8.2	18.1	13.2	4.9	6.6	7.7	5.5	8.2	1.6	7.1	4.4	6.6	37.4
	在宅で就労	147	11.6	18.4	10.9	14.3	11.6	13.6	8.8	11.6	4.8	5.4	4.1	2.7	8.8	46.3
	合計	1,101	15.7	14.6	12.8	12.1	10.4	10.0	8.1	7.3	5.5	4.7	2.5	2.2	9.6	48.9
居住エリア	仙台市外	967	16.1	14.5	13.1	12.6	10.5	10.2	8.5	7.1	5.8	4.9	2.3	2.1	9.7	48.3
	仙台市内	134	12.7	15.7	10.4	8.2	9.0	8.2	5.2	8.2	3.7	3.7	3.7	3.0	9.0	53.0
	仙南圏域	144	20.8	15.3	13.9	14.6	12.5	9.7	10.4	9.0	6.3	4.2	4.2	1.4	6.3	41.7
	仙台市	134	12.7	15.7	10.4	8.2	9.0	8.2	5.2	8.2	3.7	3.7	3.7	3.0	9.0	53.0
	仙台圏域	318	17.0	14.2	12.6	13.2	11.9	9.4	7.5	7.9	8.2	5.3	2.2	2.2	11.3	45.3
	大崎圏域	154	18.2	17.5	14.9	12.3	11.7	12.3	11.7	6.5	4.5	3.9	1.9	2.6	12.3	45.5
	栗原圏域	74	17.6	10.8	16.2	9.5	4.1	10.8	5.4	5.4	4.1	2.7	*	1.4	4.1	59.5
	登米圏域	76	13.2	14.5	15.8	9.2	5.3	15.8	9.2	6.6	3.9	13.2	2.6	2.6	6.6	57.9
	石巻圏域	142	10.6	12.7	7.7	14.8	9.2	7.0	5.6	5.6	2.1	2.8	2.8	2.1	8.5	52.1
	気仙沼圏域	59	10.2	15.3	15.3	8.5	13.6	10.2	10.2	6.8	8.5	3.4	*	1.7	16.9	52.5
	石巻・気仙沼圏域	201	10.4	13.4	10.0	12.9	10.4	8.0	7.0	6.0	4.0	3.0	2.0	2.0	10.9	52.2

各サンプル区分における・・・ 上位1位: (赤) 上位3位以内: (茶) 上位5位以内: (紫)

調査結果の詳細



V. 差別について

※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果（ウェイト集計値）です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

V-1・2. 障害者差別解消法の認知／被差別経験

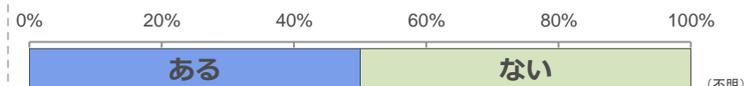
障害者差別解消法の認知／被差別体験について、<全体>では、障害者差別解消法を「知っている」が22.6%、被差別体験が「ある」は28.4%となっている。

- 年代別にみると、障害者差別解消法の認知率は<障害児>で約4割と<障害者>の約2倍のスコアとなっている。被差別経験も<障害児>が<障害者>よりも高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、障害者差別解消法の認知は<身体1,2級><療育A><精神3級>で3割前後と高く、<身体><療育>では等級が高いほど認知率が高い一方、<精神>では等級が高いほど認知率は低くなっている。被差別経験は<療育A><療育B><精神1級><精神2級>で高く、それぞれ4割前後となっている。
- 住まい別にみると、障害者差別解消法の認知率、被差別経験とも<自宅>の方が<施設・病院>よりも高くなっている。
- 居住地別にみて、大きな差はみられない。

■ 障害者差別解消法の認知



■ 被差別経験



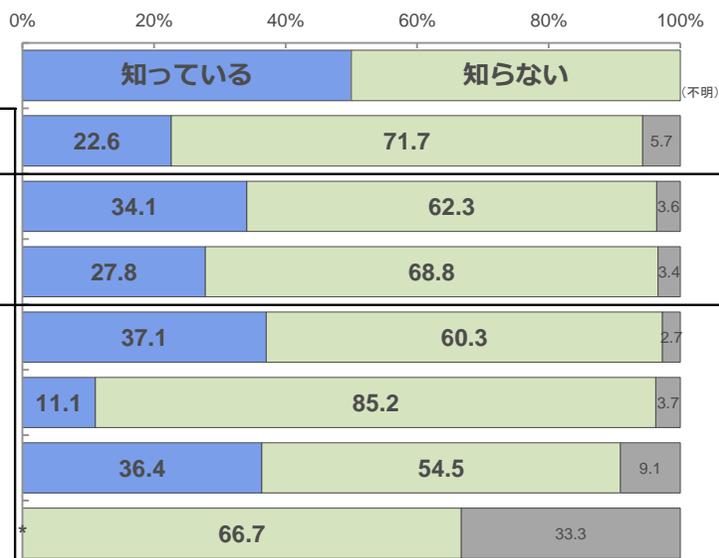
年代	障害種別・等級	住まい	居住地	障害者差別解消法の認知			被差別経験		
				知っている (%)	知らない (%)	不明 (%)	ある (%)	ない (%)	不明 (%)
			全体 (男女0~79歳) (N=1910)	22.6	71.7	5.7	28.4	66.4	5.2
年代			障害児 (男女0~18歳) (n=809)	39.9	59.3	0.7	38.2	60.3	1.5
			障害者 (男女19~79歳) (n=1101)	20.4	74.2	5.4	33.2	60.4	6.4
障害種別・等級	身体障害者手帳		身体障害者手帳 1,2級 (n=449)	35.0	60.6	4.5	33.4	61.2	5.3
			身体障害者手帳 3,4級 (n=282)	25.5	71.6	2.8	30.9	67.0	2.1
			身体障害者手帳 5,6級 (n=166)	22.3	74.7	3.0	28.3	68.7	3.0
	療育手帳		療育手帳 A (n=450)	37.6	59.6	2.9	38.2	56.4	5.3
			療育手帳 B (n=373)	26.5	70.0	3.5	40.8	56.0	3.2
	精神障害者保健福祉手帳		精神障害者保健福祉手帳 1級 (n=149)	17.4	74.5	8.1	41.6	48.3	10.1
			精神障害者保健福祉手帳 2級 (n=166)	21.7	75.9	2.4	44.0	51.2	4.8
		精神障害者保健福祉手帳 3級 (n=154)	29.9	69.5	0.6	30.5	68.2	1.3	
住まい		自宅 (n=1584)	30.9	67.1	2.0	36.9	60.4	2.7	
		施設・病院・その他 計 (n=248)	17.3	75.4	7.3	24.2	65.7	10.1	
居住地		仙台市外 (n=1584)	28.0	68.9	3.2	35.9	60.0	4.1	
		仙台市内 (n=326)	32.2	63.2	4.6	32.5	62.0	5.5	

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

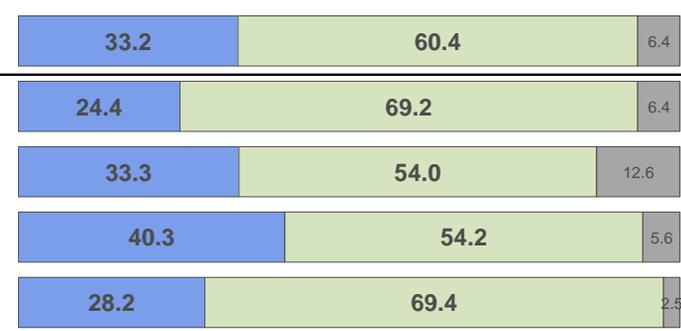
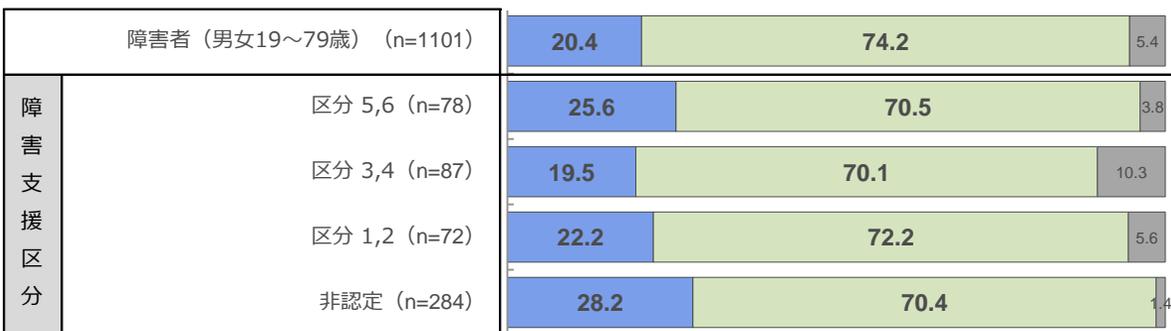
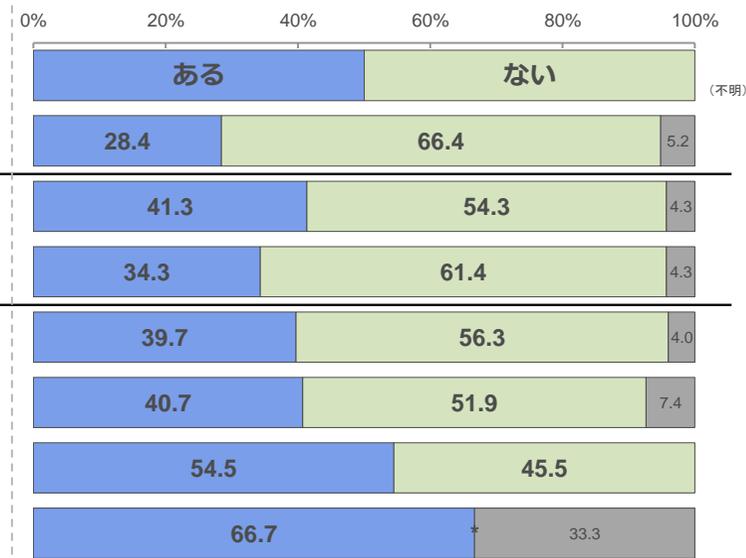
V-1・2. 障害者差別解消法の認知／被差別経験

- 重複障害別にみると、障害者差別解消法の認知率、被差別経験とも<重複>の方が<単独>よりも高くなっている。
- 障害支援区分別にみると、障害者差別解消法の認知率は<非認定>で3割弱と最も高く、次いで<区分5,6>で約25%となっている。被差別経験は支援の必要度合いが低い区分ほどスコアが高く、<区分1,2>では約4割となっている。

■ 障害者差別解消法の認知



■ 被差別経験



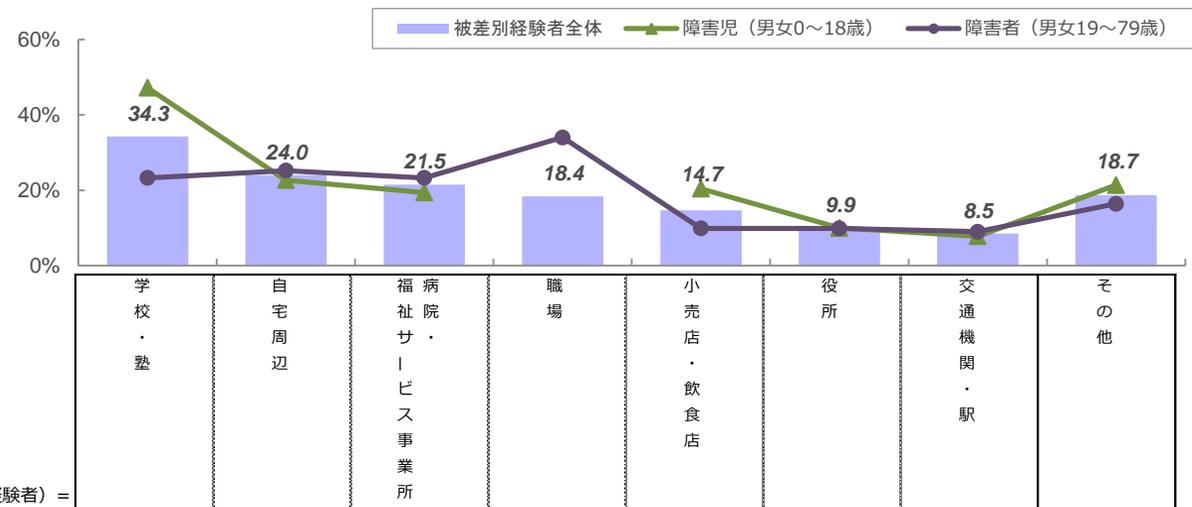
※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

V-3. 差別された場所

差別された場所について、<全体>では「学校・塾」が34.3%と最も高く、次いで「自宅周辺」、「病院・福祉サービス事業所」、「職場」の順となっている。

- 年代別にみると、<障害児>では「学校・塾」、<障害者>では「職場」が最も高く、住まい以外で長時間を過ごす場所での経験が多くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、「職場」のスコアは<精神2級><精神3級>で他の区分に比べて高く、「自宅周辺」のスコアは<精神1級>で高くなっている。「学校・塾」のスコアは<身体3,4級><身体5,6級><療育B><精神2級>で高く、<療育B>では5割を超えている。また、「病院・福祉サービス事業所」は<療育A><精神1級>で高くなっている。このほか、<療育A>では「小売店・飲食店」のスコアが約3割と突出して高くなっている。
- 住まい別にみると、<自宅>では「学校・塾」が最も高く、<施設・病院>では「自宅周辺」が最も高くなっている。
- 居住地別にみると、「学校・塾」、「病院・福祉サービス事業所」のスコアに大きな差がみられ、「学校・塾」は<仙台市内>の方が高く、「病院・福祉サービス事業所」は<仙台市外>の方が高くなっている。

※ 複数回答
 ※ 「被差別経験者全体」のスコアが高い順に並べ替え



n (被差別経験者) =

		被差別経験者全体 (男女0~79歳)	674	34.3	24.0	21.5	18.4	14.7	9.9	8.5	18.7
年代	障害児 (男女0~18歳)	309	47.2	22.7	19.4	-	20.4	10.0	7.8	21.4	
	障害者 (男女19~79歳)	365	23.3	25.2	23.3	34.0	9.9	9.9	9.0	16.4	
	障害種別・等級										
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	150	26.7	21.3	19.3	14.0	21.3	7.3	10.7	23.3	
	身体障害者手帳 3,4級	87	47.1	12.6	20.7	23.0	9.2	9.2	9.2	14.9	
	身体障害者手帳 5,6級	47	31.9	23.4	10.6	29.8	4.3	10.6	10.6	19.1	
	療育手帳 A	172	27.3	25.0	29.1	1.7	31.4	9.9	8.7	22.1	
	療育手帳 B	152	53.3	29.6	13.2	13.2	13.8	6.6	9.9	17.1	
	精神障害者保健福祉手帳 1級	62	29.0	37.1	29.0	17.7	6.5	14.5	8.1	22.6	
	精神障害者保健福祉手帳 2級	73	35.6	26.0	20.5	35.6	8.2	8.2	4.1	9.6	
精神障害者保健福祉手帳 3級	47	10.6	14.9	23.4	31.9	*	21.3	4.3	25.5		
住まい	自宅	585	34.9	22.7	21.7	18.3	14.9	9.7	8.9	18.1	
	施設・病院・その他 計	60	33.3	41.7	23.3	18.3	15.0	8.3	6.7	13.3	
居住地	仙台市外	568	32.4	24.6	23.1	19.4	14.8	10.2	9.0	18.5	
	仙台市内	106	44.3	20.8	13.2	13.2	14.2	8.5	5.7	19.8	

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

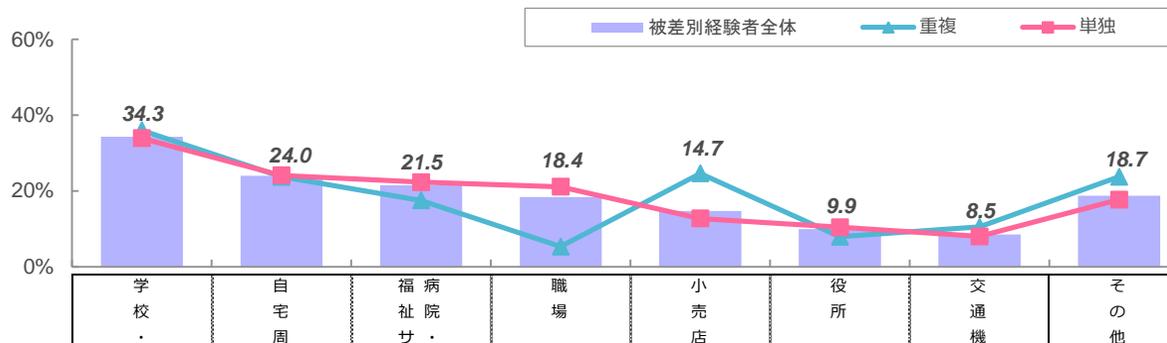
V-3. 差別された場所

■ 重複障害別にみると、「職場」のスコアは<重複>で5.3%と低く、<単独>を大きく下回っている。一方、「小売店・飲食店」は<重複>で24.6%と、<単独>の約2倍のスコアとなっている。

■ 障害支援区分別にみると、「職場」のスコアは、支援の必要度合いが低い区分ほど高く、<非認定>で45.0%となっている。一方、「小売店・飲食店」、「病院・福祉サービス事業所」のスコアは、支援の必要度合いが高い区分ほど高くなっている

※ 複数回答

※ 「被差別経験者全体」のスコアが高い順に並べ替え



n (被差別経験者) =

被差別経験者全体 (男女0~79歳)		674	34.3	24.0	21.5	18.4	14.7	9.9	8.5	18.7
重複障害	重複	114	36.0	23.7	17.5	5.3	24.6	7.9	10.5	23.7
	単独	560	33.9	24.1	22.3	21.1	12.7	10.4	8.0	17.7
	身体&療育	89	32.6	20.2	16.9	2.2	30.3	7.9	12.4	23.6
	身体&精神	11	18.2	9.1	36.4	27.3	*	18.2	9.1	27.3
	療育&精神	12	75.0	50.0	*	8.3	8.3	*	*	16.7
	身体&療育&精神	2	50.0	100.0	50.0	*	*	*	*	50.0

n (被差別経験者) =

被差別経験のある障害者 (男女19~79歳)		365	23.3	25.2	23.3	34.0	9.9	9.9	9.0	16.4
障害区分支援	区分 5,6	19	31.6	21.1	42.1	5.3	31.6	5.3	*	31.6
	区分 3,4	29	24.1	31.0	31.0	20.7	24.1	10.3	10.3	10.3
	区分 1,2	29	37.9	31.0	24.1	24.1	6.9	6.9	3.4	6.9
	非認定	80	33.8	18.8	12.5	45.0	6.3	10.0	12.5	13.8

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

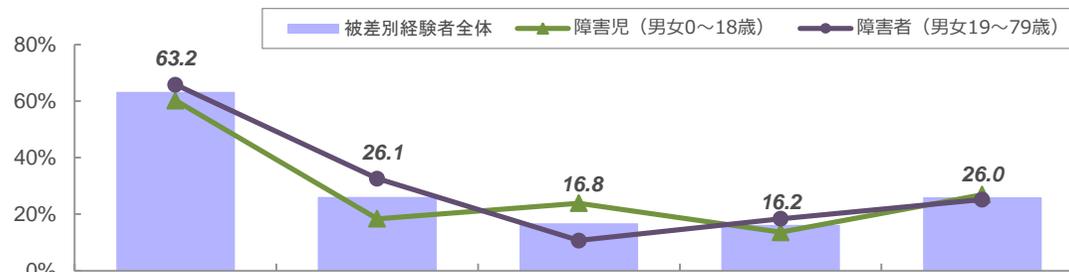
V-4. 差別された内容

差別された内容について、〈全体〉では「偏見を感じるような対応〜」が63.2%と最も高く、次いで「困っているのに手助けしてもらえなかった」が26.1%と高くなっている。

- 年代別にみると、〈障害児〉〈障害者〉とも「偏見を感じるような対応〜」が最も高いが、〈障害児〉では、これに次ぎ「サービスなどの利用を拒否・制限」が23.9%と高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、各区分とも「偏見を感じるような対応〜」が最も高い。同項目は〈精神〉では等級が高いほどスコアも高い傾向がみられ、〈精神1級〉では約8割となっている。一方、〈身体〉〈療育〉では等級が低いほどスコアが高い傾向となっている。
- 住まい別にみると、〈施設・病院〉では「サービスなどの利用を拒否・制限」のスコアが〈自宅〉に比べて低くなっている。
- 居住地別にみると、〈仙台市内〉では「困っているのに手助けしてもらえなかった」、「コミュニケーションに対する配慮〜」が〈仙台市外〉に比べて低くなっている。

※ 複数回答

※ 「被差別経験者全体」のスコアが高い順に並べ替え



n（被差別経験者）＝			偏見を感じるような対応をされた (仲間はずれにされた、付き添いの人しか相手にしなかった など)	困っているのに手助けしてもらえなかった	サービスなどの利用を拒否された・制限された	コミュニケーションに対する配慮が足りなかった (筆談してくれなかった、難しい漢字ばかりの資料を渡された など)	その他
被差別経験者全体（男女0～79歳）	674		63.2	26.1	16.8	16.2	26.0
年代	障害児（男女0～18歳）	309	60.2	18.4	23.9	13.6	26.9
	障害者（男女19～79歳）	365	65.8	32.6	10.7	18.4	25.2
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	150	51.3	32.7	22.0	15.3	27.3
	身体障害者手帳 3,4級	87	62.1	16.1	18.4	18.4	23.0
	身体障害者手帳 5,6級	47	68.1	27.7	14.9	14.9	14.9
	療育手帳 A	172	54.1	25.6	23.3	9.3	29.7
	療育手帳 B	152	67.1	21.7	15.8	16.4	26.3
	精神障害者保健福祉手帳 1級	62	80.6	29.0	11.3	21.0	29.0
	精神障害者保健福祉手帳 2級	73	74.0	31.5	12.3	17.8	24.7
	精神障害者保健福祉手帳 3級	47	61.7	29.8	10.6	23.4	21.3
住まい	自宅	585	63.2	25.8	18.3	16.6	25.0
	施設・病院・その他 計	60	70.0	30.0	8.3	15.0	26.7
居住地	仙台市外	568	64.1	27.1	16.7	17.3	25.9
	仙台市内	106	58.5	20.8	17.0	10.4	26.4

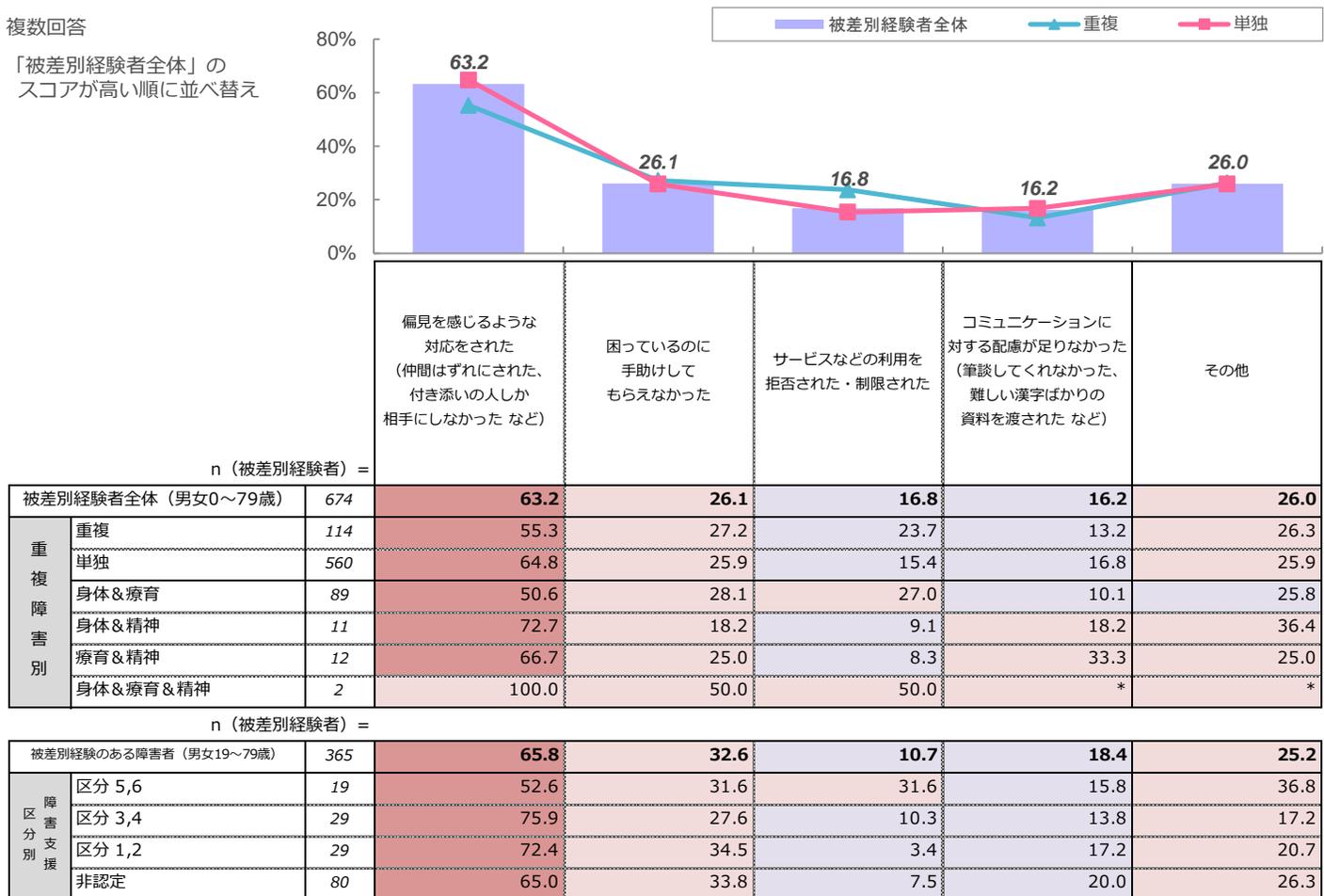
各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

V-4. 差別された内容

- 重複障害別にみると、〈重複〉は〈単独〉に比べ「偏見を感じるような対応～」のスコアが低い、 「サービスなどの利用を拒否・制限」は23.7%と高くなっている。
- 障害支援区分別にみると、「偏見を感じるような対応～」は〈非認定〉においても65.0%と、〈被差別経験のある障害者（全体）〉と同等のスコアとなっている。

※ 複数回答

※ 「被差別経験者全体」のスコアが高い順に並べ替え



各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

調査結果の詳細



VI. 困ったときの相談について

※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果（ウェイト集計値）です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

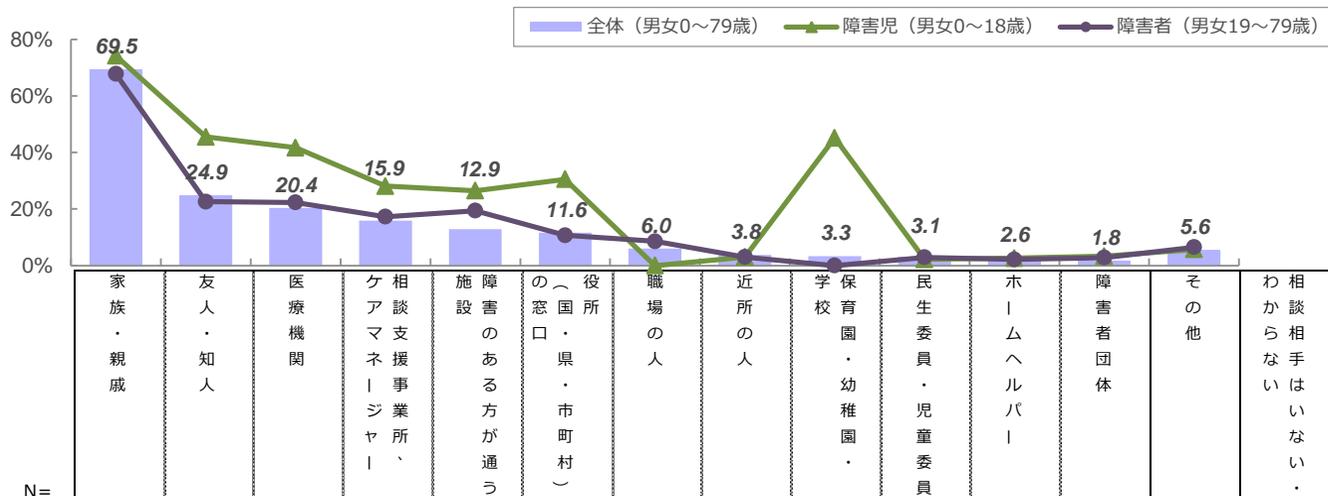
※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

VI-1. 相談相手

相談相手について、<全体>では「家族・親戚」が69.5%と最も高く、次いで「友人・知人」、「医療機関」が2割超となっている。
 ■年代別にみると、<障害児>は<障害者>に比べ全般的にスコアが高く、「友人・知人」、「役所」、「相談支援事業所」、「医療機関」で大きく上回っている。
 ■障害種別・等級別にみると、各区分とも「家族・親戚」が最も高くなっている。また、<身体><療育>では、「役所」、「相談支援事業所」、「障害のある方が通う施設」、「医療機関」のスコアが等級の高い区分ほど高くなっている。<精神1級><精神2級>では「友人・知人」のスコアが他の区分と比べ低くなっている。
 ■住まい別にみると、<施設・病院>は<自宅>に比べ「家族・親戚」はもとより、「友人・知人」のスコアも大幅に低くなっている。
 ■居住地別にみて、大きな差はみられない。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		全体 (男女0~79歳)	家族・親戚	友人・知人	医療機関	ケア相談支援事業所、相談支援事業所、施設のある方が通う障害者の窓口	役所(国・県・市町村)	職場の人	近所の人	学校(保育園・幼稚園)	民生委員・児童委員	ホームヘルパー	障害者団体	その他	わからない相手はいない	
年代	全体 (男女0~79歳)	1,910	69.5	24.9	20.4	15.9	12.9	11.6	6.0	3.8	3.3	3.1	2.6	1.8	5.6	9.7
	障害児 (男女0~18歳)	809	74.2	45.5	41.7	28.1	26.5	30.5	-	3.0	45.2	2.2	2.6	3.3	5.7	4.1
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	67.8	22.6	22.3	17.3	19.4	10.7	8.6	3.0	-	2.9	2.2	2.8	6.5	10.5
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	70.6	34.1	38.1	23.4	23.8	27.4	2.7	3.6	19.2	2.4	5.1	4.2	4.9	8.5
	身体障害者手帳 3,4級	282	78.4	34.4	30.5	11.3	9.2	15.2	4.3	3.2	17.7	1.8	1.8	2.5	5.7	5.7
	身体障害者手帳 5,6級	166	75.3	35.5	16.3	7.8	7.8	9.0	9.0	3.0	14.5	3.0	*	*	7.2	10.8
	療育手帳 A	450	68.0	36.4	31.3	39.1	46.0	26.7	2.2	2.9	31.3	2.7	3.8	4.2	6.9	6.7
	療育手帳 B	373	69.7	34.3	19.6	23.9	25.7	18.8	6.2	2.7	31.1	2.4	0.8	2.4	5.6	5.6
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	70.5	18.8	34.2	24.8	16.1	14.8	6.7	2.0	1.3	2.7	4.0	4.0	7.4	11.4
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	65.1	21.7	42.2	24.1	21.1	15.7	4.2	1.2	4.8	4.8	0.6	3.6	9.0	7.8
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	68.8	30.5	39.6	18.2	12.3	15.6	7.8	5.2	3.9	1.9	2.6	2.6	5.8	9.7
住まい	自宅	1,584	75.3	36.6	32.2	21.4	20.8	20.1	5.2	3.1	22.0	2.3	2.2	2.8	4.4	6.8
	施設・病院・その他計	248	46.4	8.9	24.2	25.0	36.3	14.9	2.8	0.4	3.2	3.6	2.4	4.8	17.3	10.5
居住地	仙台市外	1,584	71.0	31.9	29.7	22.7	23.0	18.9	5.5	2.8	19.3	2.7	2.0	2.8	5.2	7.4
	仙台市内	326	68.4	34.0	34.4	18.1	19.3	19.9	2.5	3.7	18.7	2.1	4.0	4.3	10.7	9.5

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

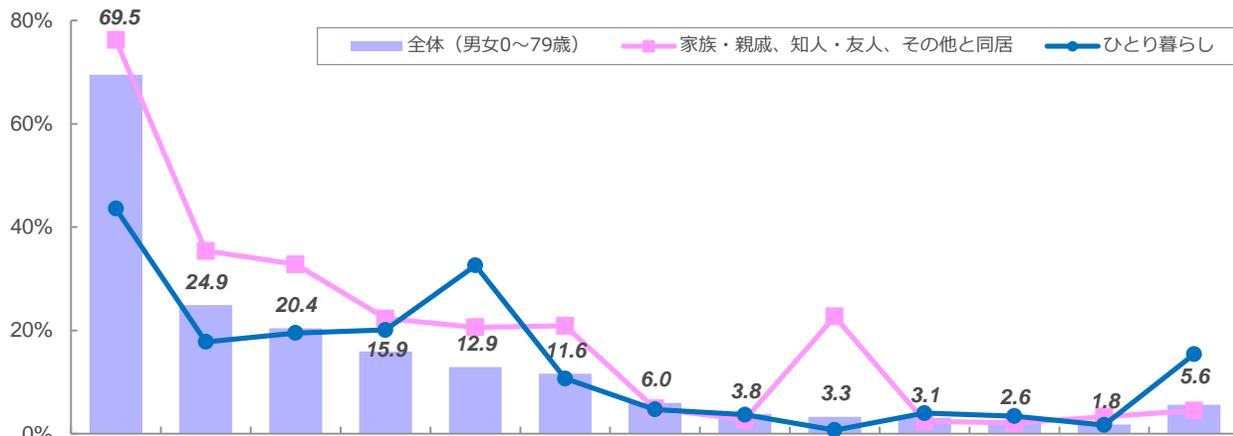
上位5位以内：

VI-1. 相談相手

■同居家族別にみると、<同居家族あり>は<ひとり暮らし>に比べて全般的にスコアが高く、「家族・親戚」、「保育園・幼稚園・学校」はもとより、「友人・知人」、「役所の窓口」、「医療機関」でも<ひとり暮らし>を大きく上回っている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		家族・親戚	友人・知人	医療機関	ケアマネジャー、相談支援事業所、	施設のある方が通う	役所の窓口 (国・県・市町村)	職場の人	近所の人	学校 保育園・幼稚園・	民生委員・児童委員	ホームヘルパー	障害者団体	その他	わからない	
全体 (男女0~79歳)	1,910	69.5	24.9	20.4	15.9	12.9	11.6	6.0	3.8	3.3	3.1	2.6	1.8	5.6	9.7	
同居家族	同居家族あり	1,580	76.2	35.4	32.8	22.3	20.6	20.9	4.9	2.7	22.7	2.4	2.1	3.3	4.5	6.6
	ひとり暮らし (施設入所を含む)	298	43.6	17.8	19.5	20.1	32.6	10.7	4.7	3.7	0.7	4.0	3.4	1.7	15.4	11.7

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

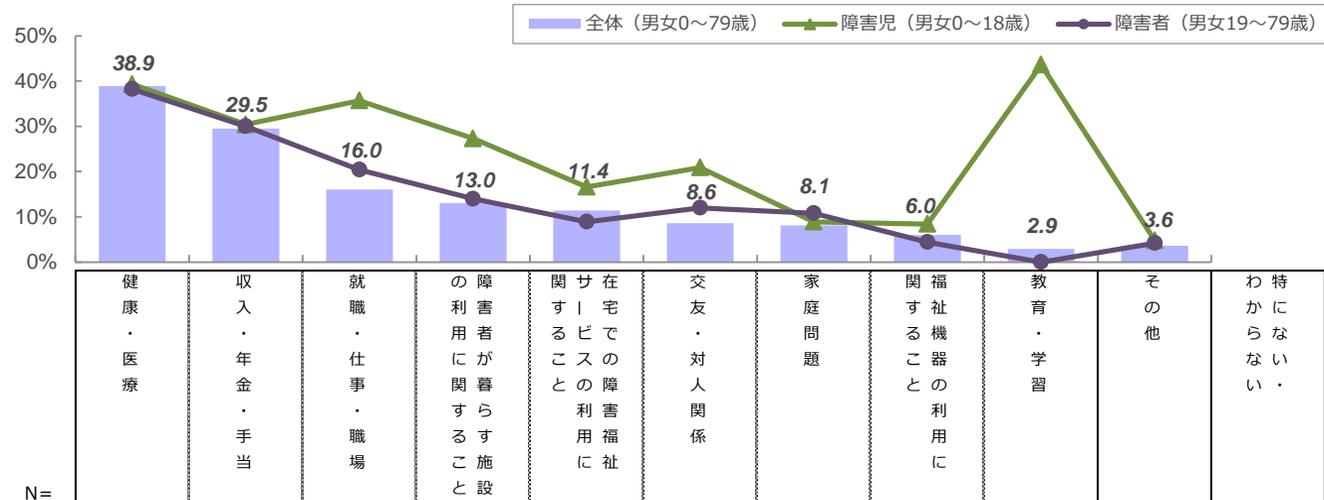
VI-2. 相談内容

相談内容について、＜全体＞では「健康・医療」が38.9%と最も高く、次いで「収入・年金・手当」、「就職・仕事・職場」の順となっている。

- 年代別にみると、＜障害児＞では「教育・学習」が43.6%と最も高い。また、「就職・仕事・職場」、「障害者が暮らす施設の～」が＜障害者＞よりも高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、＜身体＞＜精神＞では「健康・医療」が最も高いが、＜療育A＞では「障害者が暮らす施設の～」、＜療育B＞では「就職・仕事・職場」が最も高くなっている。また、＜精神2級＞＜精神3級＞では「収入・年金・手当」、「就職・仕事・職場」が高く4割前後となっている。
- 住まい別にみると、＜施設・病院＞ではいずれの項目も＜自宅＞よりスコアが低く、P●「相談相手」にあるように、相談相手が限られていることの影響と考えられる。
- 居住地別にみると、「就職・仕事・職場」は＜仙台市外＞の方が高く、「教育・学習」は＜仙台市内＞の方が高くなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		健康・医療	収入・年金・手当	就職・仕事・職場	障害者が暮らす施設	在宅での生活に支障をきたすこと	交友・対人関係	家庭問題	福祉機器の利用	教育・学習	その他	わからない	
全体 (男女0~79歳)	1,910	38.9	29.5	16.0	13.0	11.4	8.6	8.1	6.0	2.9	3.6	34.9	
年代	障害児 (男女0~18歳)	809	39.3	30.4	35.7	27.3	16.6	20.9	8.4	43.6	4.8	10.6	
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	38.2	30.0	20.4	14.0	8.9	12.0	10.8	-	4.2	34.0	
	障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	40.8	27.4	16.0	22.9	19.2	8.7	8.0	13.4	17.8	5.3
身体障害者手帳 3,4級		282	41.1	29.8	23.0	12.1	8.9	11.0	6.0	6.7	20.9	3.9	26.6
身体障害者手帳 5,6級		166	37.3	27.7	27.7	10.2	6.6	10.2	8.4	9.0	15.7	3.0	25.3
療育手帳 A		450	38.0	23.6	22.7	41.3	21.8	11.6	8.7	7.6	19.1	4.7	24.0
療育手帳 B		373	30.0	26.8	39.1	19.3	6.4	22.8	7.5	1.9	32.4	2.4	21.4
精神障害者保健福祉手帳 1級		149	44.3	30.2	22.1	23.5	14.8	16.8	18.8	2.7	4.0	6.0	29.5
精神障害者保健福祉手帳 2級		166	45.8	42.2	38.0	15.1	10.2	27.1	22.9	3.6	10.2	4.2	16.3
精神障害者保健福祉手帳 3級		154	46.1	44.8	34.4	6.5	7.1	22.7	12.3	2.6	4.5	7.8	20.1
住まい	自宅	1,584	40.3	33.0	30.4	20.8	13.1	17.0	11.0	6.4	21.1	4.6	18.7
	施設・病院・その他計	248	29.0	14.9	8.9	14.1	8.1	11.3	4.4	4.8	5.6	3.6	53.6
居住地	仙台市外	1,584	38.4	30.6	27.8	19.1	12.0	16.2	10.1	5.9	16.7	4.1	24.0
	仙台市内	326	40.2	28.2	22.4	22.1	12.9	13.5	9.5	6.7	27.0	6.1	24.5

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

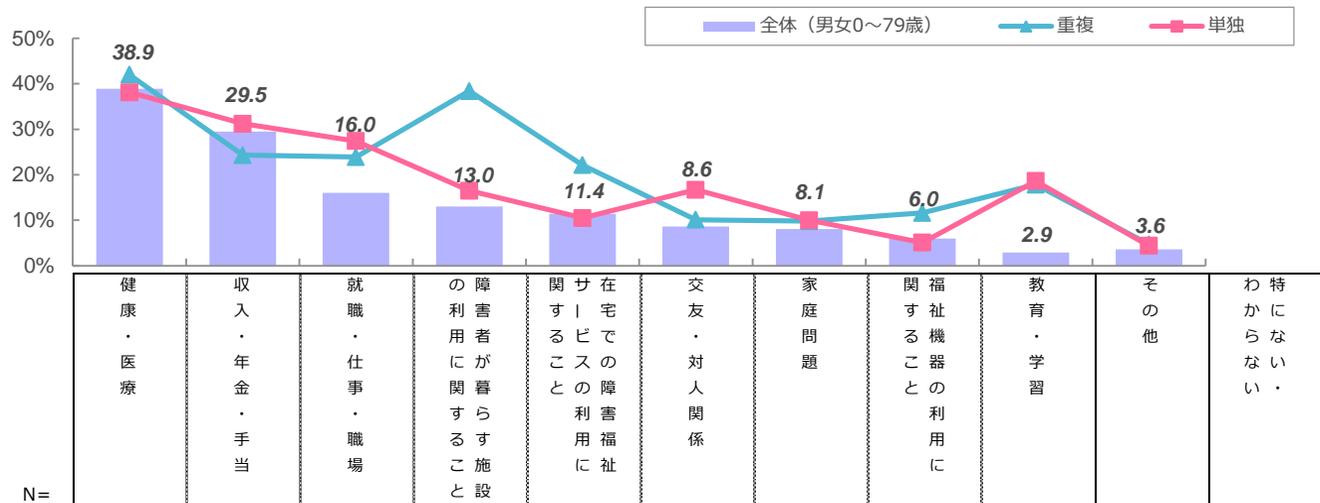
VI-2. 相談内容

■重複障害別にみると、＜重複＞は＜単独＞に比べ「障害者が暮らす施設の～」、「在宅での障害福祉サービスの～」のスコアが高くなっている。また、＜身体&療育＞では「障害者が暮らす施設の～」が42.9%と最も高くなっている。

■障害支援区分別にみると、「健康・医療」のスコアは、支援の必要度合いの低い＜区分1,2＞＜非認定＞の方が高くなっている。また、「収入・年金・手当」、「就職・仕事・職場」も＜区分1,2＞、＜非認定＞の方が高い。一方、＜区分5,6＞＜区分3,4＞では「障害者が暮らす施設の～」のスコアが高くなっている。

※ 複数回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		健康・医療	収入・年金・手当	就職・仕事・職場	障害者が暮らす施設	在宅での障害福祉サービス	交友・対人関係	家庭問題	福祉機器の利用	教育・学習	その他	わからない	
全体 (男女0~79歳)		1,910	38.9	29.5	16.0	13.0	11.4	8.6	8.1	6.0	2.9	3.6	34.9
重複障害	重複	276	42.0	24.3	23.9	38.4	22.1	10.1	9.8	11.6	17.8	4.7	19.2
	単独	1,634	38.1	31.2	27.4	16.5	10.5	16.7	10.0	5.1	18.6	4.4	24.9
	身体&療育	224	41.5	24.6	22.8	42.9	24.6	9.4	7.1	12.1	19.2	4.9	18.8
	身体&精神	27	40.7	22.2	22.2	18.5	11.1	7.4	11.1	11.1	*	7.4	22.2
	療育&精神	22	45.5	27.3	40.9	18.2	9.1	22.7	31.8	4.5	27.3	*	18.2
身体&療育&精神	3	66.7	*	*	33.3	33.3	*	33.3	33.3	*	*	33.3	

n=

n=		健康・医療	収入・年金・手当	就職・仕事・職場	障害者が暮らす施設	在宅での障害福祉サービス	交友・対人関係	家庭問題	福祉機器の利用	教育・学習	その他	わからない	
障害者 (男女19~79歳)		1,101	38.2	30.0	20.4	14.0	8.9	12.0	10.8	4.4	-	4.2	34.0
障害区分支援	区分 5,6	78	28.2	3.8	1.3	24.4	11.5	10.3	5.1	2.6	-	1.3	56.4
	区分 3,4	87	27.6	13.8	6.9	23.0	8.0	11.5	5.7	2.3	-	5.7	43.7
	区分 1,2	72	43.1	13.9	20.8	15.3	8.3	15.3	13.9	2.8	-	1.4	30.6
	非認定	284	40.8	34.9	21.1	12.7	8.8	9.2	8.8	5.3	-	2.5	32.4

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

調査結果の詳細



VII. 災害時の避難や困りごと

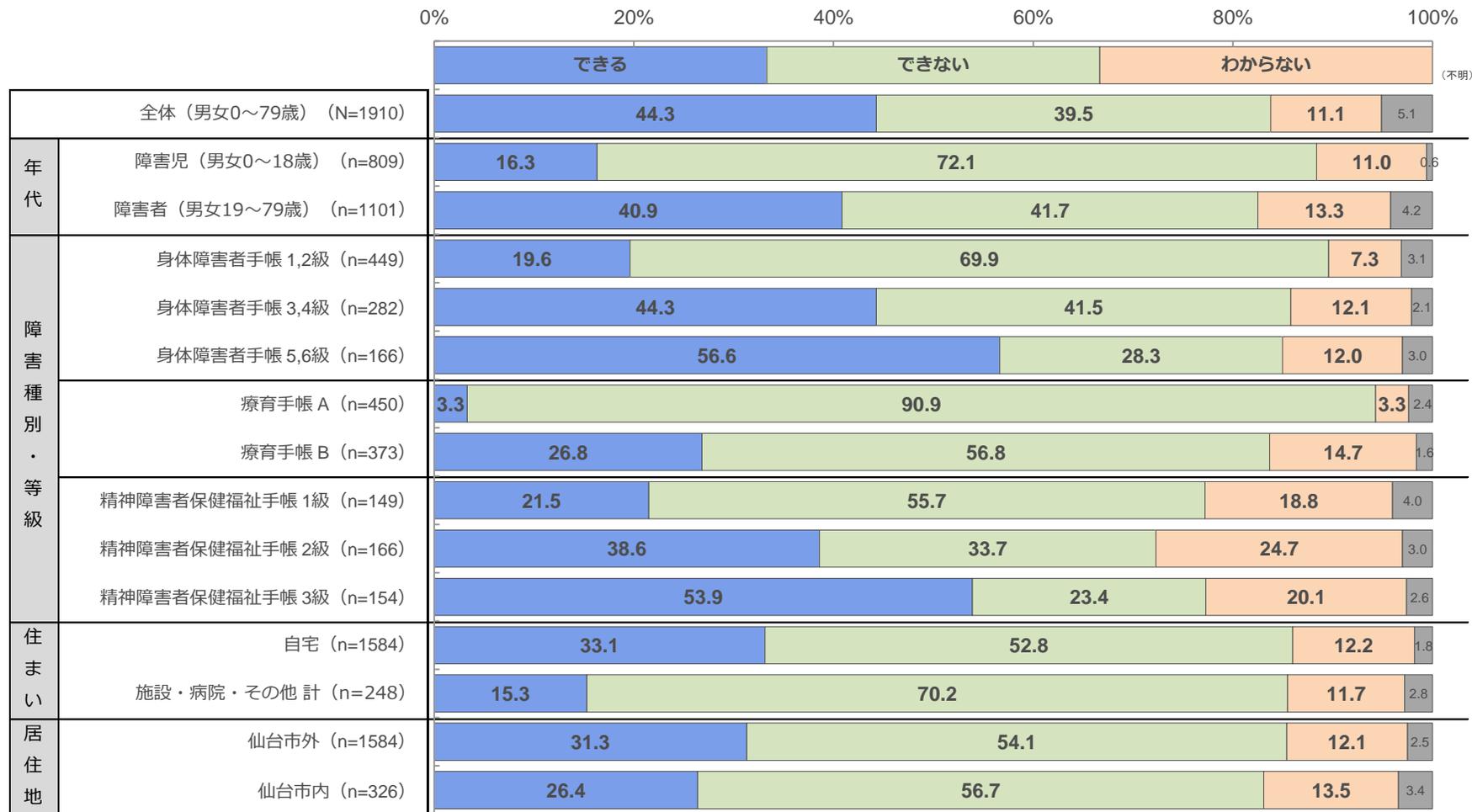
※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果（ウェイト集計値）です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

VII-1. 災害時の避難可否

災害時の避難可否について、<全体>では、「できる」が44.3%と、「できない」の39.5%を若干上回っている。

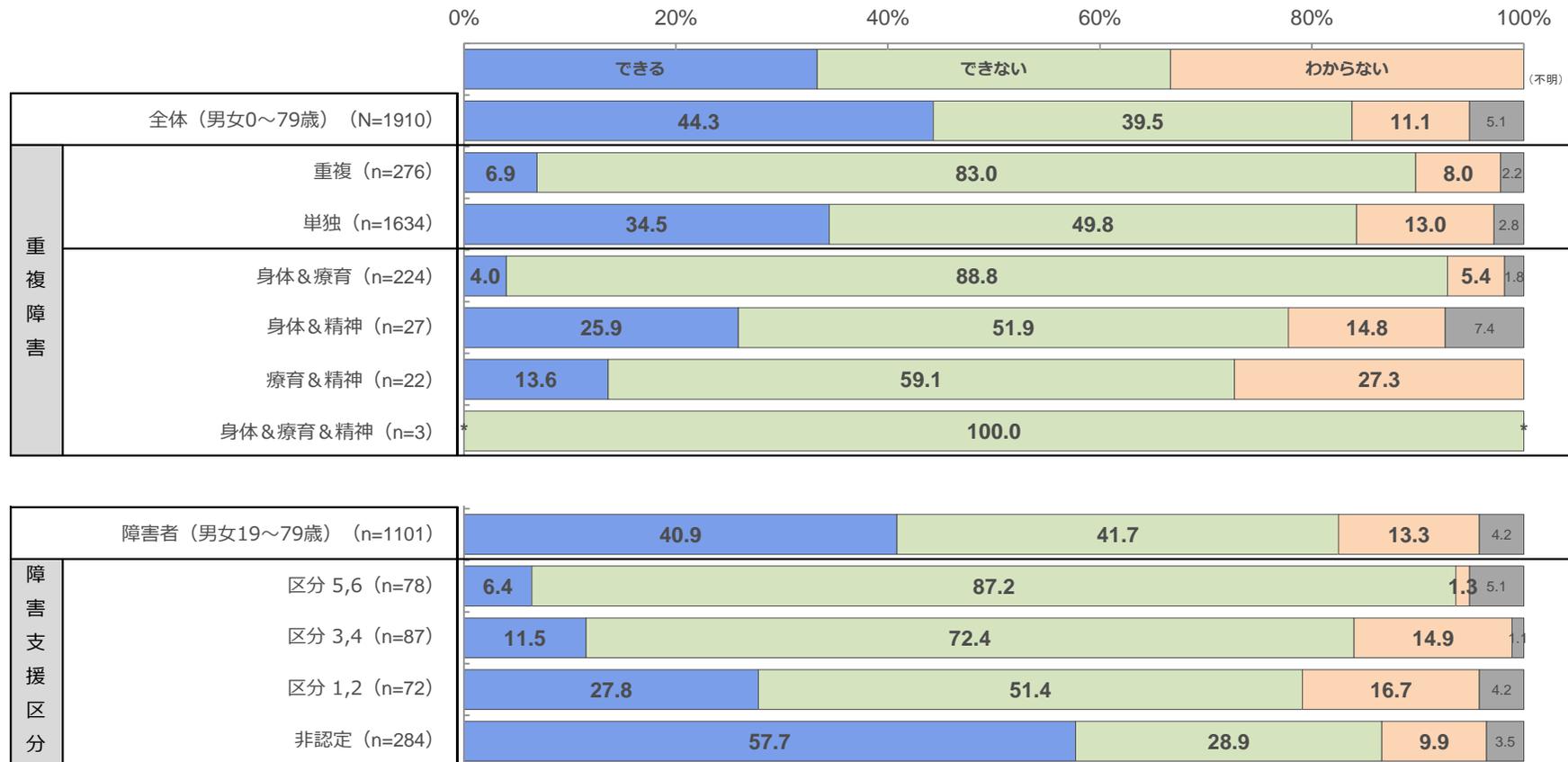
- 年代別にみると、<障害児>では「できない」が72.1%と、<障害者>の41.7%を多く上回っている。
- 障害種別・等級別にみると、<身体><療育><精神>ともに、等級が高いほど「できない」の割合が高く、<療育A>では9割以上が「できない」と回答している。
- 住まい別にみると、<施設・病院>では「できない」が70.2%と、<自宅>の52.8%を上回っている。
- 居住地別にみて、大きな差はみられない。



※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

VII-1. 災害時の避難可否

- 重複障害別にみると、＜重複＞では「できない」が83.0%と、＜単独＞の49.8%を大きく上回っている。
- 障害支援区分別にみると、支援の必要度合いの高い区分ほど「できない」の割合が高く、＜区分5,6＞では87.2%となっている。



※ 「全体 (男女0~79歳)」 のスコアはウェイト集計値です。

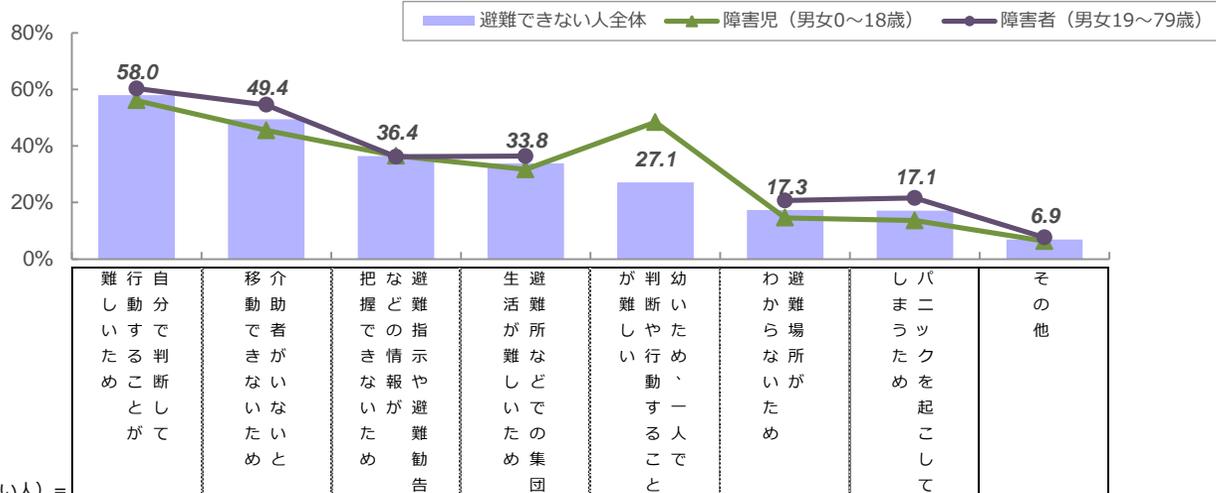
VII-2. 避難できない理由

避難できない理由について、＜全体＞では「自分で判断して行動～」が58.0%と最も高く、次いで「介助者がいないと～」、「避難指示や避難勧告などの情報が～」、「避難所などでの集団生活が～」はそれぞれ3割以上の人があげている。

- 年代別にみると、＜障害者＞は＜障害児＞に比べ「介助者がいないと～」、「パニックを起こしてしまうため」のスコアが高くなっている。
- 障害種別・等級別にみると、＜療育＞＜精神＞では「自分で判断して行動～」が最も高くなっているが、＜身体＞では「介助者がいないと～」が最も高く、＜身体1,2級＞では約8割と特に高くなっている。また、＜精神＞では「パニックを起こしてしまうため」、「避難所などでの集団生活が～」のスコアが他の区分に比べて高くなっている。
- 住まい別にみると、＜施設・病院＞は「介助者がいないと～」、「自分で判断して行動～」のスコアが＜自宅＞に比べ高くなっている。
- 居住地別にみると、「幼いため、～」は＜仙台市内＞の方が高く、「自分で判断して行動～」、「避難所などでの集団生活～」は＜仙台市外＞の方が高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「避難できない人全体」のスコアが高い順に並べ替え



n (避難できない人) =

避難できない人全体 (男女0～79歳)		1,042	58.0	49.4	36.4	33.8	27.1	17.3	17.1	6.9
年代	障害児 (男女0～18歳)	583	56.1	45.5	36.5	31.7	48.4	14.6	13.6	6.3
	障害者 (男女19～79歳)	459	60.3	54.5	36.2	36.4	-	20.7	21.6	7.6
	身体障害者手帳 1,2級	314	45.5	78.3	24.2	29.0	27.7	11.8	4.8	8.9
障害種別・等級	身体障害者手帳 3,4級	117	39.3	44.4	33.3	24.8	41.0	12.8	13.7	12.8
	身体障害者手帳 5,6級	47	36.2	44.7	34.0	27.7	31.9	17.0	10.6	12.8
	療育手帳 A	409	69.2	60.4	46.2	40.6	20.8	17.4	13.0	5.4
	療育手帳 B	212	68.9	25.0	43.9	27.4	40.1	23.6	24.5	2.8
	精神障害者保健福祉手帳 1級	83	67.5	55.4	25.3	44.6	3.6	20.5	22.9	4.8
	精神障害者保健福祉手帳 2級	56	57.1	26.8	35.7	41.1	3.6	21.4	39.3	7.1
	精神障害者保健福祉手帳 3級	36	50.0	27.8	22.2	44.4	5.6	13.9	44.4	13.9
住まい	自宅	836	56.7	46.3	35.8	35.4	32.4	16.6	17.1	7.4
	施設・病院・その他 計	174	65.5	63.2	41.4	24.7	4.6	21.8	16.7	3.4
居住地	仙台市外	857	59.9	49.1	36.6	35.2	24.9	17.7	17.4	6.5
	仙台市内	185	49.2	50.8	35.1	27.0	37.3	15.1	15.7	8.6

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

VII-2. 避難できない理由

■ 重複障害別にみると、〈重複〉では「介助者がいないと～」が75.1%と最も高く、〈単独〉に比べ30%以上高くなっている。

■ 障害支援区分別にみると、「自分で判断して行動～」は、支援の必要度合いが高い区分ほどスコアが高くなっている。
また、〈区分5,6〉では「介助者がいないと～」が82.4%と、特に高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「避難できない人全体」のスコアが高い順に並べ替え



n (避難できない人) =

避難できない人全体 (男女0~79歳)		1,042	58.0	49.4	36.4	33.8	27.1	17.3	17.1	6.9
重複障害	重複	229	59.4	75.1	35.4	34.5	19.7	14.4	8.3	7.9
	単独	813	57.6	42.2	36.7	33.6	29.2	18.1	19.6	6.6
	身体&療育	199	58.8	78.4	35.2	33.2	21.6	12.6	7.0	8.0
	身体&精神	14	57.1	64.3	35.7	42.9	*	21.4	*	7.1
	療育&精神	13	76.9	30.8	30.8	38.5	15.4	23.1	30.8	7.7
	身体&療育&精神	3	33.3	100.0	66.7	66.7	*	66.7	33.3	*

n (避難できない者) =

避難できない障害者 (男女19~79歳)		459	60.3	54.5	36.2	36.4	-	20.7	21.6	7.6
障害区分	区分 5,6	68	69.1	82.4	39.7	32.4	-	14.7	7.4	2.9
	区分 3,4	63	68.3	52.4	54.0	33.3	-	20.6	20.6	1.6
	区分 1,2	37	59.5	35.1	51.4	27.0	-	32.4	27.0	2.7
	非認定	82	52.4	63.4	25.6	41.5	-	15.9	23.2	13.4

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

VII-3. 災害時の不安

災害時の不安について、＜全体＞では「自宅や利用施設が地震などに～（38.6%）」、「普段受けている治療や～（38.4%）」、「安全な場所まで～（32.3%）」が3割を超え上位となっている。

■年代別にみると、＜障害者＞は＜全体＞と似た傾向だが、＜障害児＞では「障害にあった対応を～」、「避難所になじめるか」も3割を超え高くなっている。

■障害種別・等級別にみると、多くの区分で「普段受けている治療や～」が最も高くなっている。

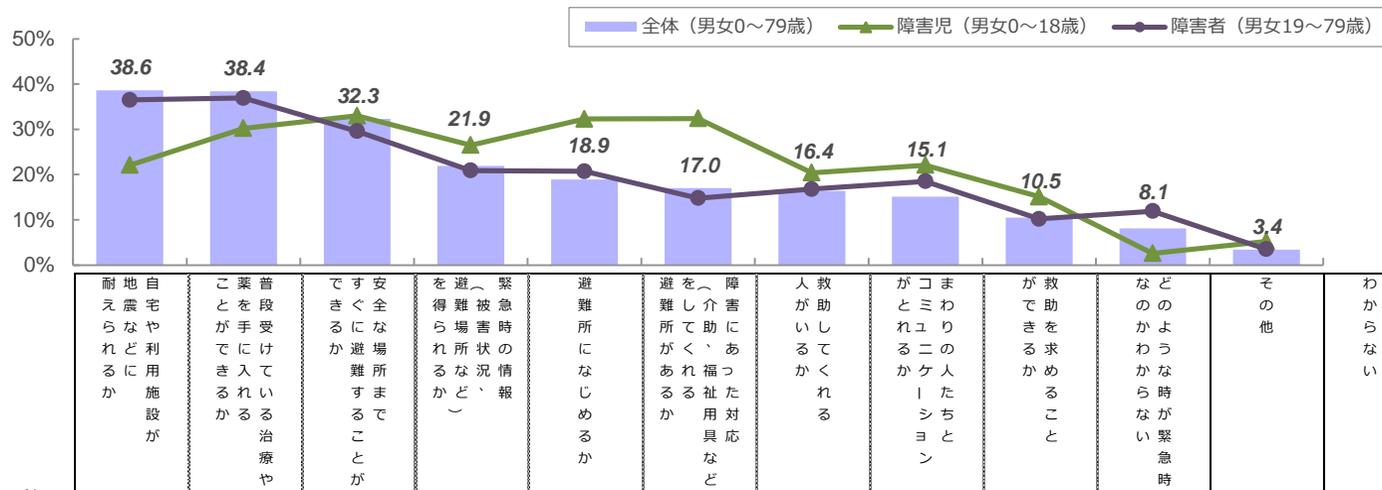
一方、＜身体5,6級＞では「自宅や利用施設が地震などに～」、＜療育A＞では「障害にあった対応を～」、＜療育B＞では「安全な場所まで～」が最も高くなっている。

■住まい別にみると、＜自宅＞のスコアは、多くの項目で＜施設・病院＞を上回っており、＜施設・病院＞に比べ孤立しやすい状況を反映していると考えられる。

■居住地別にみると、＜仙台市外＞は＜仙台市内＞に比べ「まわりの人たちと～」のスコアが高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



		N=	耐震な建物に地震が	自宅や利用施設が	普段受けている治療や	安全な場所まで	避難所になじめるか	緊急時の情報を得られるか	避難所になじめるか	障害にあった対応をしてくれるか	人が助けてくれるか	まわりの人たちが	救助を求めること	どのような時が緊急時	その他	わからない
	全体 (男女0～79歳)	1,910	38.6	38.4	32.3	21.9	18.9	17.0	16.4	15.1	10.5	8.1	3.4	14.3		
年代	障害児 (男女0～18歳)	809	22.1	30.2	33.0	26.5	32.3	32.4	20.4	22.1	15.1	2.6	5.2	7.3		
	障害者 (男女19～79歳)	1,101	36.5	36.9	29.6	20.9	20.7	14.8	16.8	18.5	10.2	11.9	3.5	15.1		
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	27.6	42.8	32.1	17.4	16.9	36.5	24.9	11.8	11.4	6.2	4.9	10.7		
	身体障害者手帳 3,4級	282	32.3	35.5	34.0	28.0	13.5	24.8	14.5	12.4	12.8	5.7	5.3	13.1		
	身体障害者手帳 5,6級	166	39.8	28.3	34.9	30.1	15.1	13.9	11.4	10.2	7.2	5.4	4.2	17.5		
	療育手帳 A	450	22.2	30.0	28.0	13.8	37.8	39.6	21.1	20.0	13.6	12.2	4.2	10.7		
	療育手帳 B	373	26.5	18.8	35.9	27.3	30.6	15.5	17.2	28.4	16.4	8.6	2.4	11.5		
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	25.5	45.0	22.1	22.8	25.5	18.1	24.2	34.2	13.4	14.8	4.0	12.8		
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	40.4	48.2	25.3	24.7	30.1	11.4	17.5	28.3	9.0	8.4	4.2	7.8		
精神障害者保健福祉手帳 3級	154	39.6	48.1	31.2	27.3	28.6	4.5	13.6	20.8	11.0	2.6	4.5	11.0			
住まい	自宅	1,584	31.4	34.8	32.3	24.7	27.2	23.2	18.4	21.3	12.3	6.3	4.5	9.3		
	施設・病院・その他 計	248	26.6	30.6	25.4	17.3	19.0	19.4	17.7	16.1	12.5	18.5	3.2	19.4		
居住地	仙台市外	1,584	30.9	33.8	31.7	22.7	25.6	21.7	18.6	21.1	12.1	8.5	4.0	11.9		
	仙台市内	326	27.9	35.3	27.9	25.8	25.8	25.2	16.9	15.0	12.9	5.2	5.5	11.3		

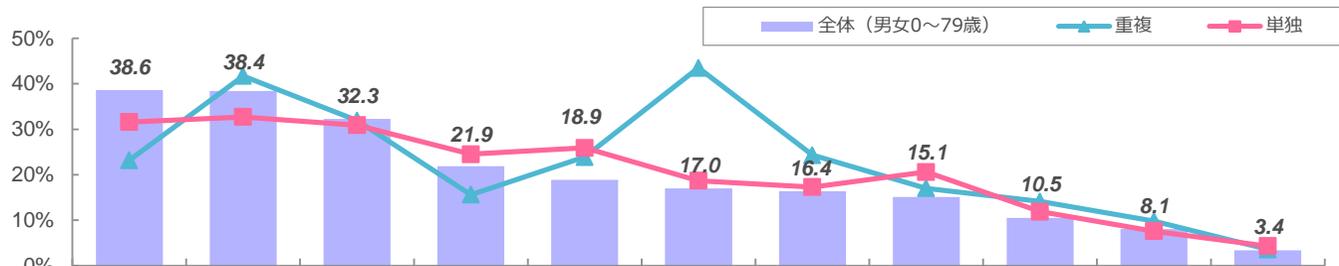
※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

VII-3. 災害時の不安

- 重複障害別にみると、＜重複＞では「障害にあった対応を～」、「普段受けている治療や～」が4割を超え、特に高くなっている。また、＜身体&療育＞では「障害にあった対応を～」は約5割となっている。
- 障害支援区分別にみると、＜区分5,6＞では「障害にあった対応を～」が約3割と、＜全体＞に比べて高くなっている。

※ 3つまで回答
 ※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		耐震など利用できるか	自宅や利用施設が	薬が手に入れているか	普段受けている治療や	安全な場所まで避難できるか	避難場所など	緊急時の状況	避難所になじめるか	避難所があるか	障害に合った対応	人が助けてくれるか	助けを求められるか	助けを求められること	どのような時が緊急時	その他	わからない・
全体 (男女0~79歳)	1,910	38.6	38.4	32.3	21.9	18.9	17.0	16.4	15.1	10.5	8.1	3.4	14.3				
重複障害	重複	276	23.2	41.7	31.9	15.6	23.9	43.5	24.3	17.0	14.1	9.8	3.6	10.1			
	単独	1,634	31.6	32.7	30.9	24.5	25.9	18.7	17.3	20.6	11.9	7.6	4.3	12.1			
	身体&療育	224	21.9	41.5	32.1	13.8	25.0	49.1	25.9	13.8	14.7	8.9	3.6	9.8			
	身体&精神	27	40.7	40.7	37.0	18.5	7.4	18.5	22.2	14.8	7.4	11.1	*	18.5			
	療育&精神	22	13.6	50.0	27.3	27.3	36.4	18.2	13.6	50.0	18.2	13.6	4.5	*			
身体&療育&精神	3	33.3	*	*	33.3	*	33.3	*	33.3	*	33.3	33.3	33.3				

n=		障害者 (男女19~79歳)	区分 5,6	区分 3,4	区分 1,2	非認定							
障害区分支援	1,101	36.5	36.9	29.6	20.9	20.7	14.8	16.8	18.5	10.2	11.9	3.5	15.1
区分 5,6	78	20.5	26.9	21.8	3.8	15.4	29.5	20.5	9.0	9.0	25.6	5.1	29.5
区分 3,4	87	21.8	31.0	35.6	20.7	25.3	21.8	13.8	20.7	13.8	28.7	*	11.5
区分 1,2	72	34.7	41.7	36.1	20.8	19.4	13.9	22.2	12.5	12.5	12.5	1.4	11.1
非認定	284	43.3	37.3	32.7	26.4	18.7	14.1	13.0	14.8	9.2	6.7	4.6	13.0

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

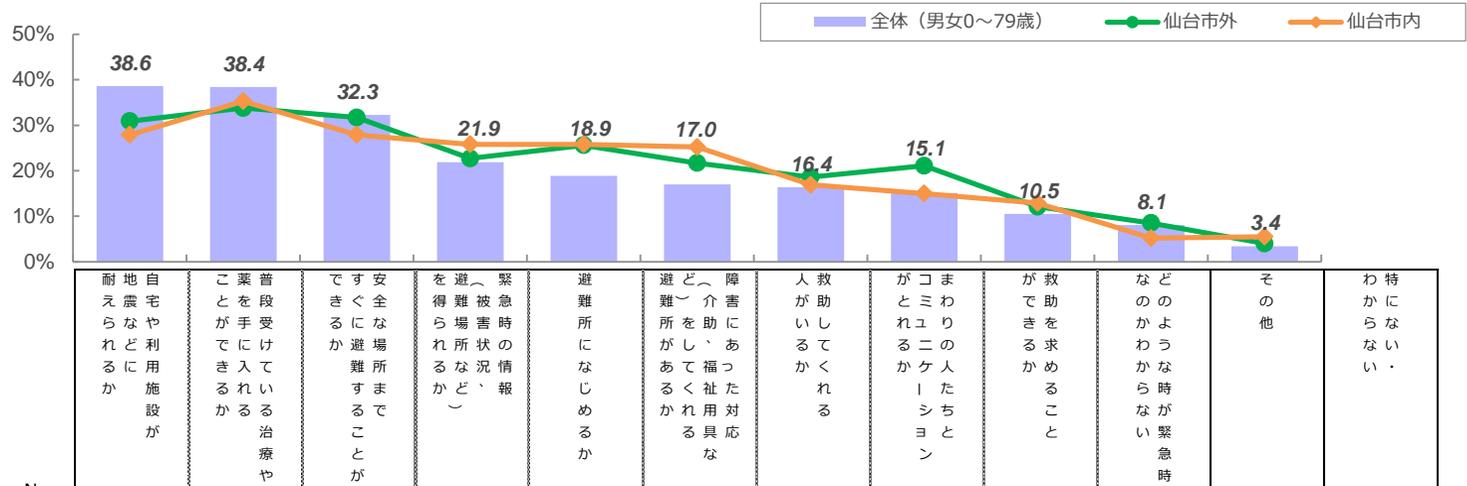
各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

VII-3. 災害時の不安

■ 居住エリア別にみると、「自宅や利用施設が地震などに～」は、＜栗原圏域＞、＜気仙沼圏域＞で4割弱と他のエリアに比べて高くなっている。
 また、「普段受けている治療や～」はいずれのエリアも3割前後で、＜気仙沼圏域＞では40.4%と特に高く、「安全な場所まですぐに避難～」は＜石巻圏域＞＜気仙沼圏域＞が他のエリアと比べて高くなっている。 以上の通り、＜気仙沼圏域＞では、＜全体＞での上位項目のスコアがいずれも高めとなっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		全体 (男女0~79歳)	1,910	38.6	38.4	32.3	21.9	18.9	17.0	16.4	15.1	10.5	8.1	3.4	14.3
居住 エリア	仙台市外	1,584	30.9	33.8	31.7	22.7	25.6	21.7	18.6	21.1	12.1	8.5	4.0	11.9	
	仙台市内	326	27.9	35.3	27.9	25.8	25.8	25.2	16.9	15.0	12.9	5.2	5.5	11.3	
	仙南圏域	229	30.6	33.2	33.2	25.8	24.0	20.5	14.4	21.4	11.8	11.8	3.1	11.8	
	仙台市	326	27.9	35.3	27.9	25.8	25.8	25.2	16.9	15.0	12.9	5.2	5.5	11.3	
	仙台圏域	552	28.1	35.1	31.0	24.3	27.2	24.6	18.3	21.0	12.1	7.6	4.3	11.8	
	大崎圏域	254	33.9	29.1	30.7	22.0	24.4	20.5	18.1	22.4	11.4	7.9	5.1	12.2	
	栗原圏域	98	38.8	31.6	26.5	22.4	17.3	10.2	24.5	21.4	15.3	10.2	3.1	14.3	
	登米圏域	122	31.1	34.4	23.0	18.0	24.6	18.9	13.9	21.3	9.8	6.6	4.9	18.0	
	石巻圏域	240	29.2	34.2	35.8	19.6	26.3	25.0	20.8	17.9	11.7	7.1	4.2	9.6	
	気仙沼圏域	89	37.1	40.4	41.6	22.5	31.5	16.9	27.0	24.7	15.7	12.4	*	6.7	
	石巻・気仙沼圏域	329	31.3	35.9	37.4	20.4	27.7	22.8	22.5	19.8	12.8	8.5	3.0	8.8	

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

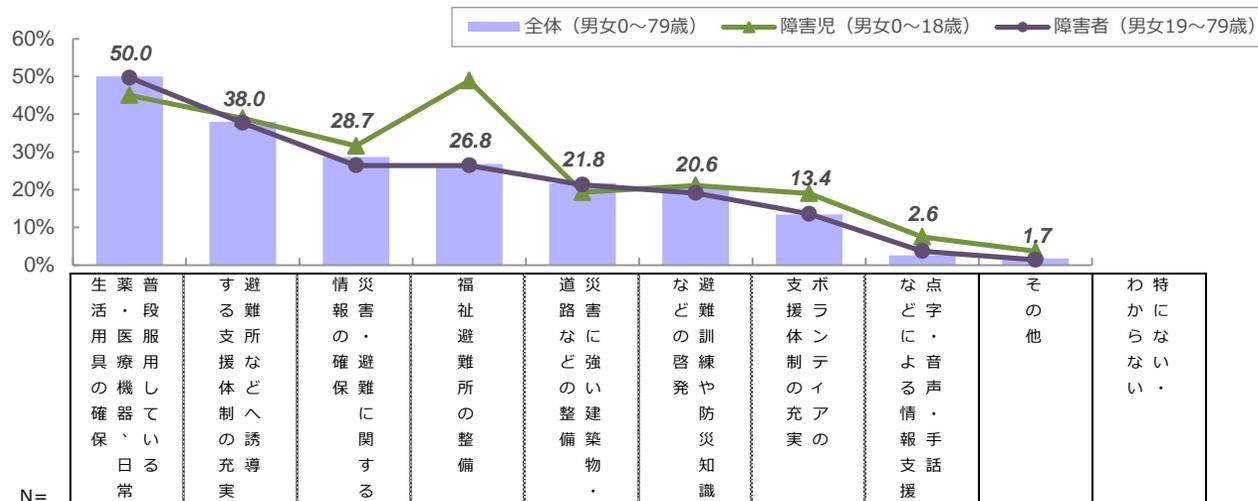
各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

VII-4. 優先すべき災害対策

- 優先すべき災害対策について、〈全体〉では「普段服用している薬～」が50.0%と最も高く、次いで「避難所などへ誘導～」、「災害・避難に関する情報の確保」、「福祉避難所の整備」の順となっている。
- 年代別に見ると、〈障害者〉とはほぼ同じ傾向だが、〈障害児〉では「福祉避難所の整備」が約5割と最も高くなっている。
 - 障害種別・等級別に見ると、〈身体〉では「普段服用している薬～」、「福祉避難所の整備」のスコアが等級の高い区分ほど高くなっている。
 〈療育A〉では「福祉避難所の整備」が56.4%と最も高くなっている。〈精神〉では「普段服用している薬～」が最も高く、いずれの等級も6割を超えている。
 - 住まい別に見ると、〈自宅〉のスコアが〈施設・病院〉を上回る項目が多く、「災害・避難に関する情報の確保」、「福祉避難所の整備」での差が大きくなっている。
 - 居住地別に見ると、〈仙台市内〉は〈仙台市外〉に比べ「ボランティアの支援体制の充実」のスコアが高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



		N=	普段服用している薬の確保	避難所などへ誘導の充実	災害情報の確保に関する	福祉避難所の整備	道路などに強い建築物の整備	避難の訓練や防災知識	ボランティア体制の充実	点字・音声・情報手話	その他	わからない
全体 (男女0~79歳)		1,910	50.0	38.0	28.7	26.8	21.8	20.6	13.4	2.6	1.7	16.9
年代	障害児 (男女0~18歳)	809	45.0	38.9	31.6	48.9	19.3	21.1	19.0	7.5	3.7	5.9
	障害者 (男女19~79歳)	1,101	49.7	37.7	26.4	26.4	21.3	19.1	13.6	3.7	1.4	17.3
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	56.1	36.5	21.4	44.8	21.6	14.0	15.1	7.8	3.3	12.2
	身体障害者手帳 3,4級	282	48.9	40.4	37.2	30.5	20.2	23.8	10.3	9.2	1.1	11.7
	身体障害者手帳 5,6級	166	37.3	35.5	33.7	24.1	32.5	27.7	12.7	10.2	1.2	11.4
	療育手帳 A	450	43.8	41.1	21.8	56.4	14.7	13.3	21.3	3.3	3.1	14.2
	療育手帳 B	373	34.0	37.0	34.0	34.6	19.3	25.5	18.2	2.7	1.9	12.1
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	61.1	44.3	22.8	27.5	18.1	16.1	11.4	0.7	2.7	16.1
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	65.1	36.1	27.1	27.7	19.3	19.3	19.9	2.4	3.0	10.8
精神障害者保健福祉手帳 3級	154	61.7	33.1	31.2	18.8	24.0	20.1	16.9	2.6	2.6	10.4	
住まい	自宅	1,584	49.0	39.0	31.9	37.5	21.1	20.8	15.9	5.7	2.5	9.1
	施設・病院・その他 計	248	44.4	35.5	12.9	30.6	19.0	16.1	16.1	3.6	2.0	27.0
居住地	仙台市外	1,584	47.4	38.6	28.8	35.9	20.9	19.8	15.0	5.1	2.3	13.1
	仙台市内	326	49.1	36.2	27.9	36.2	18.4	20.6	20.2	6.7	2.5	9.8

各サンプル区分における・・・ 上位1位: (Red) 上位3位以内: (Light Red) 上位5位以内: (Light Purple)

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

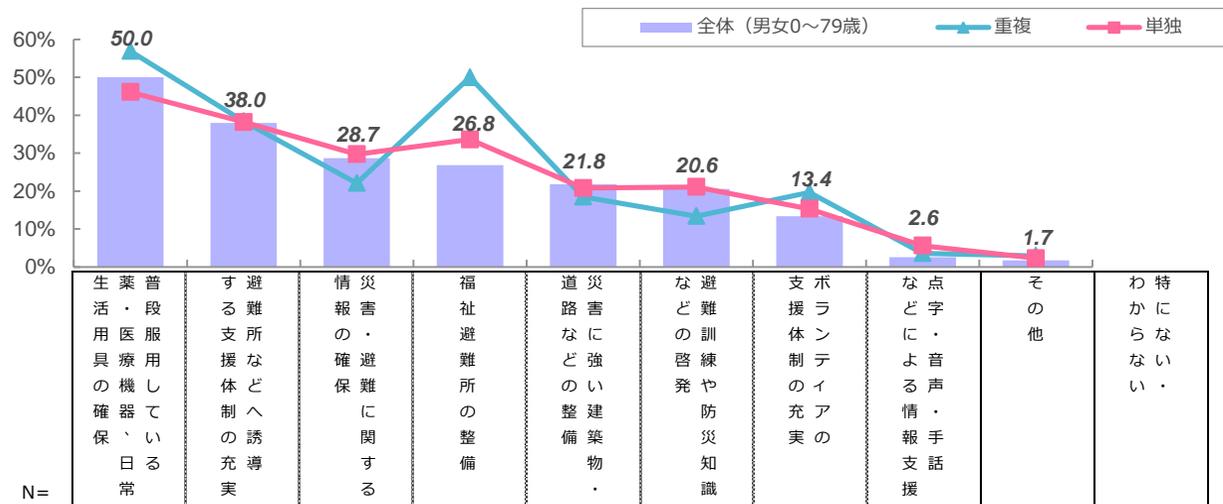
VII-4. 優先すべき災害対策

■ 重複障害別にみると、＜重複＞は＜単独＞に比べ「普段服用している薬～」、「福祉避難所の整備」のスコアが高く、5割を超えている。反対に、＜単独＞は＜重複＞に比べ「災害・避難に関する情報の確保」、「避難訓練や防災知識などの啓発」が高くなっている。

■ 障害支援区分別にみると、＜区分5,6＞では「福祉避難所の整備」、＜区分3,4＞では「避難所などへ誘導する～」、＜区分1,2＞＜非認定＞では「普段服用している薬～」がそれぞれ最も高くなっている。また、「避難訓練や防災知識などの啓発」は支援の必要度合いが低い区分ほどスコアが高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



全体 (男女0～79歳)		N=	生活・普段服用している薬の確保	避難所などへの誘導	災害情報の確保	福祉避難所の整備	道路などに強い建築物の整備	避難訓練や防災知識の啓発	支援体制の充実	点字・音声情報手話などによる支援	その他	わからない
全体 (男女0～79歳)		1,910	50.0	38.0	28.7	26.8	21.8	20.6	13.4	2.6	1.7	16.9
重複障害	重複	276	56.9	38.4	22.1	50.0	18.5	13.4	19.6	3.6	2.9	12.3
	単独	1,634	46.1	38.2	29.7	33.6	20.8	21.1	15.3	5.6	2.3	12.5
	身体&療育	224	55.4	36.6	21.9	55.8	18.3	14.3	21.0	3.1	2.2	12.1
	身体&精神	27	55.6	44.4	22.2	18.5	25.9	11.1	11.1	7.4	*	22.2
	療育&精神	22	72.7	50.0	22.7	31.8	13.6	9.1	18.2	4.5	9.1	*
身体&療育&精神	3	66.7	33.3	33.3	33.3	*	*	*	*	33.3	33.3	33.3

障害者 (男女19～79歳)		n=	生活・普段服用している薬の確保	避難所などへの誘導	災害情報の確保	福祉避難所の整備	道路などに強い建築物の整備	避難訓練や防災知識の啓発	支援体制の充実	点字・音声情報手話などによる支援	その他	わからない
障害者 (男女19～79歳)		1,101	49.7	37.7	26.4	26.4	21.3	19.1	13.6	3.7	1.4	17.3
障害区分支援	区分 5,6	78	42.3	32.1	11.5	44.9	11.5	5.1	16.7	2.6	1.3	34.6
	区分 3,4	87	36.8	49.4	21.8	39.1	10.3	18.4	19.5	1.1	*	17.2
	区分 1,2	72	48.6	40.3	20.8	27.8	12.5	22.2	18.1	4.2	2.8	18.1
	非認定	284	47.5	38.4	33.5	28.9	31.3	26.1	12.3	4.6	1.1	9.5

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

上位5位以内：

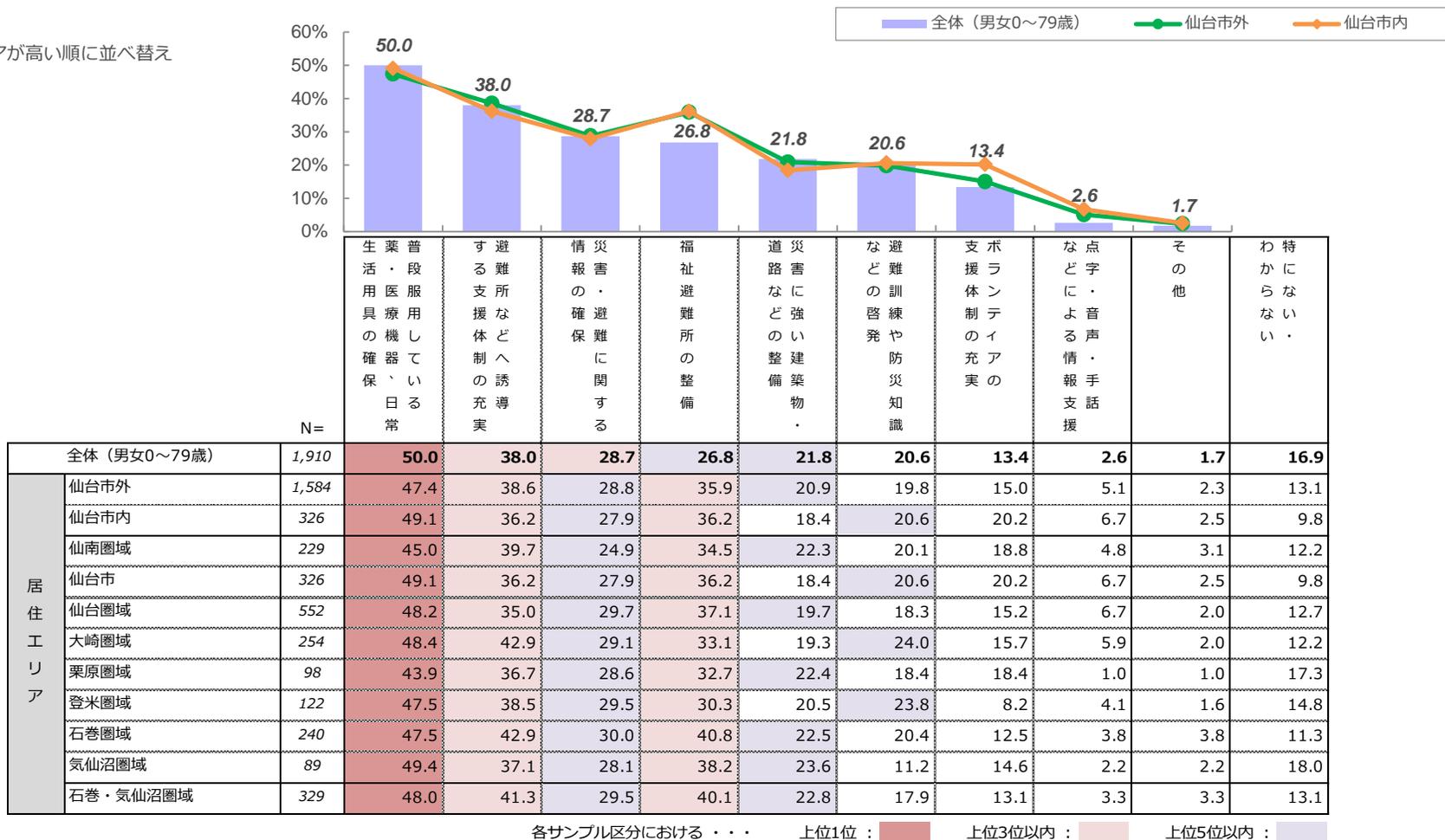
※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

VII-4. 優先すべき災害対策

■ 居住エリア別にみると、各エリアとも<全体>と同じく「普段服用している薬～」が最も高くなっている。「避難所などへ誘導する～」は<大崎圏域> <石巻圏域>で4割を超え、他のエリアに比べて高くなっている。また、「福祉避難所の整備」は<石巻圏域> <気仙沼圏域>で4割前後と高くなっている。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

調査結果の詳細



VIII. 役所への意見

※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアは、各サンプルに母集団とサンプルにおける構成比を考慮したウェイト付けを行った上での集計結果（ウェイト集計値）です。その他のサンプル区分については、ウェイト付けを行わない実数ベースでの集計値となっています。

※ 「N」または「n」はサンプル実数です。n=50未満の区分については参考値となります。

VIII-1. 最優先で取り組んでほしい施策

最優先で取り組んでほしい施策について、＜全体＞では「年金・手当などの充実」が43.2%と最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保」、「医療費の負担軽減」、「障害についての理解を深めるための活動の充実」が2割を超え高くなっている。

■年代別にみると、＜障害者＞のスコアは＜全体＞と似た傾向だが、＜障害児＞では「障害があっても働ける場の確保」が50.8%と＜障害者＞を大幅に上回っている。このほか、「発達障害に対する支援」、「学校教育や生涯学習の充実」、「通勤通学のための移動の支援」といった教育に関する項目も＜障害者＞に比べて高くなっている。

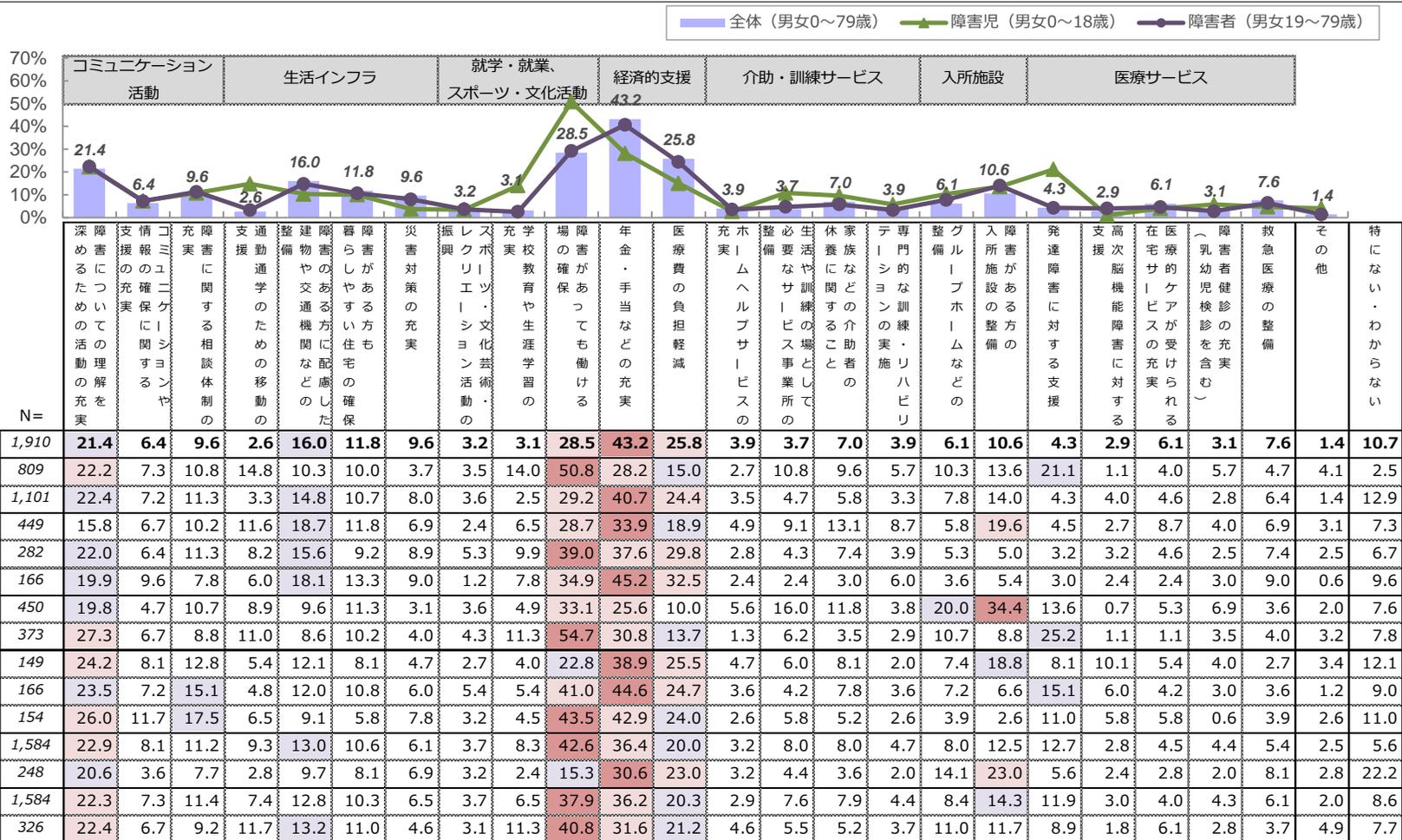
一方、「年金・手当などの充実」、「医療費の負担軽減」といった経済的な支援を望む意見は、＜障害児＞よりも＜障害者＞で多くあげられている。

■障害種別・等級別にみると、＜身体＞＜療育＞＜精神＞ともに「年金・手当などの充実」、「障害があっても働ける場の確保」のスコアは概ね等級の低い区分ほど高い傾向となっている。「医療費の負担軽減」のスコアは＜療育＞では他の区分に比べて低くなっている。

■住まい別にみると、＜自宅＞では「障害があっても働ける場の確保」が4割を超え、＜施設・病院＞に比べて高くなっている。

■居住地別にみると、＜仙台市外＞は＜仙台市内＞に比べ「年金・手当などの充実」のスコアが高くなっている。

※ 3つまで回答



※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

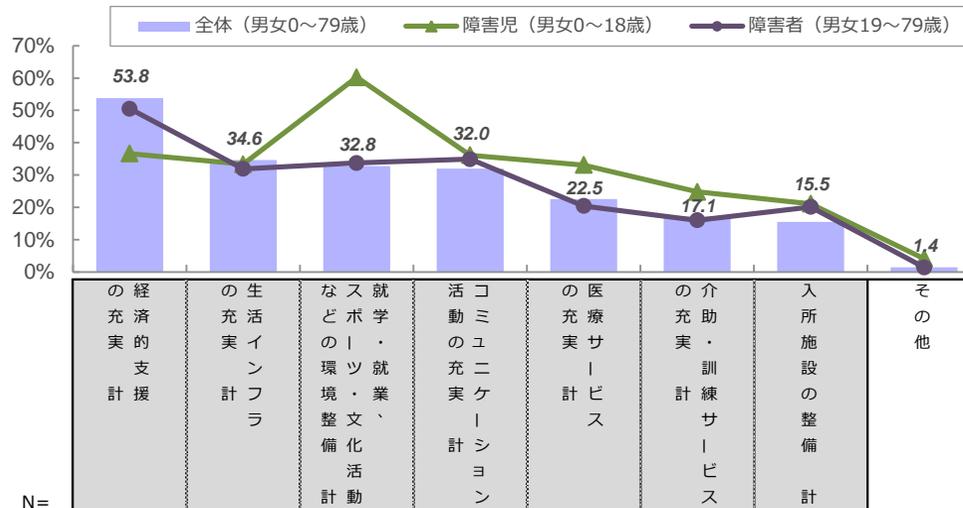
VIII-1. 最優先で取り組んでほしい施策

最優先で取り組んでほしい施策について、前項の23項目を下記の7項目に括り直した集計結果をみると、
 <全体>では「経済的支援～」が53.8%と最も高く、次いで「生活インフラ～」、「就学・就業、スポーツ・文化活動など～」、「コミュニケーション活動～」がそれぞれ3割強となっている。

- 年代別に見ると、<障害児>では「就学・就業、スポーツ・文化活動など～」が約6割と最も高く、「介助・訓練サービス～」、「医療サービス～」のスコアが<障害者>を上回っている。
- 障害種別・等級別に見ると、<身体><精神>では「経済的支援～」が最も高いが、<療育A>では「入所施設の整備」、<療育B>では「就学・就業、スポーツ・文化活動など～」が最も高くなっている。また、<身体>では「生活インフラ～」、精神では「コミュニケーション活動～」のスコアが他の障害種別に比べて高くなっている。
- 住まい別に見ると、「入所施設の整備」以外の項目は、いずれも「自宅」の方が高く、<自宅>に住む人の方が役所に対する要望が多いことが窺える。

※ 3つまで回答

※ 「全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=		経済的支援	生活インフラ	就学・就業、スポーツ・文化活動など	コミュニケーション活動	医療サービス	介助・訓練サービス	入所施設の整備	その他	わからない	
年代	全体 (男女0～79歳)	1,910	53.8	34.6	32.8	32.0	22.5	17.1	15.5	1.4	10.7
	障害児 (男女0～18歳)	809	36.6	33.3	60.2	36.1	33.1	24.8	21.1	4.1	2.5
	障害者 (男女19～79歳)	1,101	50.5	31.9	33.7	34.9	20.4	16.0	20.1	1.4	12.9
障害種別・等級	身体障害者手帳 1,2級	449	42.1	40.8	34.1	29.4	24.9	29.8	23.8	3.1	7.3
	身体障害者手帳 3,4級	282	52.8	36.2	48.9	34.0	19.5	16.7	10.3	2.5	6.7
	身体障害者手帳 5,6級	166	56.0	41.6	41.6	32.5	18.1	12.0	7.8	0.6	9.6
	療育手帳 A	450	30.9	29.1	38.0	31.6	28.2	31.3	48.7	2.0	7.6
	療育手帳 B	373	39.7	31.4	61.9	39.1	31.9	12.1	17.7	3.2	7.8
	精神障害者保健福祉手帳 1級	149	50.3	24.8	27.5	39.6	25.5	19.5	22.8	3.4	12.1
	精神障害者保健福祉手帳 2級	166	53.0	28.3	47.0	36.1	27.7	17.5	13.3	1.2	9.0
	精神障害者保健福祉手帳 3級	154	51.9	24.7	50.0	46.8	24.7	16.2	6.5	2.6	11.0
住まい	自宅	1,584	45.5	33.6	49.6	36.7	27.4	21.2	18.4	2.5	5.6
	施設・病院・その他 計	248	40.7	25.0	20.2	28.6	19.4	11.7	34.7	2.8	22.2
居住地	仙台市外	1,584	45.4	31.9	44.1	35.7	26.6	20.3	20.4	2.0	8.6
	仙台市内	326	40.8	35.0	48.8	34.0	22.1	16.9	21.2	4.9	7.7

※ 「全体 (男女0～79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・

上位1位：

上位3位以内：

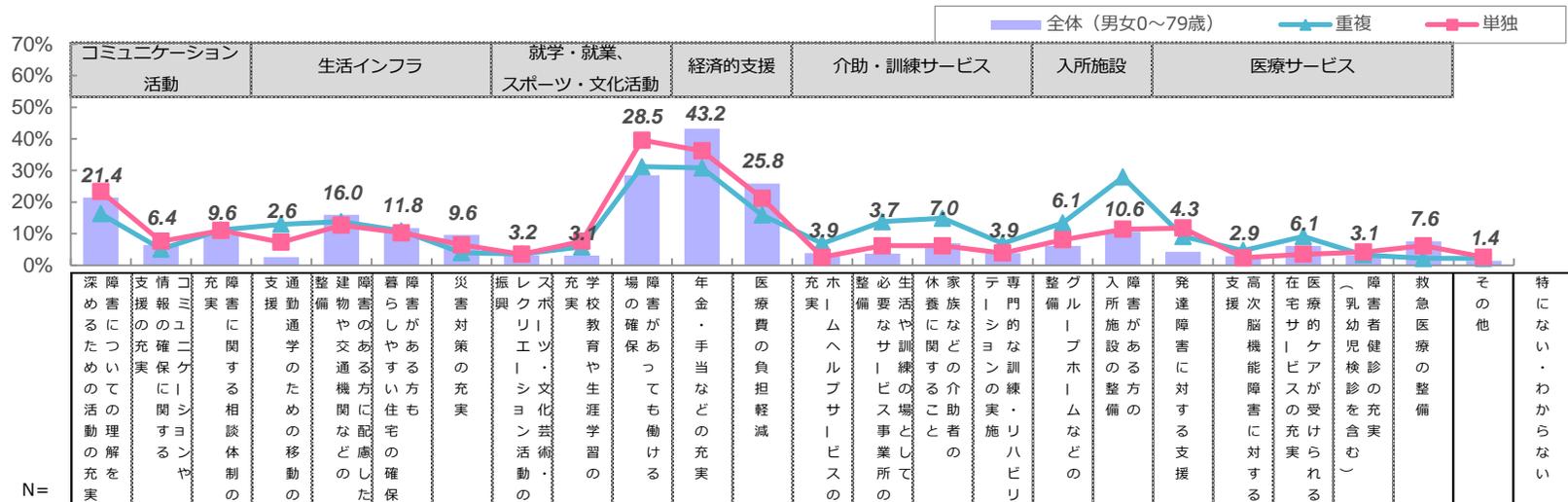
上位5位以内：

VIII-1. 最優先で取り組んでほしい施策

■重複障害別にみると、＜重複＞では、＜全体＞での上位4項目のスコアはいずれも＜単独＞を下回っている。一方で、「通勤通学のための移動～」、「生活や訓練の場として必要なサービス事業所～」、「家族などの介助者の休養～」、「グループホームなど～」、「障害がある方の入所施設～」は＜単独＞を上回っている。

■障害支援区分別にみると、「年金・手当などの充実」、「障害があっても働ける場の確保」、「医療費の負担軽減」の＜全体＞での上位3項目は、概ね支援の必要度合いが低い区分ほどスコアが高い傾向となっている。また、＜区分5,6＞では「生活や訓練の場として～」、「障害がある方の入所施設の整備」のスコアが＜障害者（全体）＞と比べて高く、＜区分3,4＞＜区分1,2＞では「障害についての理解を～」、「障害がある方も暮らしやすい住宅～」、「グループホームなど～」、「障害がある方の入所施設～」が高くなっている。

※ 3つまで回答



N=		深めるための活動の充実	情報の確保にシフトする	コミュニケーションの充実	障害に関する相談体制の充実	通勤通学のための移動の整備	建物や交通機関などの整備	障害のある方に配慮した暮らしやすい住宅の確保	災害対策の充実	振興	スポーツ・文化活動の充実	学校教育や生涯学習の場の確保	障害があっても働ける年金・手当などの充実	医療費の負担軽減	ホームヘルプサービスの充実	必要となるサービス事業所の整備	生活や訓練の場としての施設の実施	家族などの介助者の休養に関するサービス	専門的な訓練・リハビリ	グループホームなどの整備	入所施設の整備	発達障害に対する支援	高次脳機能障害に対する支援	在宅サービスの充実	医療サービスの充実（乳幼児検診を含む）	障害者健診の充実	救急医療の整備	その他	特になし・わからない
全体（男女0～79歳）	1,910	21.4	6.4	9.6	2.6	16.0	11.8	9.6	3.2	3.1	28.5	43.2	25.8	3.9	3.7	7.0	3.9	6.1	10.6	4.3	2.9	6.1	3.1	7.6	1.4	10.7			
重複障害	重複	276	16.3	5.1	11.2	13.0	13.8	10.9	4.0	3.6	5.8	31.2	30.8	15.9	6.9	13.8	14.9	6.9	13.4	27.9	9.1	4.7	9.1	3.3	2.2	2.2	6.5		
	単独	1,634	23.4	7.6	11.0	7.3	12.7	10.3	6.5	3.5	7.6	39.6	36.2	21.2	2.6	6.2	6.2	3.9	8.1	11.4	11.8	2.4	3.5	4.2	6.2	2.6	8.8		
	身体&療育	224	17.0	4.9	9.8	13.8	12.9	11.6	2.2	4.0	6.3	31.3	28.6	12.1	6.3	16.1	15.2	8.0	14.7	31.3	7.1	1.8	10.3	3.1	2.7	2.2	6.3		
	身体&精神	27	11.1	3.7	22.2	7.4	14.8	7.4	22.2	3.7	3.7	22.2	48.1	37.0	14.8	3.7	14.8	3.7	3.7	14.8	3.7	29.6	7.4	*	*	*	7.4		
	療育&精神	22	18.2	9.1	9.1	13.6	18.2	9.1	*	*	4.5	45.5	36.4	27.3	*	4.5	9.1	*	13.6	9.1	36.4	4.5	*	9.1	*	4.5	4.5		
身体&療育&精神	3	*	*	33.3	*	33.3	*	*	*	*	*	*	33.3	33.3	*	33.3	*	*	33.3	*	*	*	*	*	*	*	33.3		

n=

障害者（男女19～79歳）		区分 5,6	区分 3,4	区分 1,2	非認定																						
障害者（男女19～79歳）	1,101	22.4	7.2	11.3	3.3	14.8	10.7	8.0	3.6	2.5	29.2	40.7	24.4	3.5	4.7	5.8	3.3	7.8	14.0	4.3	4.0	4.6	2.8	6.4	1.4	12.9	
区分支援	区分 5,6	78	14.1	2.6	3.8	*	11.5	7.7	2.6	2.6	2.6	9.0	17.9	15.4	9.0	15.4	7.7	2.6	9.0	50.0	*	3.8	2.6	2.6	5.1	1.3	26.9
	区分 3,4	87	26.4	3.4	12.6	3.4	6.9	16.1	9.2	1.1	*	16.1	33.3	13.8	2.3	5.7	3.4	*	28.7	25.3	5.7	1.1	1.1	6.9	5.7	2.3	14.9
	区分 1,2	72	36.1	6.9	4.2	1.4	12.5	18.1	5.6	11.1	1.4	25.0	41.7	13.9	11.1	5.6	2.8	2.8	20.8	19.4	6.9	1.4	4.2	5.6	6.9	*	9.7
	非認定	284	21.1	8.5	12.0	3.9	17.3	13.0	10.9	4.9	2.5	35.6	45.4	31.0	2.5	2.1	6.0	3.9	3.9	6.3	2.8	3.9	6.0	2.5	7.0	0.7	8.5

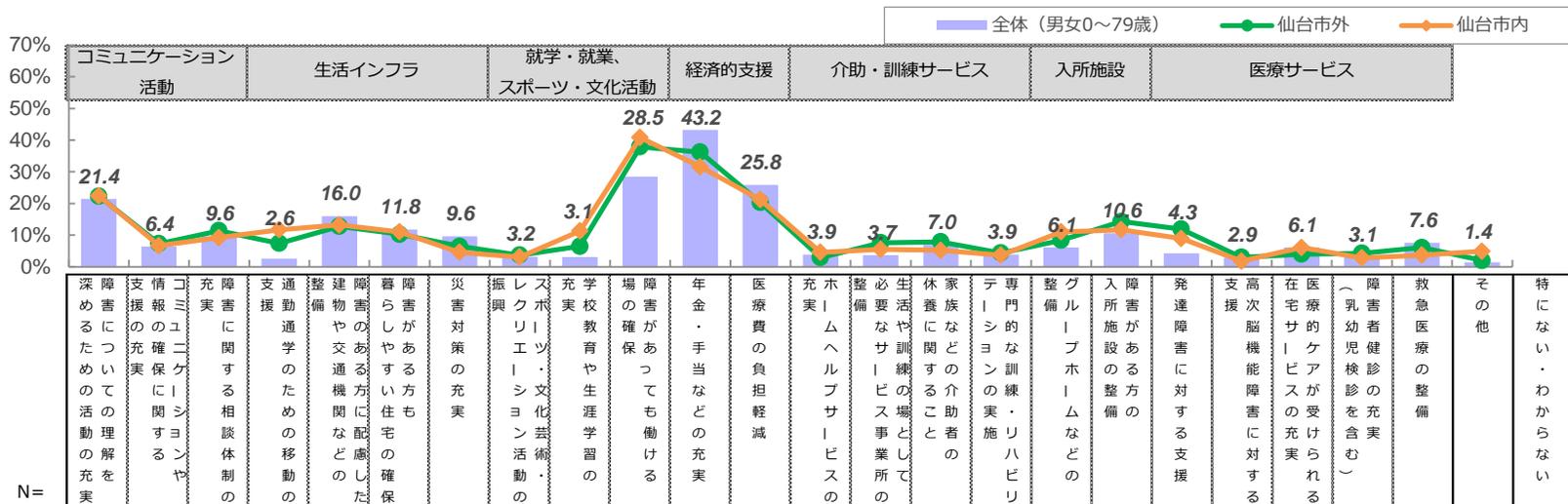
※ 「全体（男女0～79歳）」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位： 上位3位以内： 上位5位以内：

VIII-1. 最優先で取り組んでほしい施策

■ 居住エリア別にみると、<栗原圏域> <気仙沼圏域>では、「障害があっても働ける場の確保」のスコアが他のエリアに比べて低い一方、「年金・手当などの充実」、「障害がある方の入所施設の整備」は他のエリアより高くなっている。

※ 3つまで回答



居住エリア別	N=	施策																									
		深めるための活動の充実	障害に関する相談体制の充実	情報に関するサービス	コミュニケーション	支障に関する相談体制の充実																					
全体 (男女0~79歳)	1,910	21.4	6.4	9.6	2.6	16.0	11.8	9.6	3.2	3.1	28.5	43.2	25.8	3.9	3.7	7.0	3.9	6.1	10.6	4.3	2.9	6.1	3.1	7.6	1.4	10.7	
居住エリア別	仙台市外	1,584	22.3	7.3	11.4	7.4	12.8	10.3	6.5	3.7	6.5	37.9	36.2	20.3	2.9	7.6	7.9	4.4	8.4	14.3	11.9	3.0	4.0	4.3	6.1	2.0	8.6
	仙台市内	326	22.4	6.7	9.2	11.7	13.2	11.0	4.6	3.1	11.3	40.8	31.6	21.2	4.6	5.5	5.2	3.7	11.0	11.7	8.9	1.8	6.1	2.8	3.7	4.9	7.7
	仙南圏域	229	21.8	9.6	15.3	7.0	13.1	12.7	4.4	3.1	5.7	38.9	34.9	23.1	2.6	4.8	6.6	5.7	13.1	14.4	12.7	2.2	5.2	3.1	6.1	3.9	4.8
	仙台市	326	22.4	6.7	9.2	11.7	13.2	11.0	4.6	3.1	11.3	40.8	31.6	21.2	4.6	5.5	5.2	3.7	11.0	11.7	8.9	1.8	6.1	2.8	3.7	4.9	7.7
	仙台圏域	552	23.7	6.5	10.3	8.0	14.1	9.2	6.9	3.1	7.6	38.0	36.2	22.3	2.4	8.2	8.3	3.4	7.8	13.4	12.9	3.1	2.4	4.2	5.4	1.6	7.6
	大崎圏域	254	19.7	9.4	10.6	7.9	15.4	11.4	6.7	5.1	4.3	39.8	34.3	15.7	2.4	9.1	7.5	4.3	6.7	13.0	13.0	2.8	4.3	5.9	4.7	2.8	9.8
	栗原圏域	98	24.5	5.1	7.1	6.1	10.2	13.3	6.1	2.0	7.1	33.7	45.9	16.3	5.1	7.1	4.1	4.1	6.1	19.4	5.1	3.1	3.1	6.1	11.2	2.0	10.2
	登米圏域	122	17.2	8.2	13.1	4.9	9.0	4.9	5.7	3.3	10.7	40.2	34.4	18.0	2.5	5.7	9.8	6.6	6.6	16.4	11.5	4.1	6.6	4.1	8.2	*	13.9
	石巻圏域	240	24.6	5.8	10.8	8.3	8.8	10.4	7.9	5.8	7.1	35.8	35.4	21.3	3.3	7.9	9.2	3.3	8.3	13.3	10.8	2.1	4.6	4.2	4.2	0.8	9.2
	気仙沼圏域	89	21.3	5.6	14.6	6.7	15.7	11.2	6.7	1.1	*	36.0	38.2	18.0	5.6	10.1	7.9	7.9	10.1	16.9	12.4	5.6	5.6	2.2	10.1	3.4	11.2
	石巻・気仙沼圏域	329	23.7	5.8	11.9	7.9	10.6	10.6	7.6	4.6	5.2	35.9	36.2	20.4	4.0	8.5	8.8	4.6	8.8	14.3	11.2	3.0	4.9	3.6	5.8	1.5	9.7

※ 「全体 (男女0~79歳)」のスコアはウェイト集計値です。

各サンプル区分における・・・ 上位1位: [Red Box] 上位3位以内: [Light Red Box] 上位5位以内: [Light Purple Box]

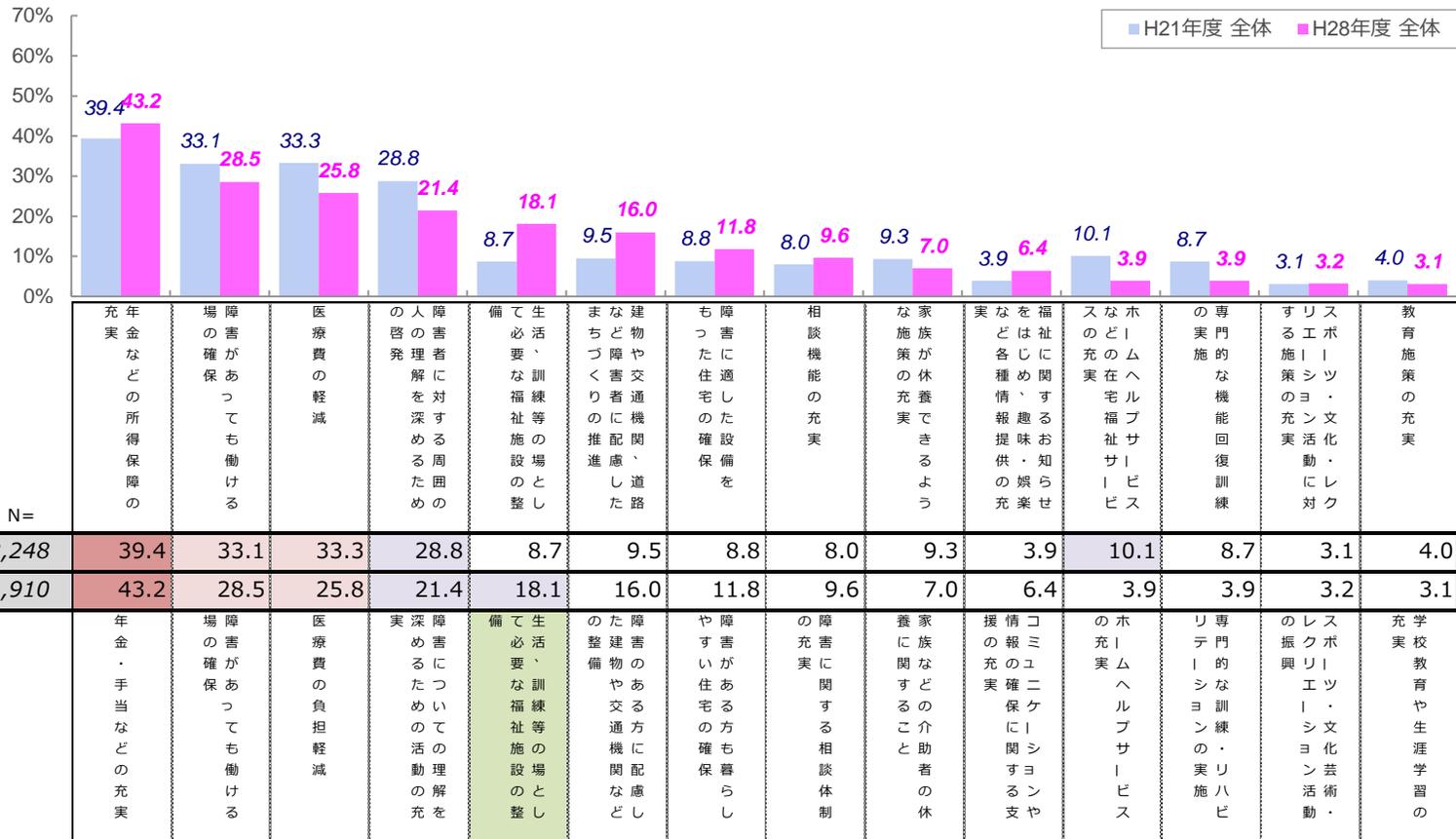
VIII-1. 最優先で取り組んでほしい施策 [参考] 平成21年度調査結果との比較

最優先で取り組んでほしい施策について、7年前の調査での類似質問の結果と比較すると、

- H21年度に最もスコアの高かった「年金など～」は、今回（H28年度）も最上位となっている。次いで高かった「医療費の軽減」、「障害があっても働ける場の確保」、「障害者に対する周囲の人の理解～」のスコアはやや低下している。
- 今回の調査で上昇傾向がみられるのは、「生活、訓練等の場として必要な福祉施設～（+9.4%）」と「建物や交通機関、道路など障害者に配慮したまちづくり～（+6.5%）」で、いずれも2割近いスコアとなっている。

※ 「H28年度 全体」のスコアはウェイト集計値です。

※ 「H28年度全体」のスコアが高い順に並べ替え



N=															
H21年度 全体	2,248	39.4	33.1	33.3	28.8	8.7	9.5	8.8	8.0	9.3	3.9	10.1	8.7	3.1	4.0
H28年度 全体	1,910	43.2	28.5	25.8	21.4	18.1	16.0	11.8	9.6	7.0	6.4	3.9	3.9	3.2	3.1

年金・手当などの充実	場の確保があっても働ける	医療費の負担軽減	実深め害にたつための活動の理解を	備て生活、必要な福祉施設の整備	のた障整備や交通機関に配慮など	や障す言がある住宅の方も確保	の障充害に關する相談体制	養家族に關する介助者の休	援情の充実	コミユニケーション	のホムヘルプサービス	リ専門的な訓練の実施	のレスポンス	充学校教育や生涯学習の
------------	--------------	----------	------------------	-----------------	-----------------	----------------	--------------	--------------	-------	-----------	------------	------------	--------	-------------

各年度における… 上位1位 : 上位3位以内 : 上位5位以内 :

H28年度 - H21年度	3.8	-4.6	-7.5	-7.4	9.4	6.5	3.0	1.6	-2.3	2.5	-6.2	-4.8	0.1	-0.9
---------------	-----	------	------	------	-----	-----	-----	-----	------	-----	------	------	-----	------

+5.0%以上 : -5.0%以下 :

※ H28年度は、次のいずれかを回答した人の割合… 「生活や訓練の場として必要な福祉施設の整備」、「グループホームなどの整備」、「障害がある方の入所施設の整備」

VIII-2. 役所への意見・要望(フリーアンサー)

国・県・市町村に対する意見・要望について、自由に記入してもらったところ、<全体>では622人の方より回答が得られた。(回答率32.6%)
回答内容を大まかに分けると、下記のような内容・件数となっている。なお、複数の意見を記入している場合はそれぞれをカウントしている。

	サンプル数	回答者数	回答率 (%)
全体 (男女0～79歳)	1,910s	622s	32.6
障害児 (男女0～18歳)	809s	338s	41.8
障害者 (男女19～79歳)	1,101s	284s	25.8

※ 保護者が回答

※ 本人回答 又は 家族・介助者等が代筆

	内 容	件 数
1	福祉に対する総合的な思い	157
2	福祉制度に対する不満・要望	264
3	福祉サービスの案内・手続きに関する不満・要望	157
4	福祉サービスに対する不満・要望 (全般的に多くあがったもの)	126
5	福祉サービスに対する不満・要望 (障害児 (の保護者) から多くあがったもの)	344
6	福祉サービスに対する不満・要望 (障害者から多くあがったもの)	39
7	その他の要望	88
8	身の上話、体験談、希望・感想など	96
9	福祉に対する感謝	60
10	アンケートに関する意見	34
合 計		1,365

VIII-2. 役所への意見・要望(フリーアンサー)

国・県・市町村に対する意見・要望について、P152の意見の内訳は下記のような内容・件数となっている。
(複数の意見を記入している場合はそれぞれをカウント)

中分類	小分類	件数	小計
1 福祉に対する総合的な思い	1 障害者に対する社会の理解を広めて欲しい・差別をなくして欲しい ⇒ 発達障害に対する社会の理解が足りない、健常者と障害者の隔離教育は差別解消につながらない(健常児と一緒に関わられる施設を)	103	157
	2 なりたくて障害者になる人はいない、誰もが(障害者もその家族も)希望を持って生きていける社会にして欲しい	27	
	3 障害者の障害の程度・その家庭の状況は様々、それぞれに寄り添った支援を望む	27	
2 福祉制度に対する不満・要望	1 障害児・者が将来自立できるか不安、親・介護者の老後・死後が不安 ⇒ 入所施設の増加・充実を望む	87	264
	2 等級の判定基準に対する不満、障害種別・等級により受けられる補助の違いに対する不満 ⇒ 療育手帳の認定では紙おむつの補助はない、など	53	
	3 都道府県・市区町村間における障害福祉サービスの格差に対する不満	50	
	4 介助により、思うように就業(フルタイムなど)できない、仕事と介助の両立が大変 ⇒ 介助者への手厚い支援・補助を望む	34	
	5 障害が重い/軽いと受け入れてもらえる施設・学校、受けられるサービスが制限されることへの不満	29	
	6 収入による補助の制限・格差に対する不満	11	
3 福祉サービスの案内・手続きに関する不満・要望	1 役所窓口、相談施設、保健師などの対応を改善して欲しい	61	157
	2 受けられる補助・必要な手続きに関する案内を充実して欲しい	33	
	3 県と市町村など対応窓口の連携・一本化を進め、手続きを簡素化して欲しい ⇒ 手帳更新については1~3ヶ月前にお知らせが欲しい	33	
	4 相談窓口を増やしてほしい	30	
10 福祉サービスに対する不満・要望 (全般的に多くあがったもの)	1 経済的な支援の充実 ⇒ 医療費・福祉機器への助成の充実、障害者年金の充実(少ない・減額傾向)	114	126
	2 福祉機器の開発・情報案内の充実	4	
	3 不正受給への不満	3	
	4 震災関連の被災保証ばかり優遇されている事への不満	3	
	5 高齢者への支援に偏っている事への不満	2	
4 福祉サービスに対する不満・要望 (障害児(の保護者)から多くあがったもの)	1 入所施設・グループホームを増加・充実して欲しい ⇒ ケアスタッフ不足解消のため待遇改善を	58	344
	2 学校の先生、ケアスタッフ、医師の資質を向上して欲しい	54	
	3 特別支援学級・特別支援学校の体制・教育内容の充実	43	
	4 デイサービス、日中一時支援の受け皿が足りない ⇒ ケアスタッフ不足解消のため待遇改善を	40	
	5 施設が不足しており、保育所に入れるのが大変 ⇒ 障害児(者)専門・対応の病院・保育施設を増やして欲しい	37	
	6 幼稚園・学校における支援員の増員 ⇒ 就学機会の選択の幅を広げて欲しい	29	
	7 高校卒業後が心配(支援の連続性がない)、高校卒業後の通所・入所施設を増やして欲しい	20	
	8 保育所・学校、病院・入所施設は送迎サービスがあると助かる	19	
	9 レスパイト事業は需要に追いついていない	19	
	10 訪問看護、リハビリ施設等と病院の連携を強めて欲しい	7	
	11 障害児用の検診を充実して欲しい	6	
	12 高校卒業後の進学の道を増やしてほしい	6	
	13 授業料の免除・減額を	3	
	14 タクシーチケット⇔ガソリン代の補助 選択可能に	3	
5 福祉サービスに対する不満・要望 (障害者から多くあがったもの)	1 就労先の少なさ、就労先の受け入れ態勢への不満(受け入れ企業への助成を)	35	39
	2 等級により就労のし易さに差がでることへの不満	4	

VIII-2. 役所への意見・要望(フリーアンサー)

国・県・市町村に対する意見・要望について、P152の意見の内訳は下記のような内容・件数となっている。
(複数の意見を記入している場合はそれぞれをカウント)

中分類	小分類	件数	小計
6 その他の要望	1 災害時の避難体制を充実して欲しい	23	88
	2 公共交通機関の充実	19	
	3 障害児・者が通いやすい習い事などの情報がほしい (障害児専用の安心して遊べる場所、交流の場(障害児・障害者・親同士・地域コミュニケーション))	14	
	4 障害者手帳の改善(障害者と分かってもらえる印を)、「福祉課」という名称を変更して欲しい	10	
	5 バリアフリーの充実、障害者・高齢者が住みやすい住宅の普及	10	
	6 大人の体格でも使用できるオムツ交換台の設置、障害者・高齢者対応トイレの充実	7	
	7 障害者専用駐車スペースの利用マナー向上	5	
7 身の上話、体験談、希望・感想など	1 自己の症状・精神状態などの現状	56	96
	2 被差別・いじめの体験	17	
	3 楽しく過ごして欲しいなど、希望・感想	15	
	4 震災時(避難時や仮設住宅での生活)の体験	8	
9 福祉に対する感謝	1 補助や支援に対する感謝	24	60
	2 アンケート実施に対する感謝	20	
	3 役所、施設職員、医師など関係者に対する感謝	16	
8 アンケートに関する意見	1 アンケート結果を行政に活かして欲しい ⇒ 現場、本人・家族の声を聞いて欲しい、結果を公表して欲しい、結果を受けてどう取り組むのかを公表して欲しい	18	34
	2 アンケートの実施方法・質問内容等への不満	16	
合 計			1,365